上田市文化財調査報告書第56集

上田原遺跡

塚原古墳群・下之条条里水田遺跡

県営球場建設に係る上田原遺跡
ほか2遺跡発掘調査報告書

1996.3

上田市・上田市教育委員会
上田市土地開発公社

上田市文化財調査報告書第56集

上　田　原　遺　跡

塚原古墳群・下之条条里水田遺跡

県営球場建設に係る上田原遺跡
ほか2遺跡発掘調査報告書

1996.3

上田市・上田市教育委員会
上田市土地開発公社

序

プロ野球オープン戦が始まり、国内ではイチロー・アメリカでは野茂の話題が新聞紙上を賑わし、球春が感じられる季節を迎えております。時を同じくして、県営球場の工事も着々と進み、その姿もかなり実感できるようになりました。

今回、県営球場の建設に伴い、「上田原遺跡」ほか２遺跡の発掘調査を実施しました。調査の成果については、本文中で御報告しますが、多数の遺構・遺物が上田・小県地域で始めて出土したものであります。特に、全国的にみても出土例が極端に少ない鉄鉾の出土は大きな話題となりました。これらの資料は当地域の歴史を解明するうえで新たな研究課題となりましょう。

現在、発掘調査の行なわれた台地は削られ、平地になっております。数十年後、この地に遺跡があったことはおろか台地が存在したことさえも忘れ去られてしまう可能性は非常に高いと思われます。この報告書が、この地の歴史を示す最後のものとなってしまったことを考えますと埋蔵文化財の発掘調査は、非常に重要であり、意義深いものであります。

最後に、10カ月間という長期間にわたり、酷寒・酷暑のなか発掘調査に従事していただいた作業員並びに関係者の皆様方に衷心より感謝を申し上げて、序といたします。

平成８年３月

上田市教育委員会教育長　内藤　尚

例　　言

1　本書は、長野県上田市大字上田原字塚原における、県営球場建設に伴う上田原遺跡ほか２遺跡発掘調査報告書である。

2　調査は、平成５・６年度に係るものは上田市土地開発公社から委託を受け、上田市が直営で行ない、調査に要した費用に一切は上田市土地開発公社が負担した。平成７年度に係るものは上田市の単独事業として実施した。なお、いずれも事務局は、上田市教育委員会事務局社会教育課が担当した。

3　現地調査は、１９９３年１１月１日から１９９４年８月３１日まで実施し、引き続き１９９６年３月３１日まで整理・報告書作成作業を行った。

4　遺構の実測は清水彰・池田市郎・甲田五夫が行った。古墳及び全体空中写真測量は、㈱こうそくに委託して実施した。

5　遺物の洗浄・注記・接合・実測・トレース・版組は、清水の指示により田中弥重子・小野沢恵美子・唐沢裕子・荒井かぎ子・樋口眞知子・市村みつ子・大井敬子・井沢光子・丸田由紀子・山本万里・西沢志保が行った。なお、遺物実測の一部は㈱こうそくに委託して実施した。

6　遺構・遺物写真の撮影は、清水が行った。

7　現地調査の基準点測量とメッシュ杭打の一部を上田測量設計㈱に委託して実施した。

8　下之条条里水田遺跡におけるプラントオパール分析はパリノサーヴェイ㈱に委託して実施した。

9　本遺跡出土の人骨・獣骨等について信州大学医学部西沢寿晃氏から玉稿を賜った。記して、厚くお礼を申し上げたい。

10　本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。

11　本書の編集・刊行は、事務局が行った。

12　本調査にあたり、下記の皆様に御指導・御協力をいただいた。（順不同・敬称略）
(財)長野県埋蔵文化財センター　上田原自治会　下之条自治会　五十嵐幹雄　塩入秀敏
山岸猪久馬　井上洋一

13　本調査の体制は次のとおりである。

教　育　長	内藤　　尚
教育次長	小沢　良行（平成６年３月31日退任）
〃	荒井　鉄雄（平成６年４月25日着任）
社会教育課長	須藤　清彬（平成６年４月24日退任）
〃	松沢征太郎（平成６年４月25日着任）
文化係長	岡田　洋一
文化係員	中沢徳士・尾見智志・塩崎幸夫・久保田敦子・清水彰（担当者）

14　調査に参加・協力していただいた方々（順不同・敬称略）

（現地調査）　西沢勝・野田三雄・成沢伯・竹内勇・間島亥三郎・中村茂・堀内あき子
山浦富夫・宮川祐一郎・山口幸雄・甲田五夫・池田市郎・関茂樹・
山崎綱雄・山崎田積・中山一女・桜井智子・山崎幸子・清水閲二・
合葉昭二・中村充子・山口有紀彦・宮崎四郎・竹内和好

（整理作業）　田中弥重子・小野沢恵美子・唐沢裕子・荒井かぎ子・樋口眞知子
市村みつ子・大井敬子・井沢光子・丸田由紀子・山本万里・西沢志保

凡　　例

遺　構

1　遺構は、（　）内に示す略号で表し、続く番号は任意である。
竪穴住居址（ＳＢ－）・周溝墓、周溝、溝址（ＳＤ－）・土壙（ＳＫ－）・竪穴住居址のピット（Ｐ）

2　遺構の図版は、原則として国家座標による真北を頁の上としたが、紙面の都合により例外もある。その際には、その方位を示した。

3　遺構実測図は、竪穴住居址・周溝墓・周溝・土壙は原図１：２０・縮尺１：３、溝址は１：２０・縮尺１：６を原則とした。なお、必要に応じて１：１０・縮尺１：３とした。

4　竪穴住居址の主軸方位は、国家座標の真北と住居址の中軸線とのなす角度で示した。

5　ＳＫ－・Ｐの規模は、（長軸×短軸×検出面からの深さ）で示した。

6　標高の単位は、全て「ｍ」である。

7　位構図中の網点は、焼土を示す。

8　遺構写真の縮小は任意である。

遺　物

1　遺物実測図は、原図１：１・縮尺１：３を原則としたが、原図２：１・縮尺１：３、縮尺が任意になる場合がある。

2　土器の実測方法は、右１／２に断面・内面、左１／２に外面を記録する４分割法を原則とし、必要に応じてその率を変えた。

3　遺物実測図中の網点（太）は黒色処理・網点（細）は赤色塗彩を示す。

4　出土遺物一覧表中の法量は、上から口径・残高・底径あるいは裾径を示す。同表中の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」とした。なお、色調は、遺物の内面及び外面の基本的な色調を『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局財団法人日本色彩研究所色票　1988及び1990）を用いて判別した。

5　遺物写真の縮小は任意である。

目　次

序
例言
凡例
目次

第一章　序　説 …… 1
　第１節　調査の経過 …… 1
　第２節　調査の方法 …… 2
　第３節　調査日誌 …… 3
　第４節　報告書抄録 …… 4

第二章　環　境 …… 5
　第１節　自然的環境 …… 5
　第２節　歴史的環境 …… 6
　第３節　遺跡の基本層序 …… 9

第三章　調査の結果 …… １４
　第１節　概要 …… １４
　第２節　遺構実測図 …… １５
　第３節　遺物実測図 …… ８９
　　遺物観察表 …… １４８
　第４節　上田原遺跡出土の人骨および馬骨・馬歯 …… １７６

第四章　下之条条里水田遺跡 …… １８１

写真図版

第一章　序　説

第１節　調査に至る経過

平成４年９月、上田市教育委員会事務局体育課（以下、「体育課」という。）から、同事務局社会教育課（以下、「事務局」という。）に、上田市大字上田原字塚原地区から大字下之条にかけて、51,300㎡に及ぶ県営球場及び多目的運動場の建設に係る造成計画があり、平成４年10月から施工、平成７年３月竣工の予定があるが、埋蔵文化財についてはいかがか、という協議があった。

事務局で、その範囲に係る埋蔵文化財の分布状況を分布図及び分布調査報告書（1977上田市教育委員会発行「上田市の原始・古代文化」）によって確認したところ、当該区域には、周知の埋蔵文化財包蔵地である上田原遺跡、塚原古墳群及び下之条条里水田跡が存在していることが示されていた。

平成４年10月４日、体育課、長野県教育委員会事務局文化課、事務局の３者で遺跡の保護協議を実施し、遺跡の範囲確認のための試掘調査を早急に実施し、その結果を見てその保護措置について検討することとなった。

事務局では、平成４年11月24～25日に試掘調査を実施した。その結果、施工範囲の段丘上、塚原地籍に縄文時代後期～平安時代の出土遺物と住居址・溝址・ピット等が確認され、その保護措置が必要となった。事務局では、体育課に、当初の予定による造成工事は無理であり、事前の発掘調査が必要であることを伝え、以下のとおりの内容で遺跡の保護協議が成立した。

（平成５年度）

１　発掘調査地	上田市大字下之条及び大字築地
２　遺跡名	上田原遺跡・塚原古墳群・下之条条里水田遺跡
３　遺跡の状況	（地目）田及び畑　（破壊状況）一部破壊
４　調査の目的及び概要	県営球場造成に先立ち、施工範囲内に存在する上田原遺跡・塚原古墳群・下之条条里水田遺跡8,000㎡以上を発掘調査し、遺跡の記録保存を図る。
５　調査に要する費用	１２，１５１，０８７円
６　調査報告書作成部数	（平成７年度刊行予定）
７　発掘調査の主体者	上田市
８　その他	報告書作成は、平成７年度とし別途協議する。

（平成６年度）

１～３	同上
４　調査の目的及び概要	県営球場造成に先立ち、施工範囲内に存在する上田原遺跡・塚原古墳群・下之条条里水田遺跡8,000㎡以上を発掘調査し、遺跡の記録保存を図る。 遺跡における発掘作業は、平成７年８月31日までに終了する。
５　調査に要する費用	１３，９２５，０００円
６～８	同上

（平成７年度）

１～３	同上
４　調査の目的及び概要	県営球場造成に先立ち、施工範囲内に存在する上田原遺跡・塚原古墳群・下之条条里水田遺跡8,000㎡以上を発掘調査し、遺跡の記録保存を図る。 調査報告書は平成８年３月31日までに刊行する。
５　調査に要する費用	１５，４３１，２００円
６　調査報告書作成部数	３００部
７　発掘調査の主体者	上田市

第２節　調査の方法

本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である「上田原遺跡」の範囲内に存在する。これに伴い、Ｕ－Ｅ－Ｄａ－ＨａＲａの「ＵＥＨ」を本遺跡の略記号として用いた。

調査区域の設定は、事業地内の試掘調査によって判明した遺跡の範囲とした。調査にあたっては、バックホーにより表土を除去し、その後遺構検出・掘上作業を人力により行った。また、３ｍ×３ｍのメッシュを設定し、遺構の測量・遺物の取り上げ等に利用した。メッシュの設定方法は、基準点０を設定し、そこから国家座標にのるように設定した。その際、東西南北にそれぞれ記号（ＥＷＳＮ）をあたえ、基準点からの距離を組み合わせて使用した。ここで使用した基準点０の座標値は、Ｘ＝＋４４，００３．０００、Ｙ＝－２５，６５１．０００（第Ⅷ量系）である。

遺構測量は、このメッシュを利用した簡易遣り方法で行ったほか、全体遺構写真撮影及び図化を㈱こうそくに委託して実施した。

第３節　調査日誌（抄）

平成５年

11月１日　（月）　バックホーによる表土剥作業開始

11月15日　（月）　下之条条里水田遺跡トレンチ掘上げ作業開始

11月19日　（金）　遺構検出作業開始

12月３日　（金）　サブトレンチ掘上げ開始

平成６年

１月25日　（火）　作業一時中断

３月１日　（火）　作業再開　遺構掘上げ作業開始

３月23日　（水）　Ｉ－１号周溝墓主体部掘上げ

５月31日　（火）　Ｉ－40号土壙から鉄鉾出土

８月５日　（金）　上田市立信濃国分寺資料館主催考古学教室の実習のため小学生約20名来訪

８月17日　（水）　礫床墓掘上げ開始

８月27日　（土）　上田原遺跡現地説明会を開く　約200名の見学者がある

８月31日　（水）　機材搬出　現地調査終了

以後、埋蔵文化財整理室において整理作業を実施し、平成８年３月31日までに調査報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第４節　報告書抄録

ふ り が な	うえだはらいせき・つかはらこふんぐん・しものじょうじょうりすいでんいせき
書　　名	上田原遺跡・塚原古墳群・下之条条里水田遺跡
副 書 名	県営球場建設に係る上田原遺跡ほか２遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第５６集
編著者名	清水　彰
編集機関	上田市教育委員会
所　在　地	〒３８６　長野県上田市天神二丁目４番７４号　TEL0268-23-5102
発行年月日	１９９６年3月３１日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	市町村コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
上田原遺跡（うえだはらいせき）	上田市大字（うえだしおおあざ）上田原字塚原（うえだはらあざつかはら）	20203	36°26′07″	138°16′34″	19931101↓19940831	8,000㎡	県営球場建設
塚原古墳群（つかはらこふんぐん）							
下之条条里水田遺跡（しものじょうじょうりすいでんいせき）	上田市大字（うえだしおおあざ）下之条字吹田（しものじょうあざふきた）						

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上田原遺跡	集落	縄文～平安	竪穴住居址 13 周溝墓 4 土壙 293 溝址 22 礫床墓 1	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・鉄釧・鉄鉾・鉄鏃・鉄鎌・銅鏃・銅釧・銅環・刀子・切子玉・臼玉・ナツメ玉・管玉・ガラス小玉	
塚原古墳群	古墳	古墳	古墳 2		

第二章　環　境

第１節　自然的環境

長野県東部に位置する上田盆地の南西部は、塩田と川西の２地区に大別される。

塩田地区は塩田平と呼ばれ北方下流部が狭く上流部に広まって扇状を呈し、各河川が扇の骨格をなすように流れている。産川を中央に左側には湯川、右側には尾根川があって、これらの河川の沖積扇状地の堆積盆地である。さらには追開沢は産川と湯川との、そして尻無川（絵堂川）は産川と尾根川との裾合の低地帯を流れている。

この平は盆地と山地が画然と分かれ、他地域のような山間部に食い込んだ入地形がなく、したがって入集落をみない。そのかわり、7～800mの山地に低夷化された第三紀別所層の緩斜面に、野倉・岳ノ尾のような山間集落が発達している。なお、この盆地の南方独鈷山麓には、みごとな扇状地が発達している。そのうち、最も大きく高いのは、西端の塩野川のつくる扇状地で、その末端は産川に達し、産川を逐次北方に押している。また、安曽岡山の吉沢入から流出する絵堂川の押し出しも強く、その出口に立地する石神は危険なので、この川を西に曲げ、柳沢との間で平野に流出させている。そこが久しく荒地になっていたが現在は改修工事が行なわれて、押し出しの害もなくなった。この川が尻無川といわれるのは水が浸透してしまって下流は水がなくなるからである。

尾根川の支流の雨吹川と駒瀬川は、双子のように大きさも等しく共同して複合扇状地をつくり、その川筋に沿って東西二つの奈良尾の集落をのせている。

川西地区は浦野川が形成した谷平野を中心に室賀谷を加えた一帯である。浦野川は上田・小県流域では、千曲川・依田川・神川に次ぐ河川で、小県郡青木村の大明神岳・二ツ石岳・御鷹山・大沢山・子檀嶺岳などを源とする相染川・宮淵川・滝川・田沢川・阿鳥川などを集めて東北流し、下流域に至ってさらに室賀川、塩田平の全河川を集めた産川と合流して、上田市下之条で千曲川に注いでいる。上流域の青木村沓掛付近で既に谷平野を形成し始め、流下するに従い、その活動は活発となり、青木村小学校付近で約400m、上田市浦野で約900m、同吉田で約１kmの幅を測る。また、河岸段丘もよく発達し、中下流域では第１段丘、第２段丘の２段を認めることができる。

浦野川を挟んで北側には、岩鼻から三ツ頭山に連なる城山の山塊が屹立して北風を遮り、南側には塩田平と画する丘陵上の小尾根が存在するのみで、日照まことによく温暖で、そのうえ、年間降雨量が1000mmに満たない全国でも有数の寡雨地帯で浦野川流域に洪水を引き起こす危険のある河川も少ない。

今回、県営球場建設に先立って発掘調査が行なわれた上田原遺跡・塚原古墳群は、浦野川と産川の合流点の南東側の舌状台地の最先端部に位置する。この台地は、上田原面と呼ばれ、千曲川と産川の間にあってその浸食を免れたものであり、千曲川右岸の第２段丘面に相当するものと考えられる。現在の沖積扇状地面はこの段丘面より５～７mで低いため、この第２段丘面が堆積された後、浸食が復活して低平化され、次に沖積ファンの堆積時代になり、さらに現在は再び浸食が復活したと考えざるをえない。まさに浸食と堆積が繰り

返されてきたことを如実に物語っている。これは地盤の隆起・沈降と下流の浸食基準面の変化との関係である。ところがこの沖積ファンの厚さは数mに過ぎず、その下部にほぼ水平な泥岩層・砂岩層で、ところによっては泥炭層・軽石層を挟むところもある。これらは各河川の川岸・川床、前記した段丘面の下部にも露出している。この層は、湖沼中に堆積したものであり、この堆積物を特に塩田層と呼んでいる。

第２節　歴史的環境

上田原遺跡の周辺で知られている縄文土器は、上田原遺跡の南大原式・下原式の縄文時代前期の土器を除くと縄文時代中期の勝坂式・加曽利Ｅ式土器が多くの地点で表面採集されている。第１図中では、惣明(104)・浦田(108)・築地(111)・堀之内(113)・宮島(115)・向村(120)・菱池(121)・道添(128)の各遺跡である。いずれも発掘調査が行われていないため詳細はわかっていない。

弥生時代になると、上田地域で一般的にみられる箱清水式土器が、この地域にも広くみられるようになる。千曲高校遺跡(99)では、昭和51年発掘調査が行われ、当該期の竪穴住居址が検出されている。また、昭和61・62年に発掘調査が行われた琵琶塚遺跡(326)では、弥生時代後期～古墳時代後期にかけての大集落が調査されている。その他、多数の地点で箱清水式土器が表面採集されている。

古墳時代になると、さらに集落数は増大する。古墳としては半過地区に群集墳がみられ、また各所にも古墳が築造されるが、いずれも小規模な円墳である。

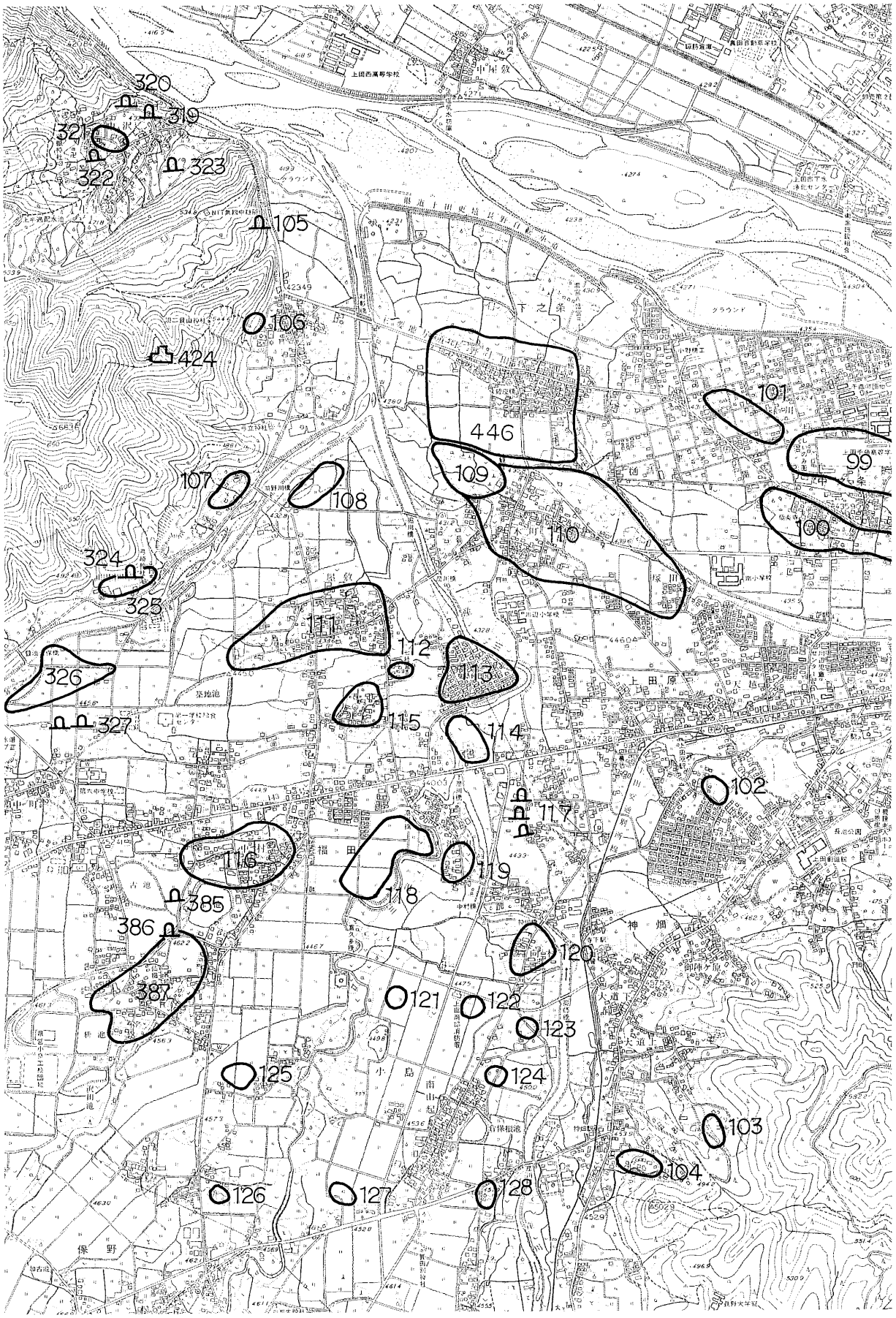
奈良・平安時代には、さらに開発が進み、かなり大きな集落も形成されたと思われ、当該期の遺物も各所で表面採集されている。また、平安前期に成立した『和名類聚抄』によれば、上田・小県地方は７郷の存在が確認され、上田原遺跡周辺は、福田郷に該当すると考えられる。この福田郷には、古代東山道と古代北国道の交差地点があったと考えられ、交通の要衝であったことは容易に想像できる。下之条条里水田遺跡(446)の条里遺構もこの時代を中心として展開していくのではないだろうか。

いずれにしろ、上田原遺跡周辺地域の発掘調査はほとんど行われていないため、今後の調査の進展が期待される。

平安時代も末期になると、当地域は『吾妻鏡』に記載される小泉庄に含まれると考えられる。この小泉庄は福田郷が荘園化したものと思われ、その支配者が泉氏であることは異論がない。堀之内遺跡(113)は、中世の城館跡として知られているが、この泉氏の本拠ではないかとの説もある。

鎌倉時代を迎えると幕府が鎌倉に開かれる。この幕府の実権は、源氏から北条氏に移るわけだが、その過渡期にこの地を基盤とする、「泉親衡の乱」が発生する。この反乱は、鎌倉幕府を揺るがす「和田合戦」の発端となった点で注目される。

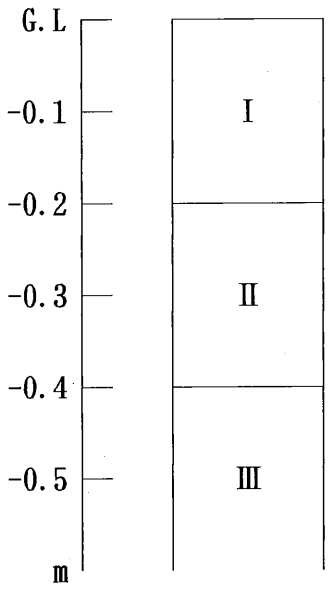
さらに戦国期をむかえ、村上氏と武田氏によって争われた上田原合戦の地として有名である。この合戦により、武田軍は板垣信方・甘利虎泰・才間河内等の諸将を失い、大敗北を喫している。


320
319
321
322
323
105
106
424
446
101
99
109
107
108
110
100
324
325
111
112
113
326
327
115
114
102
117
116
119
118
385
386
120
387
121
122
123
125
124
103
104
126
127
128

第１図　周辺遺跡図

番号	遺　跡　名	時　代	備　考	番号	遺　跡　名	時　代	備　考
99	千曲高校遺跡	弥～平	S51調査	121	菱池遺跡	縄～平	
100	西前田遺跡	平		122	北山越遺跡	平	
101	天神堂遺跡	弥～平		123	起遺跡	平	
102	葭原窯跡	平		124	植田遺跡	弥～平	
103	堀切遺跡	平		125	中井遺跡	弥～平	
104	惣明遺跡	縄弥		126	青木遺跡	弥～平	
105	駒場遺跡	古		127	樋田遺跡	平	
106	古屋敷遺跡	弥		128	道添遺跡	縄～平	
107	箕輪遺跡	平		319	中の沢１号古墳	古	
108	浦田遺跡	縄～平		320	中の沢２号古墳	古	
109	塚原古墳群	古		321	中の沢遺跡	平	
110	上田原遺跡	縄弥		322	中の沢３号古墳	古	
111	築地遺跡	縄～平		323	前沢古墳	古	
112	宮脇遺跡	弥～平		324	八幡山古墳	古	
113	堀之内遺跡	縄～平		325	八幡山遺跡	平	
114	太田遺跡	弥		326	琵琶塚遺跡	弥～平	S61・62調査
115	宮島遺跡	縄～平		327	琵琶塚古墳	古	
116	東村遺跡	古～平		385	扇田古墳	古	
117	手矢塚古墳	古		386	東村経塚	近世	
118	反田遺跡	平		387	原田遺跡	平	
119	西村遺跡	古～平		424	須々貴城跡	近世	
120	向村遺跡	縄～古		446	下之条条里水田遺跡	弥～平	

第３節　遺跡の基本層序

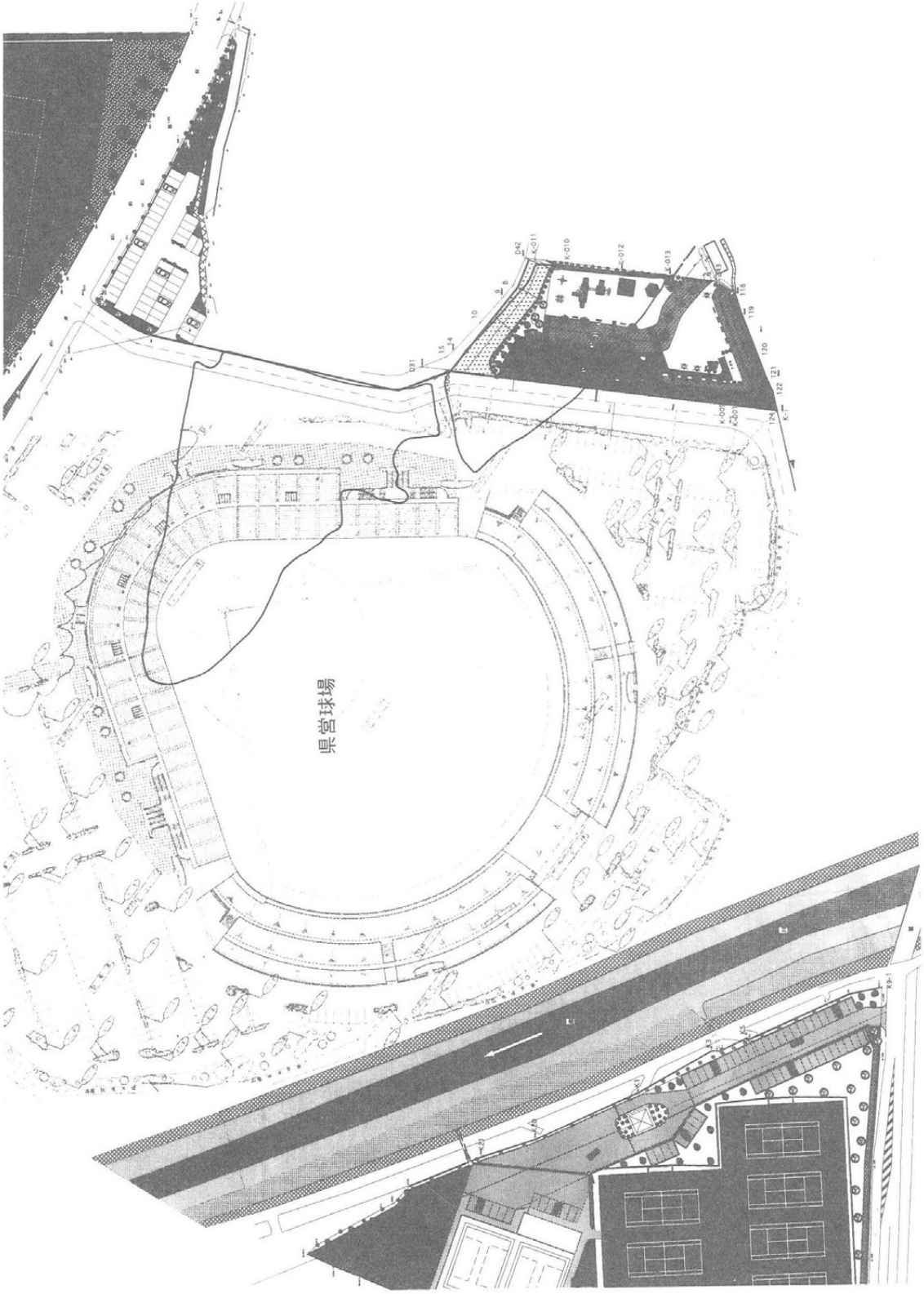


上田原遺跡の基本層序は第２図に示すとおりである。土質は、砂質で非常に水捌けがよい。遺構検出面は、GL－50～60cmである。もともとが桑畑であったため、耕作により遺構の残存は悪い。

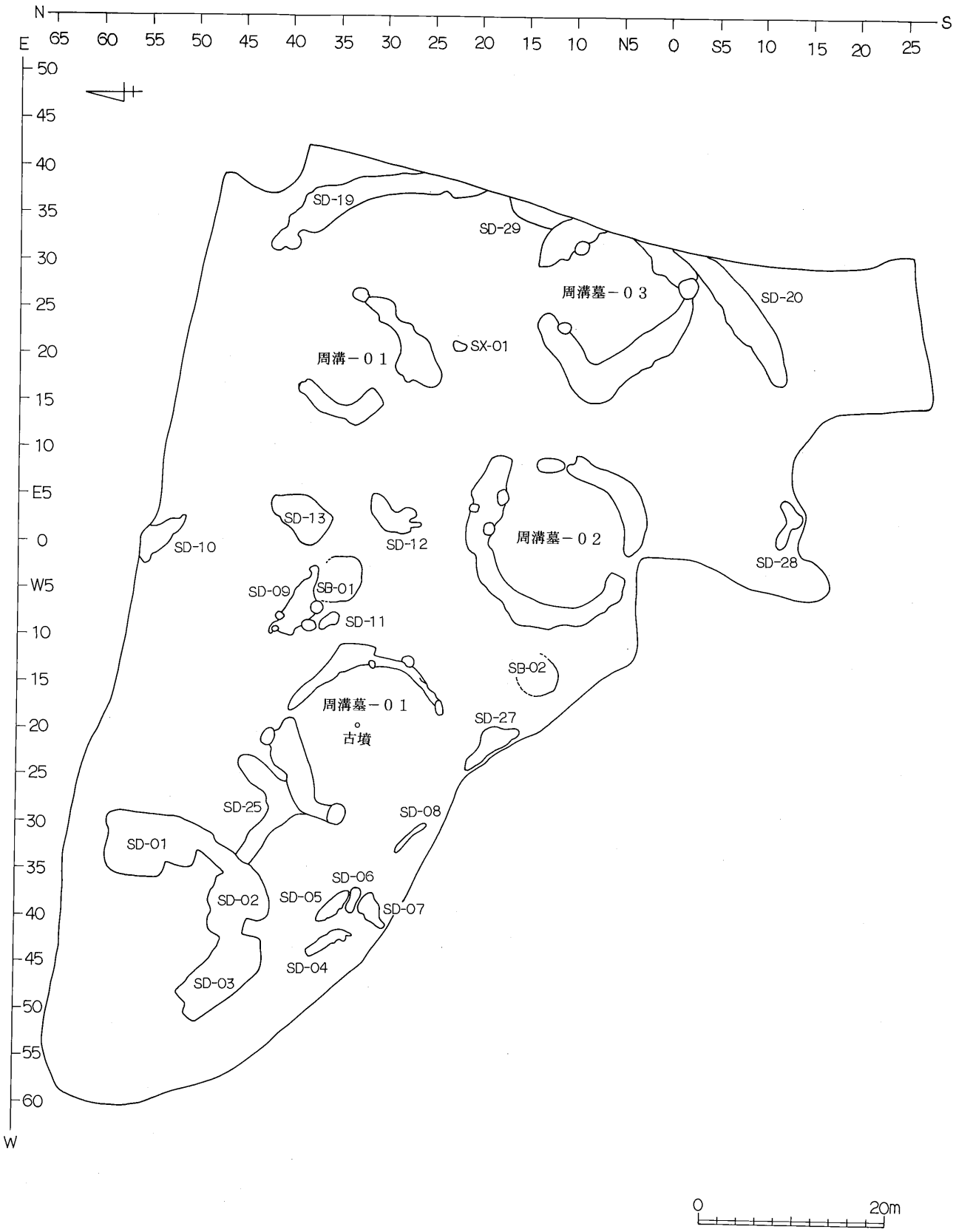
Ⅰ　耕　　作　　土
Ⅱ　暗黄褐色シルト
Ⅲ　黒褐色シルト

第２図　上田原遺跡基本層序

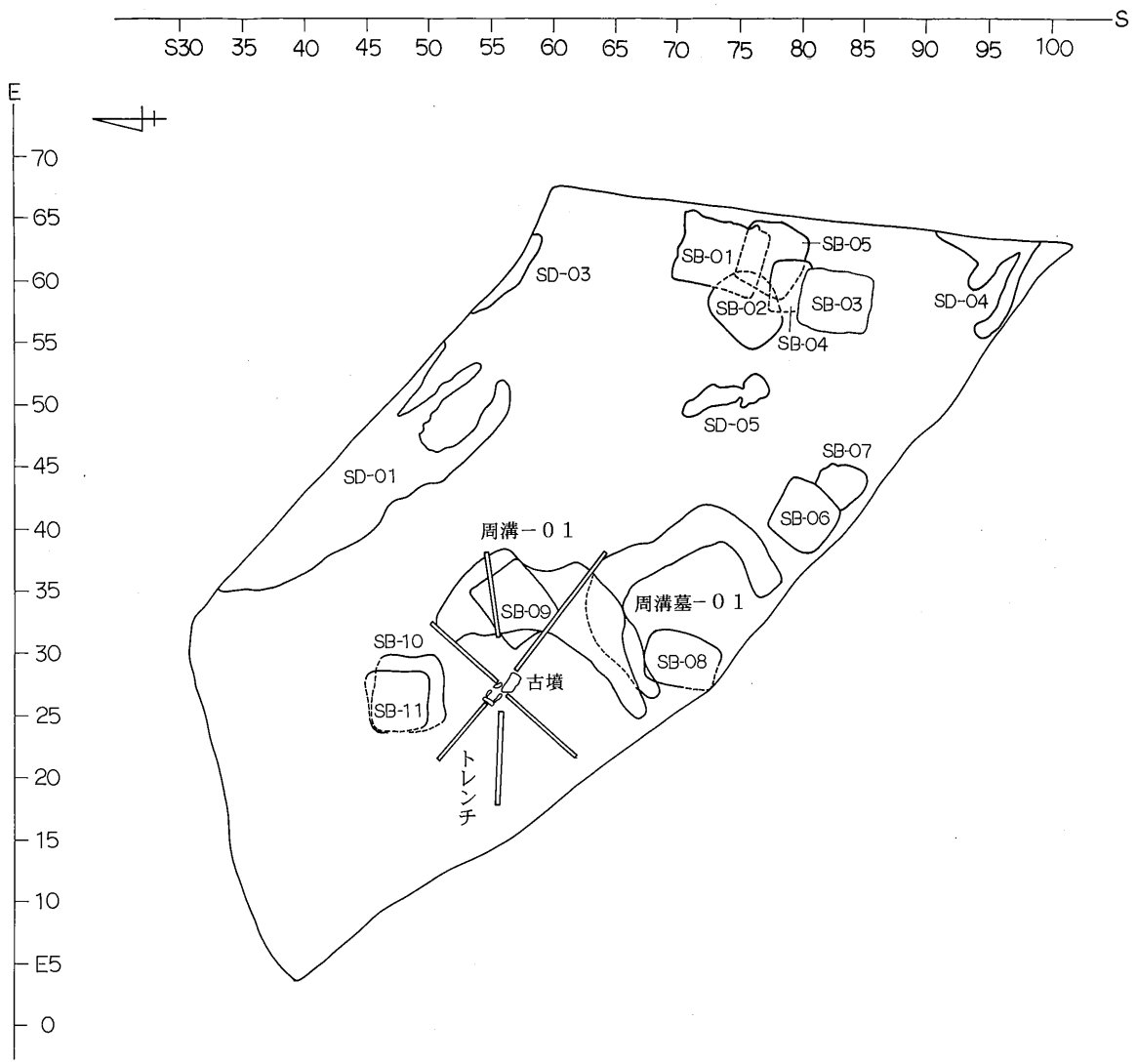
第３図　上田原遺跡位置図



第４図　県営球場施工範囲


N
S
E
W
65 60 55 50 45 40 35 30 25 20 15 10 N5 0 S5 10 15 20 25
50 45 40 35 30 25 20 15 10 E5 0 W5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60
SD-19
SD-29
周溝墓－０３
SD-20
周溝－０１
SX-01
SD-13
SD-12
周溝墓－０２
SD-10
SD-28
SD-09
SB-01
SD-11
SB-02
周溝墓－０１
古墳
SD-27
SD-25
SD-08
SD-01
SD-06
SD-02
SD-05
SD-07
SD-04
SD-03
0
20m

第５図　遺構配置図（1）


S
S30
35
40
45
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95
100
E
70
65
60
55
50
45
40
35
30
25
20
15
10
E5
0
SD-03
SB-01
SB-05
SB-02
SB-03
SB-04
SD-04
SD-05
SB-07
SD-01
SB-06
周溝－０１
SB-09
周溝墓－０１
SB-10
SB-08
古墳
SB-11
トレンチ
0
20m

第６図　遺構配置図（2）

第三章　調査の結果

第1節　概　　要

今回検出された遺構は、竪穴住居址13件・周溝墓４件・周溝２件・古墳２件・礫床墓１件・溝址22件・土壙293件である。

(1)　竪穴住居址

竪穴住居址13件のうち、縄文時代の住居址が３件・弥生時代の住居址が５件・平安時代の住居址が３件・時期不明の住居址が２件である。

縄文時代の住居址はいずれも五領ケ台式土器を出土した。いずれの住居址も残存の状態非常に悪く、平面形態ははっきりしない。炉についても検出されなかった。

弥生時代の住居址はいずれも箱清水式土器を出土した。平面形態のはっきりしたものについては、隅丸方形を呈する。炉は、土器敷き炉（Ⅱ－３号）、地床炉（Ⅱ－６号）がある。

平安時代の住居址のうちでは、Ⅱ－11号から羽口が出土しているほか、Ⅲ（第139図-1)の内面には金属と思われる付着物がある。

(2)　周溝墓

今回検出された周溝墓の平面形態は、円形（Ⅰ－１・２号）と方形（Ⅰ－３号・Ⅱ－１号）である。

このうち、主体部が検出された周溝墓は、Ⅰ－１号である。主体部からは、甕、壺、鉢、高坏（第81図）、ガラス小玉（第161図）、鉄釧（第161図）、骨片が出土している。また、周溝墓内のⅠ－49号土壙からもガラス小玉（第163図）、鉄釧（第163図）、骨片が出土している。

Ⅰ－３号周溝墓からは、箱清水式土器のほかに、外来系の壺、鉢、坏（第83図14～16）が出土している。

Ⅱ－１号周溝墓からは、有段口縁の壺（第140図4～6）が出土している。

(3)　古　墳

Ⅰ－１号古墳は、巨石が３個残存していたが、石室・周溝等の遺構は検出されなかった。遺物の出土もなかった。

Ⅱ－１号古墳は、巨石が石室状に残存していたが、地元の人によると移動してあるとのことだった。調査結果も石室を示すものの出土はなかった。しかし、Ⅱ－１号周溝がこの古墳の周溝と推定できる。この周溝からは、古墳時代後期の土器のほか、馬骨が出土している。

(4) 礫床墓

礫床墓からは、玉類、金属製品（第162図）、骨片が出土した。所属時期は、出土した鉄鏃から考えると古墳時代後期と考えられる。また、遺物の出土状況（第14図）から考えると、被葬者は、北へ頭を向けて葬られたと思われる。

(5) 土壙・溝址

Ⅰ－39号土壙は（第36図）、木口痕を持つ木棺墓と考えられる。土器は出土しなかったが、骨片が出土している。

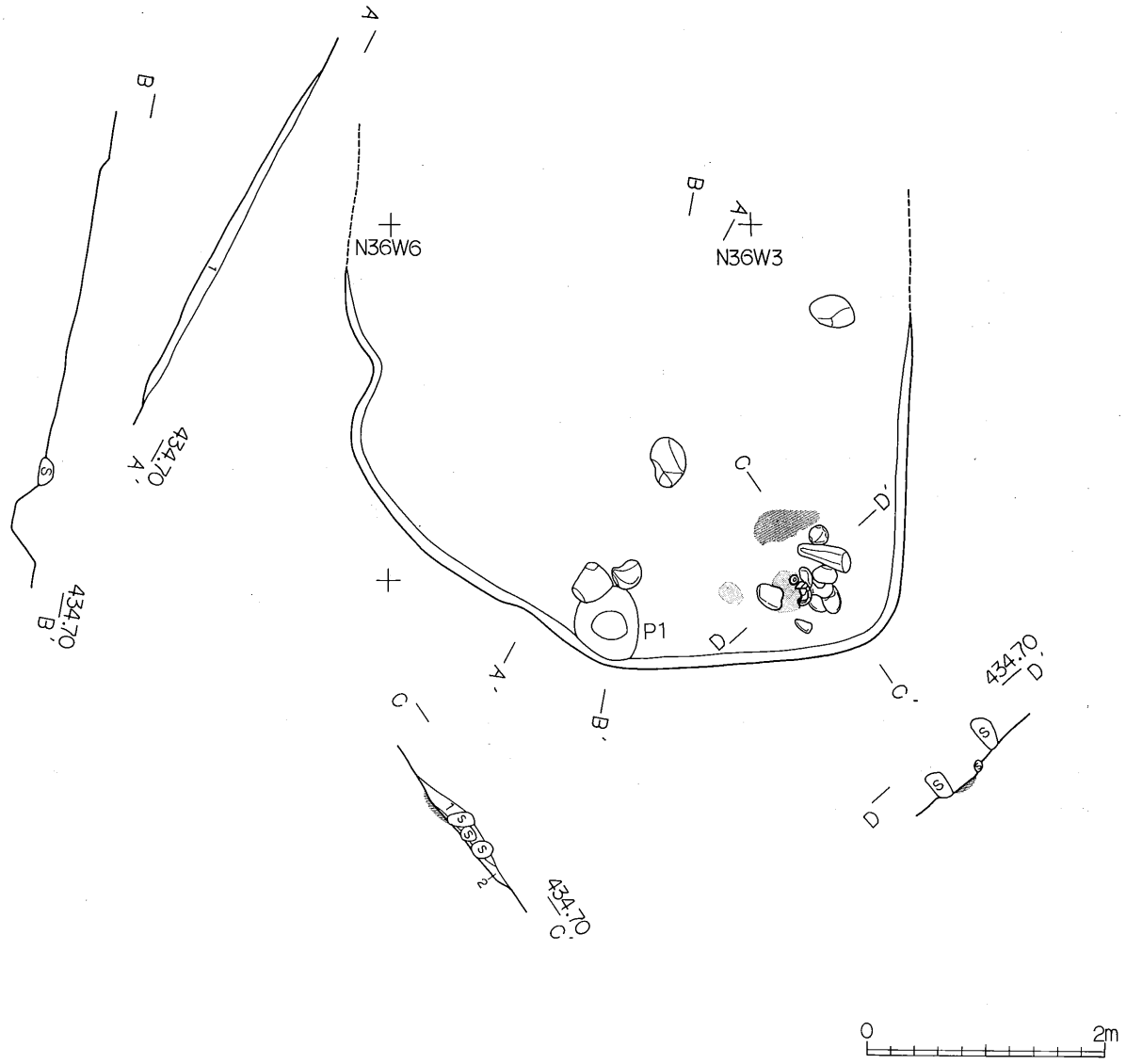
Ⅰ－40号土壙からは、鉄鉾（第167図）出土している。この鉄鉾は、金属部分を南西方向に向け、埋納されたと考えられる。所属時期については、類例が少ないため不明である。今後の研究を待ちたい。

Ⅰ－64・67号土壙からは、縄文時代晩期に所属すると思われる土器（第104・107図）が出土している。いずれも、上田・小県地方には類例がなく、今後の研究を待ちたい。

Ⅰ－19号溝址からは、縄文時代晩期に所属すると思われる土器（第125図－1･2）と平安時代の墨書土器（第125－14･15）が出土している。墨書土器は、「佰」、「仁」が書かれている。特に、「佰」の意味は、『大字源』（1992　角川書店）によると「①おさ。かしら。百人一組みの長。百人の長。　②数詞の一。ひゃく。もも。また、百倍。」とあり、①の意味が特に注目される。

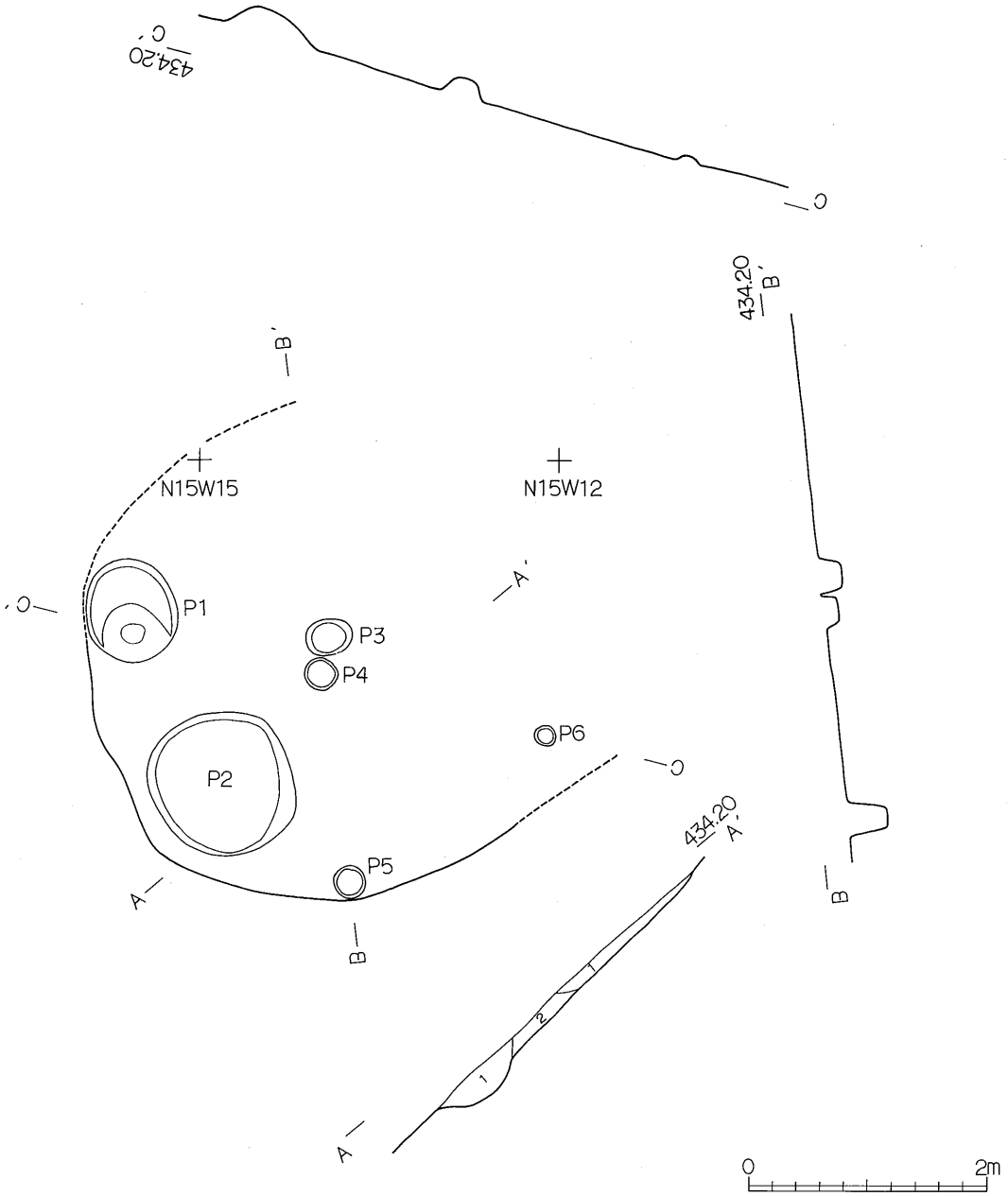
以上、この遺跡の概要について記述した。この遺跡からは、縄文から平安時代にかけて良好な資料が多数出土した。また、上田・小県地方で始めて出土したものも多く今後の研究を待ちたい。

遺　構　Ⅰ区



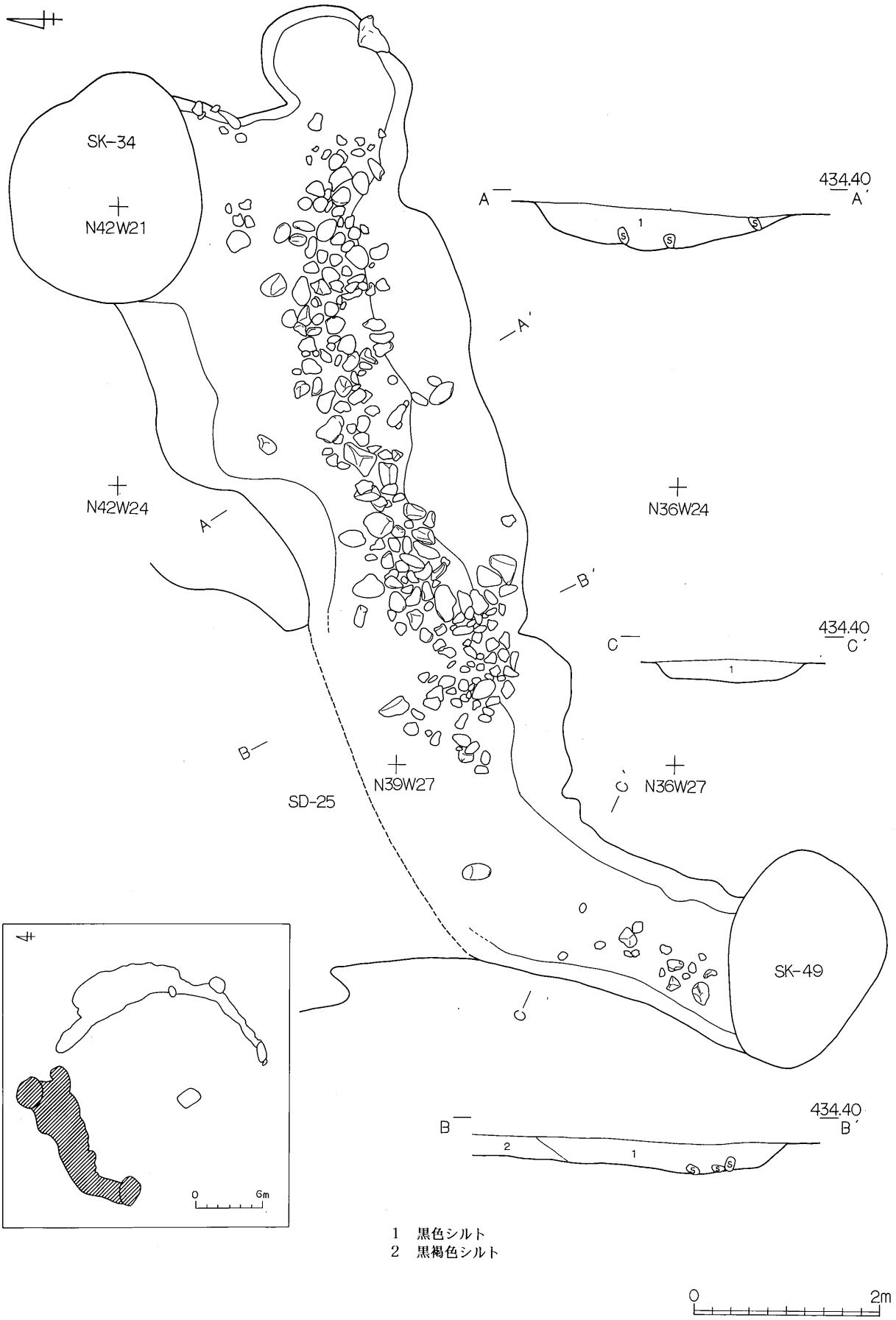
遺構番号	Ⅰ－1号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	不明 S－2°－E 4.8×	壁　高 床　高 床面積	0.06（E） 434.35～434.40 不明	覆 土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第78図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（0.60×0.52×0.26）						
竈	位　置 主軸方位 規模（全長×最大幅）	北東隅 不明 1.00×0.80	覆 土	1　黒褐色シルト 2　明黄色砂質土	備 考	両側の袖石と数個の石が検出された。いずれも川原石を使用し、構築土は確認されなかった。	
備考	残存状況が非常に悪く、北側については削平されてしまっていた。						

第７図　第１号住居址実測図



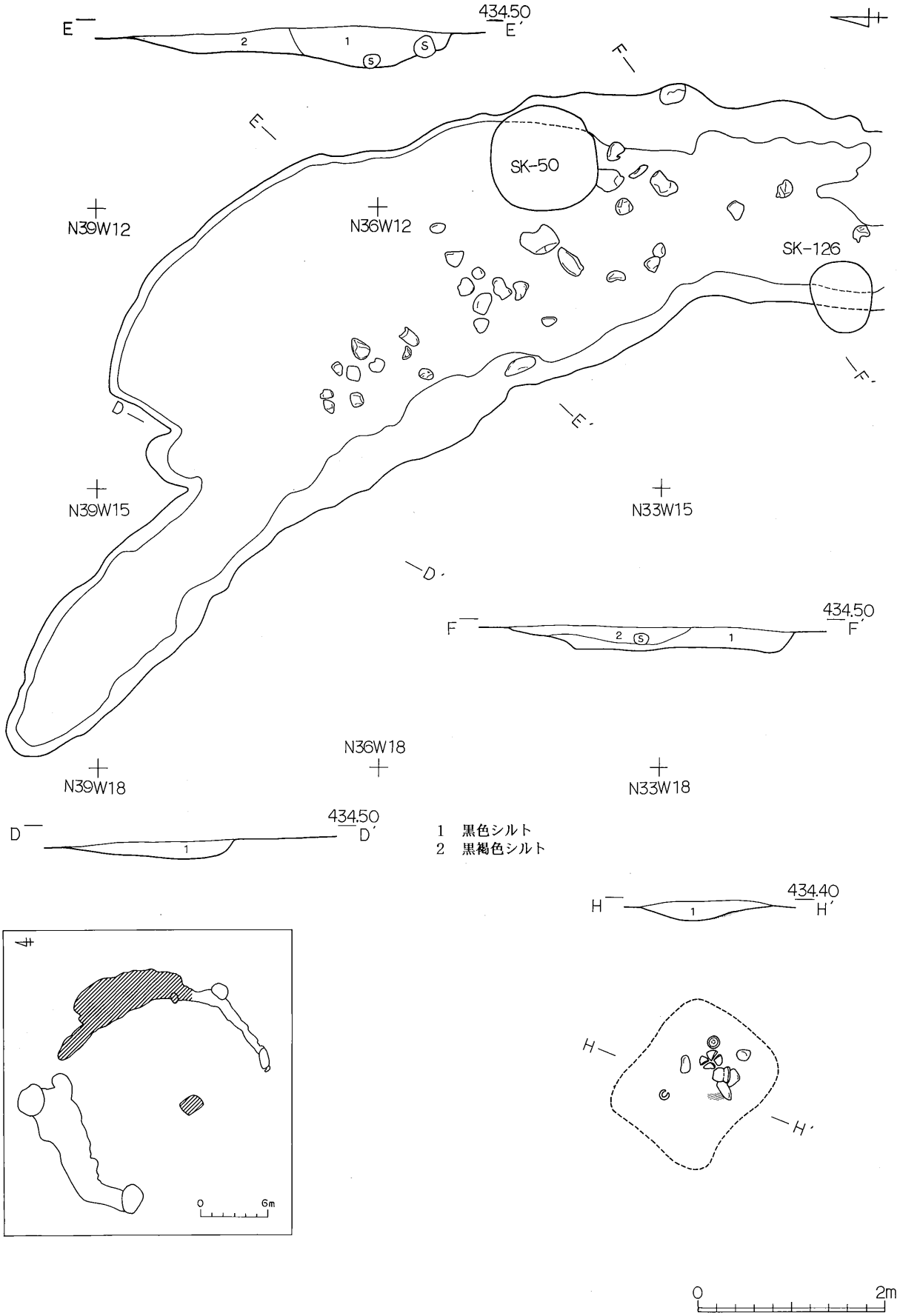
遺構番号	Ⅰ－２号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	不明 不明 不明	壁　高 床　高 床面積	不明 ４３３.９２～４３４.０６ 不明	覆土	１　黒褐色砂質土 ２　明黄色砂質土
遺物図版	第７９図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　Ｐ１（０.８６×０.７４×０.２１）　Ｐ２（１.２２×１.１６×０.１２）　Ｐ３（０.４０×０.２８×０.２０） Ｐ４（０.２８×０.２７×０.１４）　Ｐ５（０.２７×０.２６×０.３２）　Ｐ６（０.１６×０.１６×０.０６）						
備考	残存状況が非常に悪く、北側については削平されてしまっていた。						

第８図　第２号住居址実測図

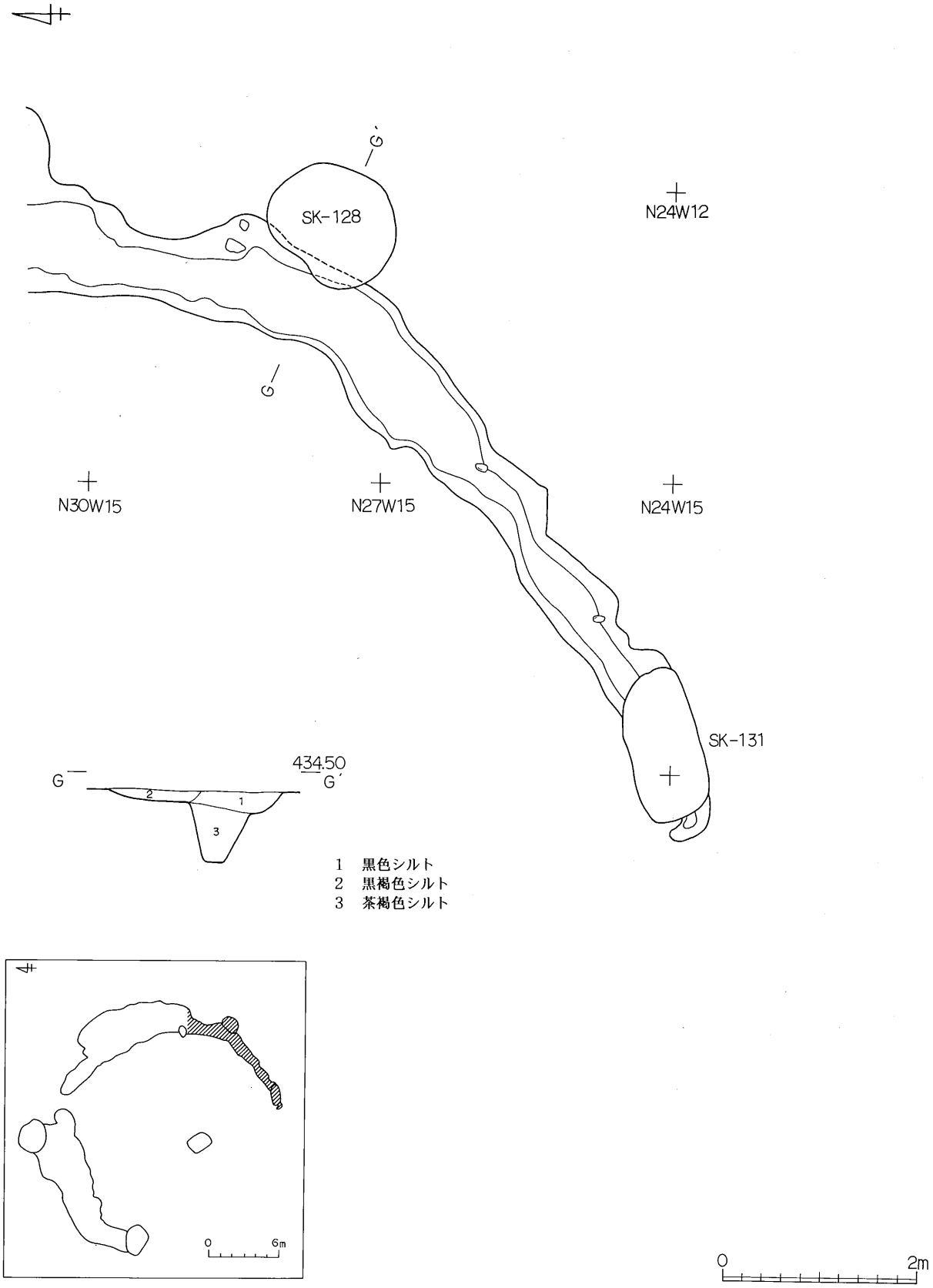


1　黒色シルト
2　黒褐色シルト

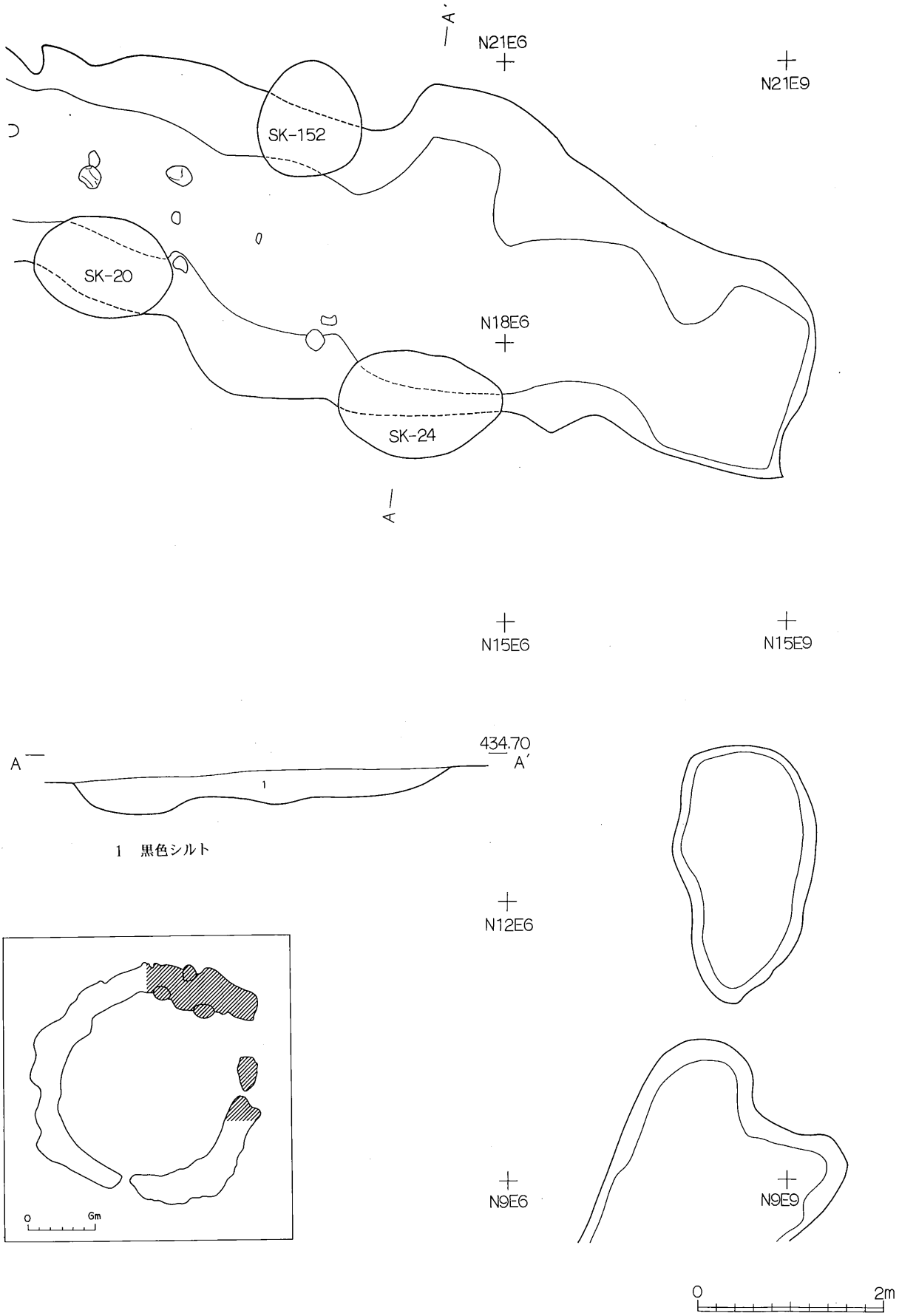
第９図　第１号周溝墓実測図（1）



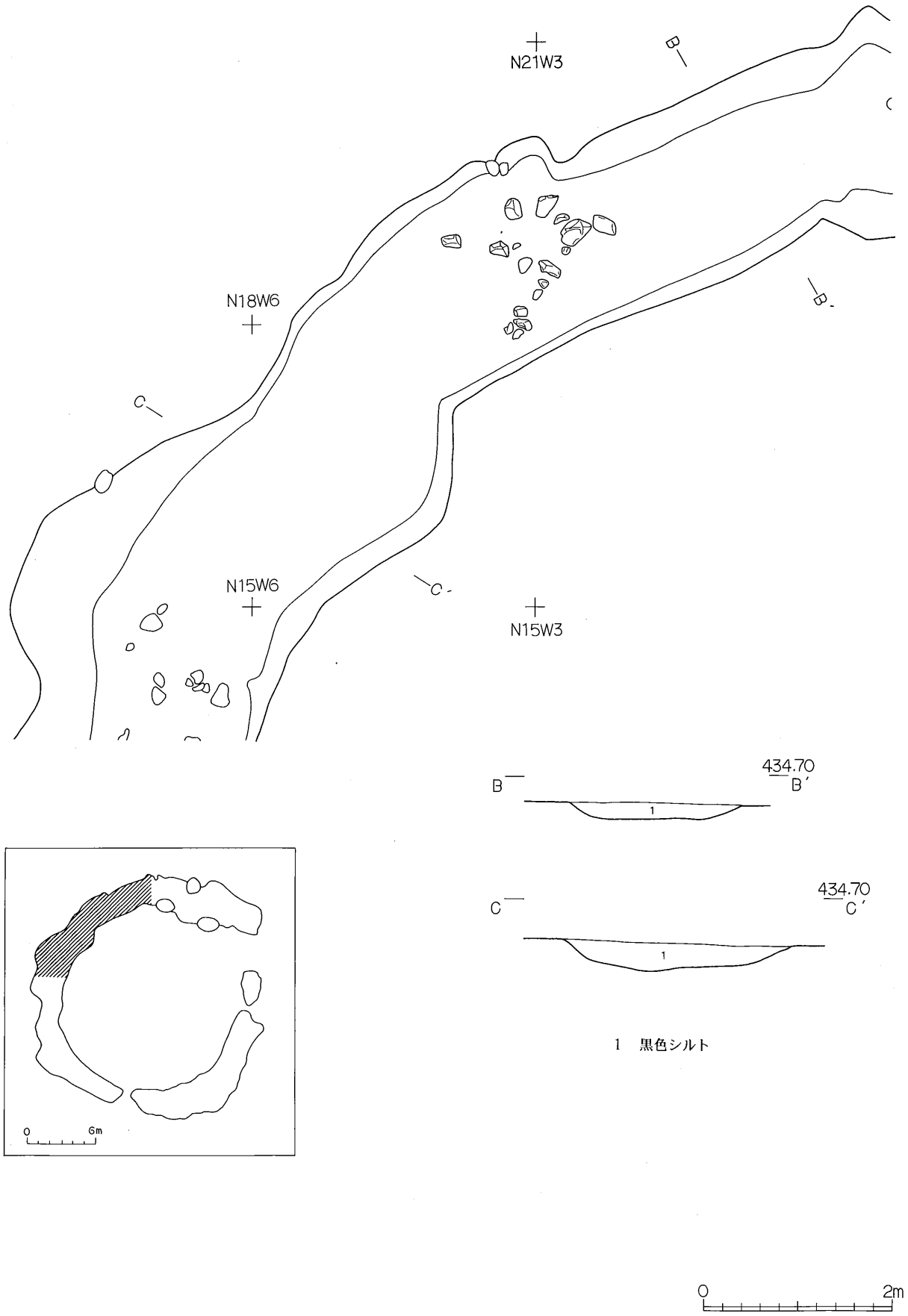
第９図　第１号周溝墓実測図（2）



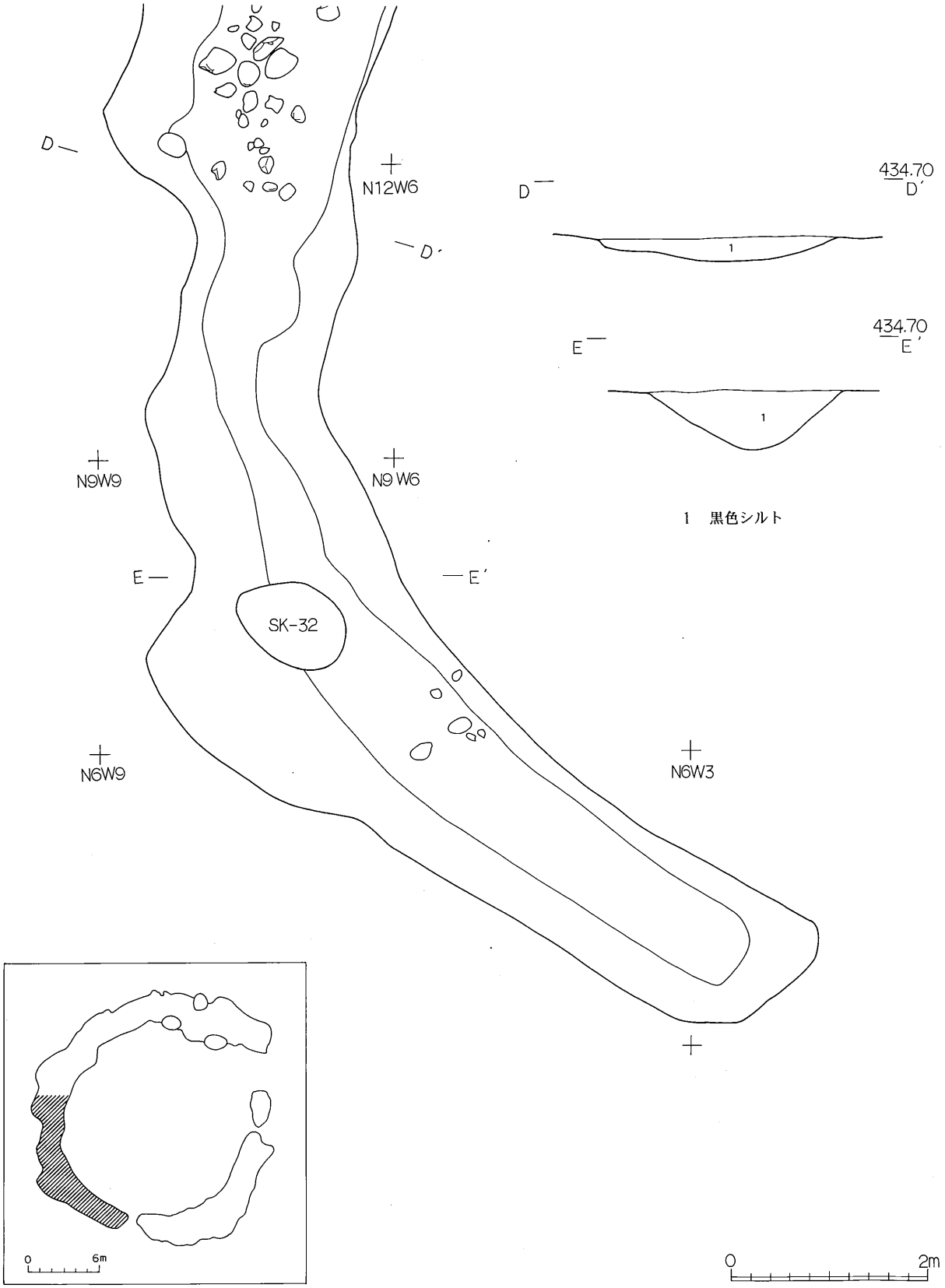
第9図　第1号周溝墓実測図（3）



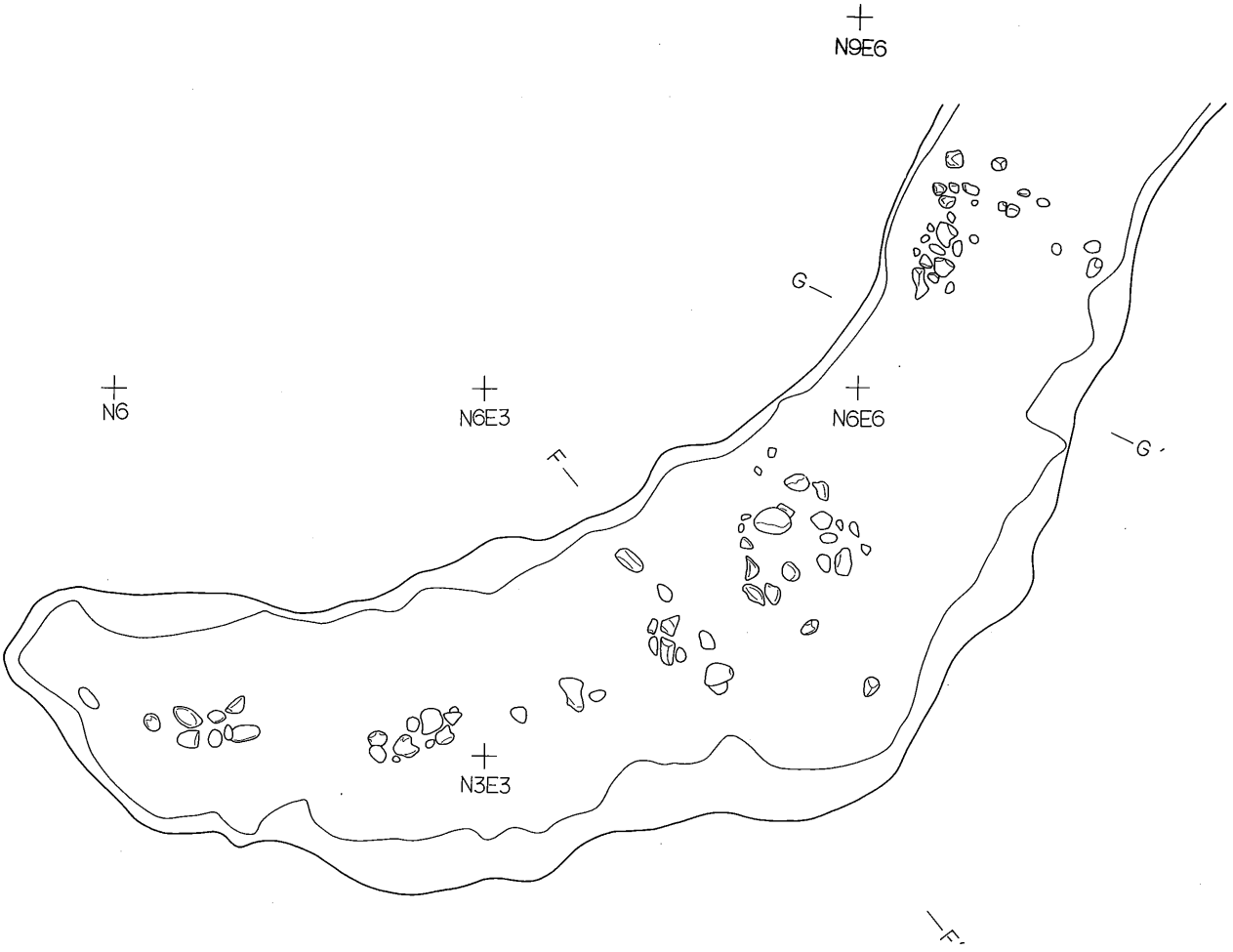
第10図　第2号周溝墓実測図（1）

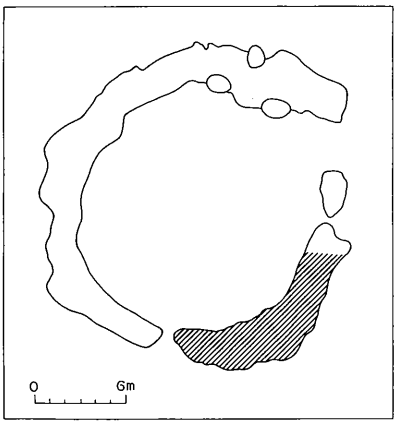


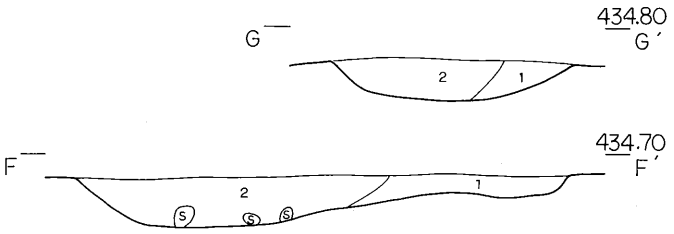
第10図　第2号周溝墓実測図（2）



第10図　第2号周溝墓実測図（3）



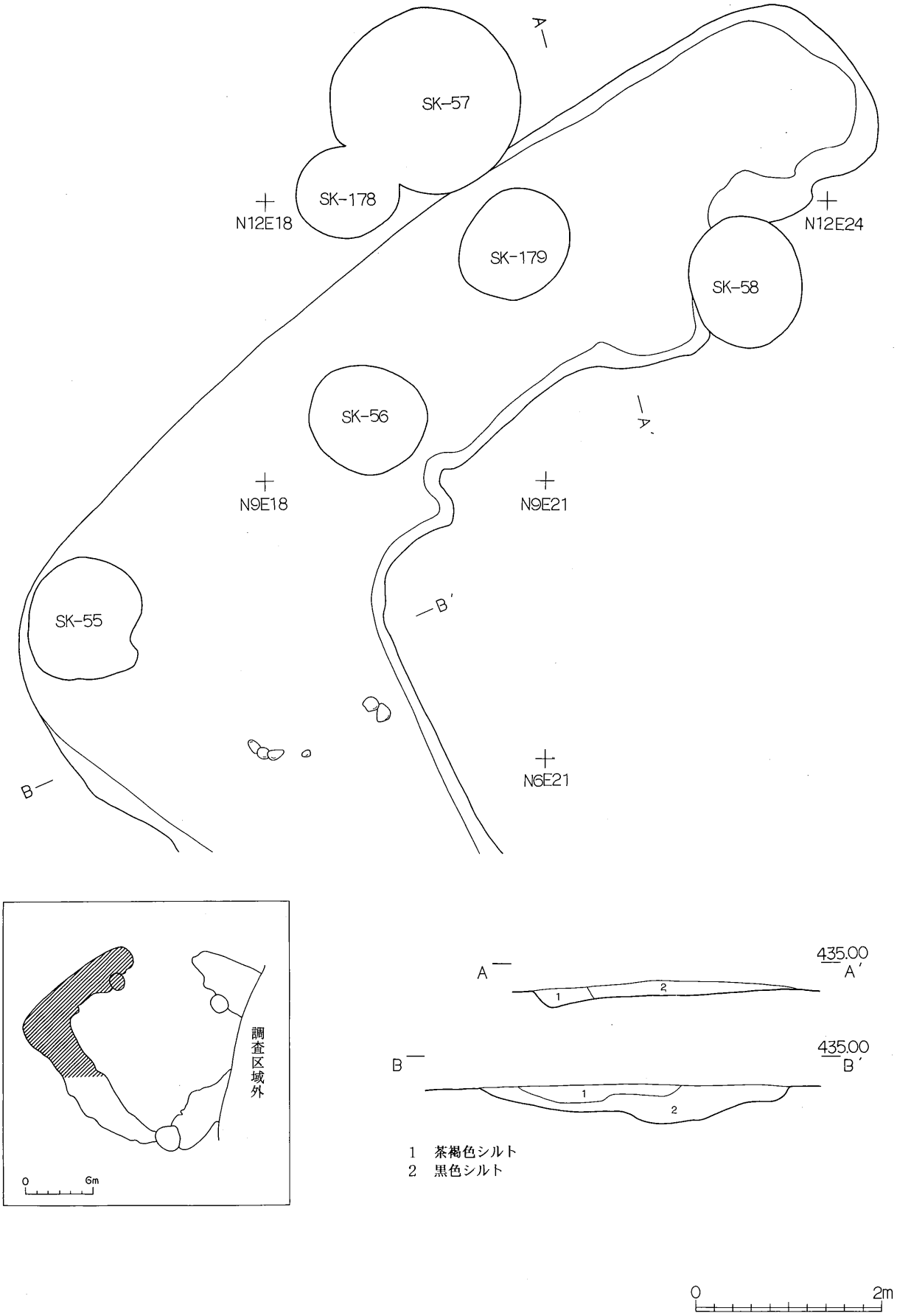




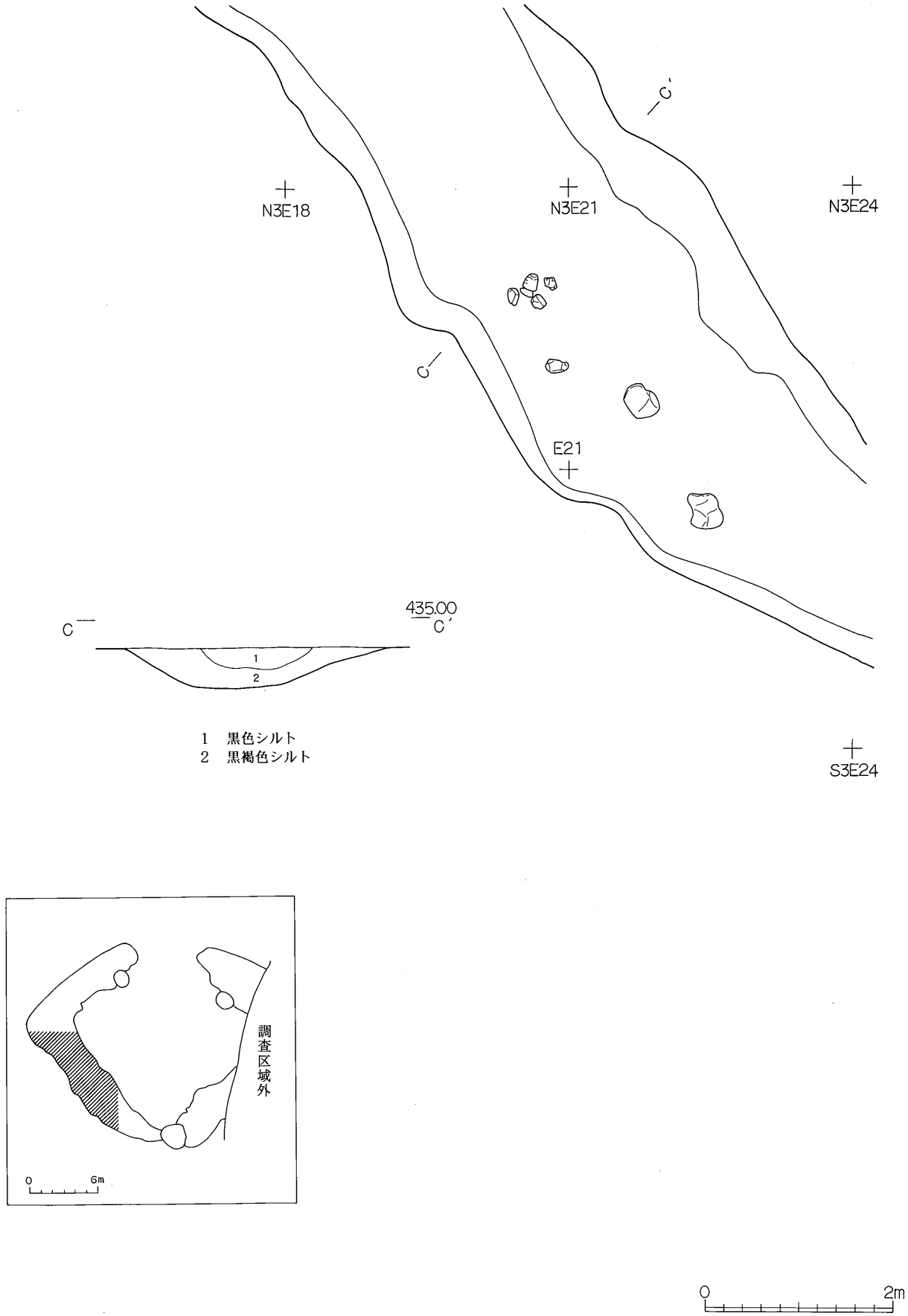
1　黒色シルト
2　黒褐色シルト

0　2m

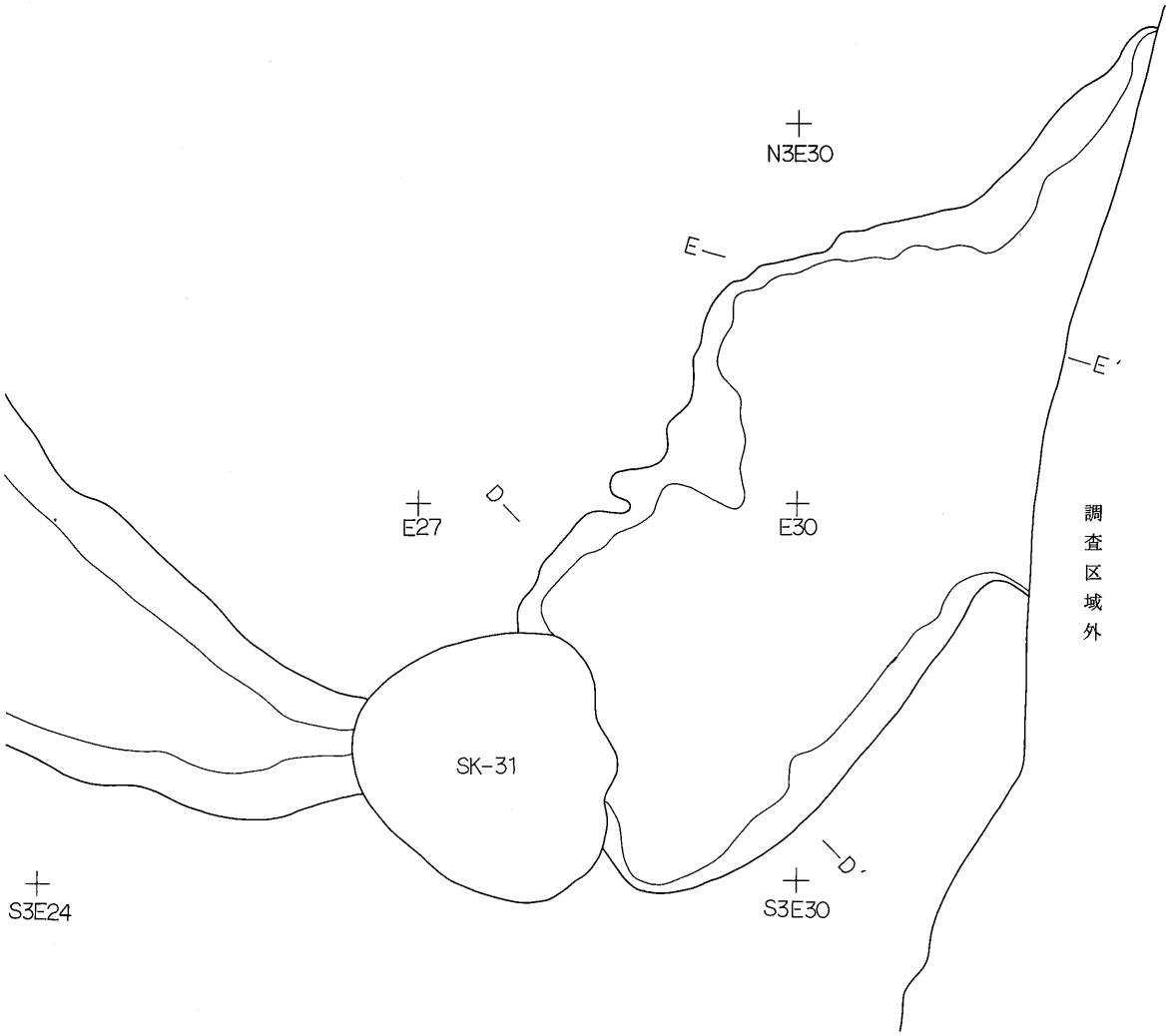
第10図　第2号周溝墓実測図（4）

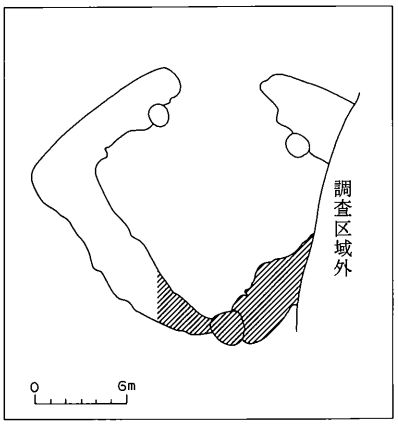


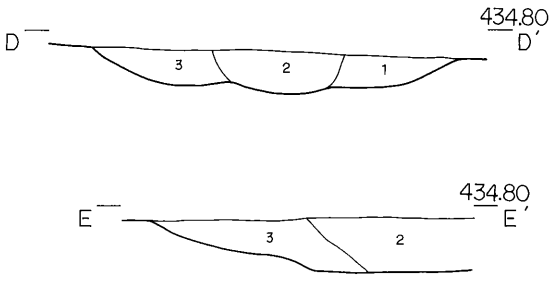
第11図　第3号周溝墓実測図（1）



第11図　第3号周溝墓実測図（2）



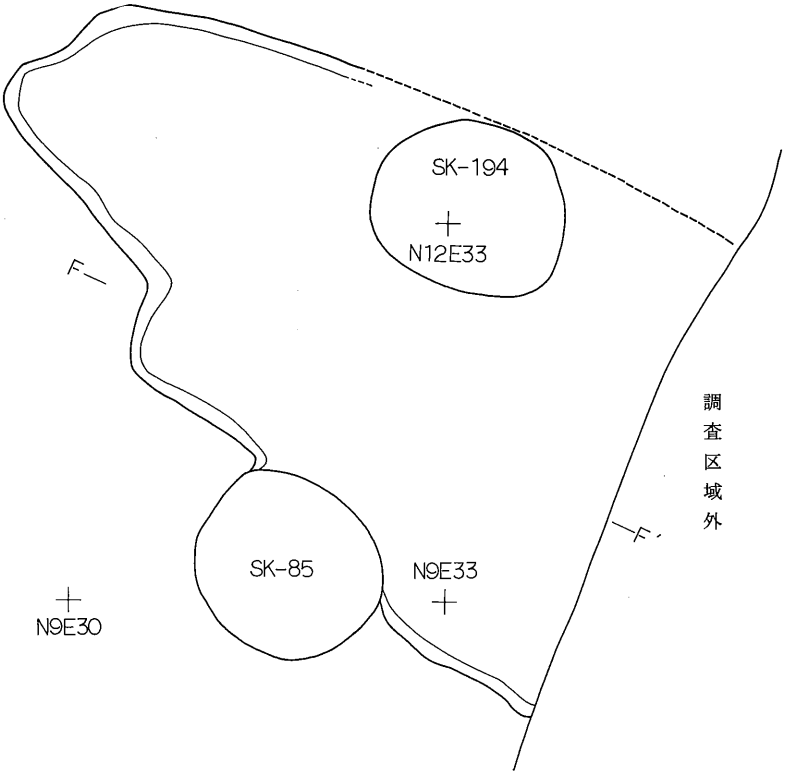


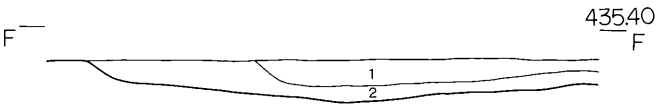


1　茶褐色シルト
2　黒色シルト
3　黒褐色シルト

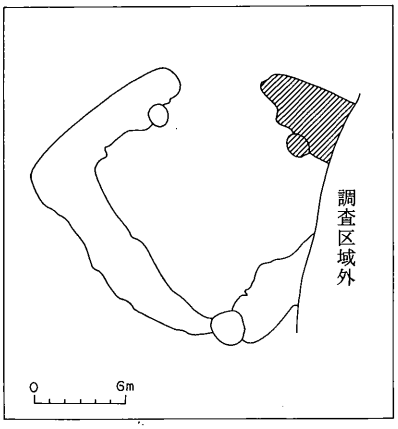
0　2m

第11図　第3号周溝墓実測図（3）

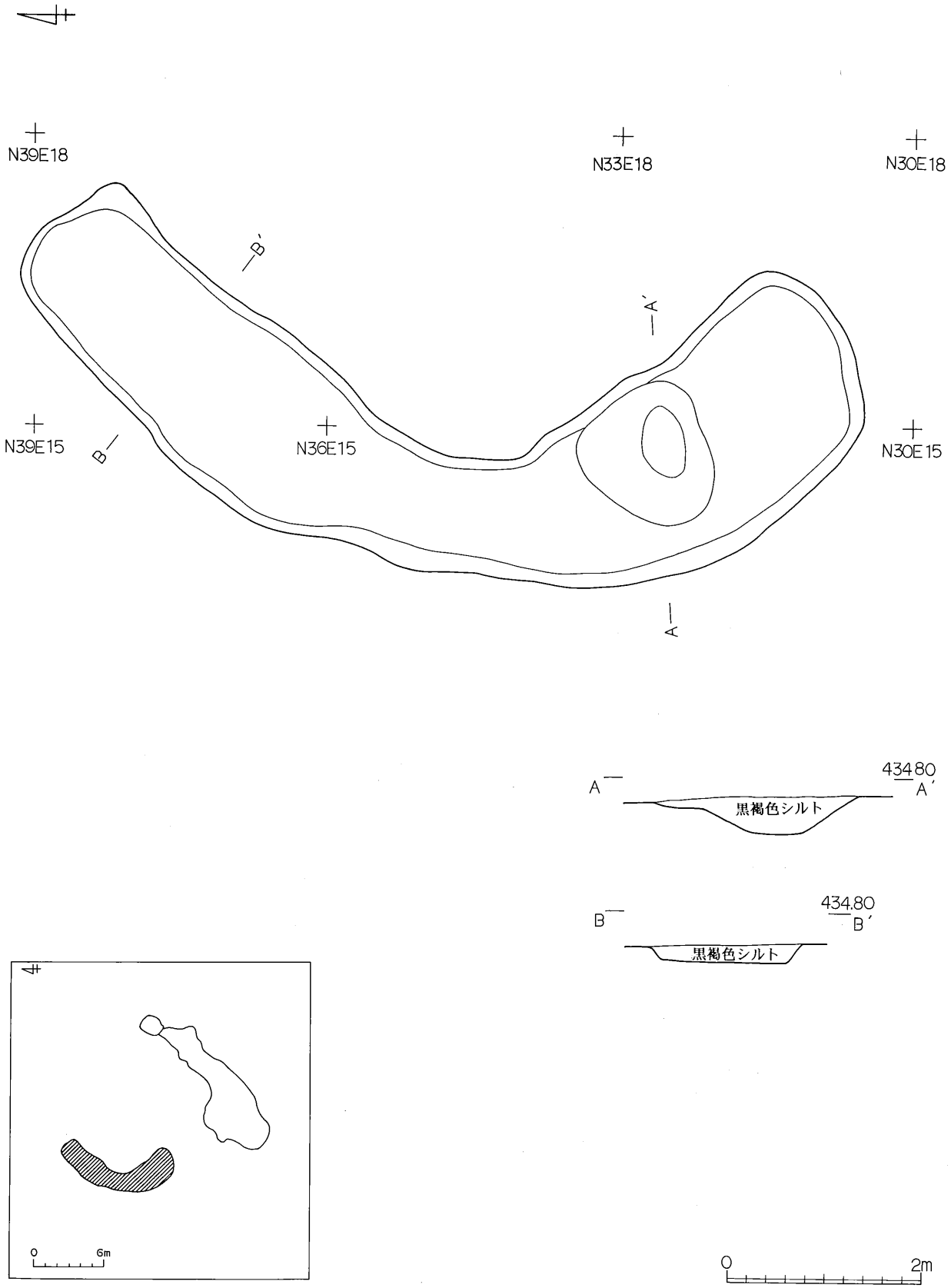




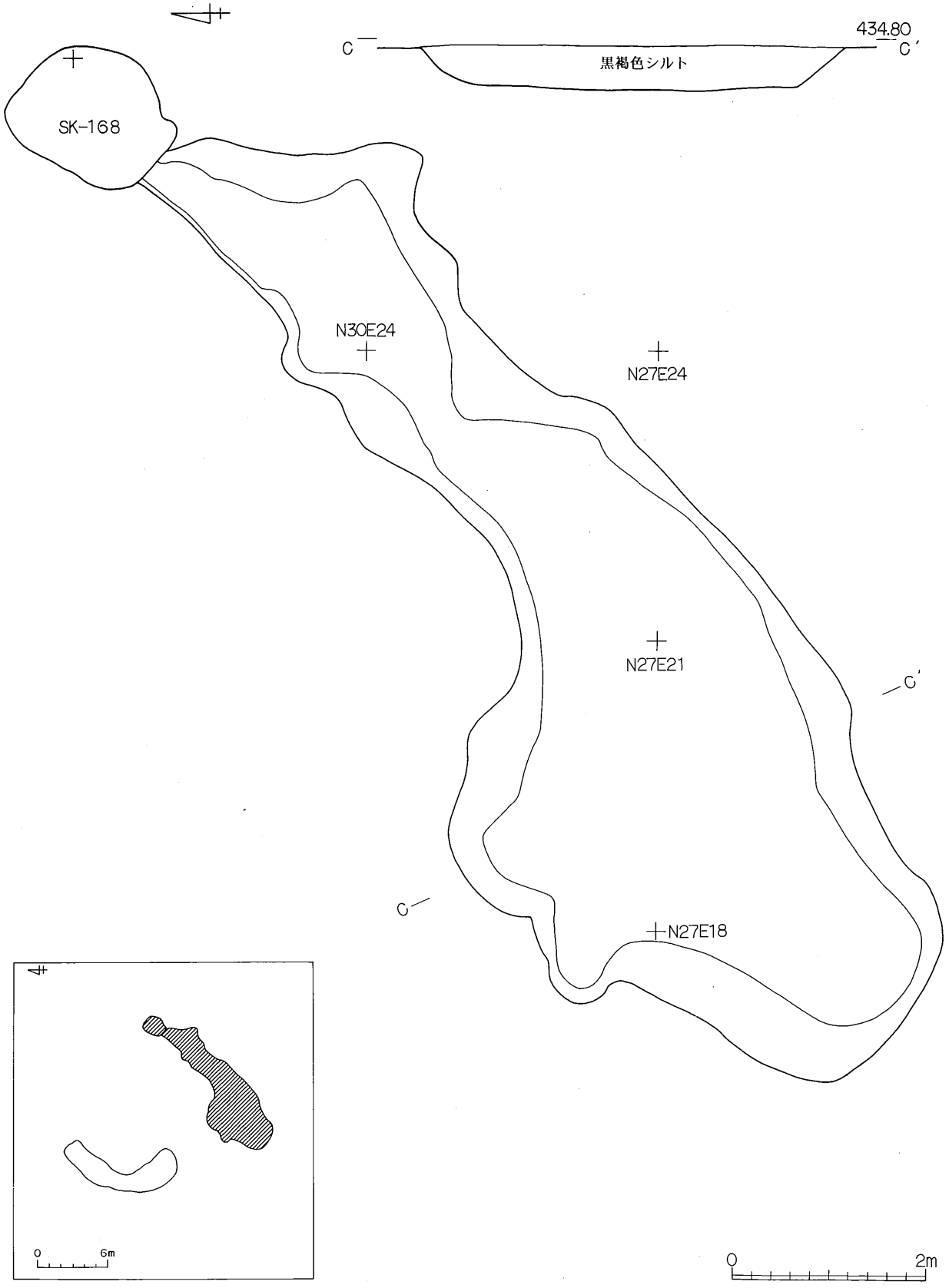
1　黒色シルト
2　黒褐色シルト



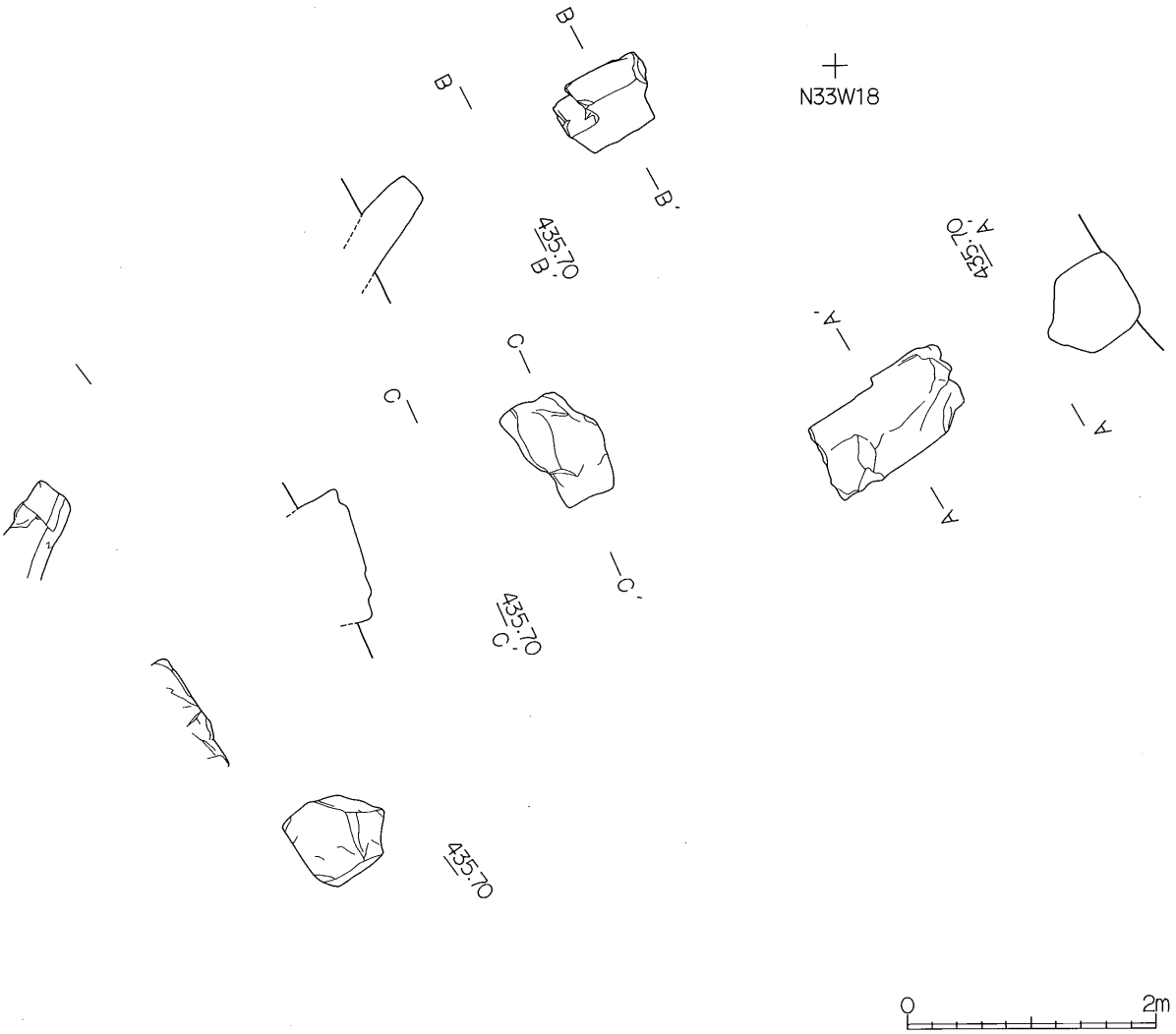
第11図　第3号周溝墓実測図（4）



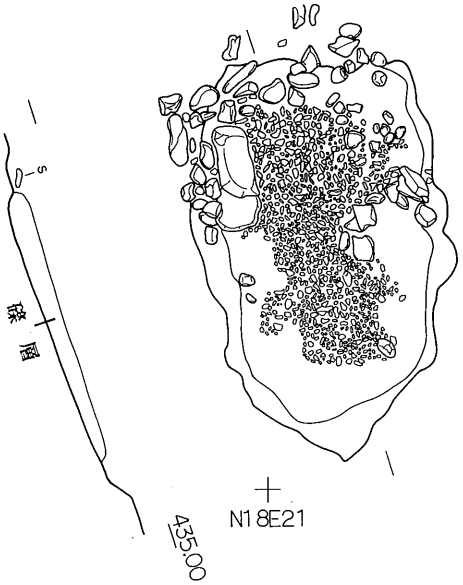
第12図　第1号周溝実測図（1）



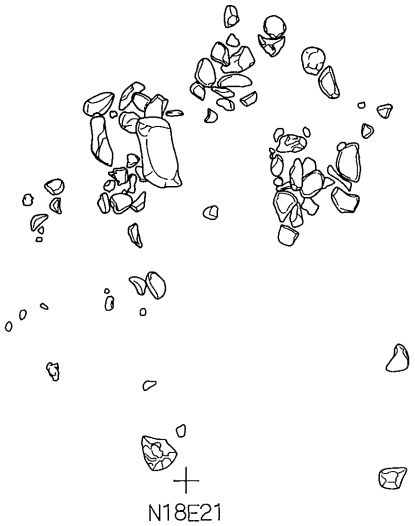
第12図　第1号周溝実測図（2）



第13図　第1号古墳実測図

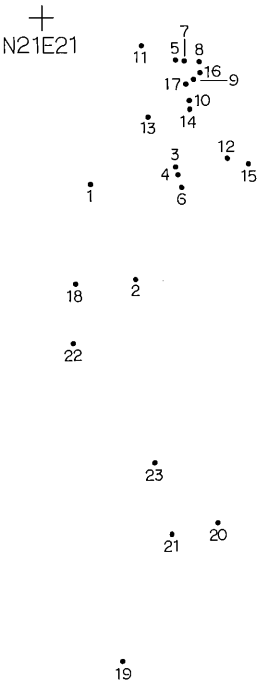


掘り上げ状況



礫層除去後

2m



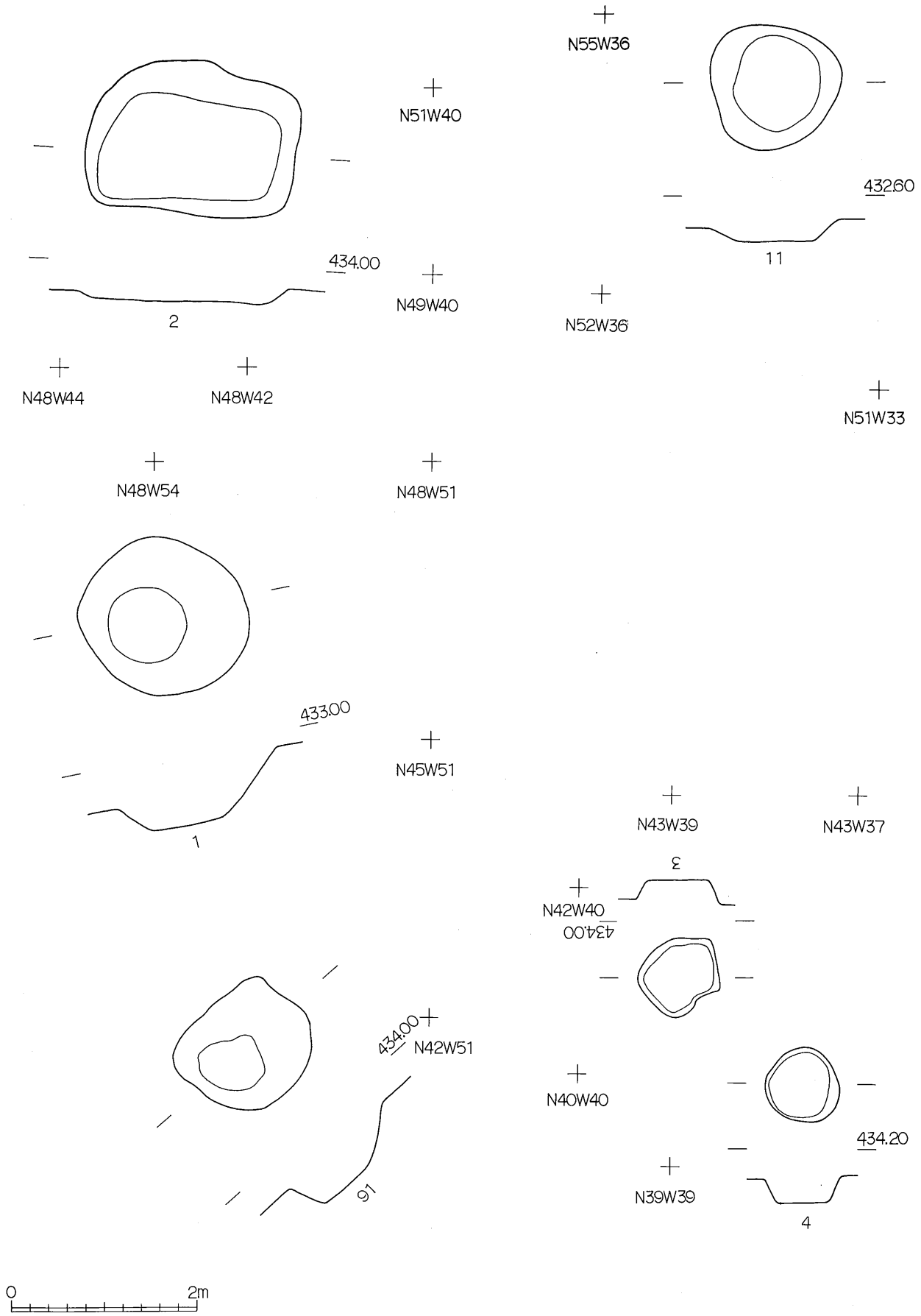
玉類・金属製品位置図

1	勾玉	13	臼玉
2	管玉	14	臼玉
3	管玉	15	臼玉
4	管玉	16	ナツメ玉
5	管玉	17	ナツメ玉
6	管玉	18	銅釧
7	切子玉	19	銅環
8	切子玉	20	鉄鏃
9	切子玉	21	鉄鏃
10	切子玉	22	鉄鏃
11	白玉	23	鉄鏃
12	白玉		

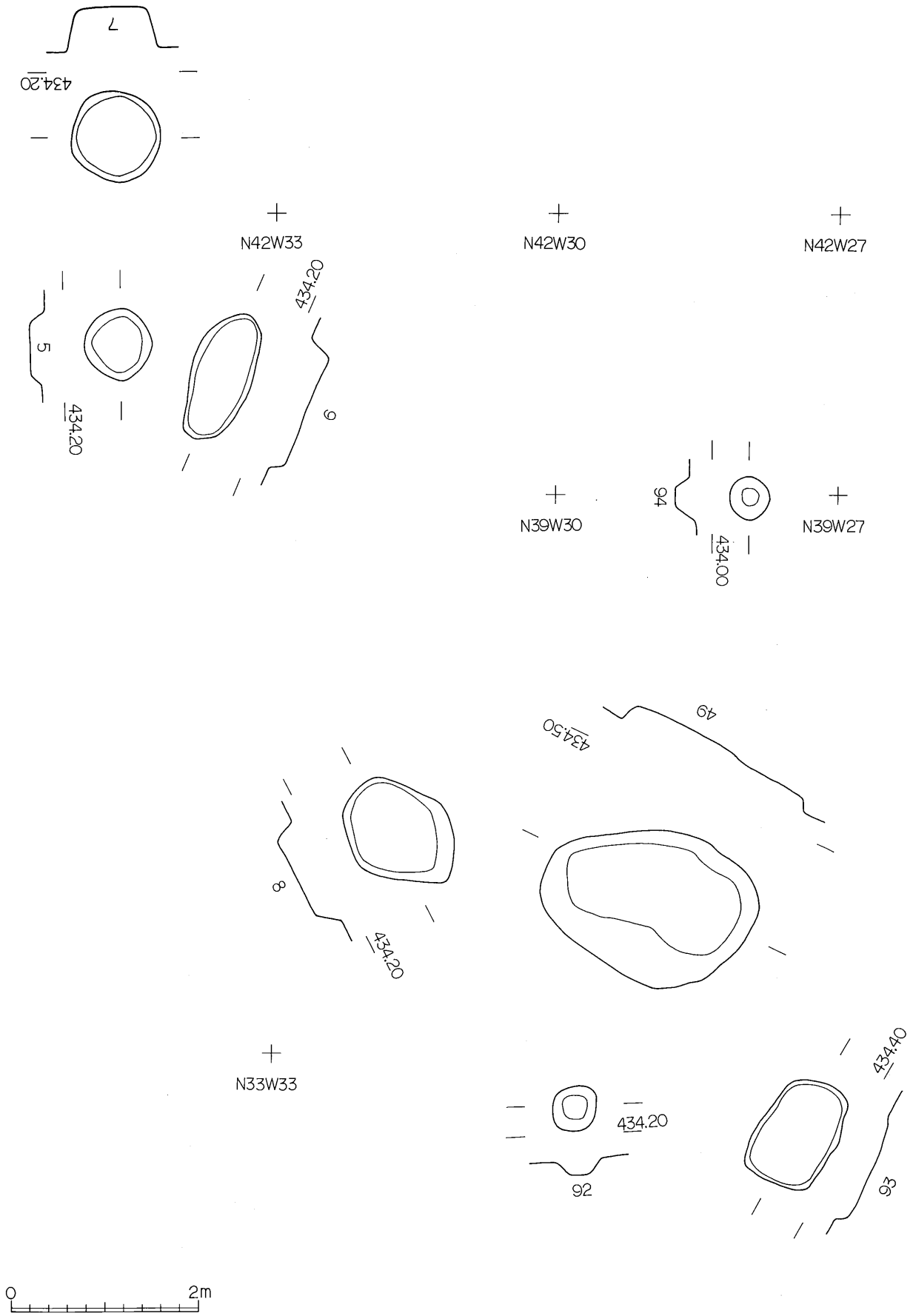
実測図第１６２図を参照

0 1m

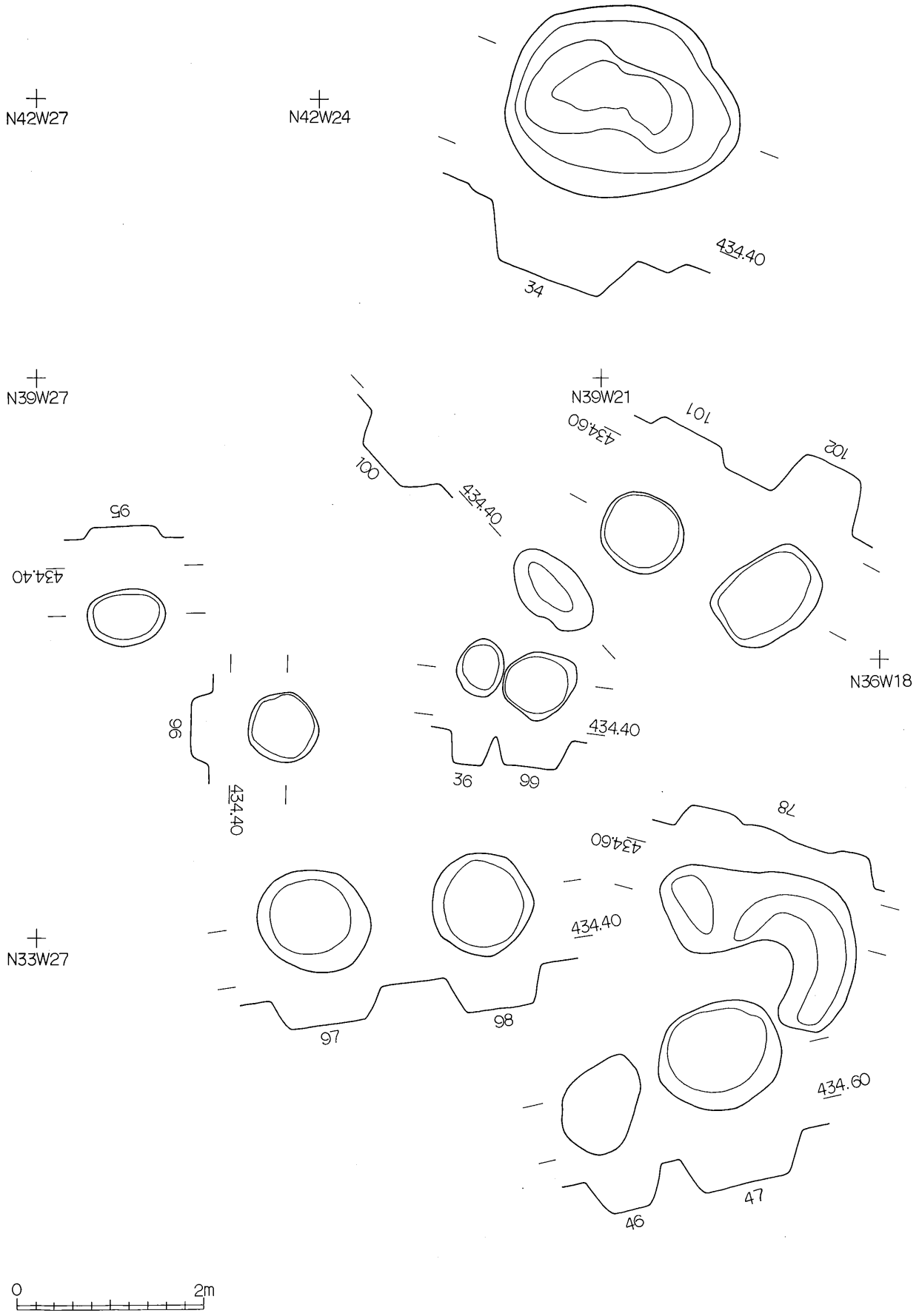
第14図　礫床墓実測図


N55W36
N51W40
432.60
11
434.00
N49W40
2
N52W36
N48W44
N48W42
N51W33
N48W54
N48W51
433.00
N45W51
1
N43W39
N43W37
3
N42W40
434.00
434.00
N42W51
N40W40
434.20
N39W39
4
16
0
2m

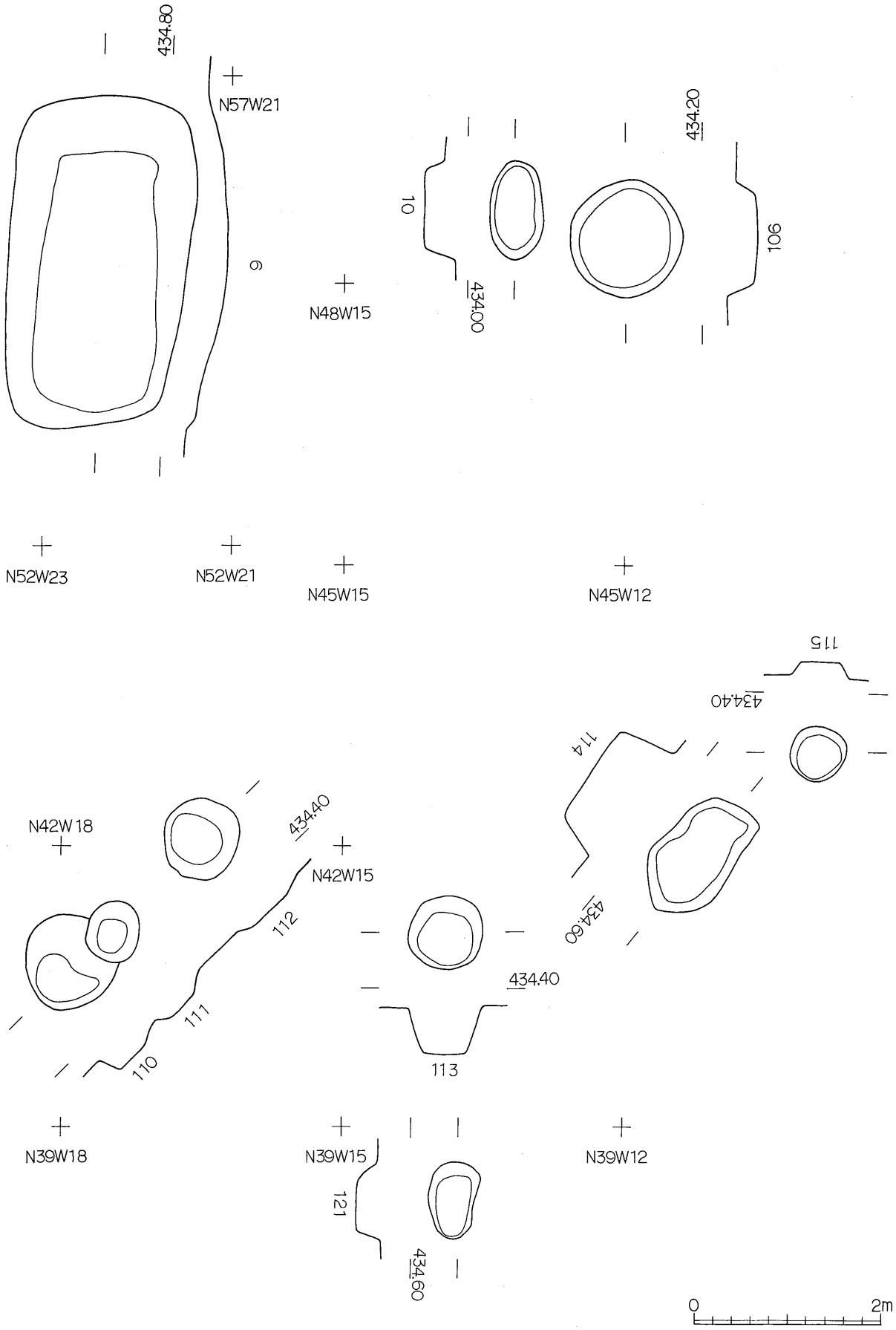
第15図　土壙実測図


N42W27
N42W30
N42W33
N39W27
N39W30
N33W33
434.20
434.00
434.40
434.50
7
9
5
94
49
8
92
93
0
2m

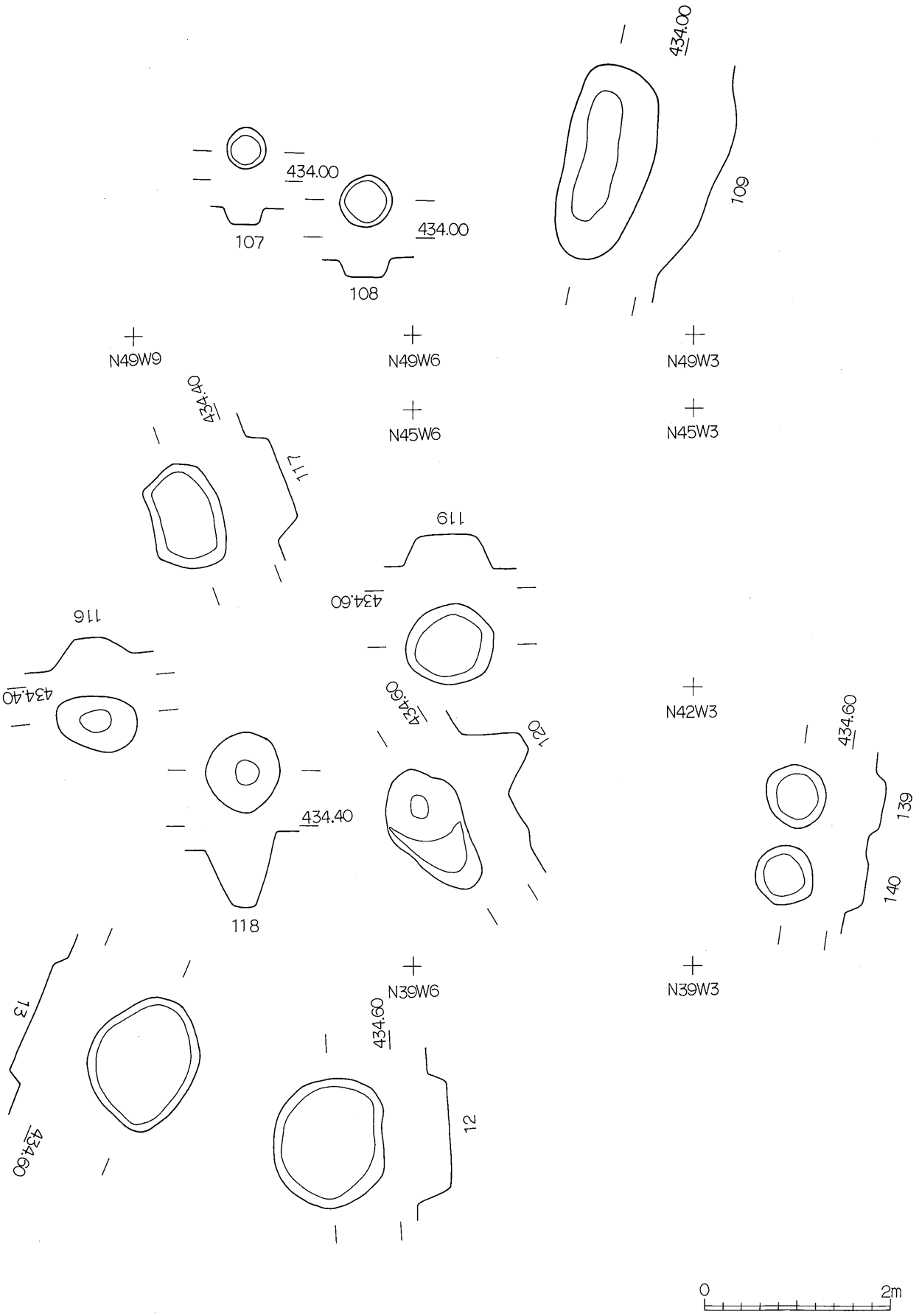
第16図　土壙実測図


46
47
434.60
46
98
97
434.40
78
434.60
96
434.40
36
99
434.40
N33W27
N36W18
95
434.40
100
434.40
101
434.60
102
N39W21
N39W27
34
434.40
N42W24
N42W27
0
2m

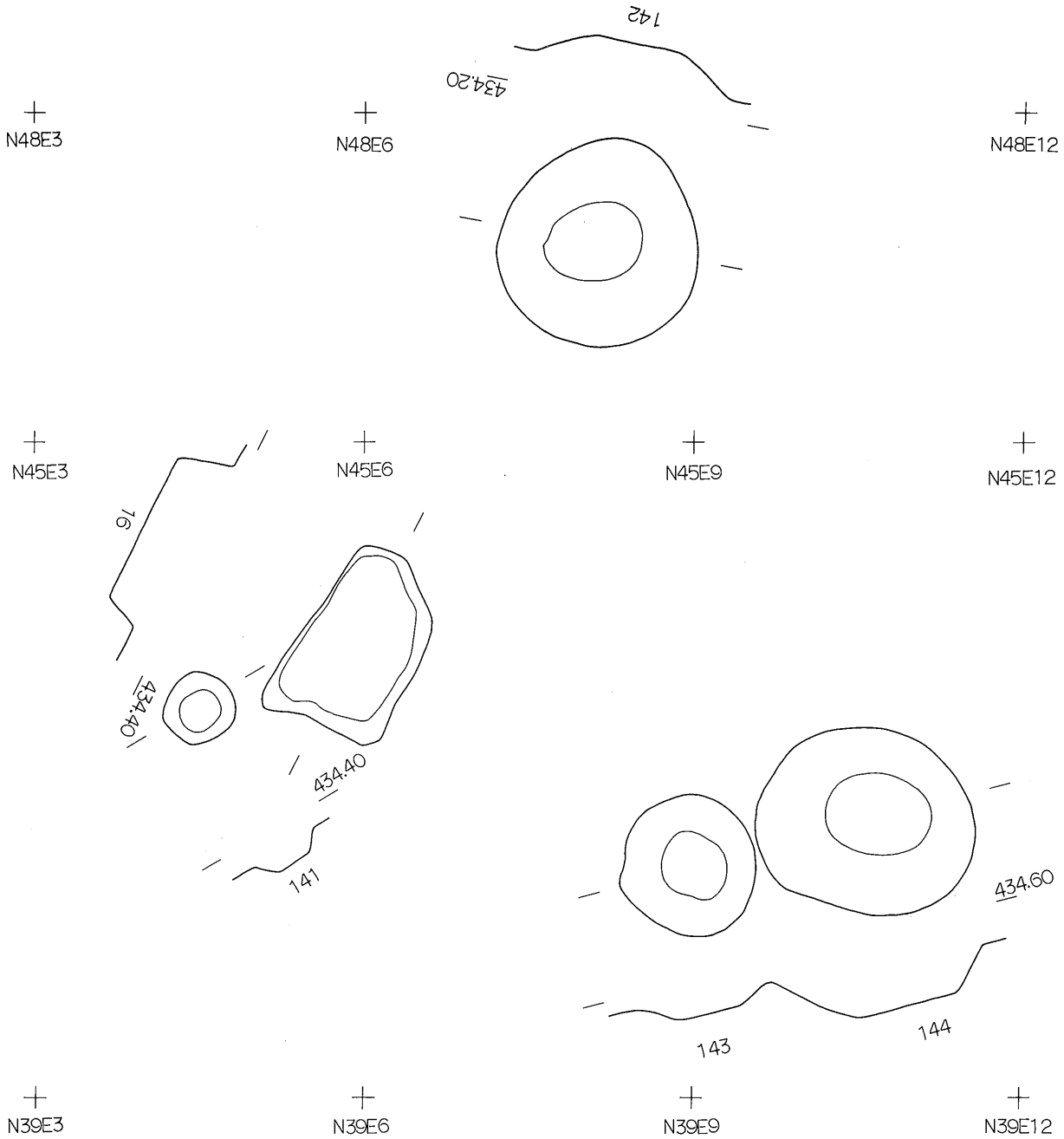
第17図　土壙実測図

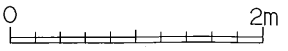

434.80
N57W21
9
N48W15
434.20
10
434.00
106
N52W23
N52W21
N45W15
N45W12
115
434.40
114
N42W18
434.40
N42W15
112
434.60
434.40
111
110
113
N39W18
N39W15
N39W12
121
434.60
0
2m

第18図　土壙実測図

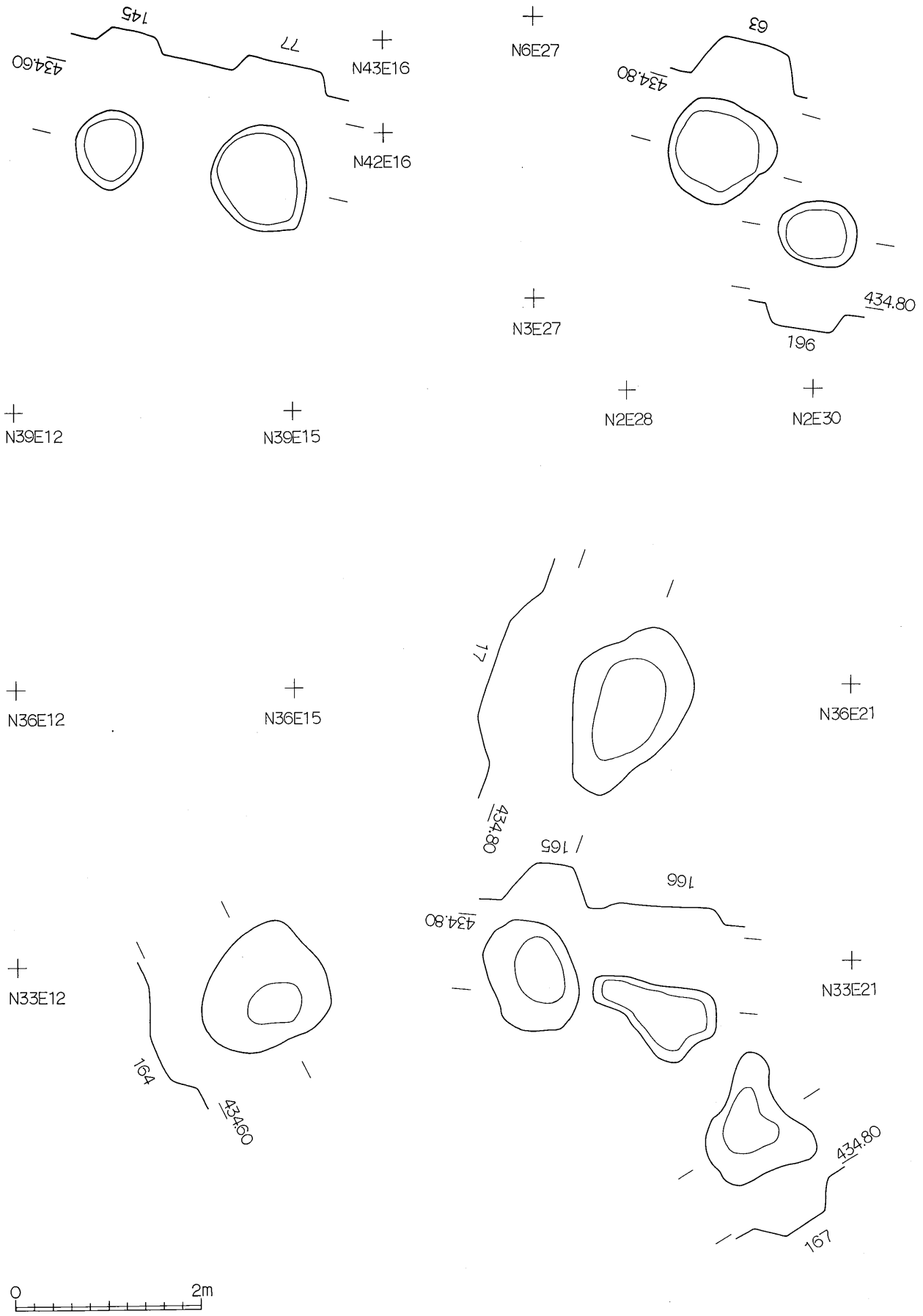

434.00
109
434.00
107
434.00
108
N49W9
N49W6
N49W3
N45W6
N45W3
434.40
117
119
434.60
116
434.40
434.60
120
N42W3
434.60
139
140
434.40
118
N39W6
N39W3
13
434.60
434.60
12
0
2m

第19図　土壙実測図

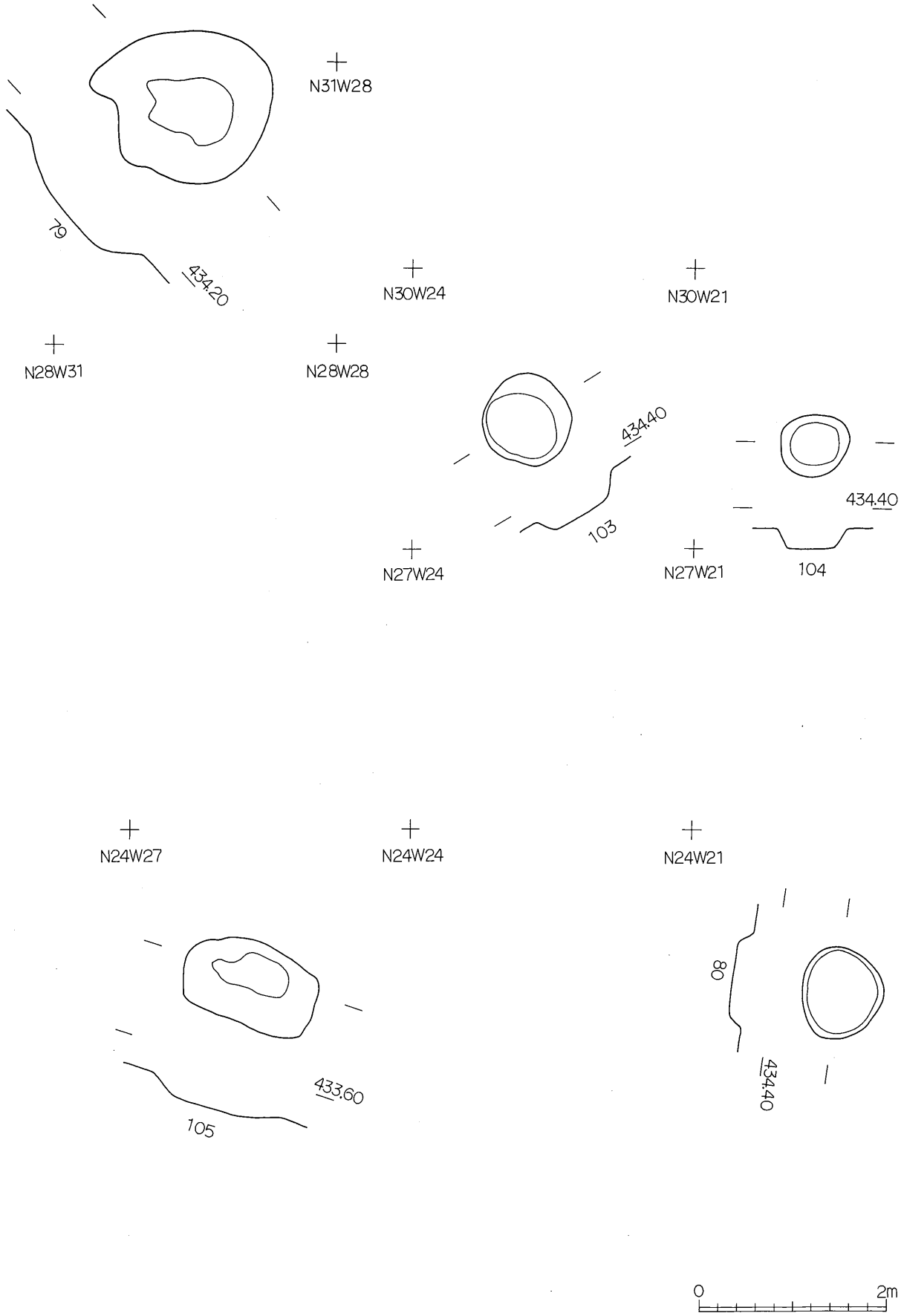

N48E3
N48E6
N48E12
434.20
142
N45E3
N45E6
N45E9
N45E12
16
434.40
434.40
141
434.60
143
144
N39E3
N39E6
N39E9
N39E12


0
2m

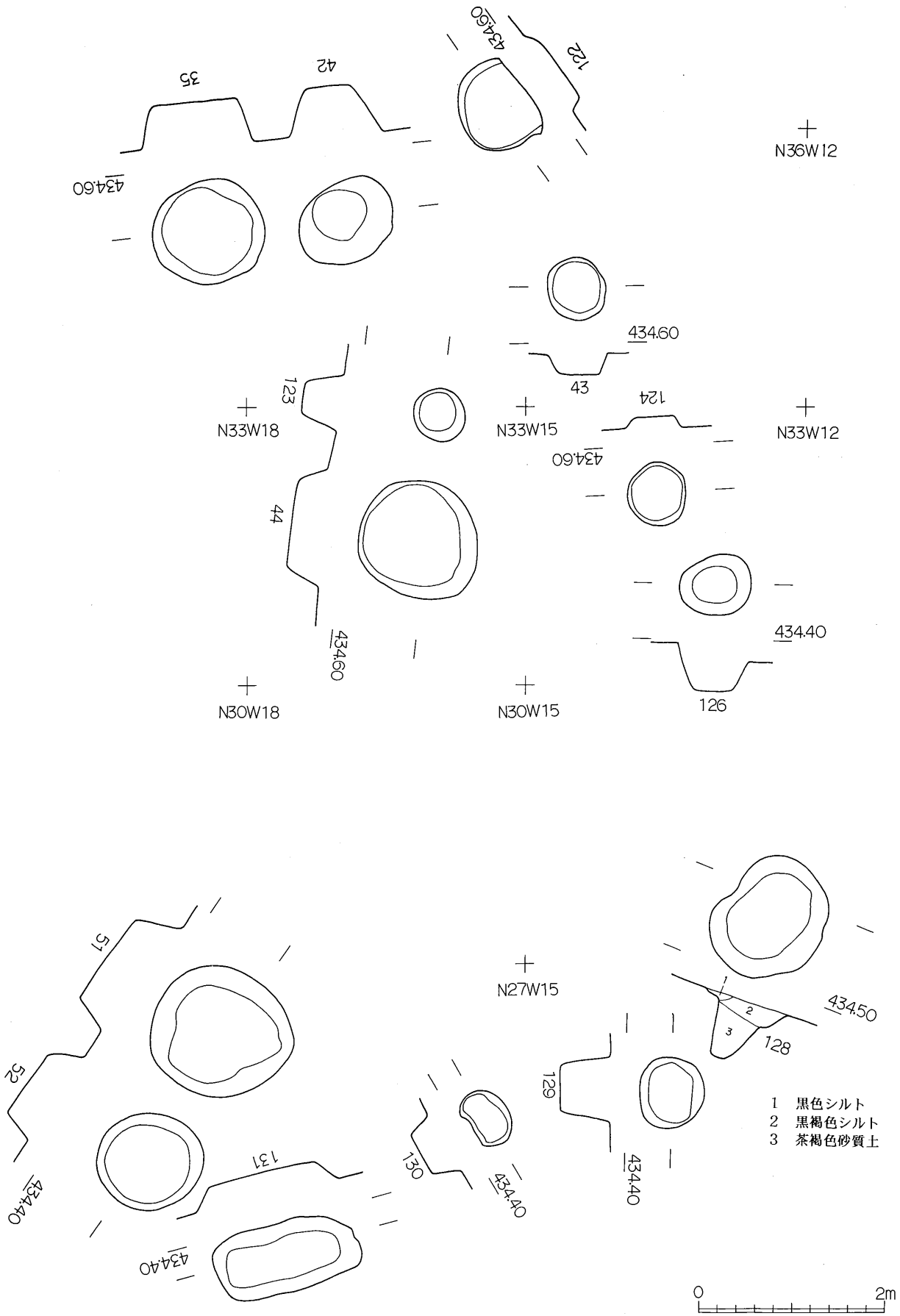
第20図　土壙実測図


N33E12
N33E21
N36E12
N36E15
N36E21
N39E12
N39E15
N2E28
N2E30
N3E27
N6E27
N42E16
N43E16
434.60
434.80
434.80
434.80
434.80
434.60
145
77
63
196
166
165
167
164
17
0
2m

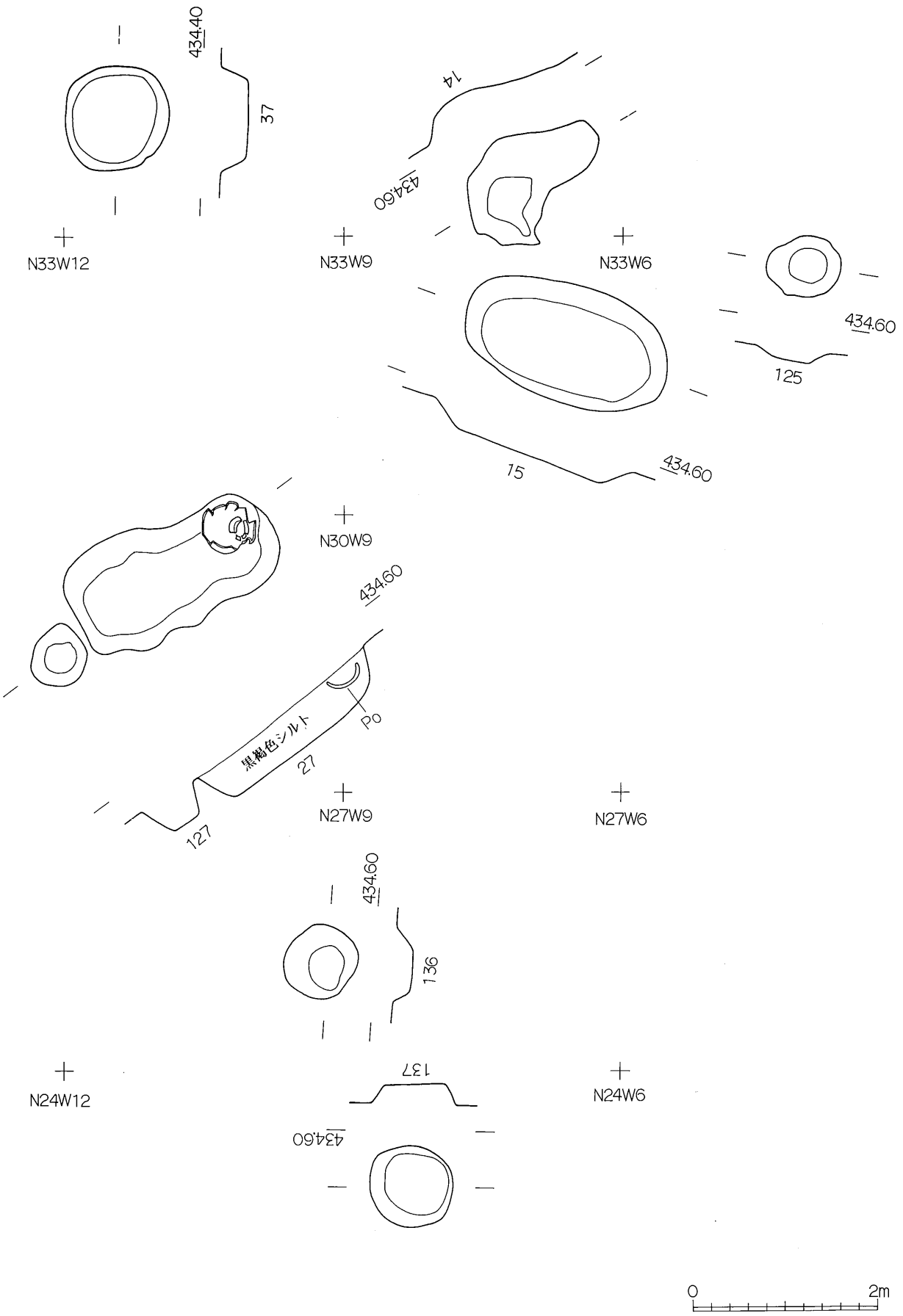
第21図　土壙実測図


N31W28
79
434.20
N30W24
N30W21
N28W31
N28W28
434.40
103
434.40
N27W24
N27W21
104
N24W27
N24W24
N24W21
80
433.60
105
434.40
0
2m

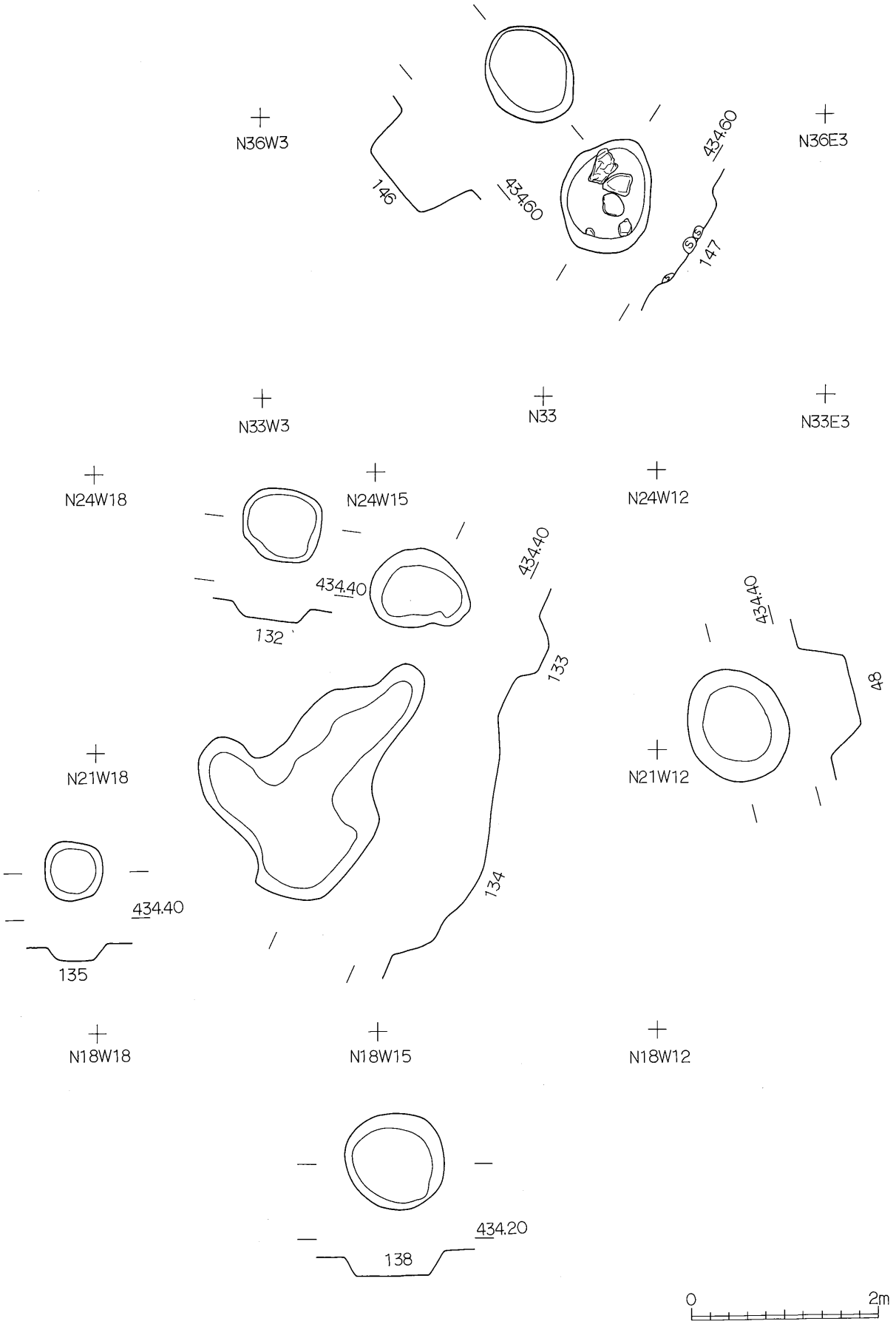
第22図　土壙実測図


N36W12
N33W18
N33W15
N33W12
N30W18
N30W15
N27W15
122
123
124
126
128
129
130
131
35
42
43
44
51
52
434.60
434.40
434.50
1 黒色シルト
2 黒褐色シルト
3 茶褐色砂質土
0
2m

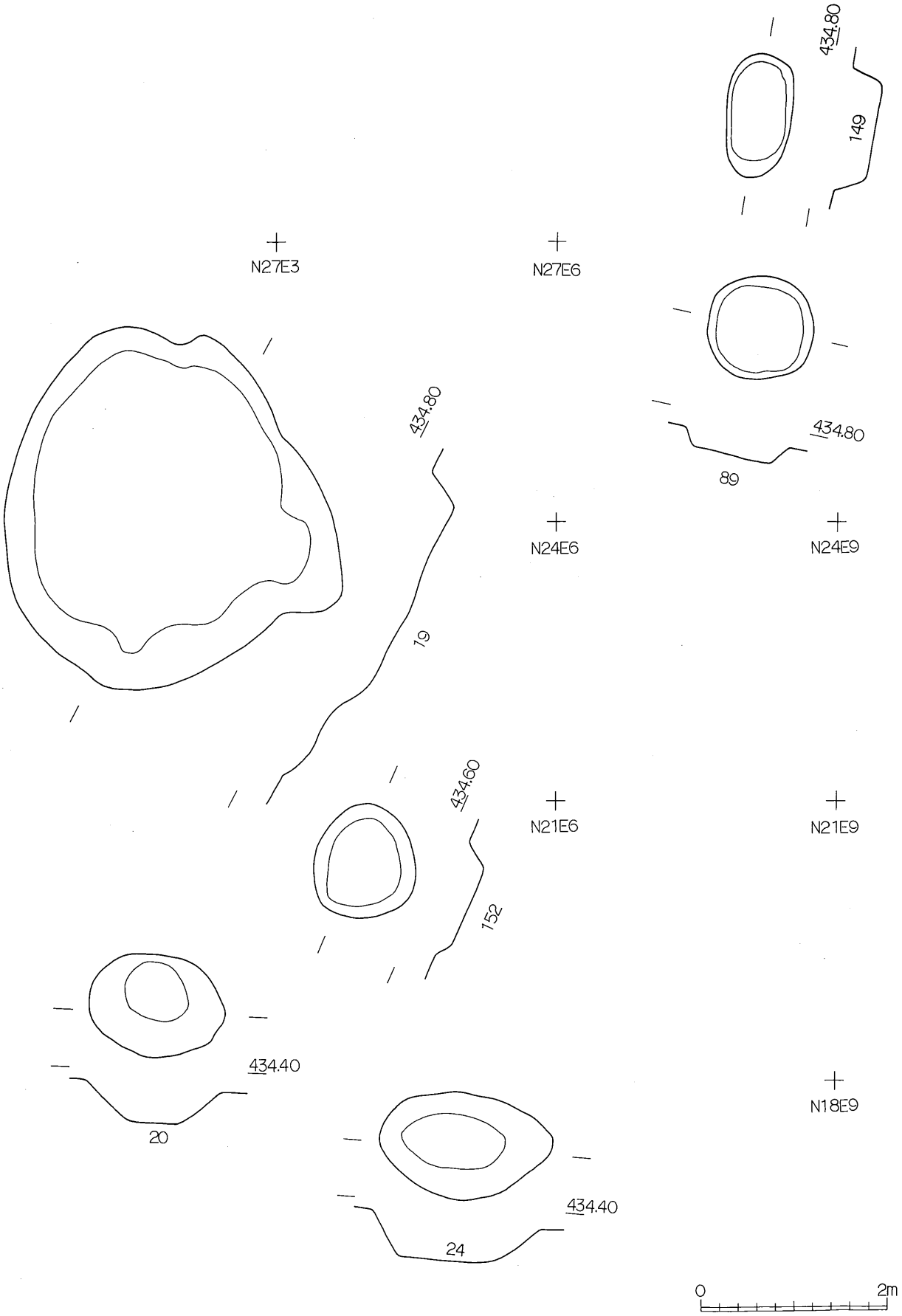
第23図　土壙実測図


N24W6
N24W12
137
434.60
136
434.60
N27W6
N27W9
127
27
黒褐色シルト
Po
434.60
N30W9
15
434.60
125
434.60
N33W6
N33W9
14
434.60
N33W12
37
434.40
0
2m

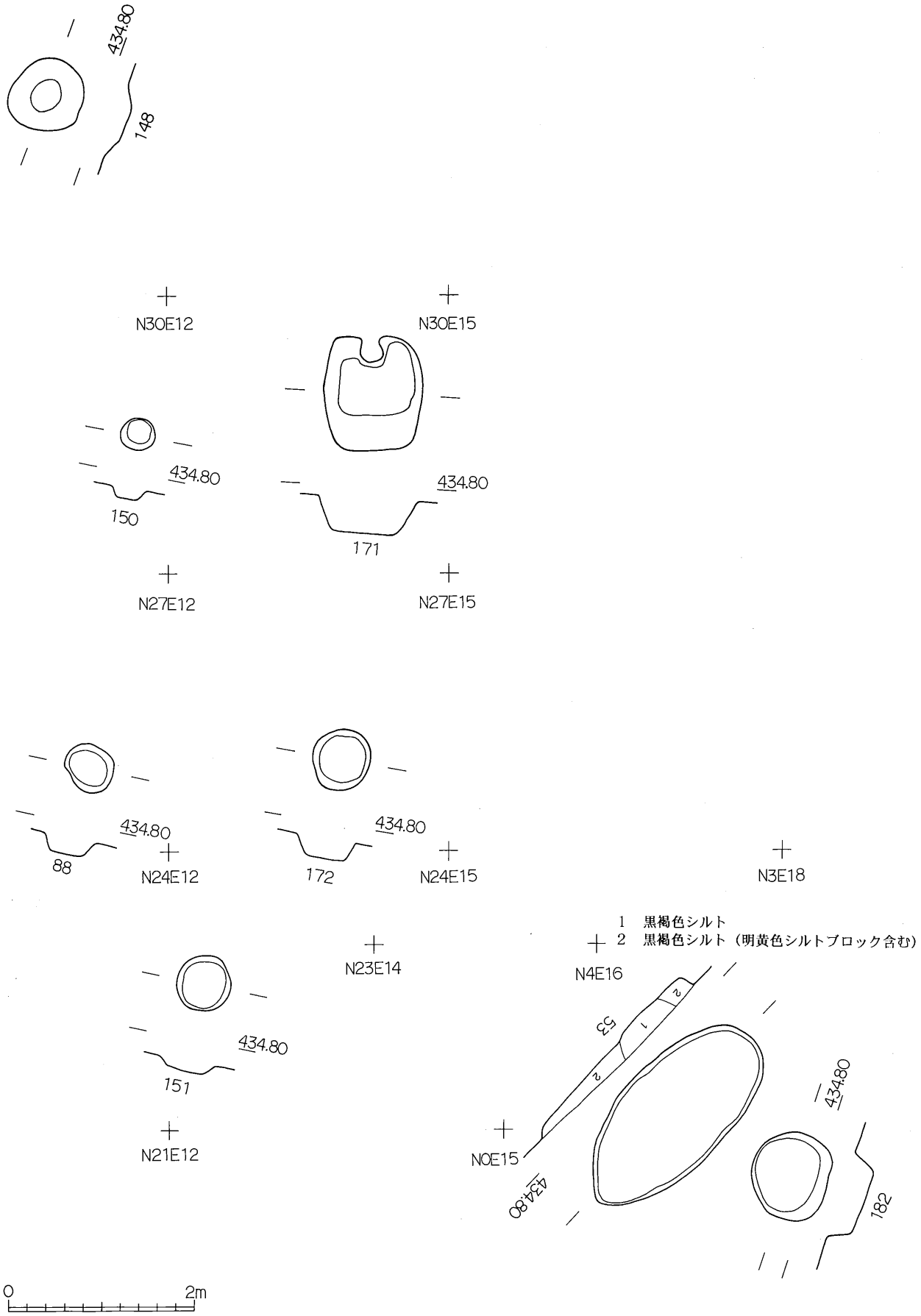
第24図　土壙実測図


N36W3
N36E3
146
434.60
434.60
147
N33W3
N33
N33E3
N24W18
N24W15
N24W12
434.40
434.40
132
434.40
133
48
N21W18
N21W12
434.40
134
135
N18W18
N18W15
N18W12
434.20
138
0
2m

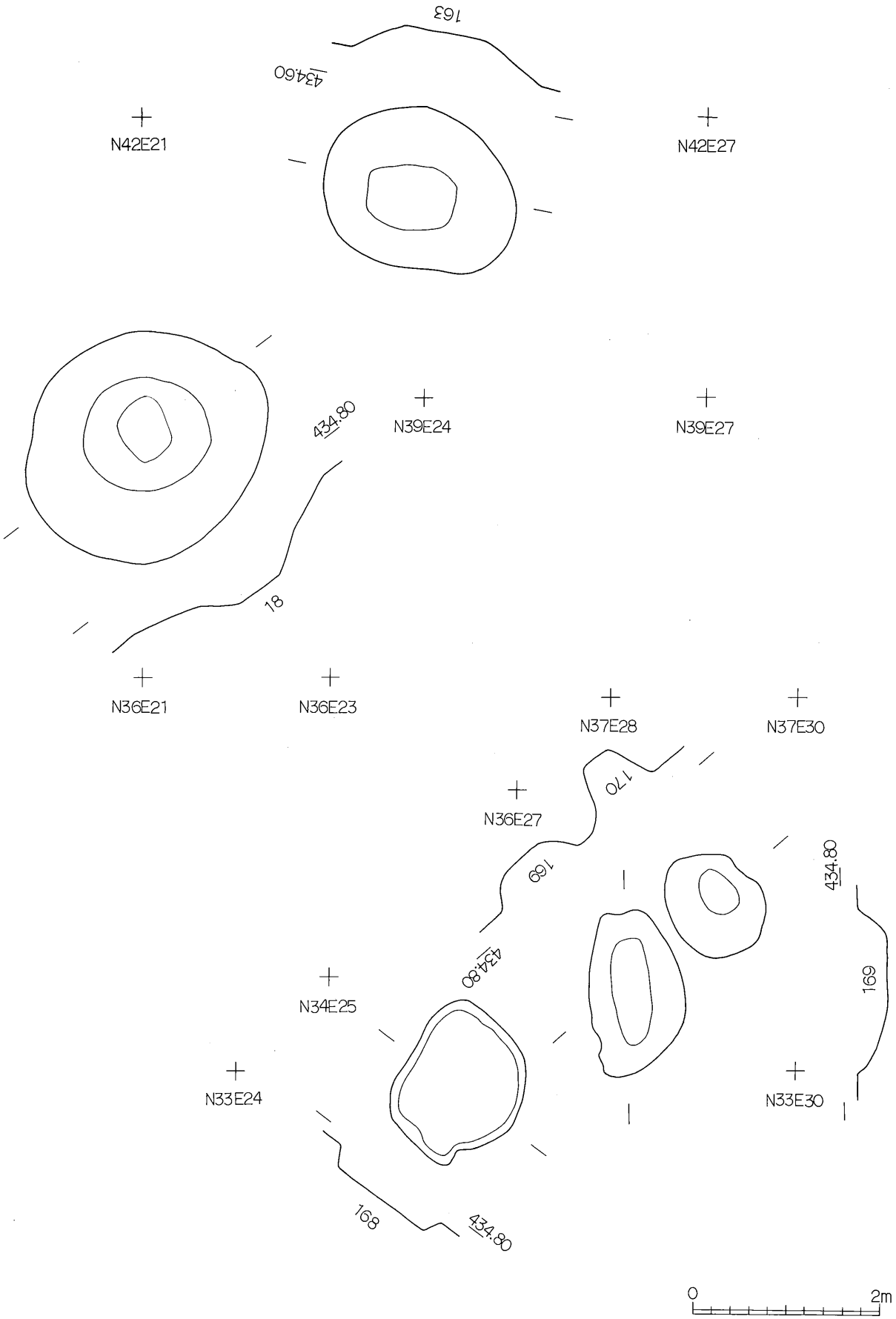
第25図　土壙実測図


434.80
149
N27E3
N27E6
434.80
89
434.80
79
N24E6
N24E9
434.60
152
N21E6
N21E9
434.40
20
N18E9
434.40
24
0
2m

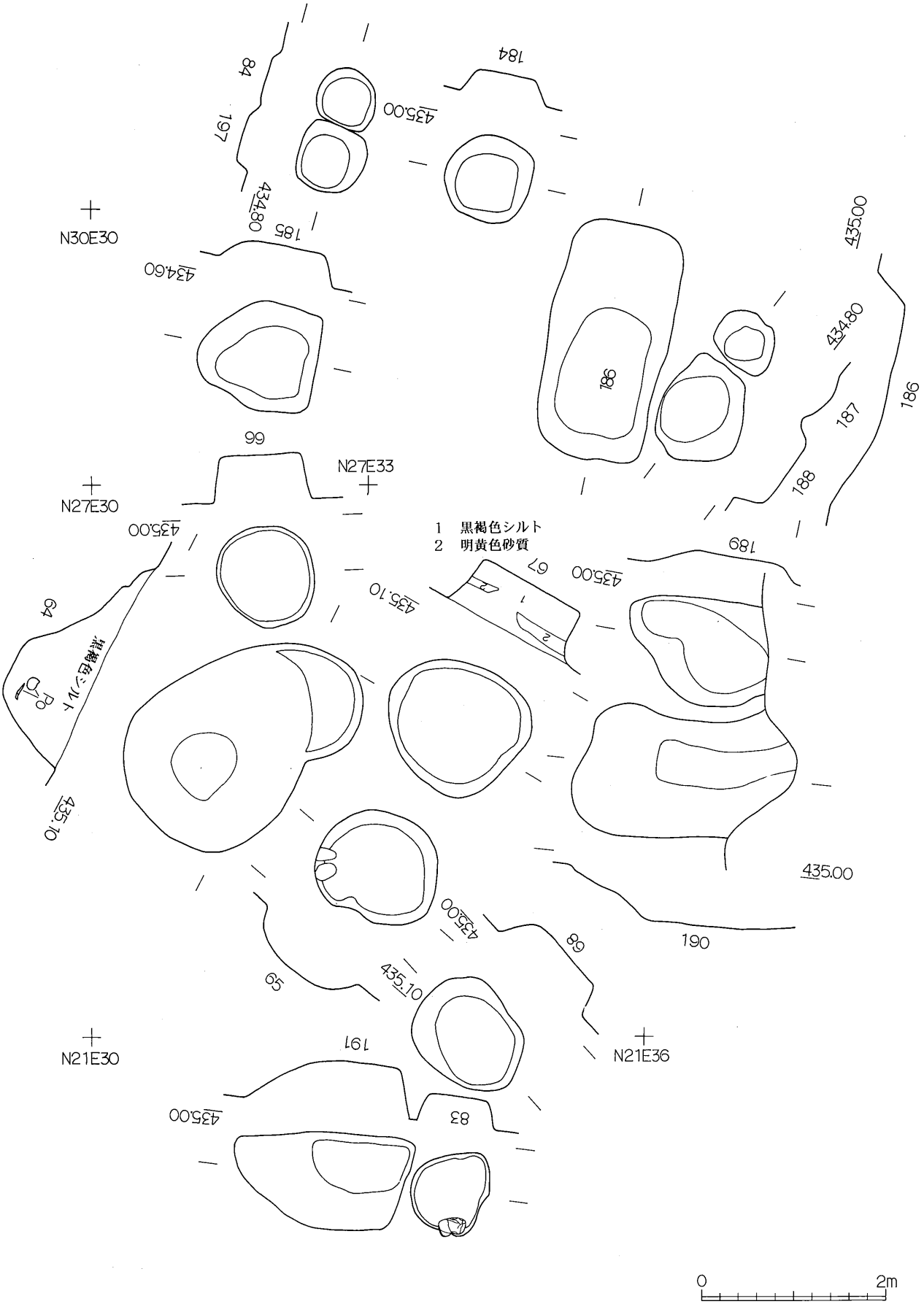
第26図　土壙実測図


434.80
148
N30E12
N30E15
434.80
150
434.80
171
N27E12
N27E15
434.80
88
N24E12
434.80
172
N24E15
N3E18
N23E14
1 黒褐色シルト
2 黒褐色シルト（明黄色シルトブロック含む）
N4E16
53
434.80
151
N21E12
N0E15
434.80
182
0
2m

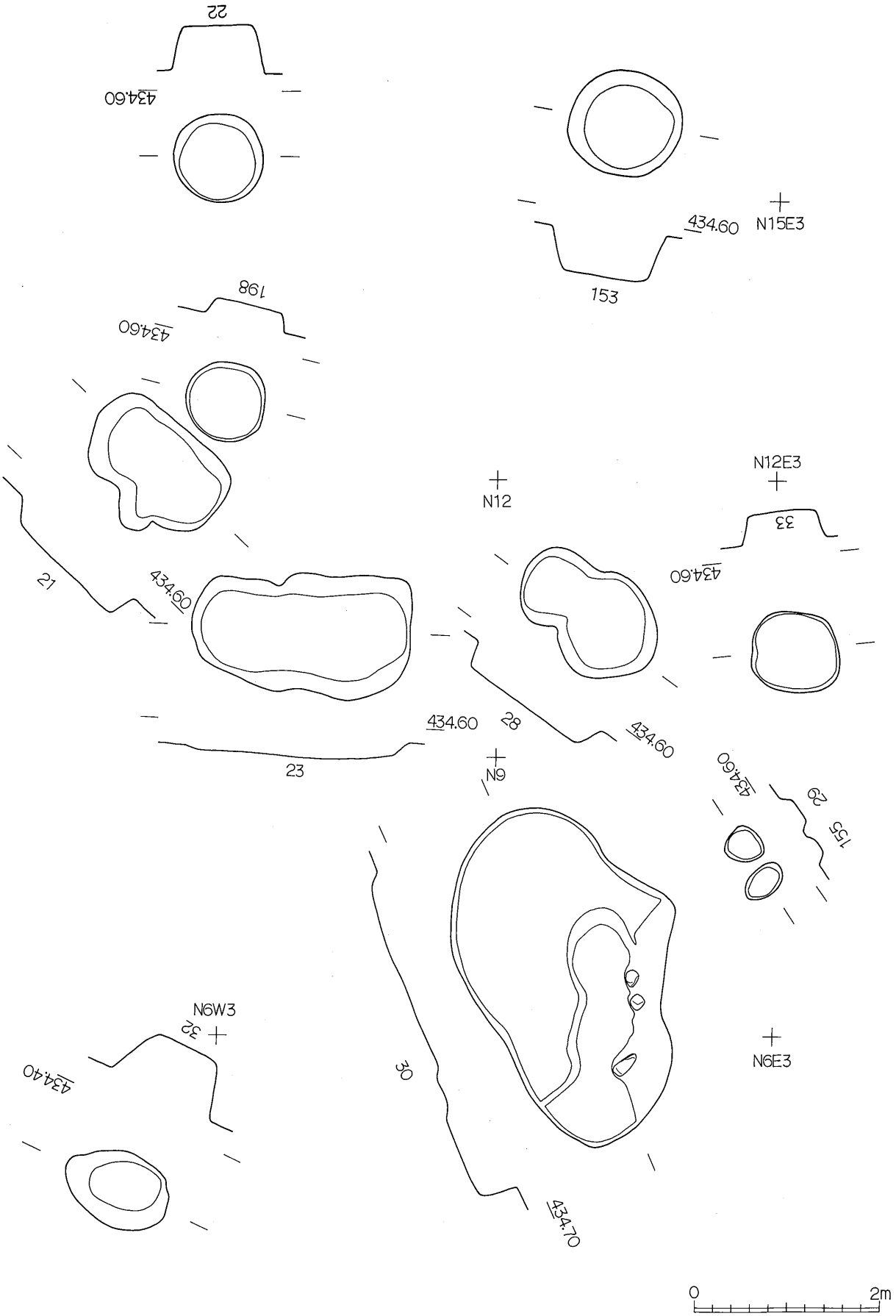
第27図　土壙実測図


N42E21
N42E27
163
434.60
N39E24
N39E27
434.80
18
N36E21
N36E23
N37E28
N37E30
170
N36E27
169
434.80
434.80
169
N34E25
N33E24
N33E30
168
434.80
0
2m

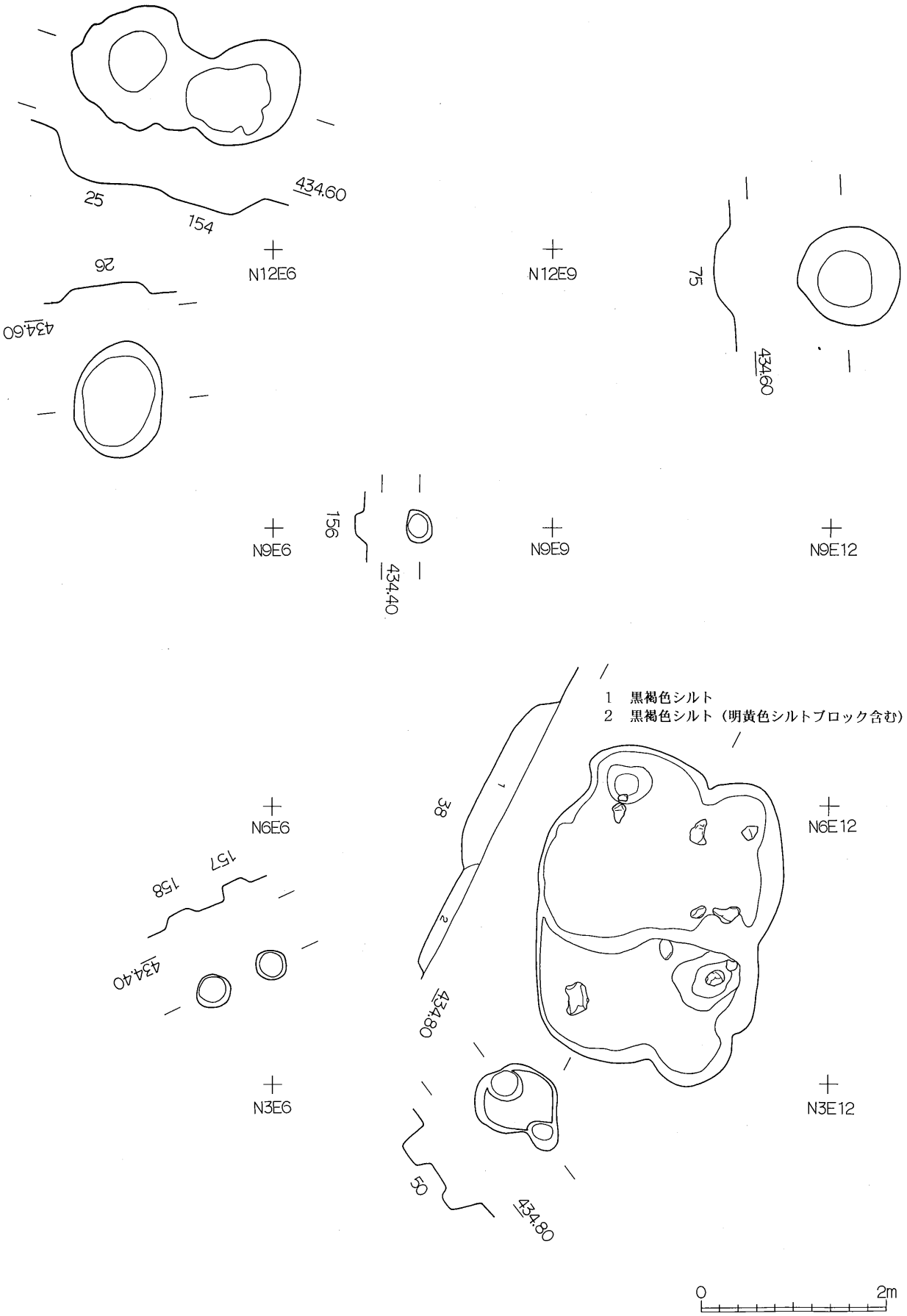
第28図　土壙実測図


N21E36
N21E30
N27E30
N27E33
N30E30
1 黒褐色シルト
2 明黄色砂質
黒褐色シルト
435.00
435.10
434.80
434.60
0
2m

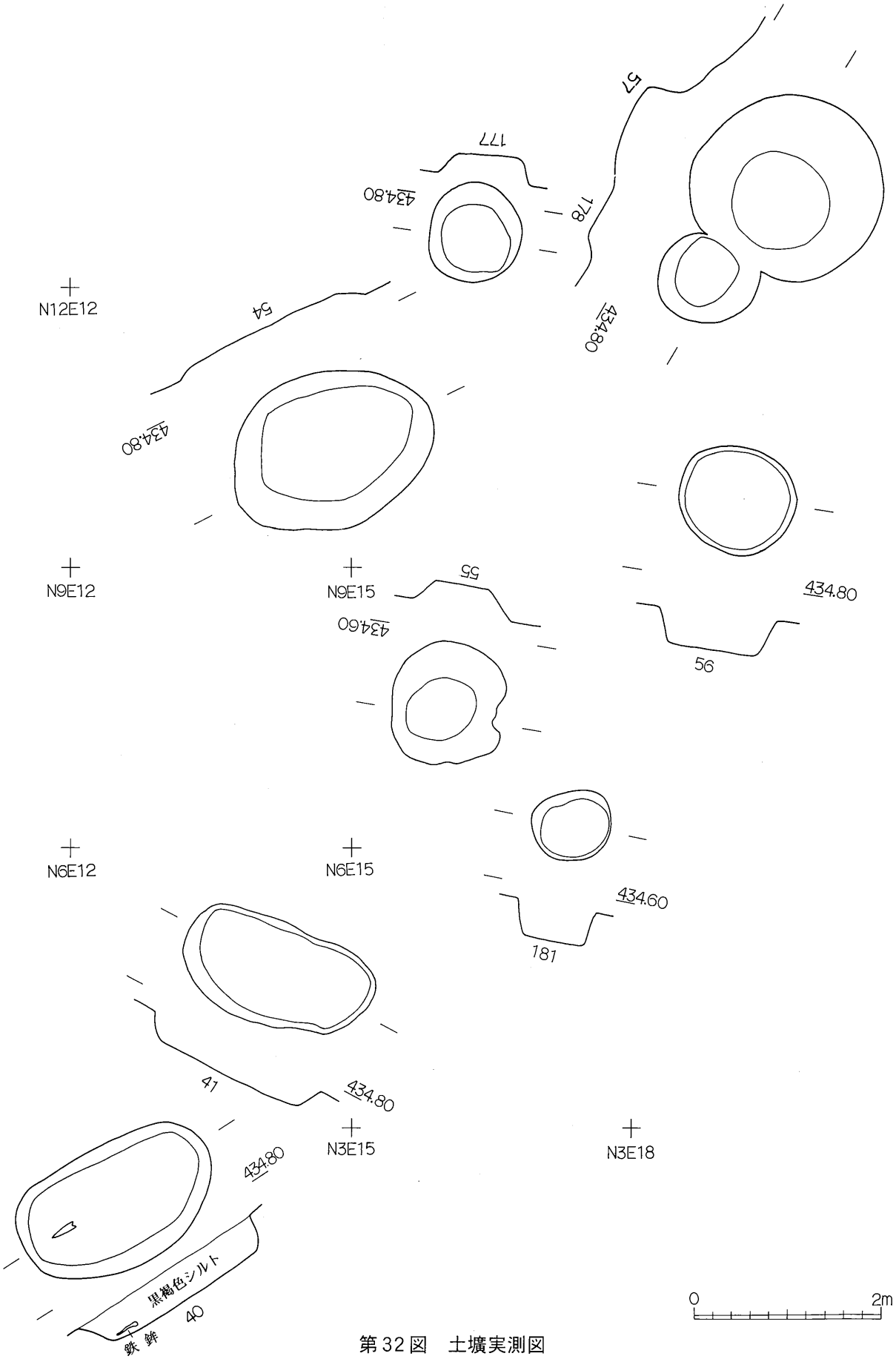
第29図　土壙実測図


N6E3
434.70
30
N6W3
32
434.40
N9
434.60
23
28
434.60
155
29
434.60
21
434.60
N12
N12E3
33
434.60
198
434.60
153
434.60
N15E3
22
434.60
0
2m

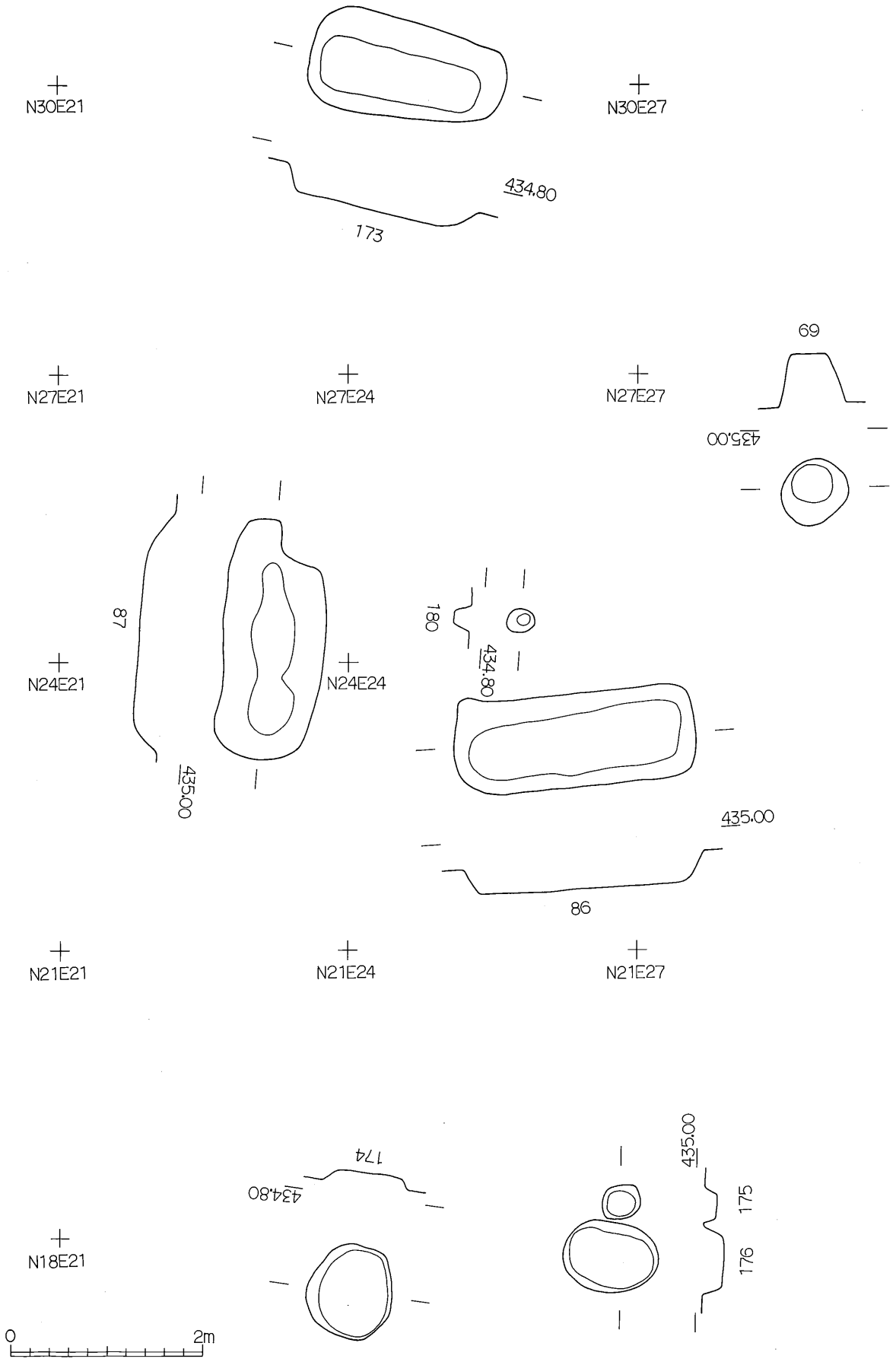
第30図　土壙実測図


1 黒褐色シルト
2 黒褐色シルト（明黄色シルトブロック含む）
N12E6
N12E9
N9E6
N9E9
N9E12
N6E6
N6E12
N3E6
N3E12
434.60
434.40
434.80
25
154
26
75
156
38
157
158
50
0
2m

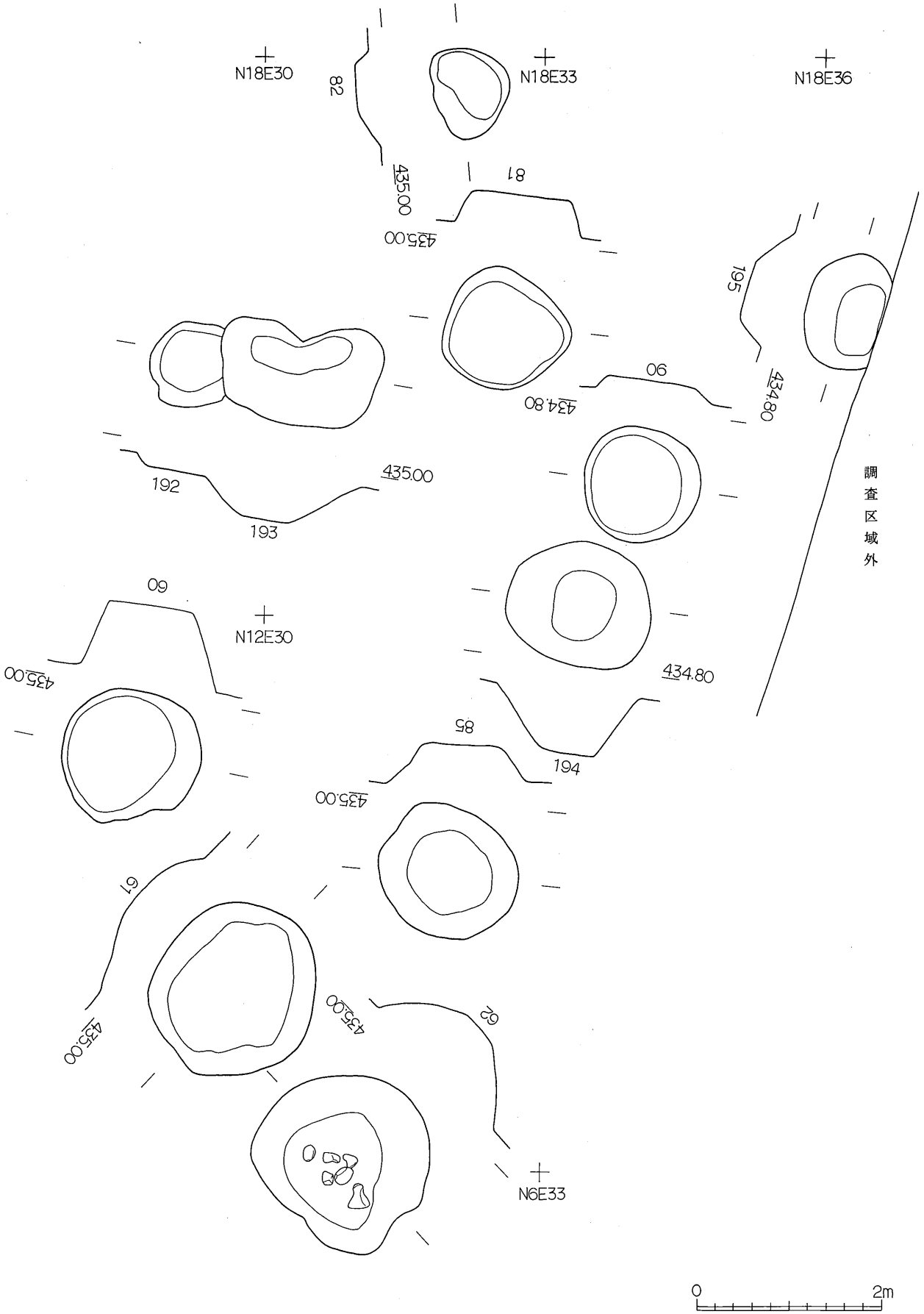
第31図　土壙実測図


N12E12
N9E12
N9E15
N6E12
N6E15
N3E15
N3E18
434.80
434.60
57
178
177
54
55
56
181
41
40
黒褐色シルト
鉄鉾
0
2m

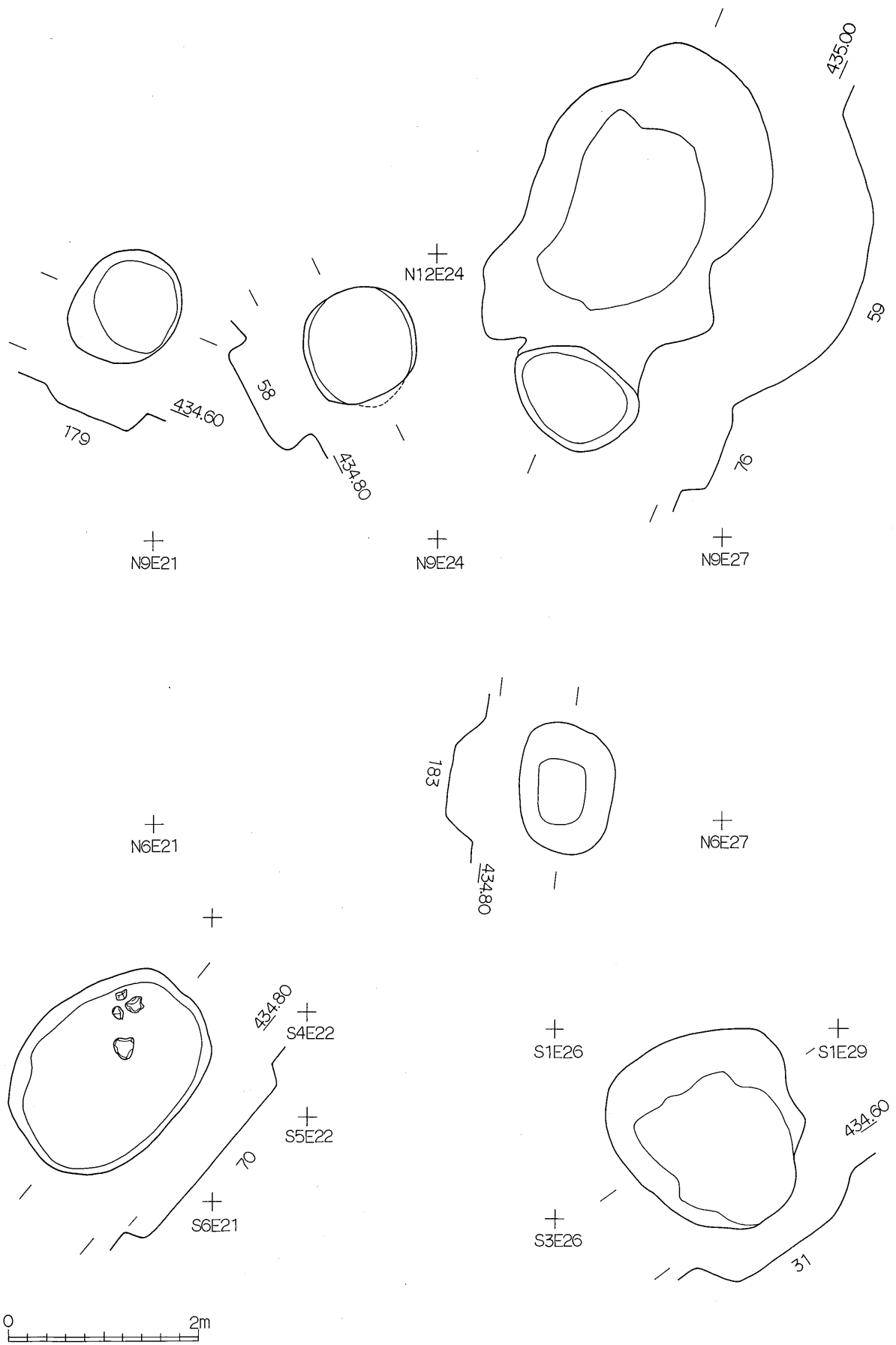
第32図　土壙実測図


N30E21
N30E27
434.80
173
N27E21
N27E24
N27E27
69
435.00
N24E21
N24E24
87
435.00
180
434.80
435.00
86
N21E21
N21E24
N21E27
N18E21
174
434.80
435.00
175
176
0
2m

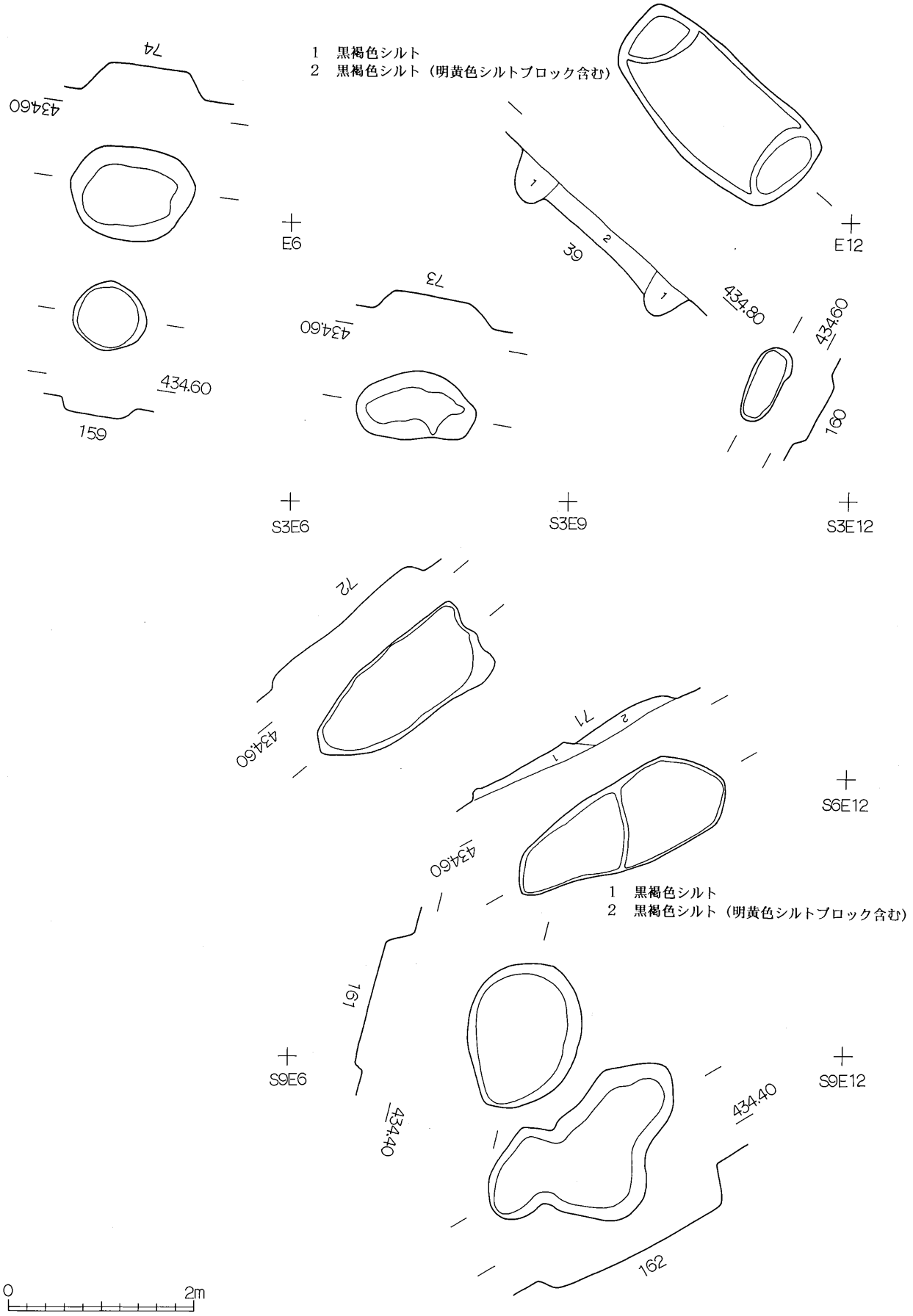
第33図　土壙実測図


N6E33
N12E30
N18E30
N18E33
N18E36
435.00
434.80
434.80
435.00
435.00
435.00
435.00
435.00
435.00
434.80
435.00
62
61
85
194
60
193
192
90
195
81
82
調査区域外
0
2m

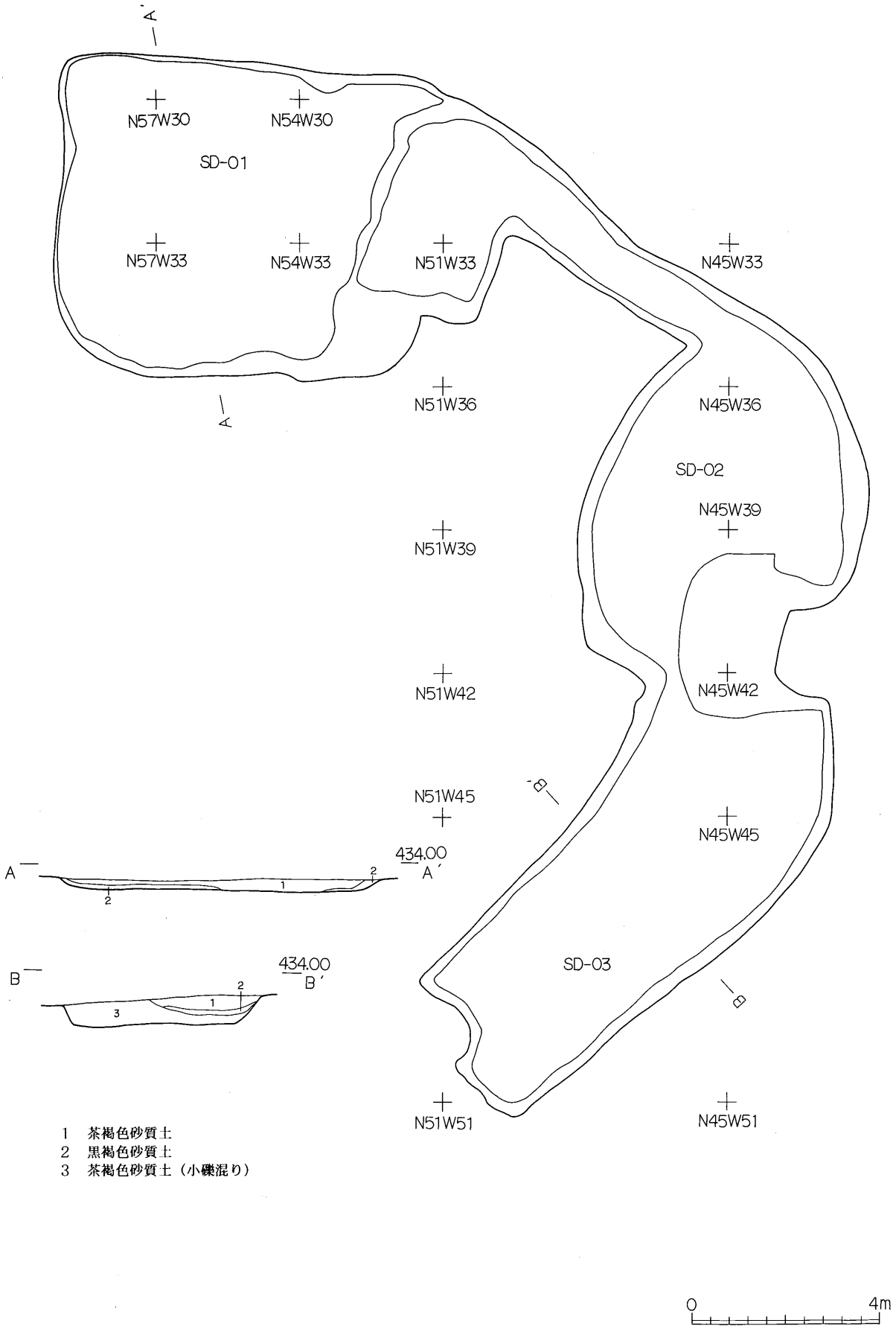
第34図　土壙実測図


435.00
N12E24
59
58
434.60
179
434.80
76
N9E21
N9E24
N9E27
183
N6E21
N6E27
434.80
434.80
S4E22
S1E26
S1E29
S5E22
434.60
70
S6E21
S3E26
31
0
2m

第35図　土壙実測図

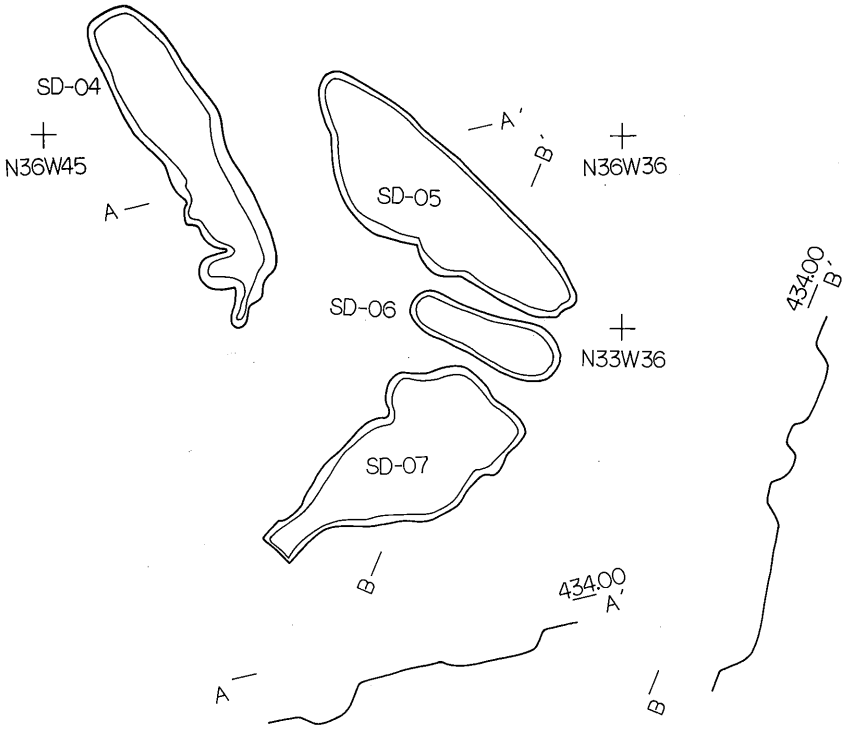

1　黒褐色シルト
2　黒褐色シルト（明黄色シルトブロック含む）
E6
E12
S3E6
S3E9
S3E12
S6E12
S9E6
S9E12
74
73
72
71
69
159
160
161
162
434.60
434.80
434.40
0
2m

第36図　土壙実測図

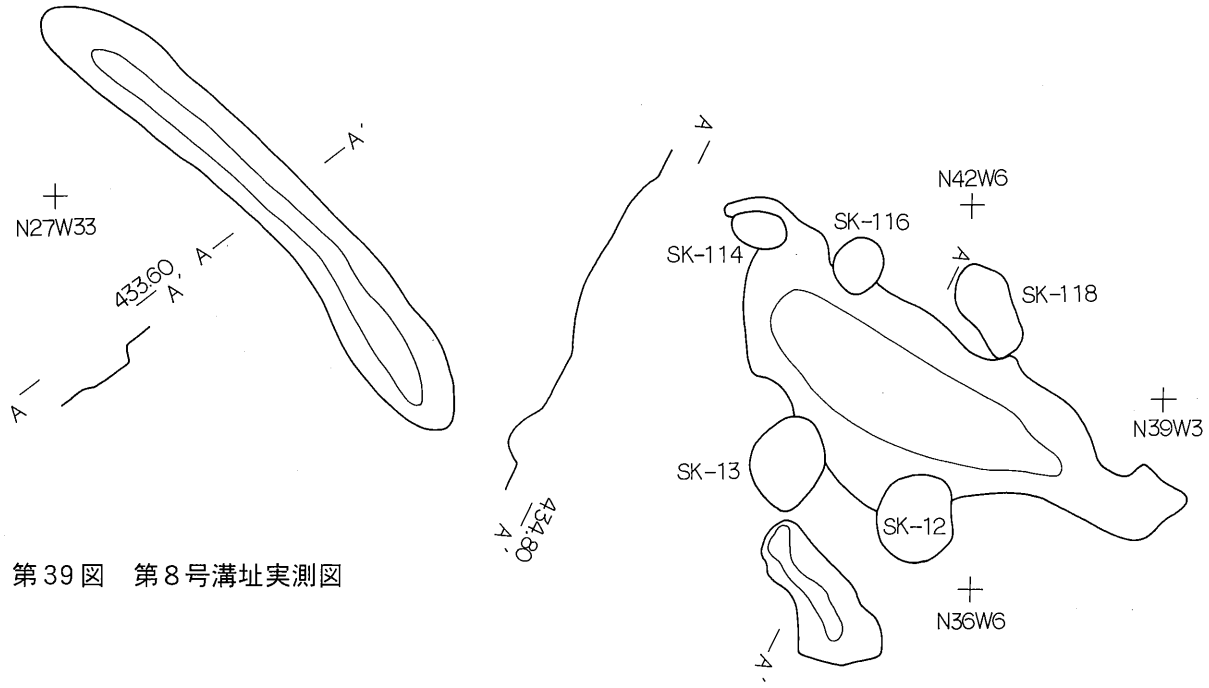


1　茶褐色砂質土
2　黒褐色砂質土
3　茶褐色砂質土（小礫混り）

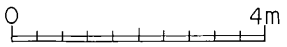
第37図　第1～3号溝址実測図



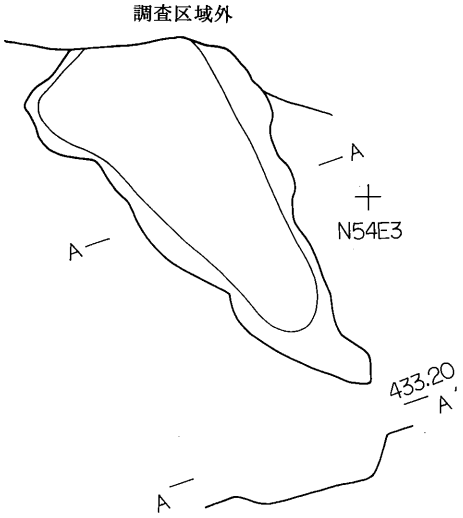
第38図　第4～7号溝址実測図



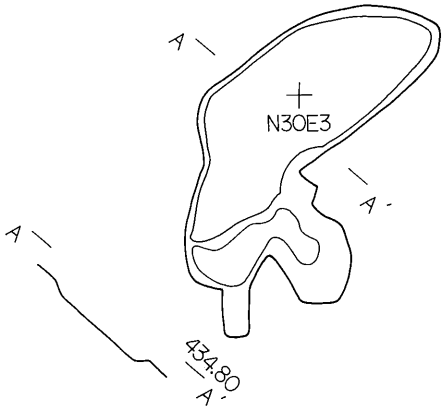
第39図　第8号溝址実測図



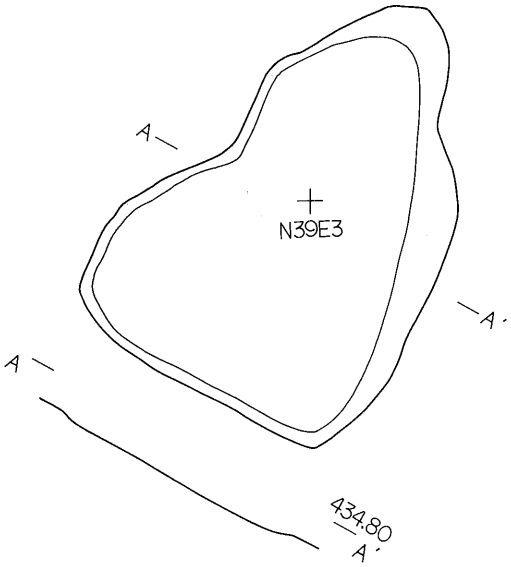
第40図　第9号溝址実測図



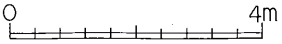
第41図　第10号溝址実測図

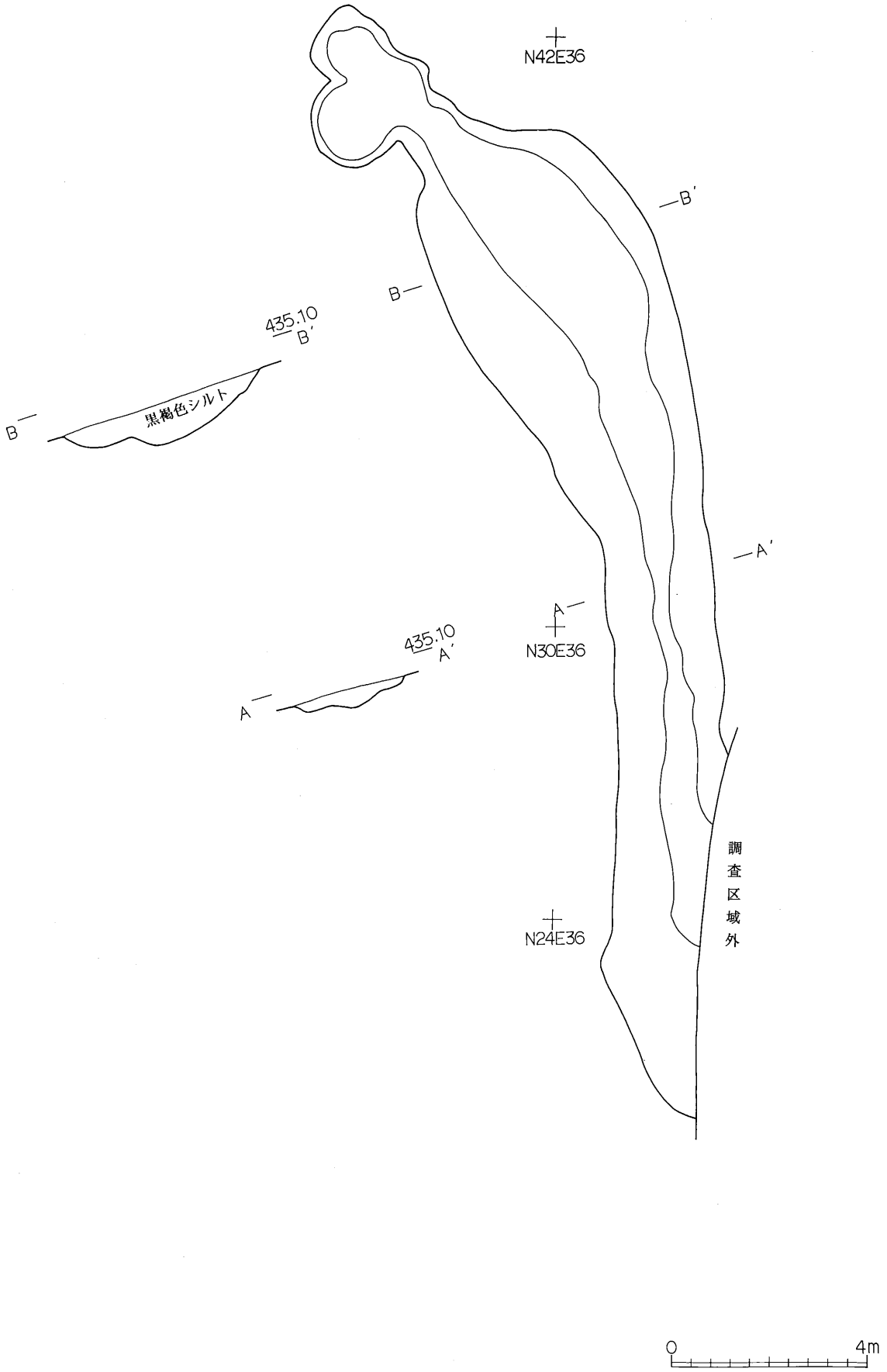


第42図　第12号溝址実測図

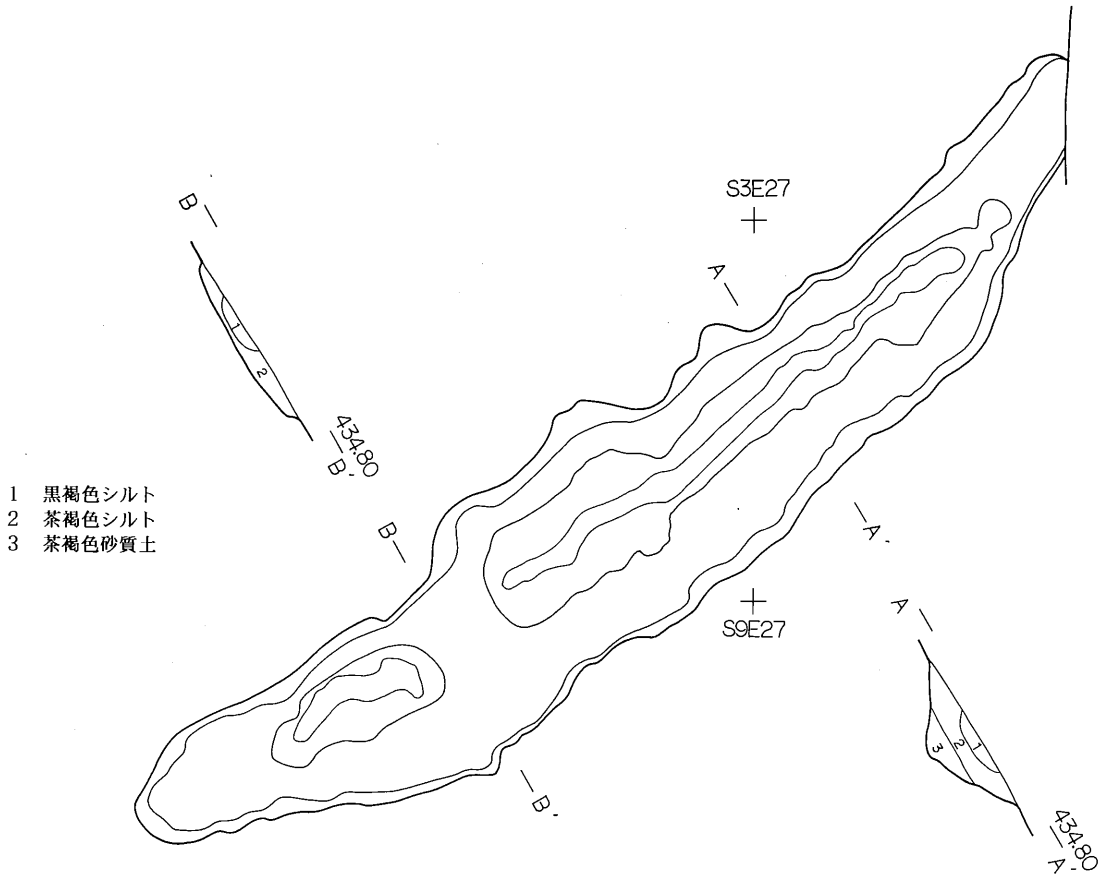


第43図　第13号溝址実測図

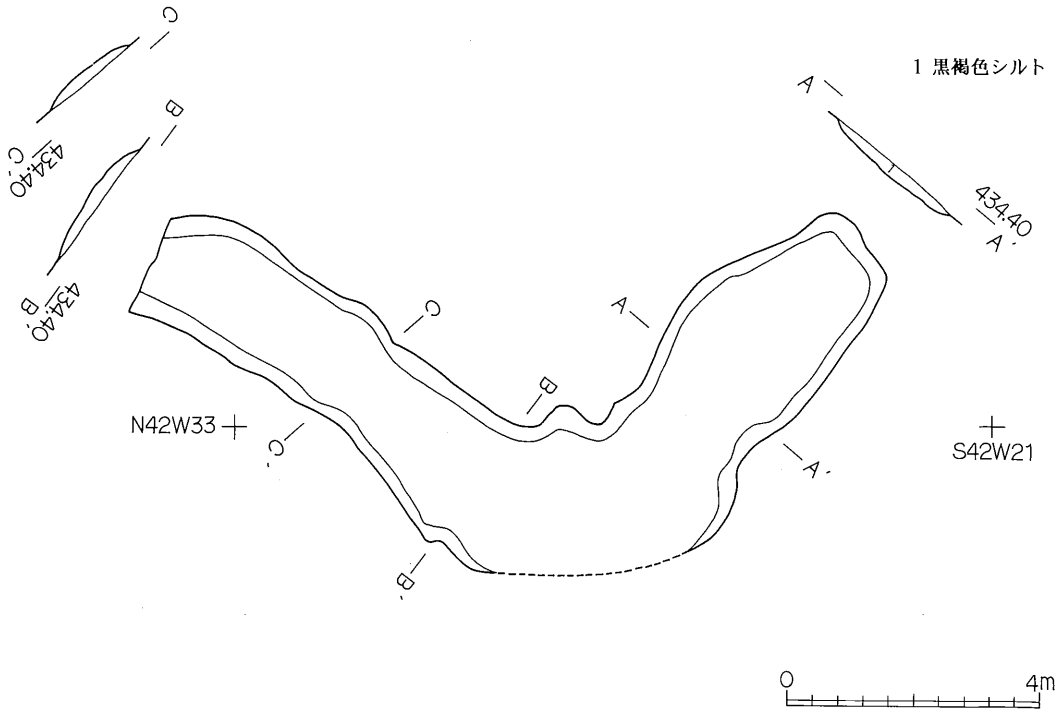




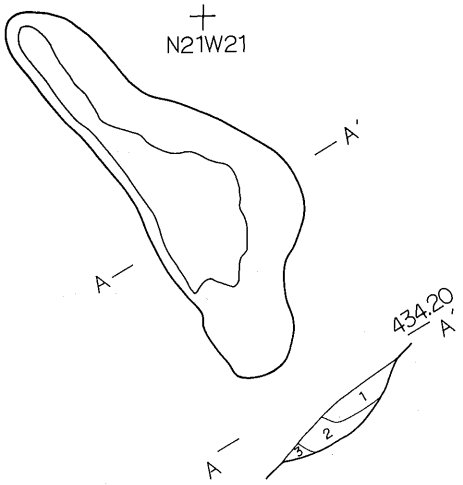
第44図　第19号溝址実測図



第45図　第20号溝址実測図

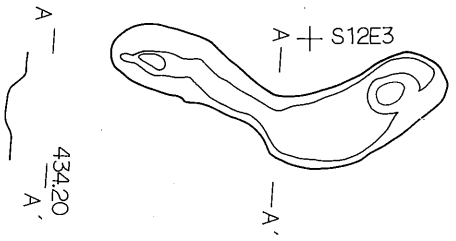


第46図　第25号溝址実測図

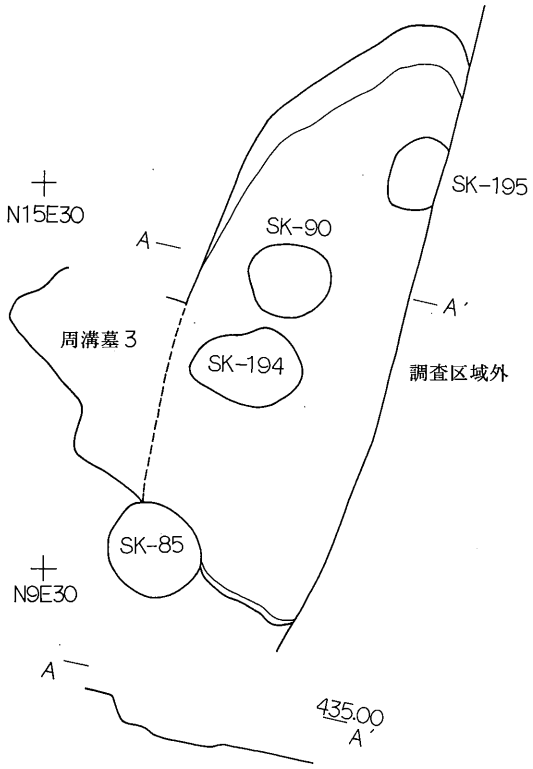


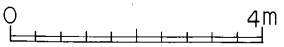
1　黒褐色シルト
2　黒色シルト
3　茶褐色シルト

第47図　第27号溝址実測図



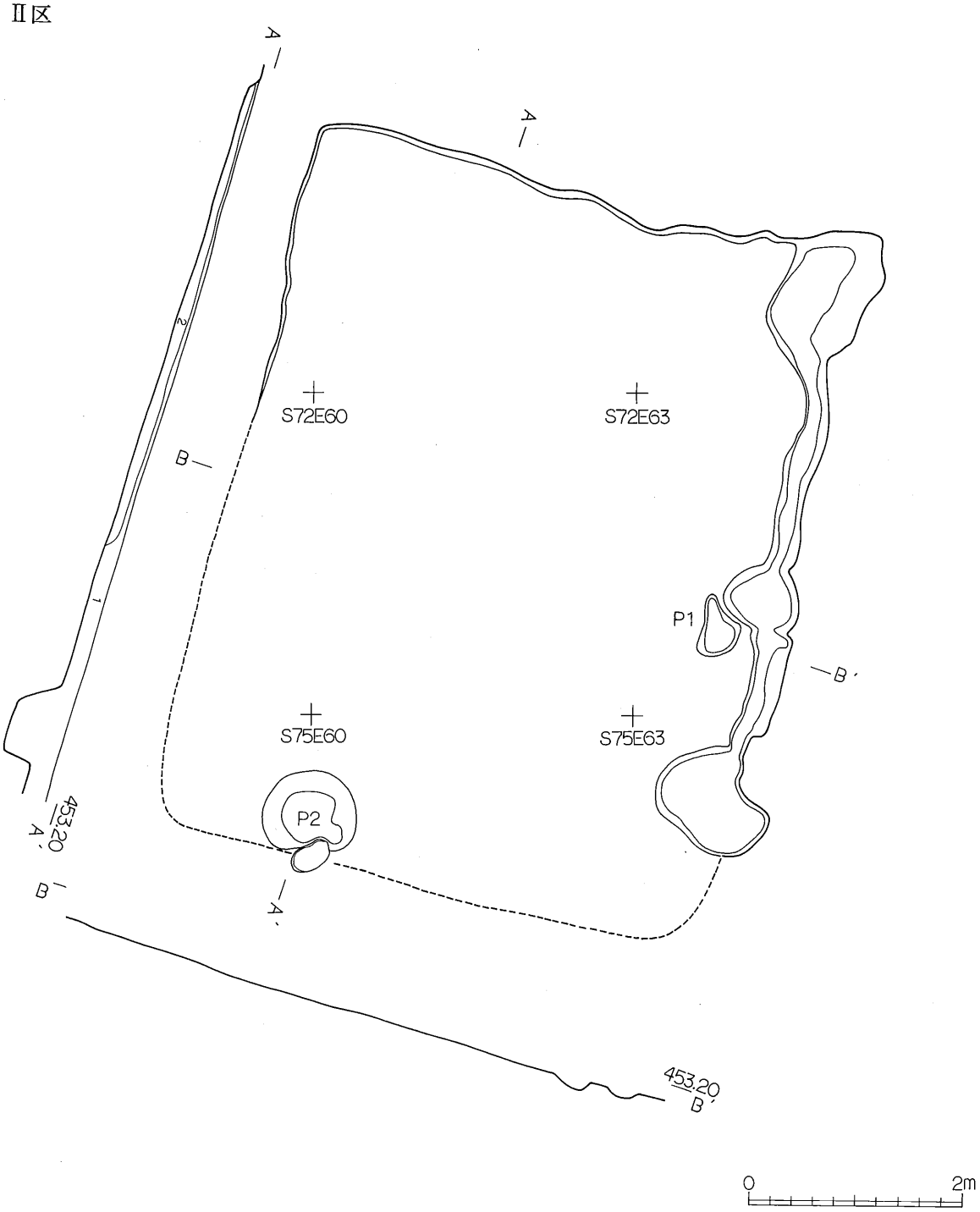
第48図　第28号溝址実測図





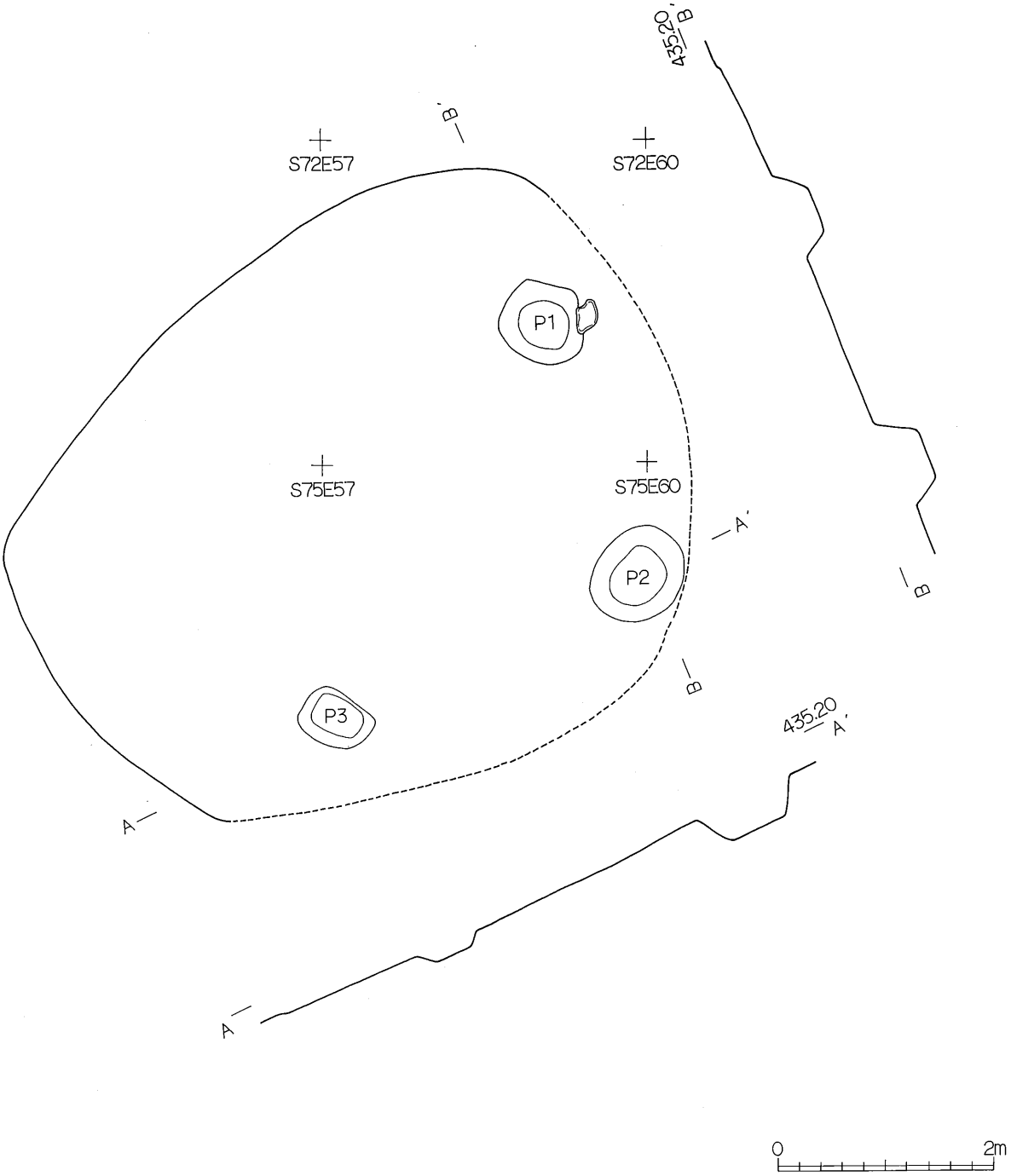
第49図　第29号溝址実測図

Ⅱ区



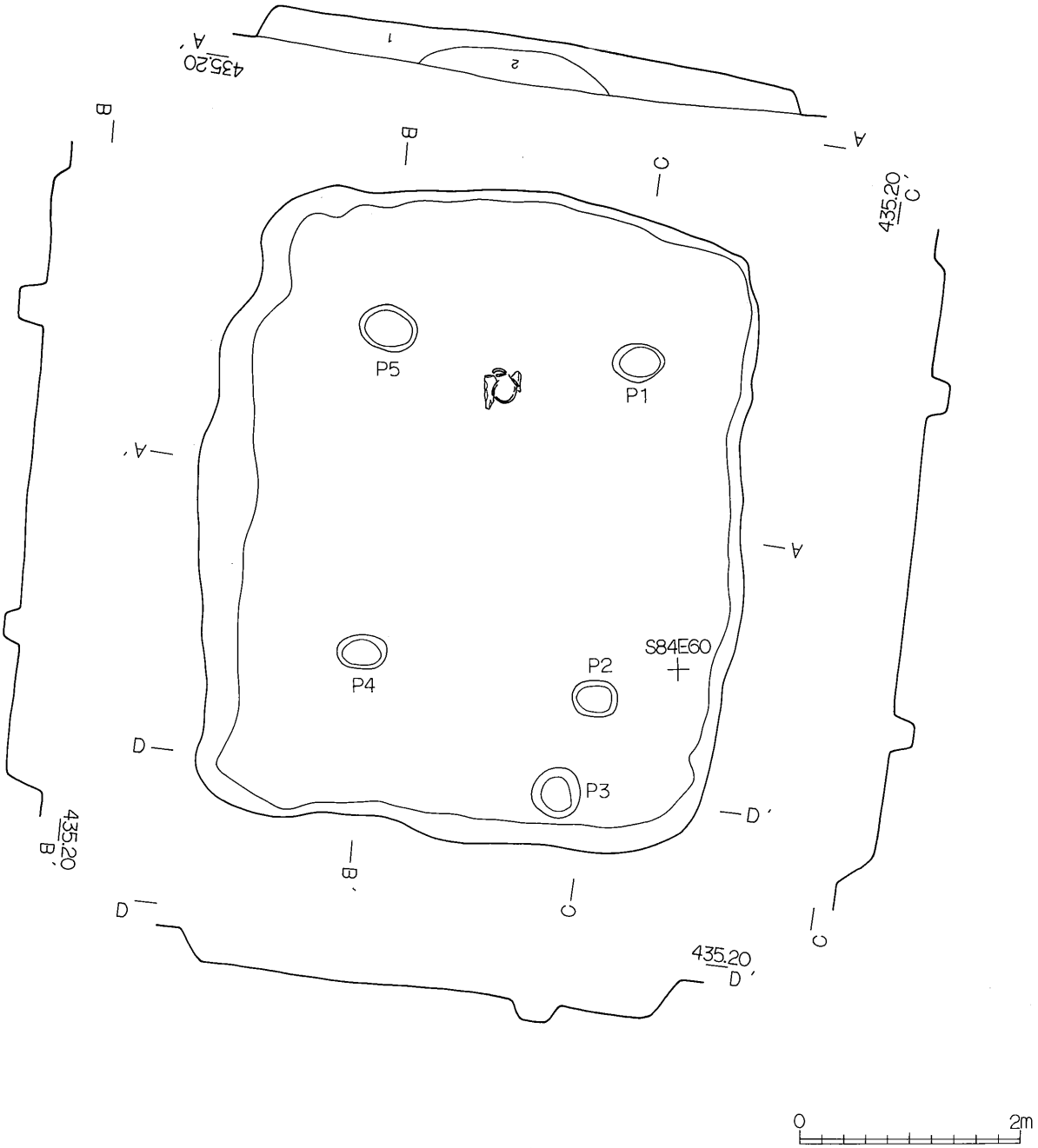
遺構番号	Ⅱ－1号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－13°－E 6.6×5.2	壁　高 床　高 床面積	0.08（N） 434.86～435.03 不明	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第132図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（0.55×0.44×0.10）　P2（0.88×0.72×0.30）						
備考	Ⅱ－5号住居址を切る。東壁際に周溝を検出した。						

第50図　第1号住居址実測図



遺構番号	Ⅱ－２号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	不整形 N－57°－E 6.4×5.2	壁　高 床　高 床面積	不明 434.90～435.00 不明	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第133図						
柱穴	(長径×短径×深さ)　P1（0.72×0.69×0.27）　P2（0.93×0.80×0.35）　P2（0.65×0.50×0.15）						
備考	Ⅱ－1・4・5号住居址に切られる。						

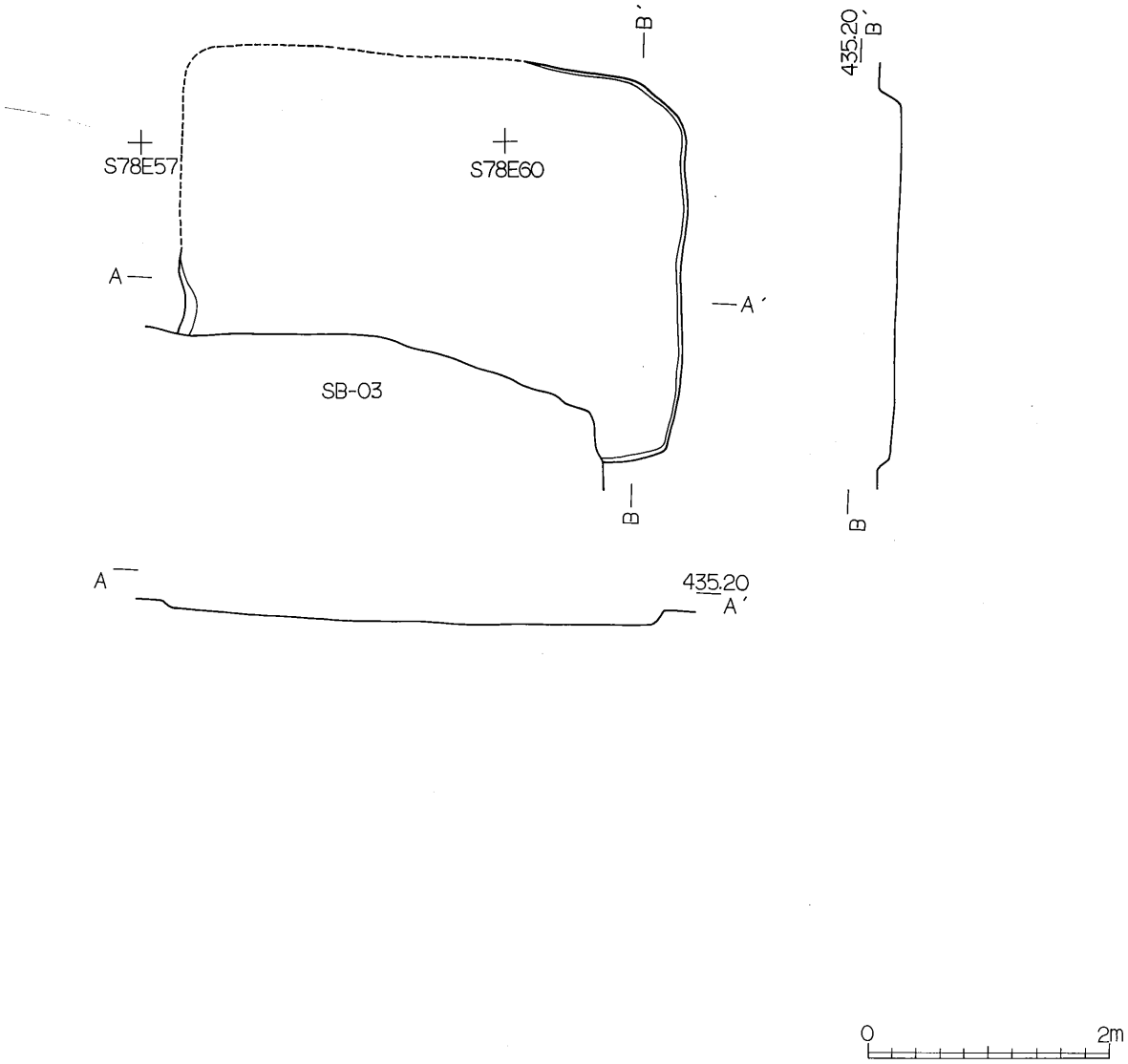
第51図　第2号住居址実測図



遺構番号	Ⅱ－３号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－8°－E 5.90×5.00	壁　高 床　高 床面積	0.38（E）～0.10（S） 435.62～435.74 23.20㎡	覆土	1　黒褐色シルト 2　黒色シルト
遺物図版	第134図						

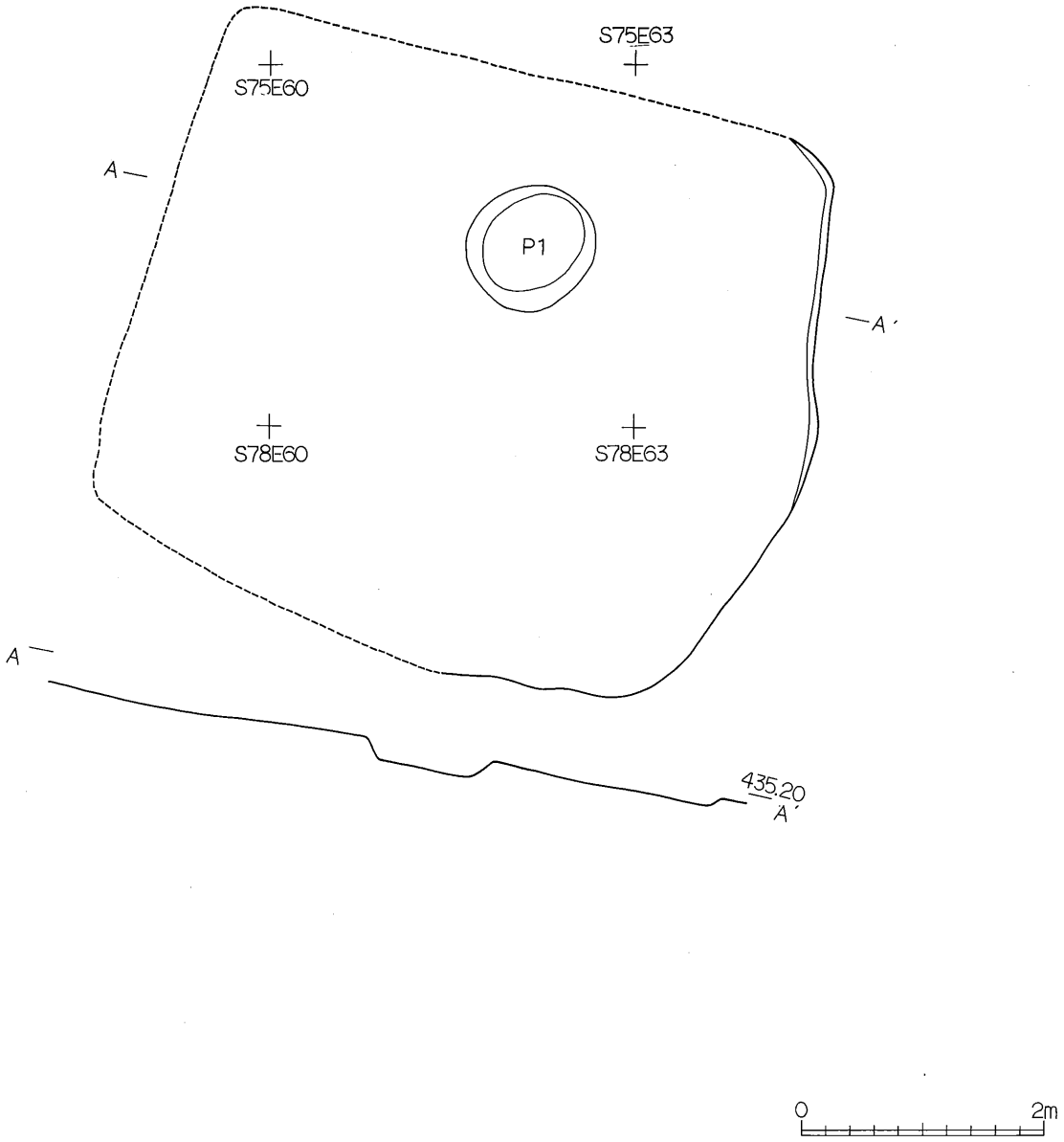
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（0.47×0.35×0.16）　P2（0.42×0.32×0.20）　P3（0.46×0.44×0.19） P4（0.45×0.30×0.16）　P5（0.53×0.32×0.23）						
炉	位　置 形　態 規模（全長×最大幅）	中央北側 土器敷き炉 0.32×0.32	覆土	1　黒褐色シルト	備考	北側２本の主柱穴間に設けられる。炉石が確認され、壺の頸部が逆さの状態で出土した。	
備考	Ⅱ－４号住居址に切られる。床面は堅く締まり、凹凸が少ない。						

第52図　第３号住居址実測図



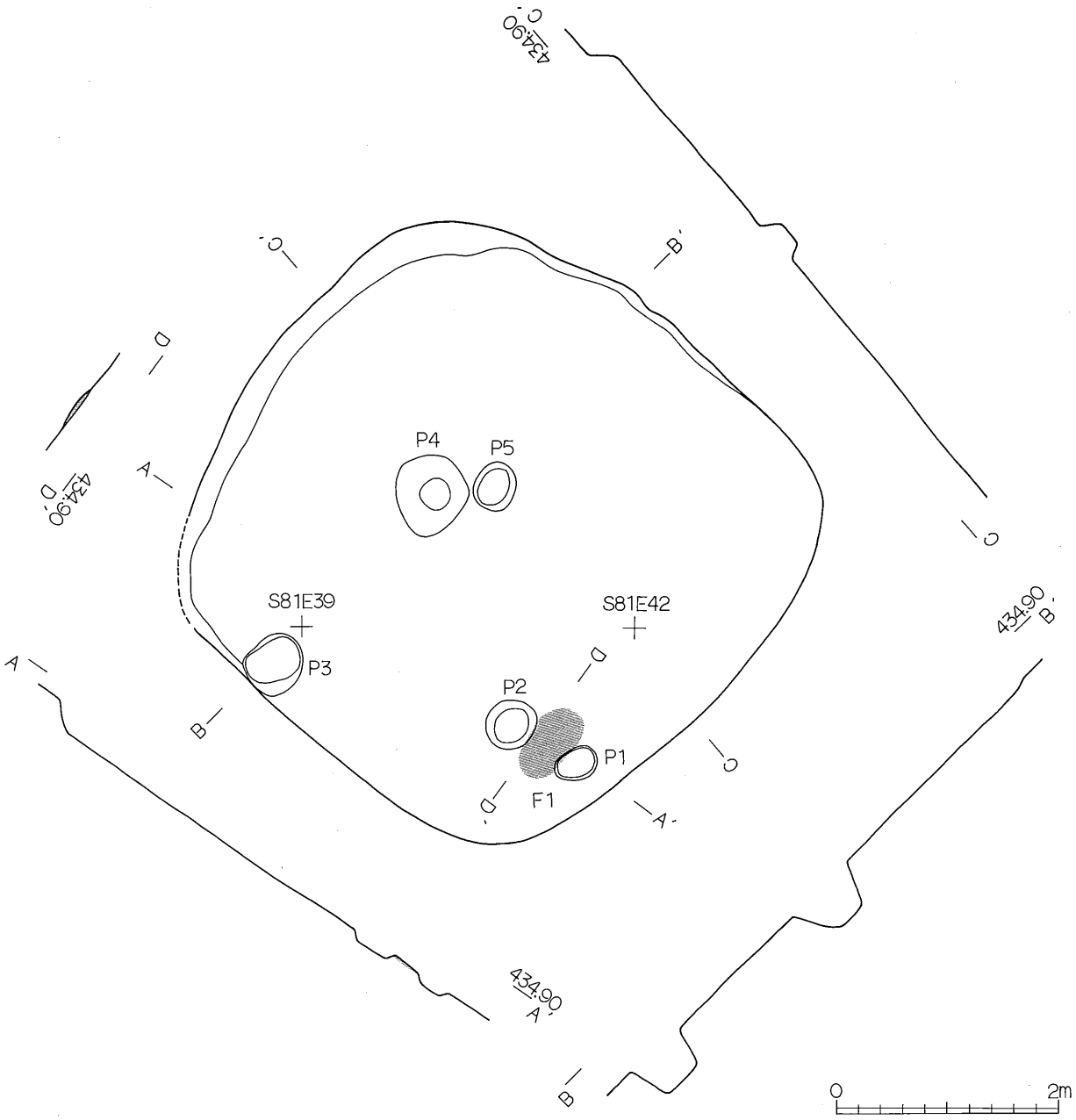
遺構番号	Ⅱ－4号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 S－88°－E 4.14×3.20	壁　高 床　高 床面積	0.21（S） 434.85～434.92 不明	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版							
柱穴	（長径×短径×深さ）						
備考	Ⅱ－3号住居址を切る。Ⅱ－5号住居址との切り合い関係は不明						

第53図　第4号住居址実測図



遺構番号	Ⅱ－５号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 S－75°－W 5.70×4.90	壁　高 床　高 床面積	0.08（E） 434.94～435.05 不明	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版							
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（1.05×0.98×0.18）						
備考	Ⅱ－１・２号住居址を切る。Ⅱ－４号住居址との切り合い関係は不明						

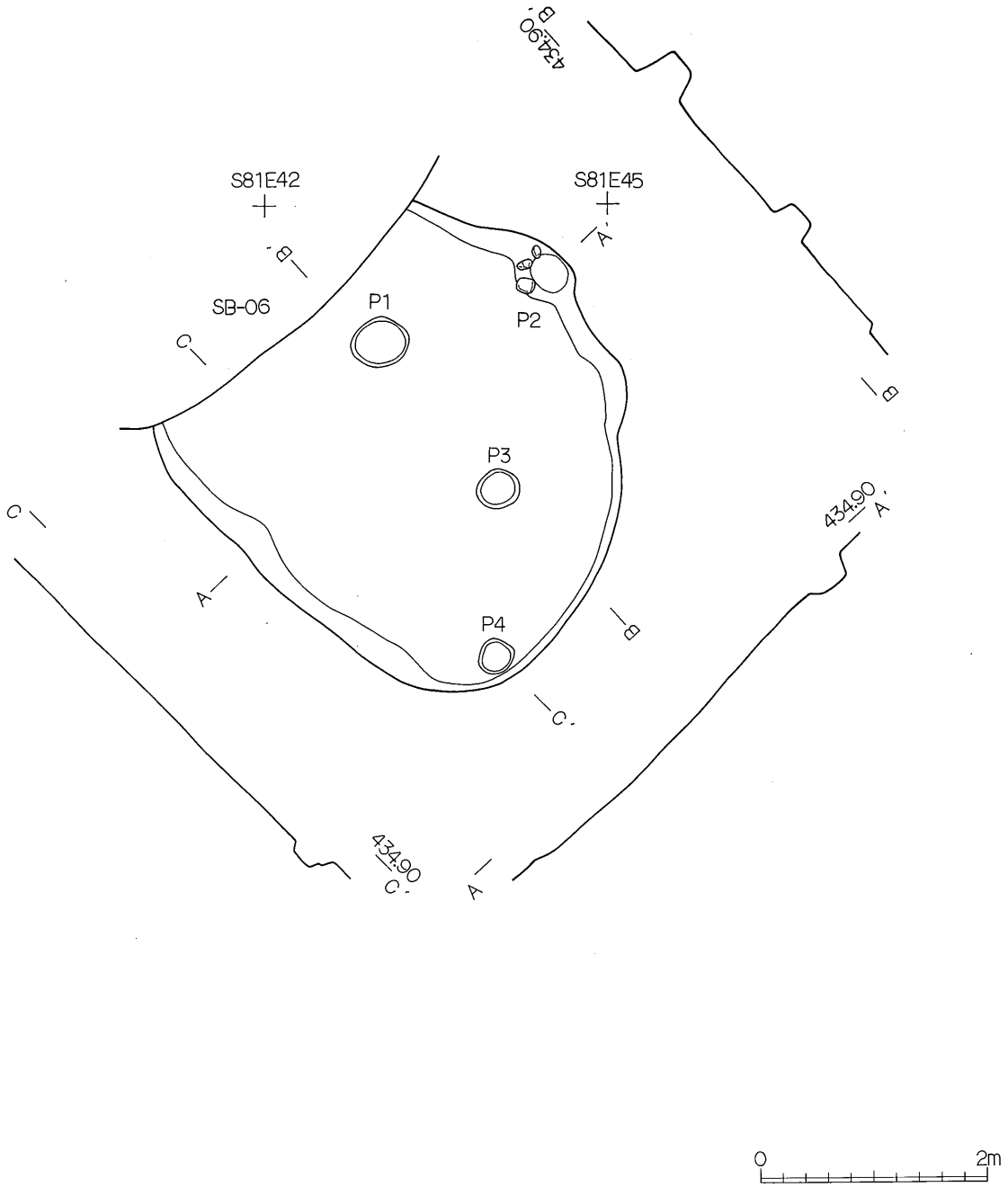
第54図　第５号住居址実測図



遺構番号	Ⅱ－6号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸方形 N－41°－E 5.05×4.90	壁　高 床　高 床面積	0.20（W） 434.50～434.58 20.20㎡	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版							

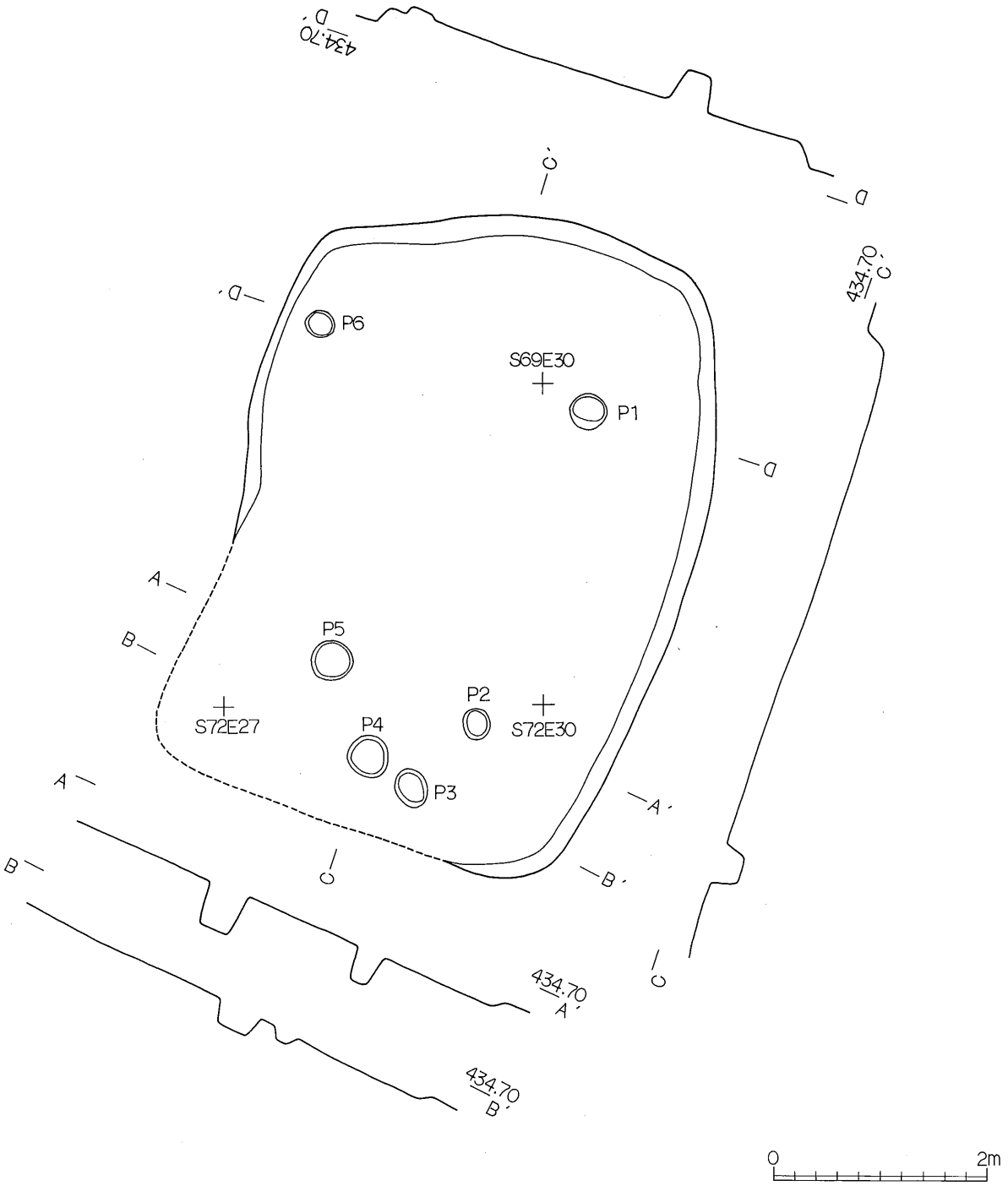
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（0.40×0.28×0.05）　P2（0.46×0.43×0.06）　P3（0.52×0.50×0.37） P4（0.72×0.64×0.38）　P5（0.43×0.36×0.14）					
炉	位　置 形　態 規模（全長×最大幅）	南隅 地床炉 0.75×0.50	覆土	1　焼土	備考	南隅に掘りこんで設けられる。
備考	Ⅱ－7号住居址を切る。					

第55図　第6号住居址実測図



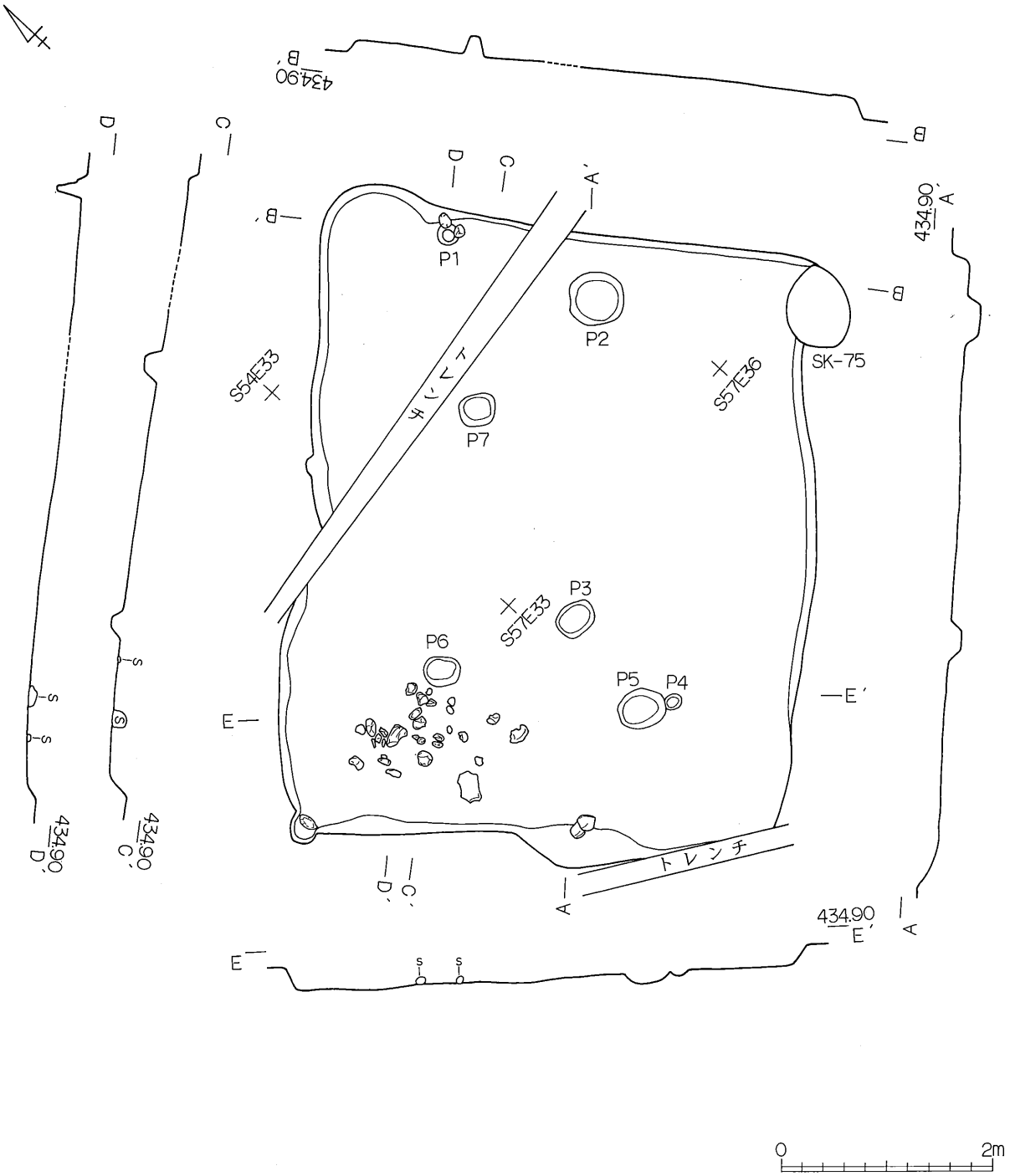
遺構番号	Ⅱ－７号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	不明 N－48°－W 3.80×	壁　高 床　高 床面積	0.10（SE） 434.51～434.68	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第１３５図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　P１（0.52×0.44×0.36）　P２（0.50×0.44×0.10）　P３（0.38×0.34×0.37） P４（0.33×0.31×0.10）						
備考	Ⅱ－６号住居址に切られる。						

第56図　第７号住居址実測図



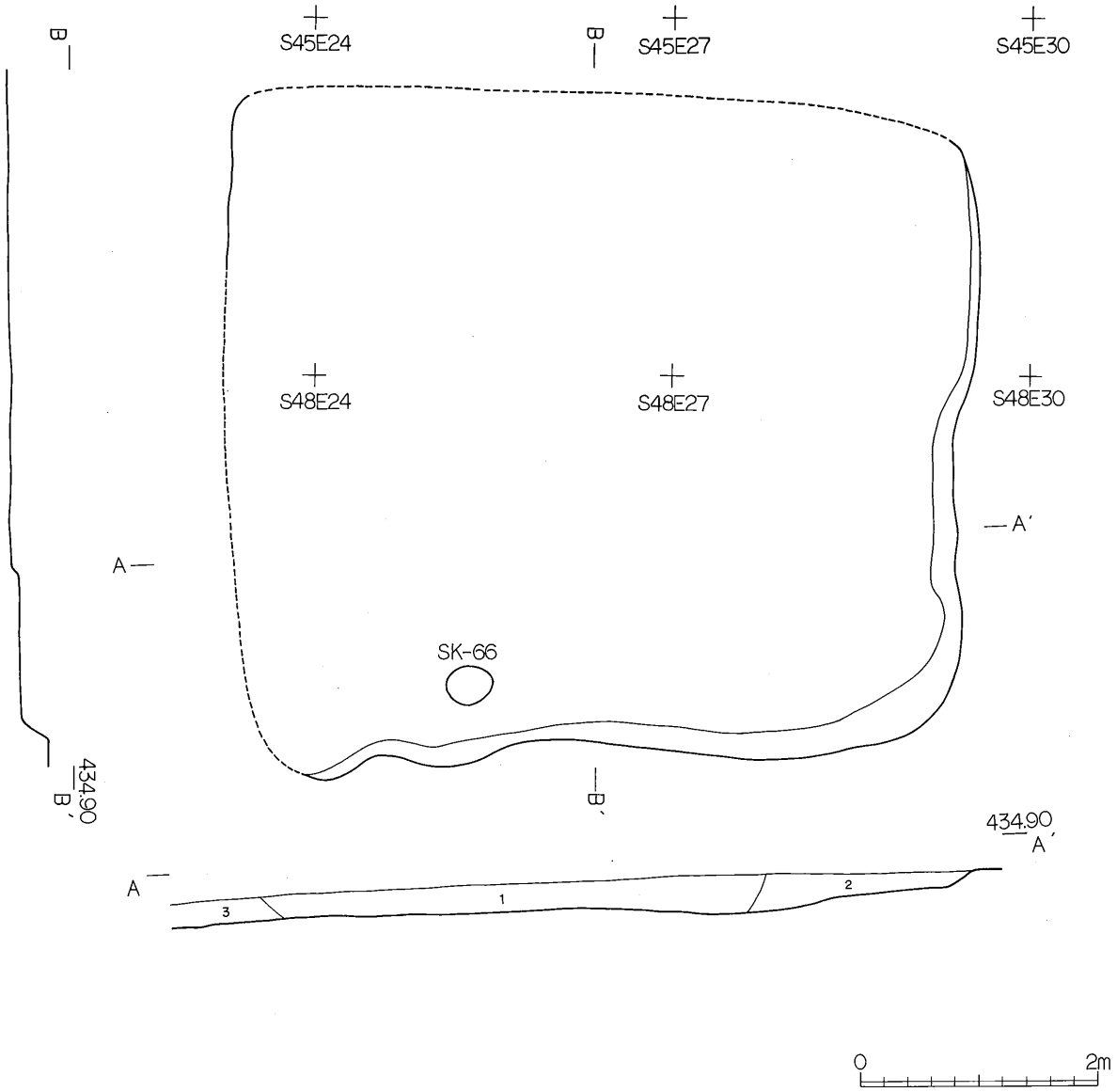
遺構番号	Ⅱ－８号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－18°－E 6.00×4.35	壁　高 床　高 床面積	0.20（E） 434.30～434.38 不明	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第136図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　P1（0.33×0.30×0.30）　P2（0.29×0.25×0.30）　P3（0.36×0.30×0.10） P4（0.40×0.38×0.12）　P5（0.40×0.38×0.40）　P6（0.28×0.24×0.08）						
備考	Ⅱ－１号周溝墓を切る。床面は堅く締まり、凹凸は少ない。投げ込まれたと思われる多数の礫が検出された。						

第57図　第8号住居址実測図



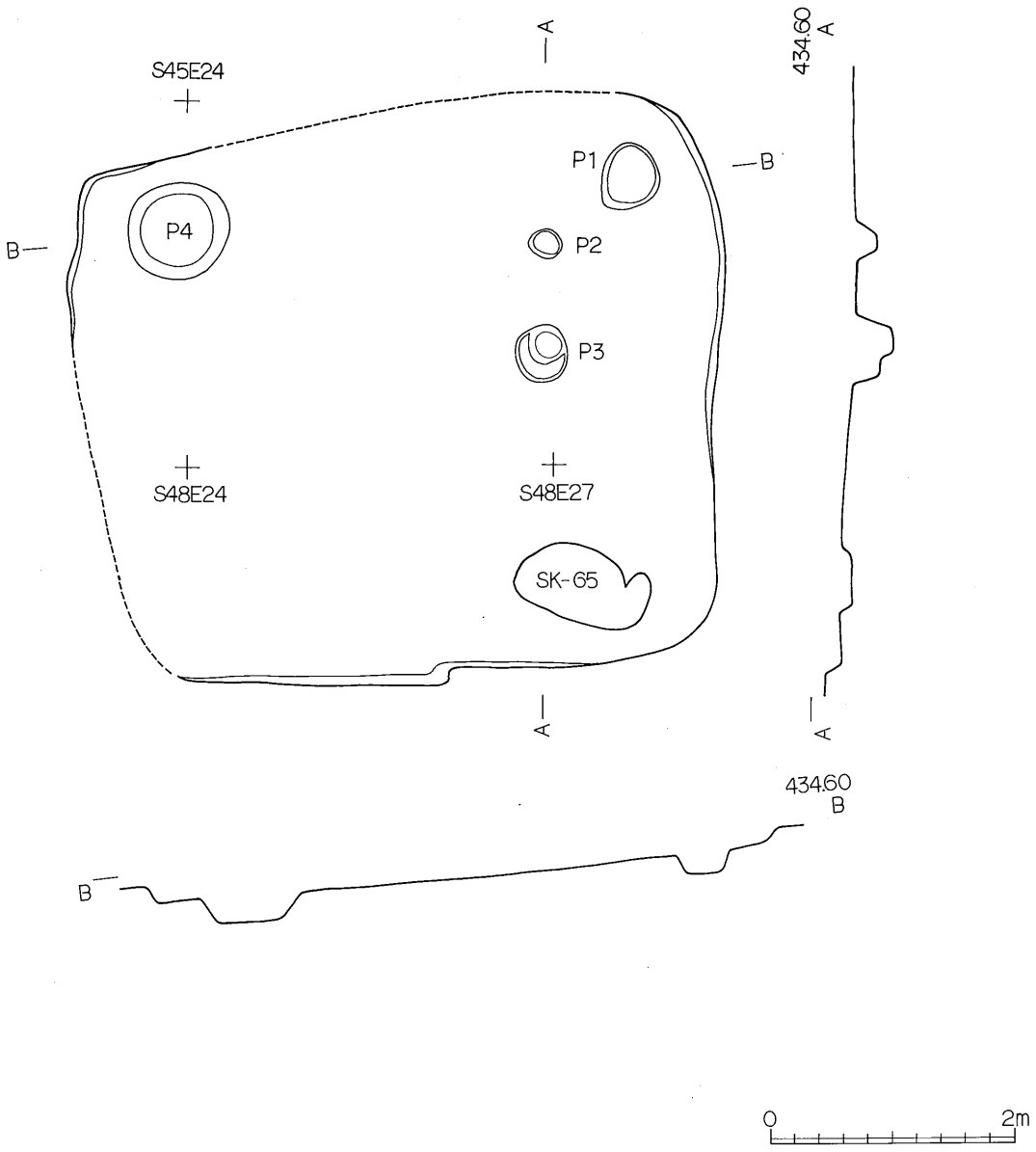
遺構番号	Ⅱ－9号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－52°－E 5.80×4.70	壁　高 床　高 床面積	0.30（NW）～0.08（NE） 434.50～434.64 25.70㎡	覆土	1　黒褐色シルト
遺物図版	第137図						
柱穴	（長径×短径×深さ）	P1（0.20×0.20×0.24） P4（0.16×0.13×0.06） P7（0.33×0.30×0.14）		P2（0.52×0.49×0.12） P5（0.24×0.37×0.12）	P3（0.38×0.30×0.11） P6（0.35×0.27×0.10）		
備考	Ⅱ－1号周溝を切る。床は堅く締まり、凹凸は少ない。						

第58図　第9号住居址実測図



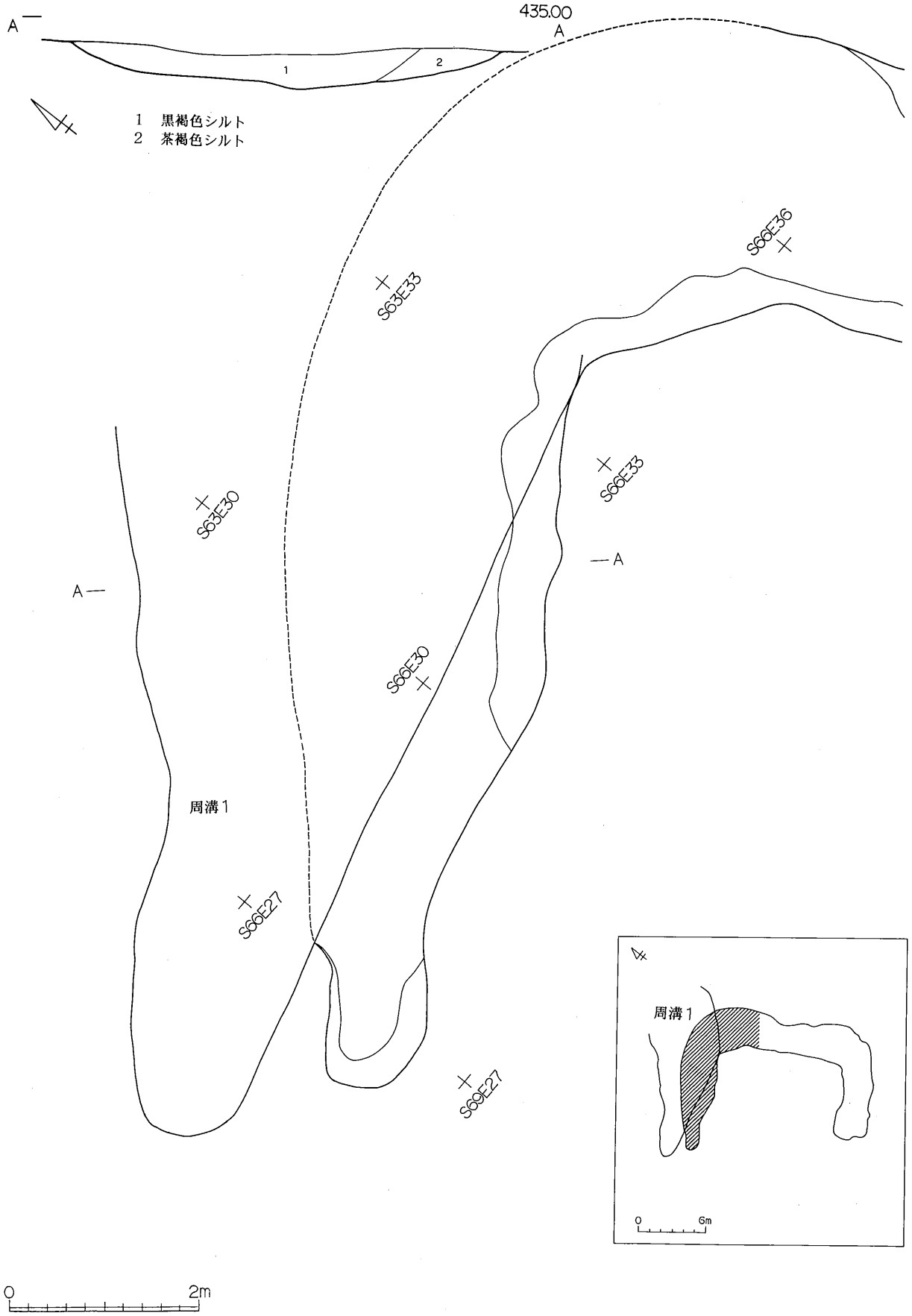
遺構番号	Ⅱ－１０号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－８８°－E ７．１０×５．４０	壁　高 床　高 床面積	０．２３（S） ４３４．３４～４３４．５０ 不明	覆土	１　黒褐色シルト ２　茶褐色シルト
遺物図版	第１３８図						
柱穴	（長径×短径×深さ）						
備考	Ⅱ－１１号住居址を切る。Ⅱ－６６号土壙に切られる。床は堅く締まり、凹凸は少ない。						

第59図　第10号住居址実測図

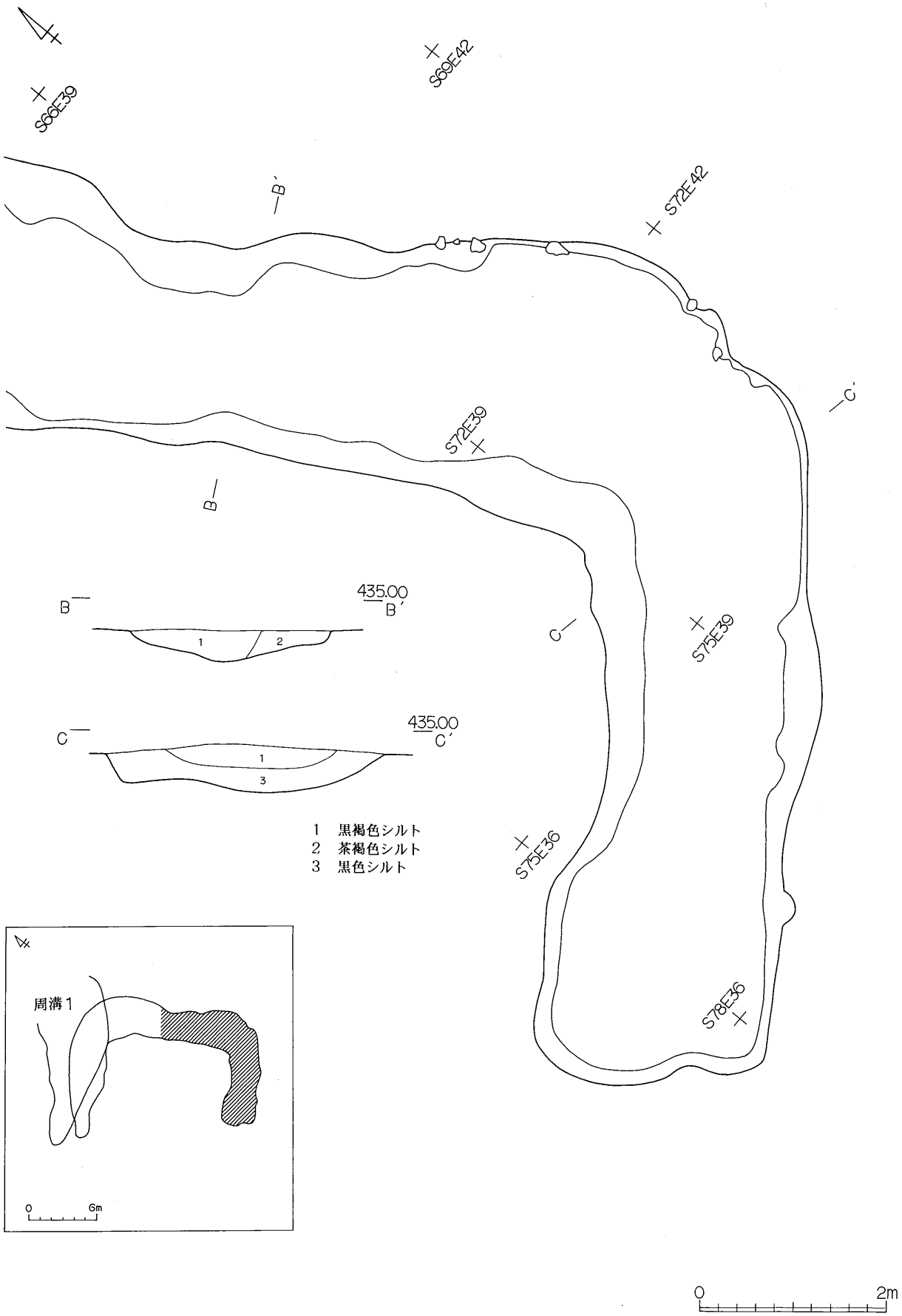


遺構番号	Ⅱ－１１号住居址	平面形態 主軸方位 規　模	隅丸長方形 N－８３°－E ５.３６×４.５０	壁　高 床　高 床面積	０.１４（W） ４３４.２４～４３４.３５ 不明	覆土	１　黒褐色シルト ２　茶褐色シルト
遺物図版	第１３９図						
柱穴	（長径×短径×深さ）　Ｐ１（０.５３×０.４８×０.１８）　Ｐ２（０.２５×０.２４×０.１７）　Ｐ３（０.４５×０.４３×０.３０） Ｐ４（０.８２×０.７８×０.２２）						
備考	Ⅱ－１０号住居址・Ⅱ－６５号土壙を切る。床は堅く締まり、凹凸は少ない。						

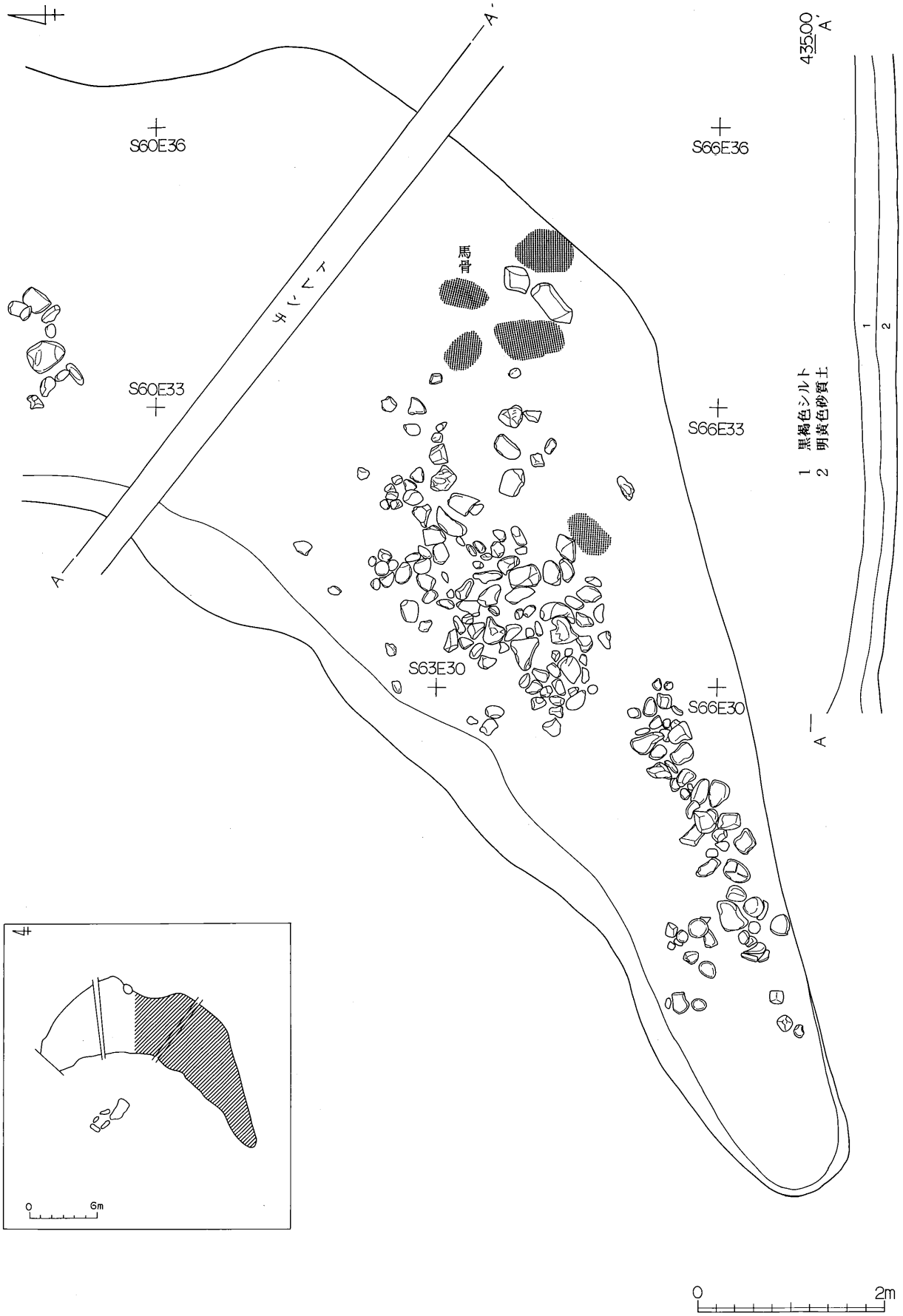
第60図　第11号住居址実測図



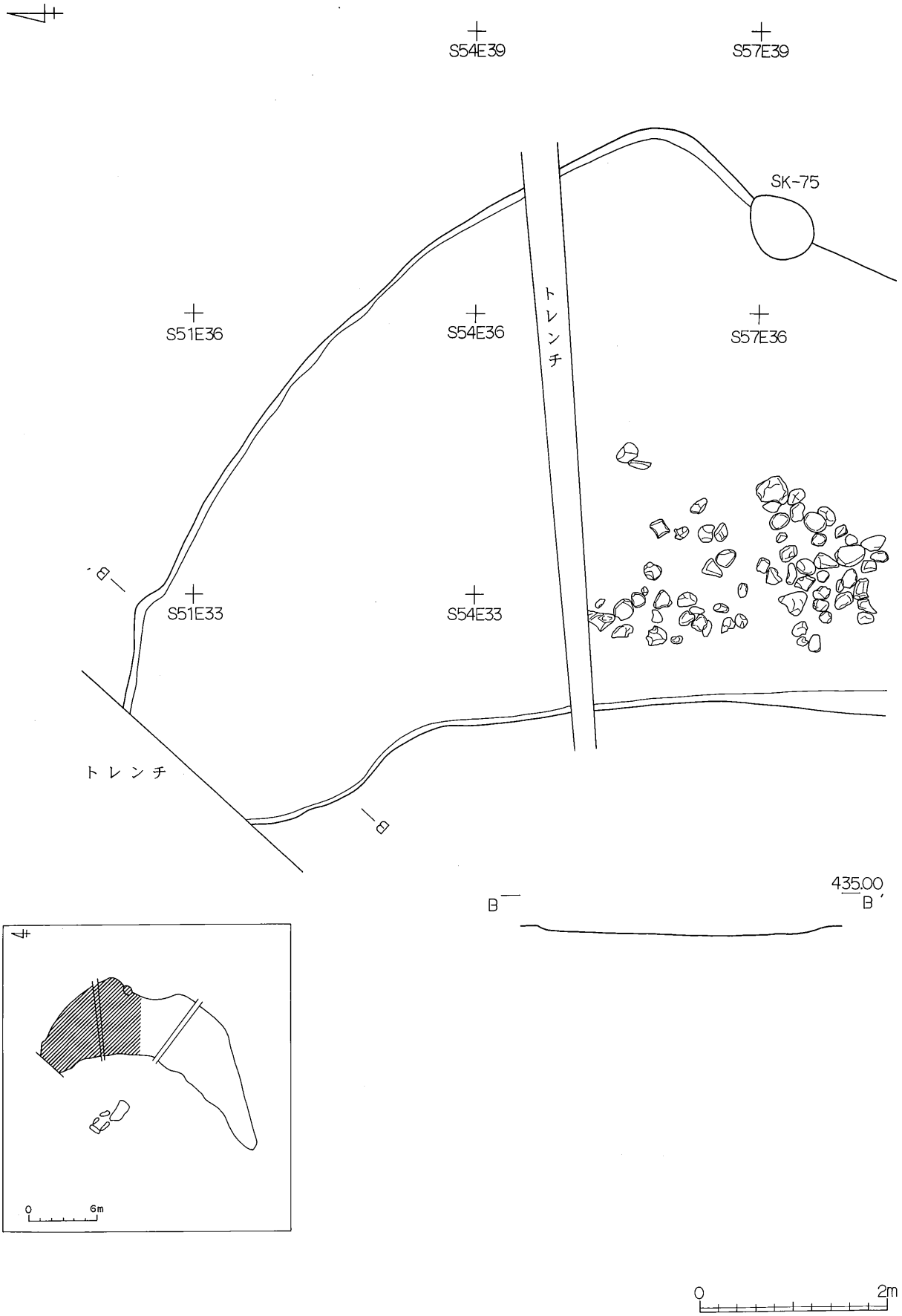
第61図　第1号周溝墓実測図（1）



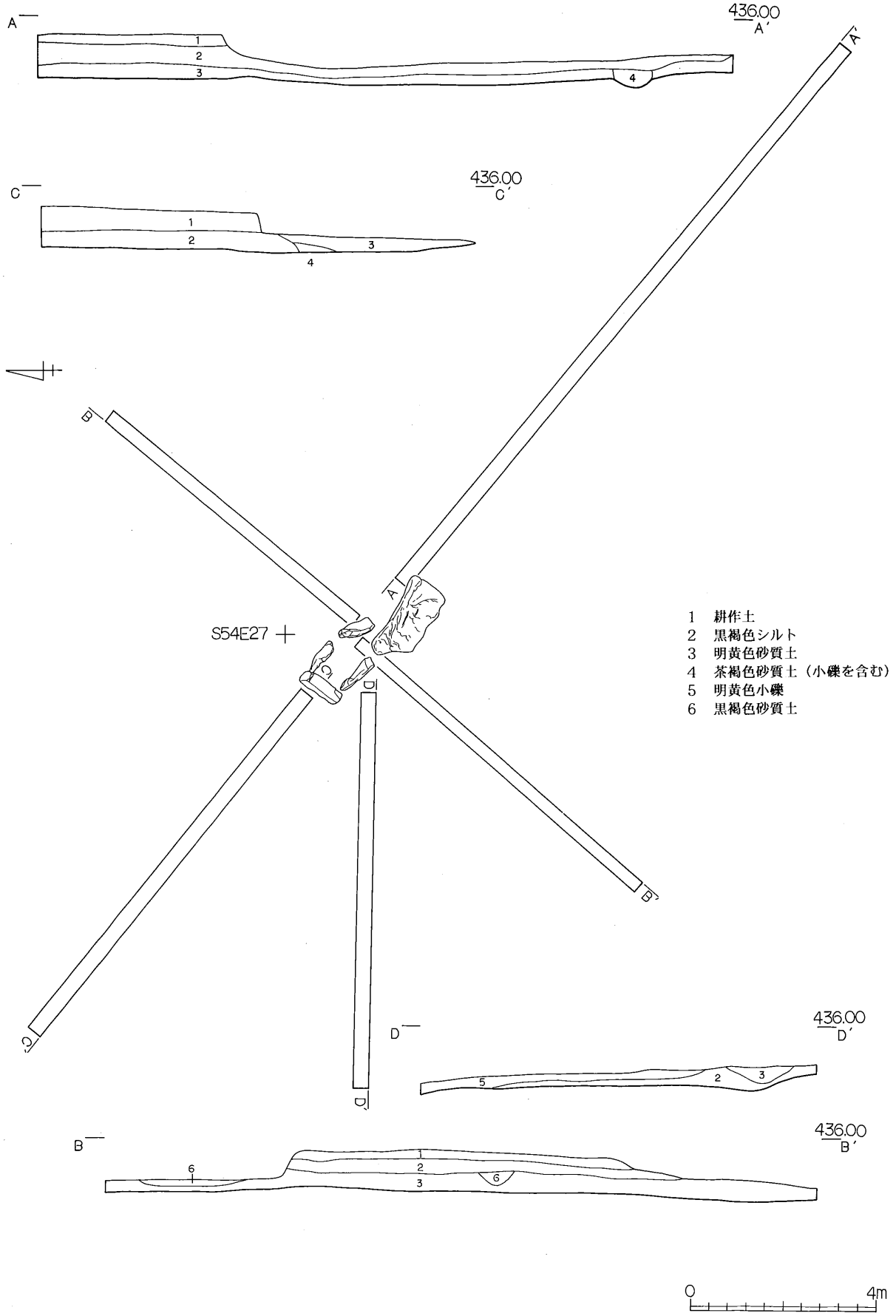
第61図　第1号周溝墓実測図（2）



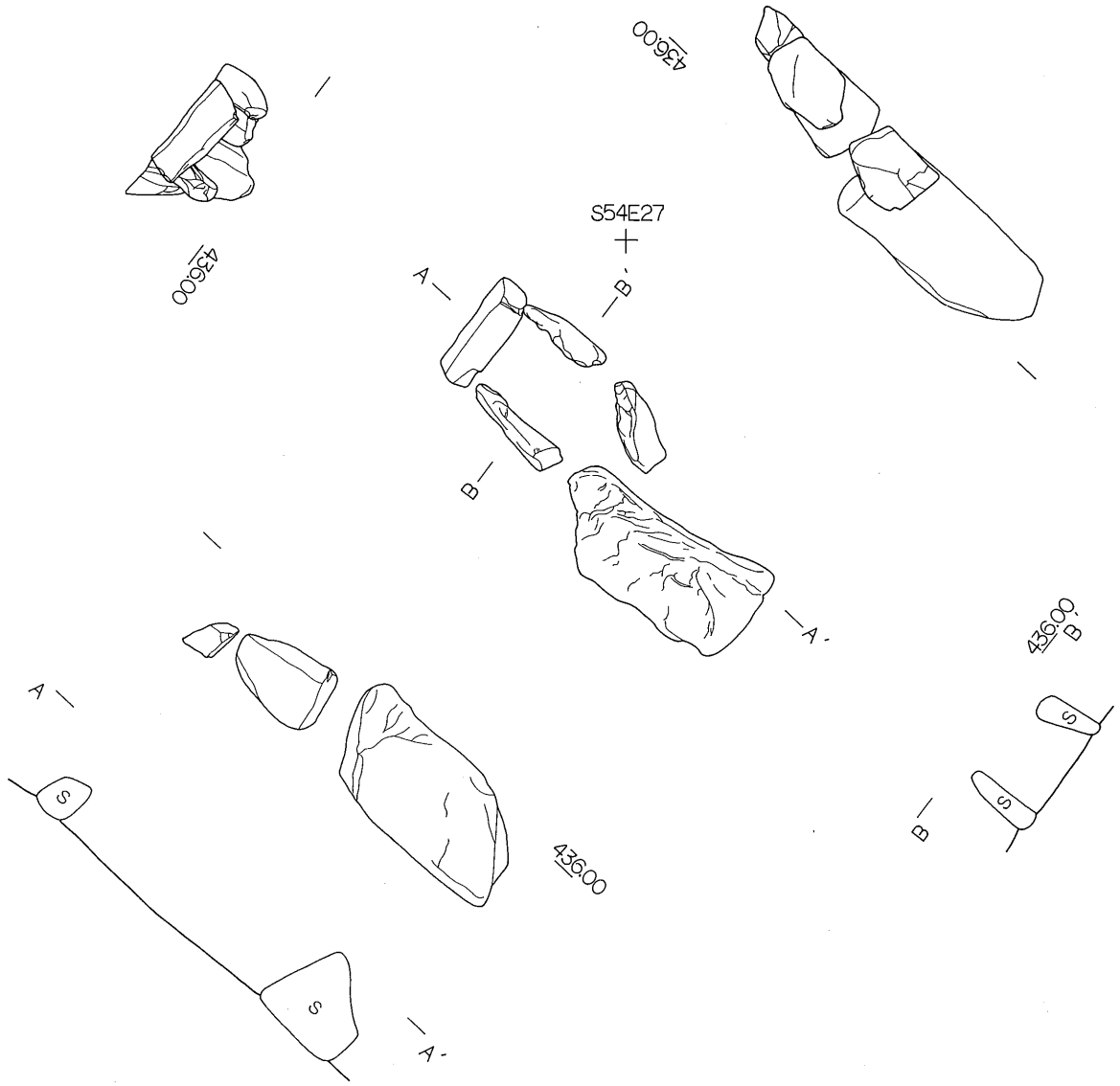
第62図　第1号周溝実測図（1）



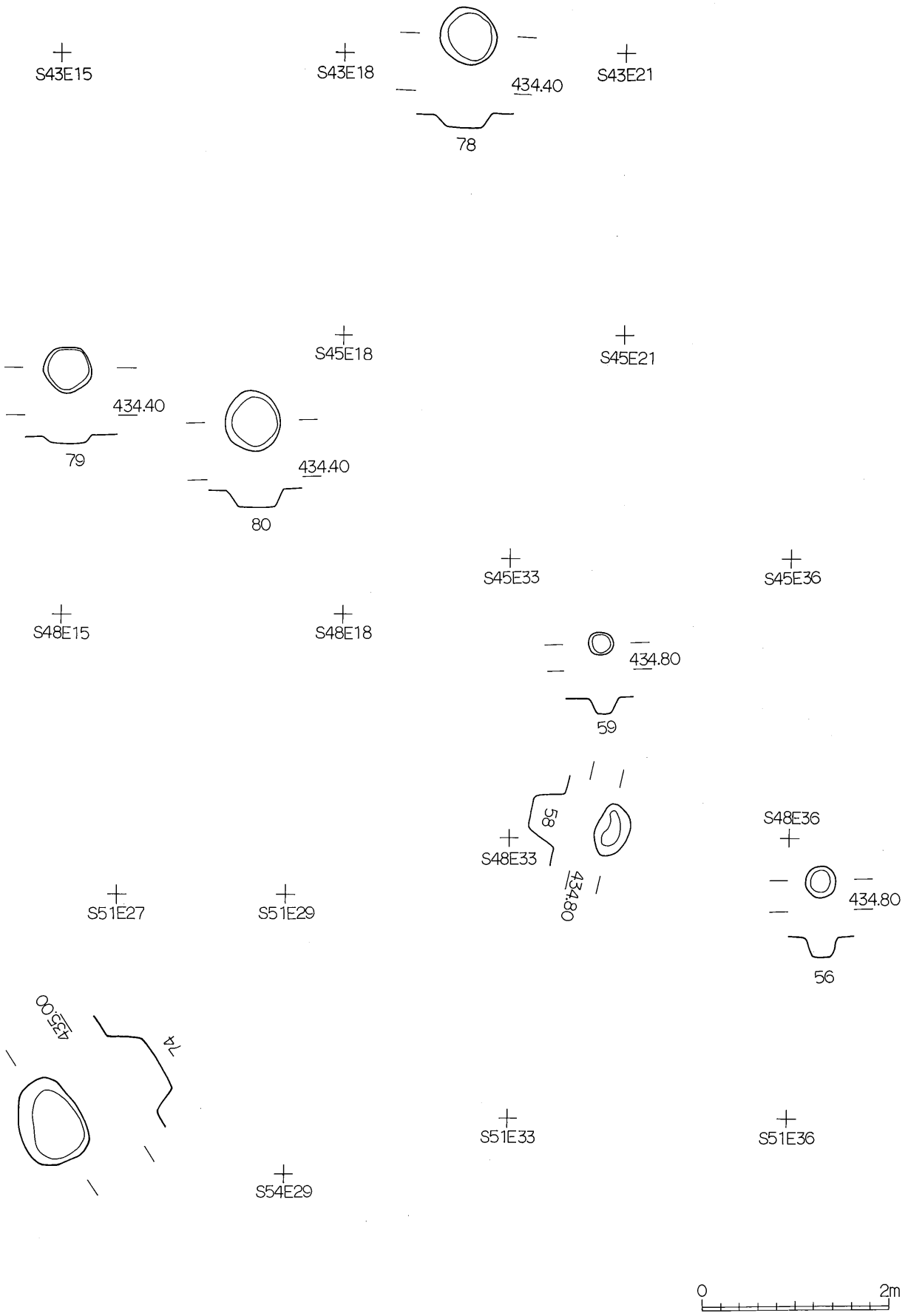
第62図　第1号周溝実測図（2）



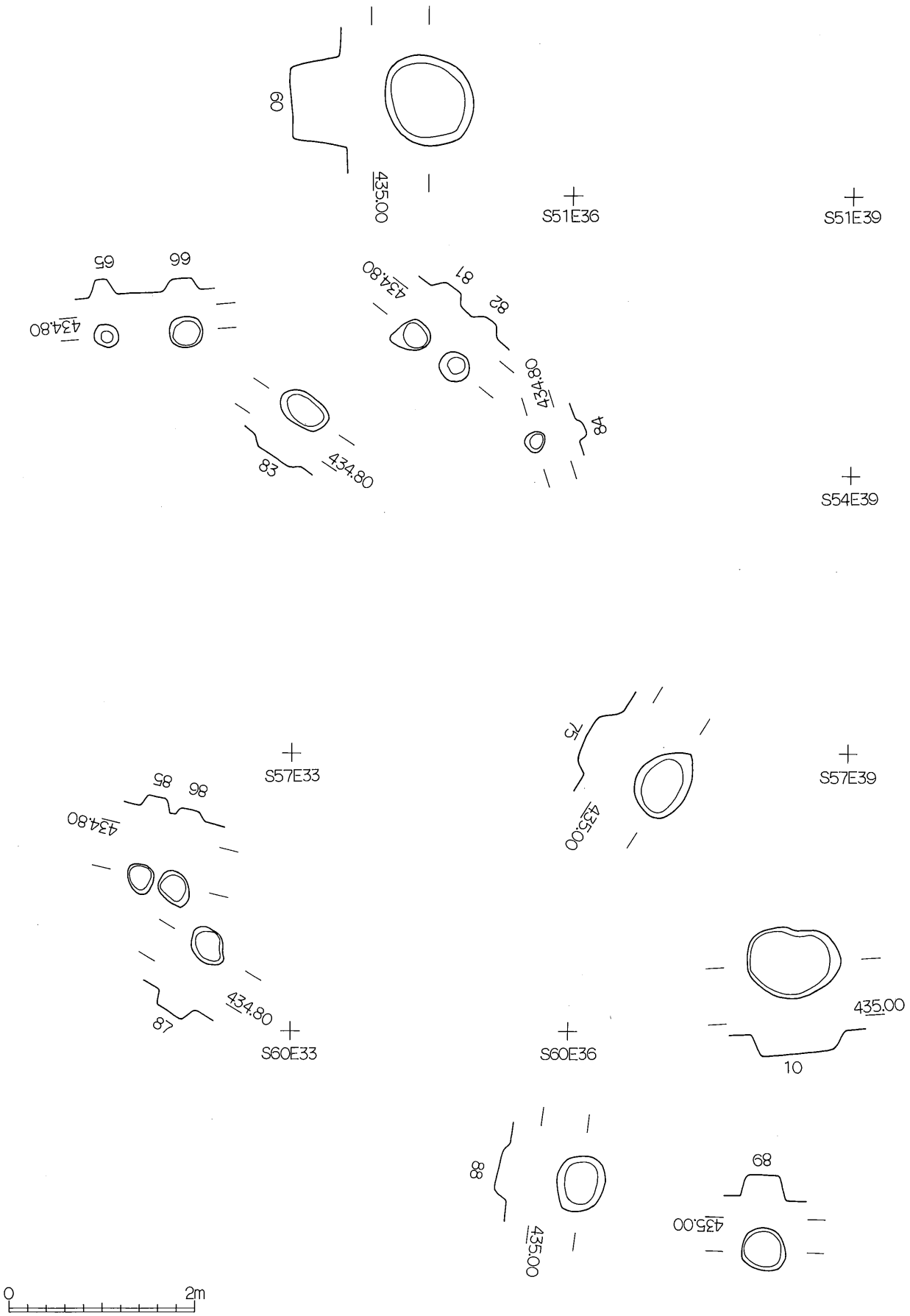
第63図　第1号古墳・トレンチ配置図



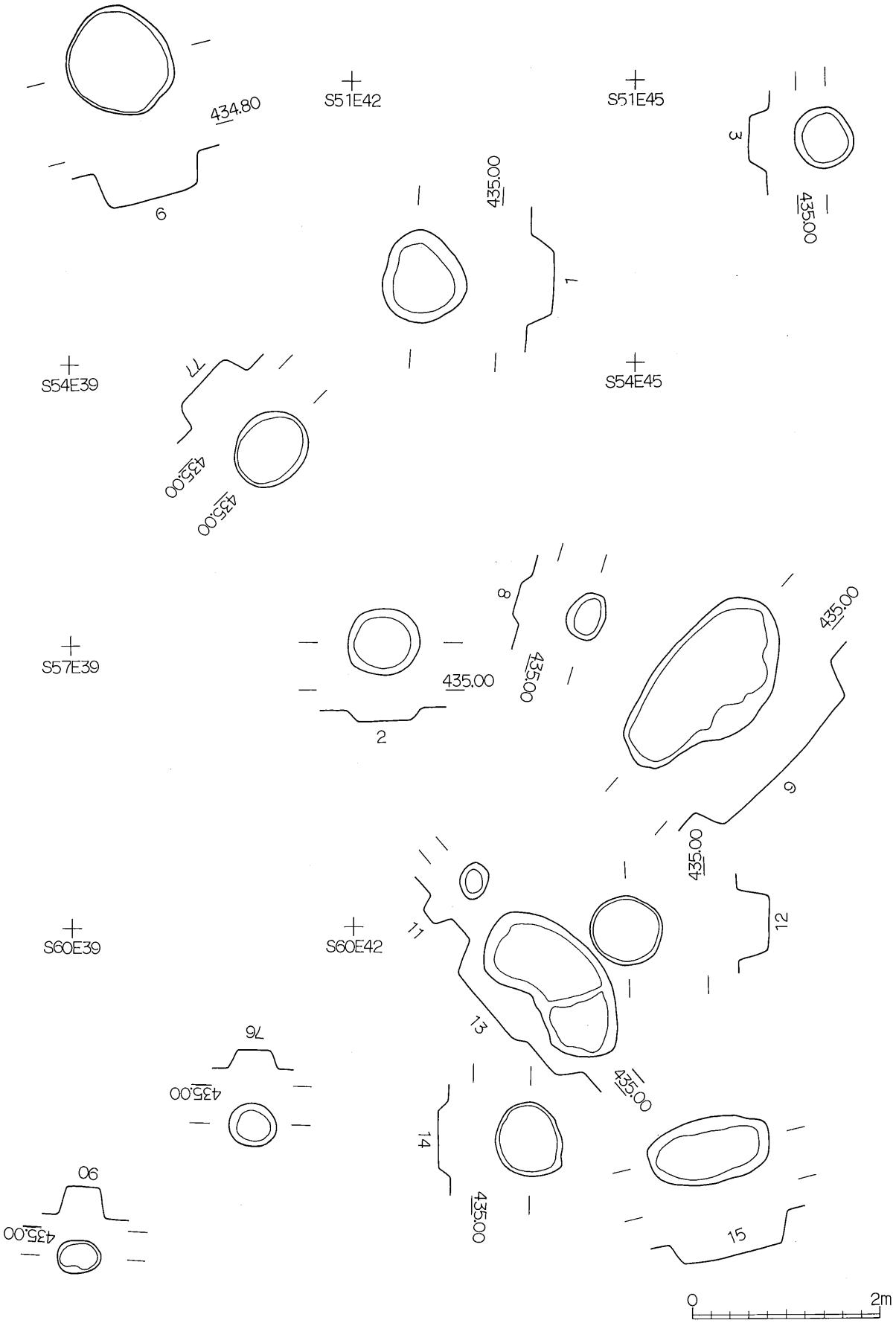
第64図　第1号古墳実測図


S43E15
S43E18
434.40
S43E21
78
S45E18
S45E21
434.40
79
434.40
80
S45E33
S45E36
S48E15
S48E18
434.80
59
58
S48E33
434.80
S48E36
434.80
56
S51E27
S51E29
435.00
74
S51E33
S51E36
S54E29
0
2m

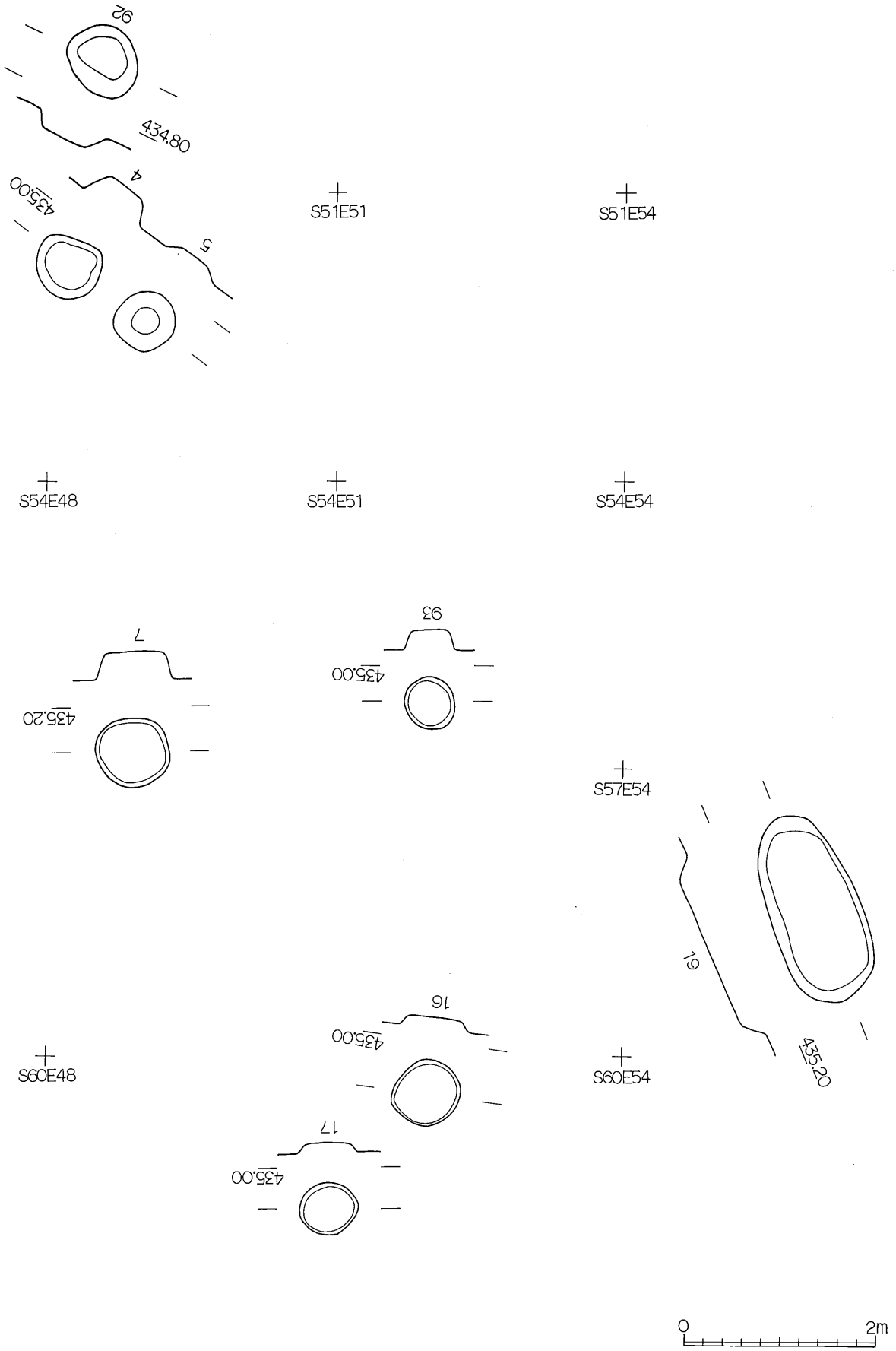
第65図　土壙実測図


S54E39
S51E39
S51E36
S57E39
S57E33
S60E36
S60E33
435.00
434.80
0
2m

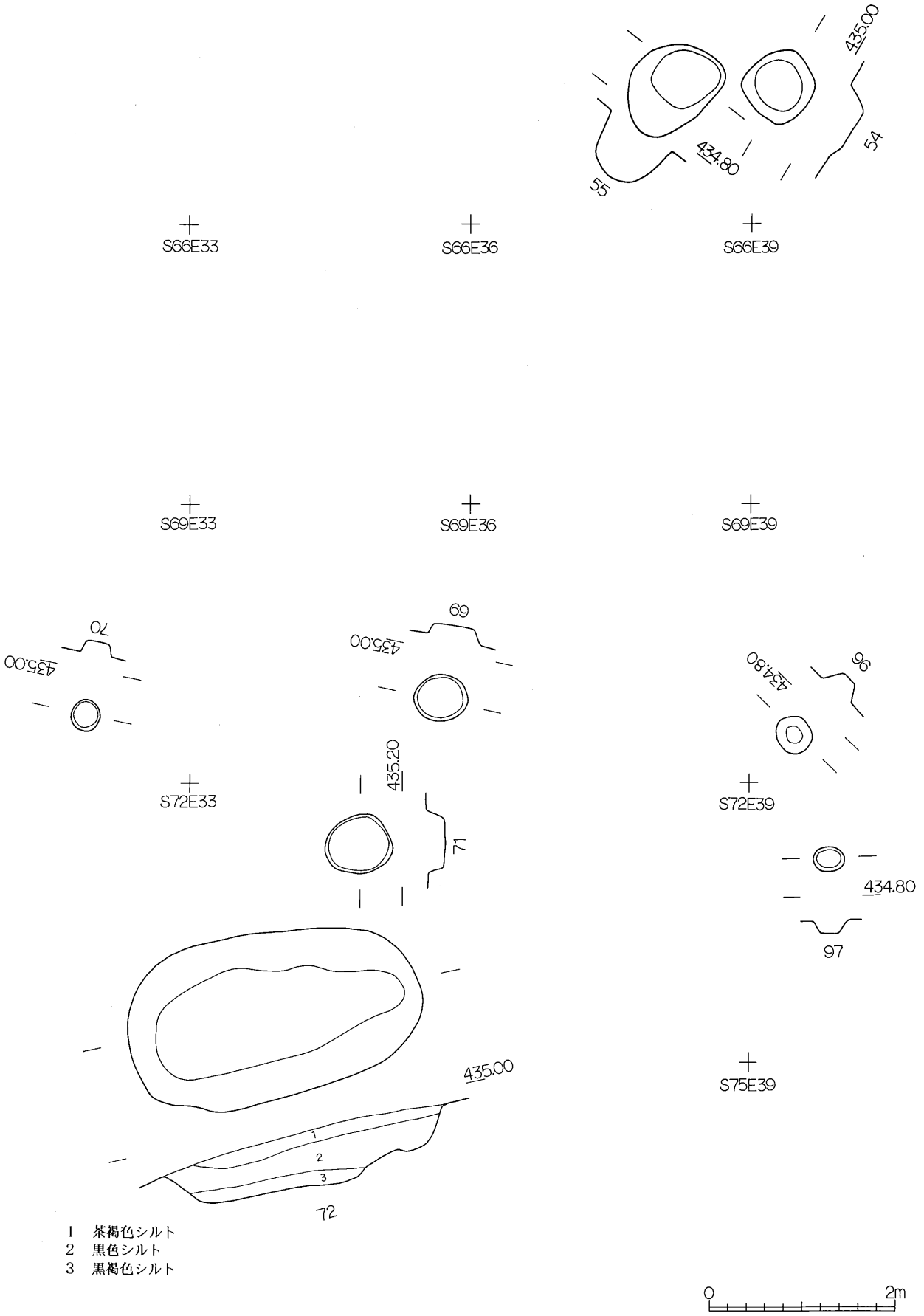
第66図　土壙実測図


S60E39
S60E42
S57E39
S54E39
S54E45
S51E42
S51E45
435.00
434.80
0
2m

第67図　土壙実測図

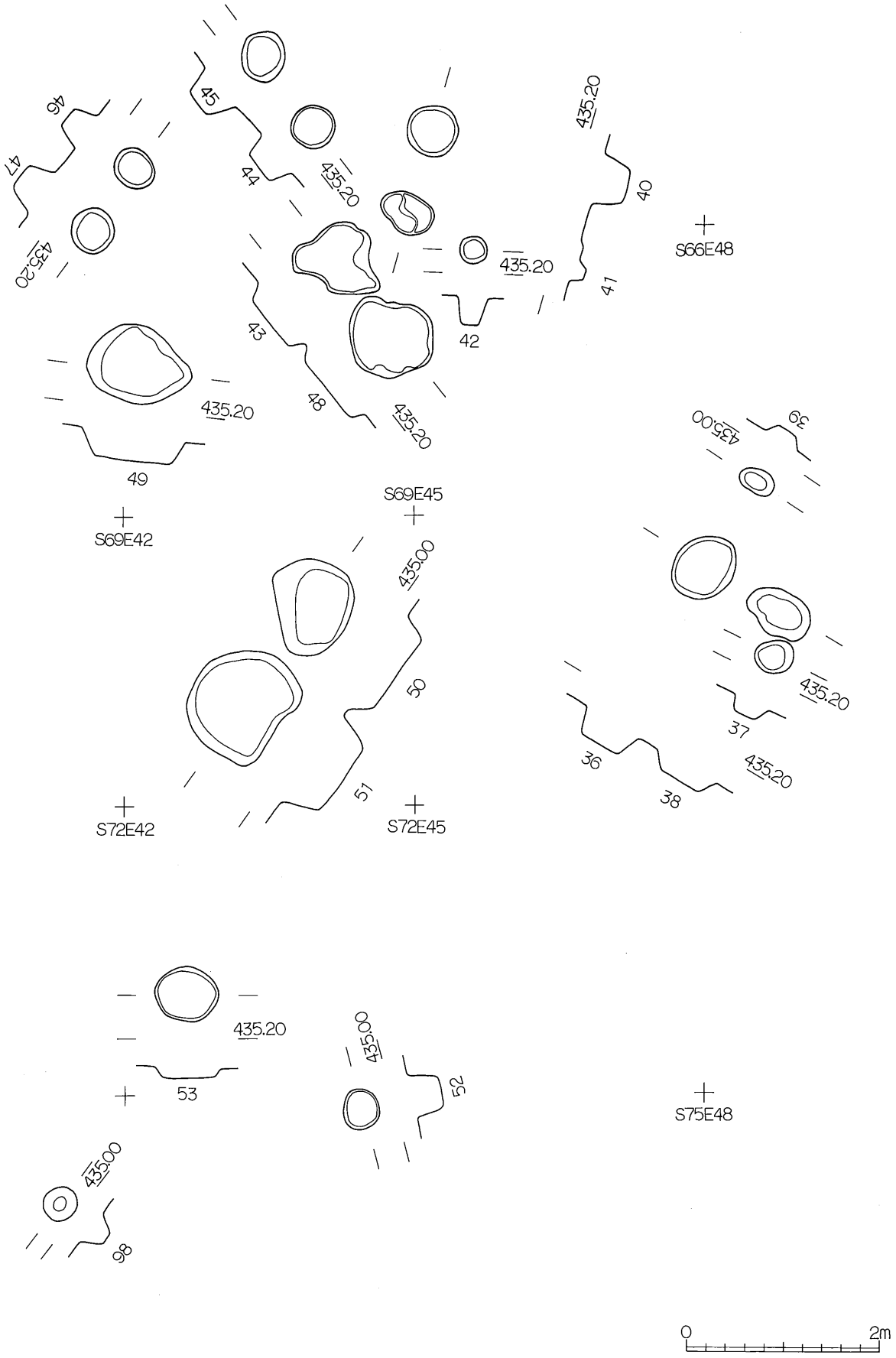

S60E48
S60E54
S57E54
S54E48
S54E51
S54E54
S51E51
S51E54
17
435.00
16
435.00
19
435.20
93
435.00
7
435.20
92
434.80
4
435.00
5
0
2m

第68図　土壙実測図

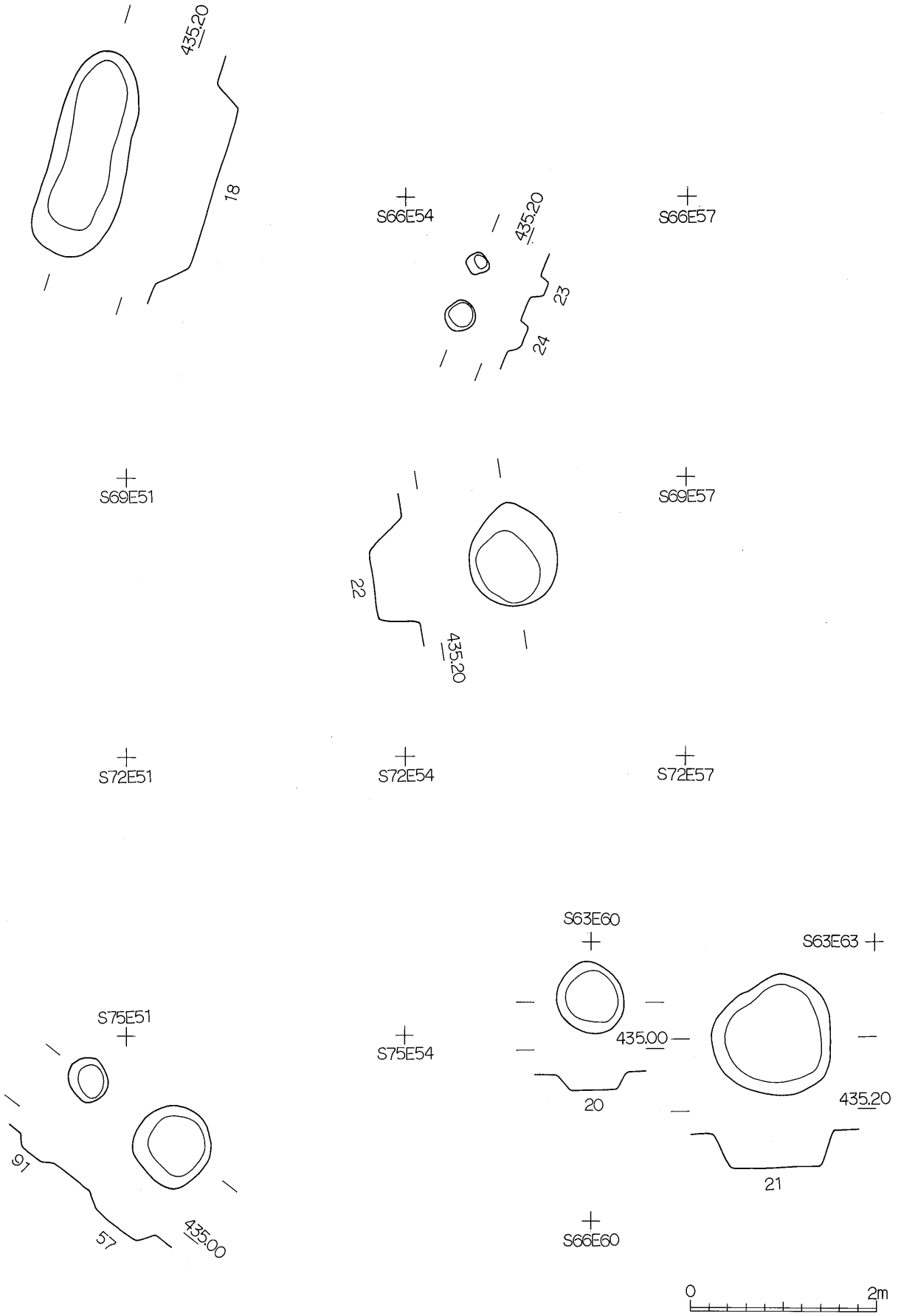


1　茶褐色シルト
2　黒色シルト
3　黒褐色シルト

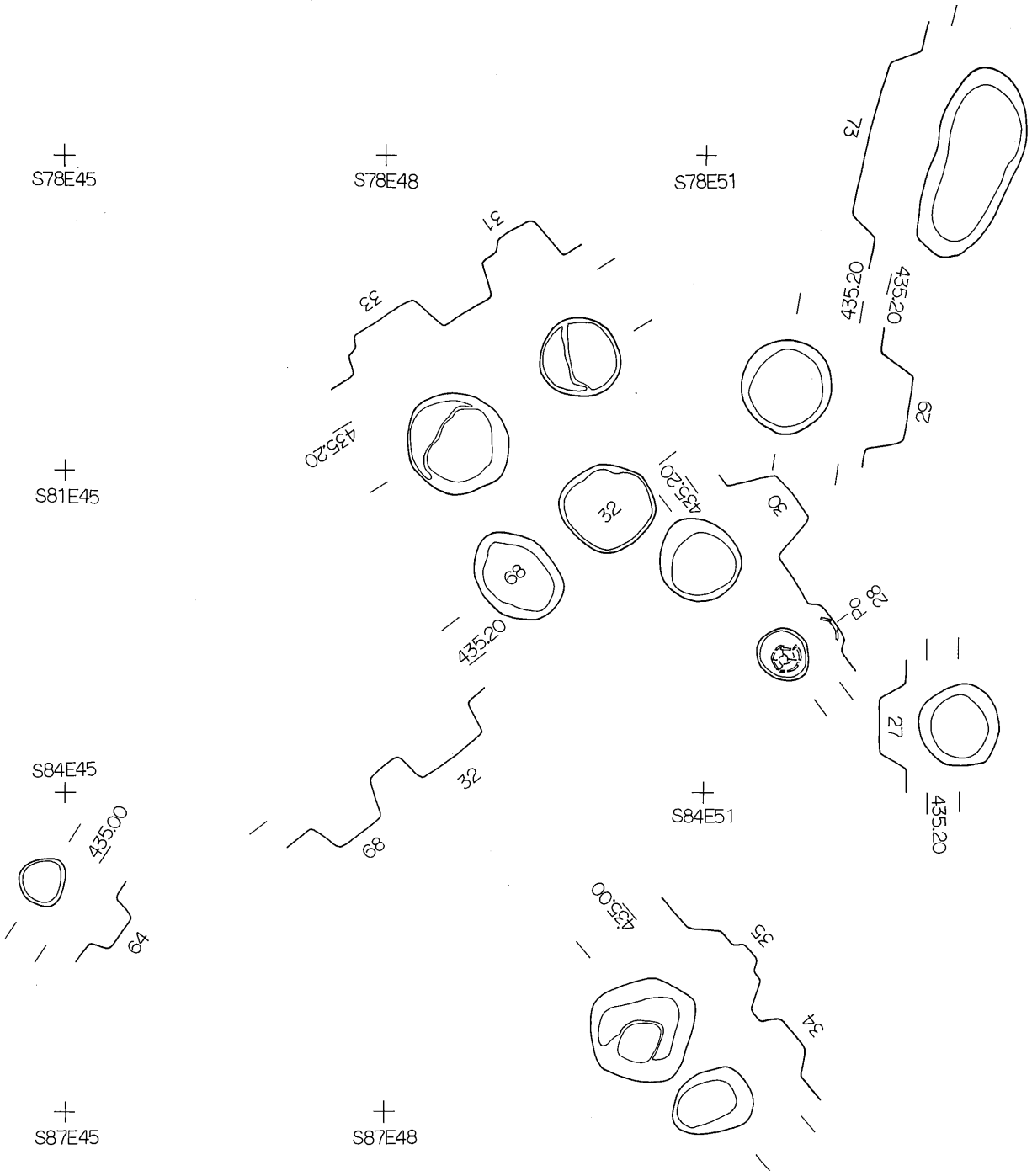
第69図　土壙実測図



第70図　土壙実測図

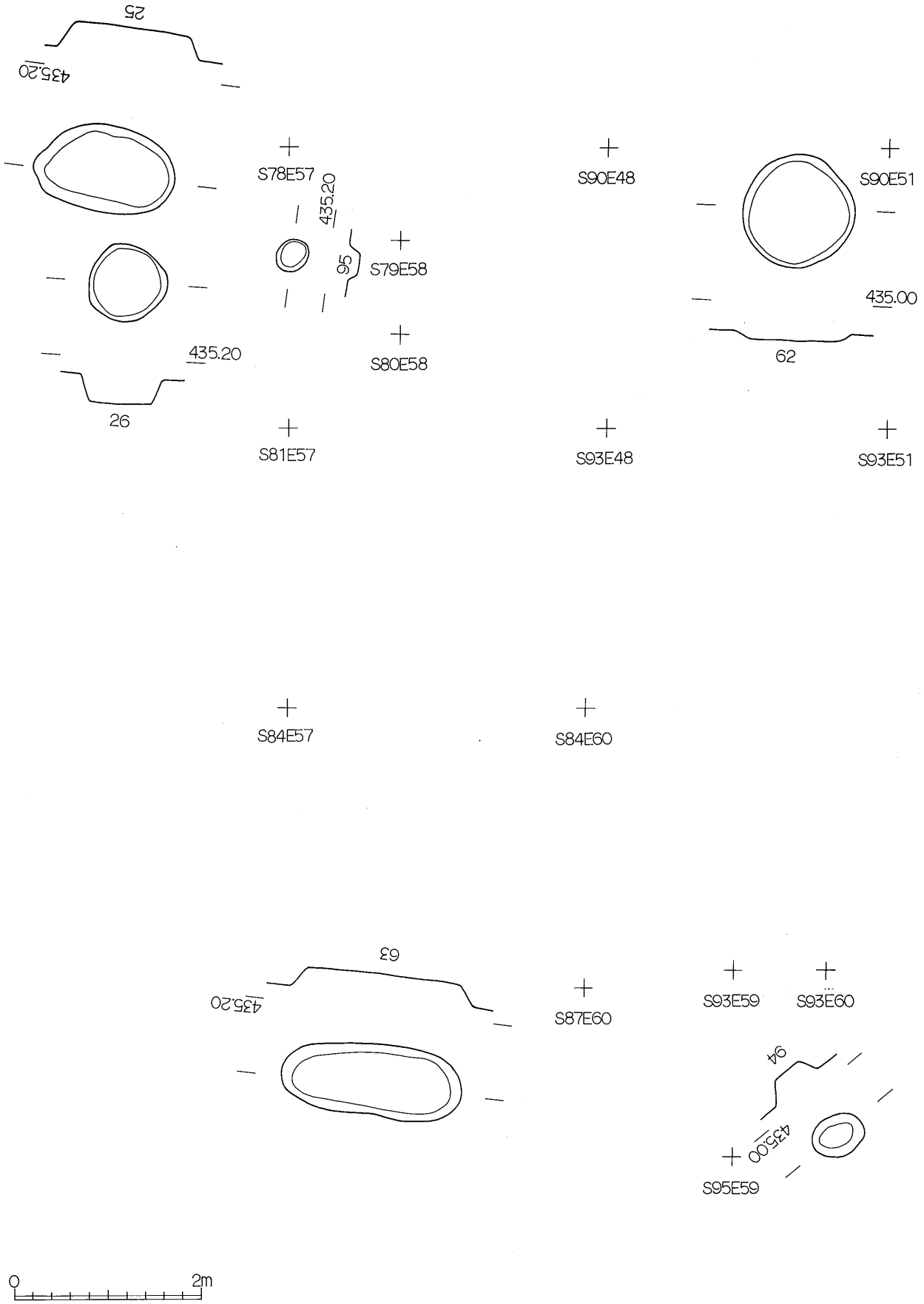

435.20
18
S66E54
435.20
23
24
S66E57
S69E51
S69E57
22
435.20
S72E51
S72E54
S72E57
S63E60
S63E63
S75E51
S75E54
435.00
20
435.20
21
91
57
435.00
S66E60
0
2m

第71図　土壙実測図

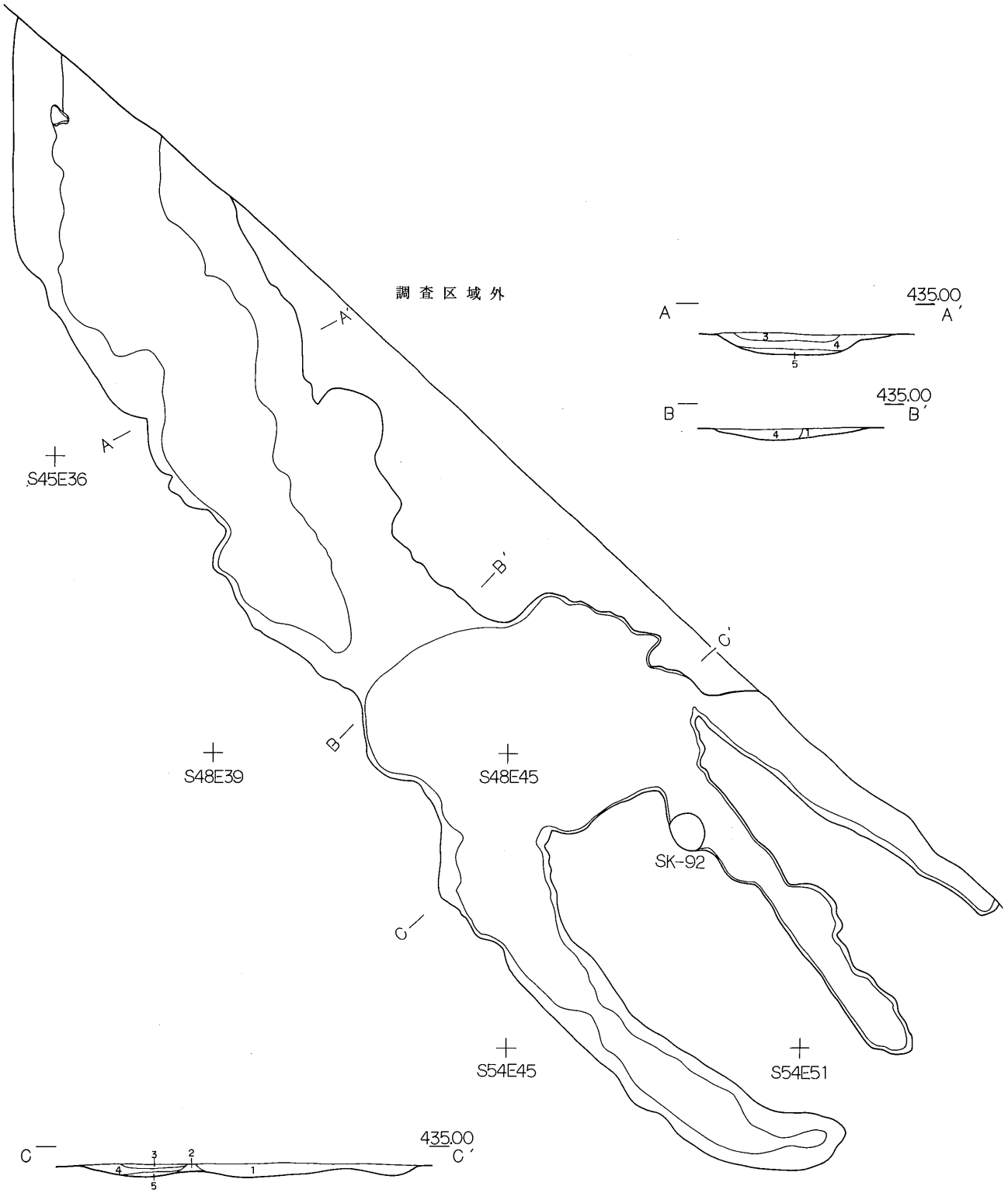


0 2m

第72図　土壙実測図


S95E59
435.00
94
S93E59
S93E60
S87E60
435.20
63
S84E57
S84E60
S81E57
S93E48
S93E51
26
435.20
S80E58
S79E58
95
435.20
S78E57
S90E48
S90E51
62
435.00
435.20
25
0
2m

第73図　土壙実測図

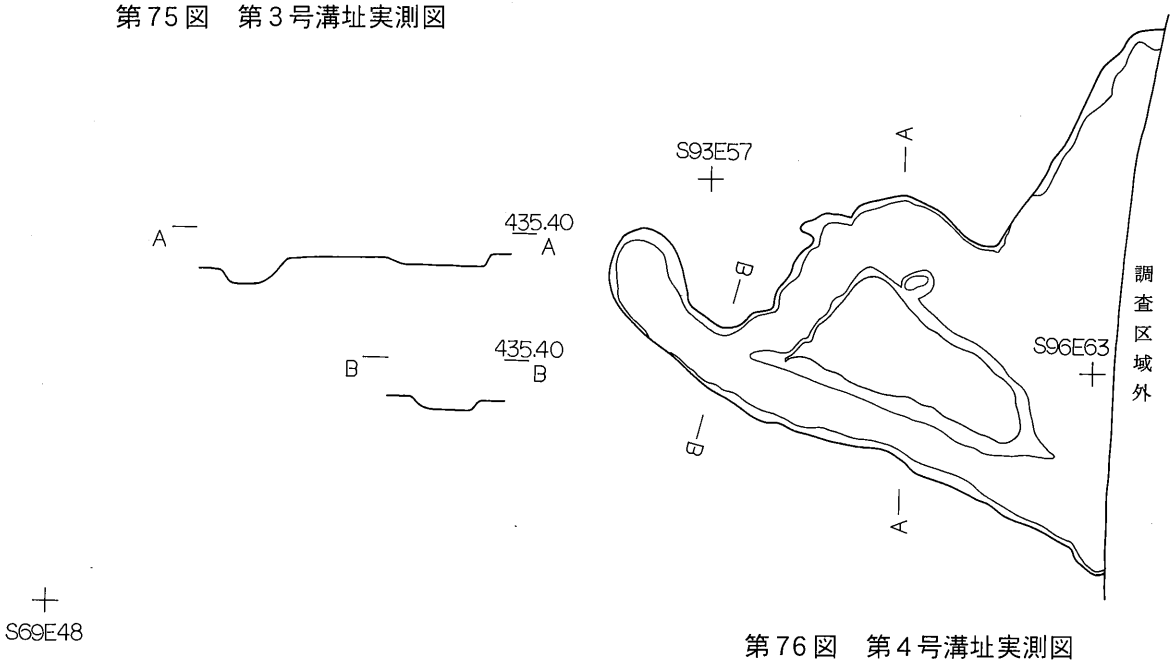


1　茶褐色シルト
2　暗黄色砂質土
3　黒色粘質土
4　黒褐色シルト
5　黒褐色シルト（小礫を含む）

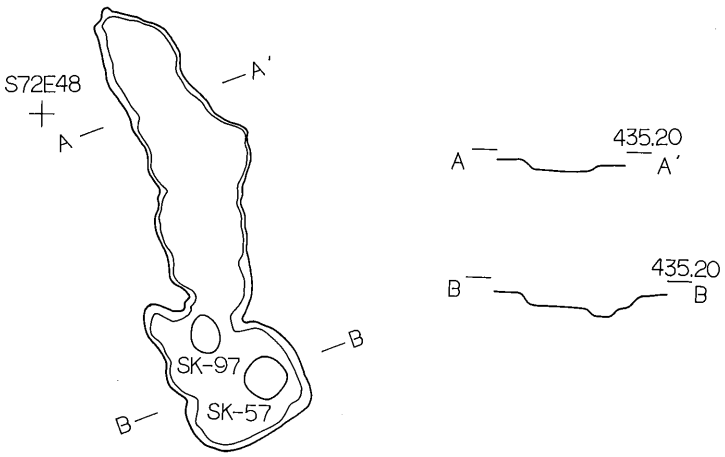
0　4m

第74図　第1号溝址実測図

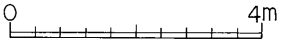
第75図　第3号溝址実測図



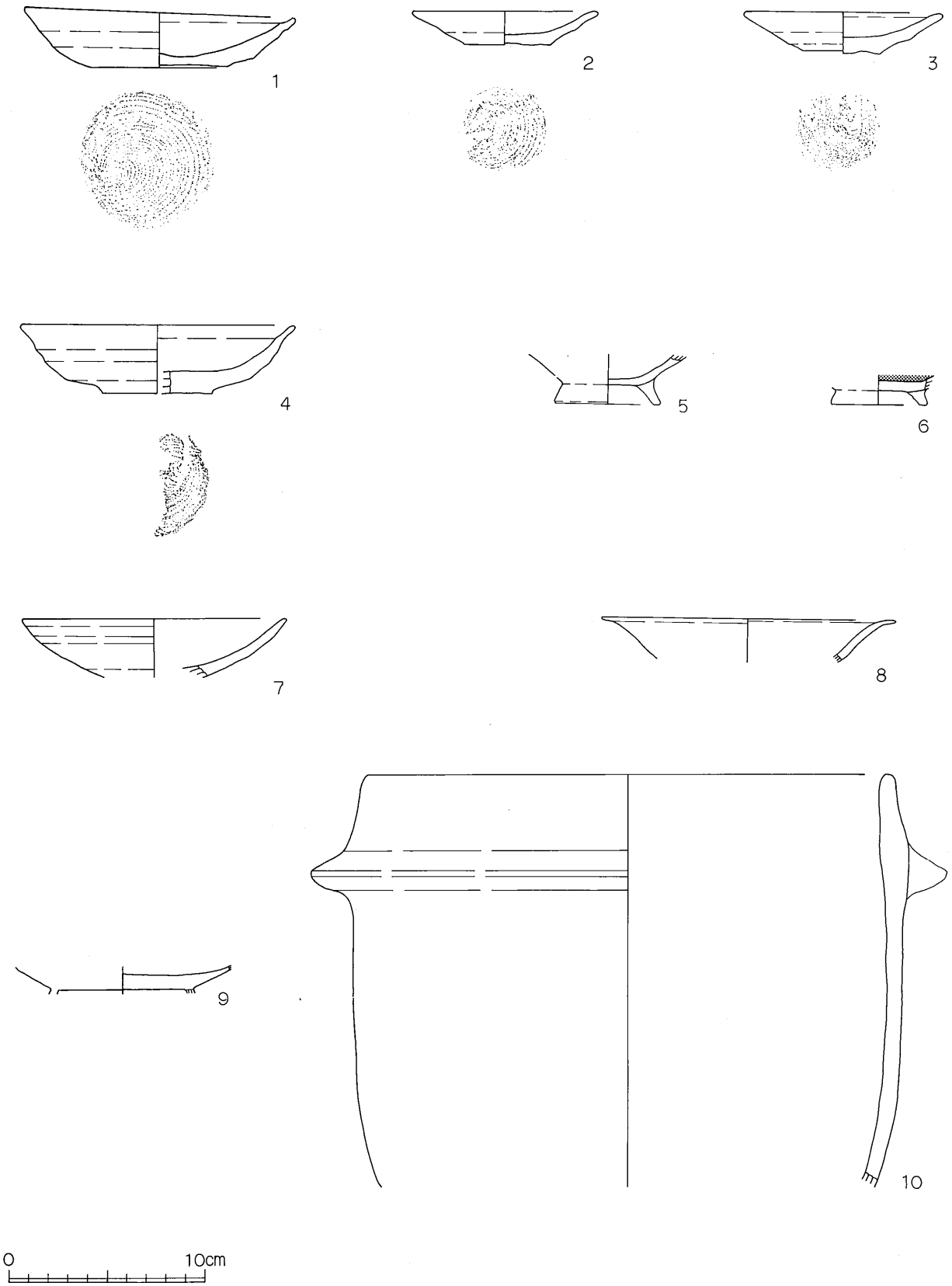
第76図　第4号溝址実測図



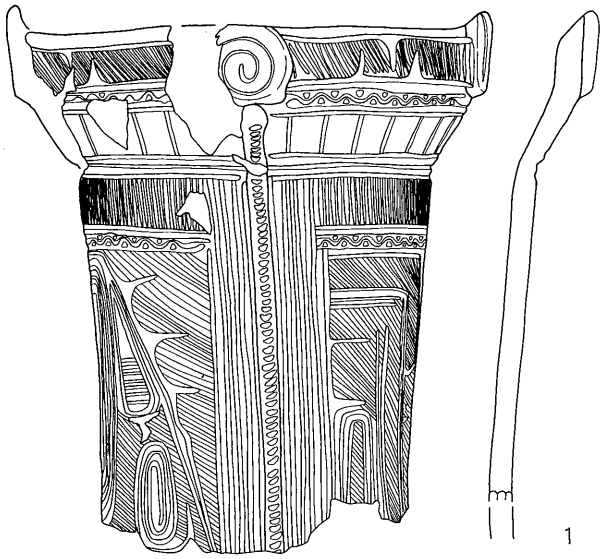
第77図　第5号溝址実測図



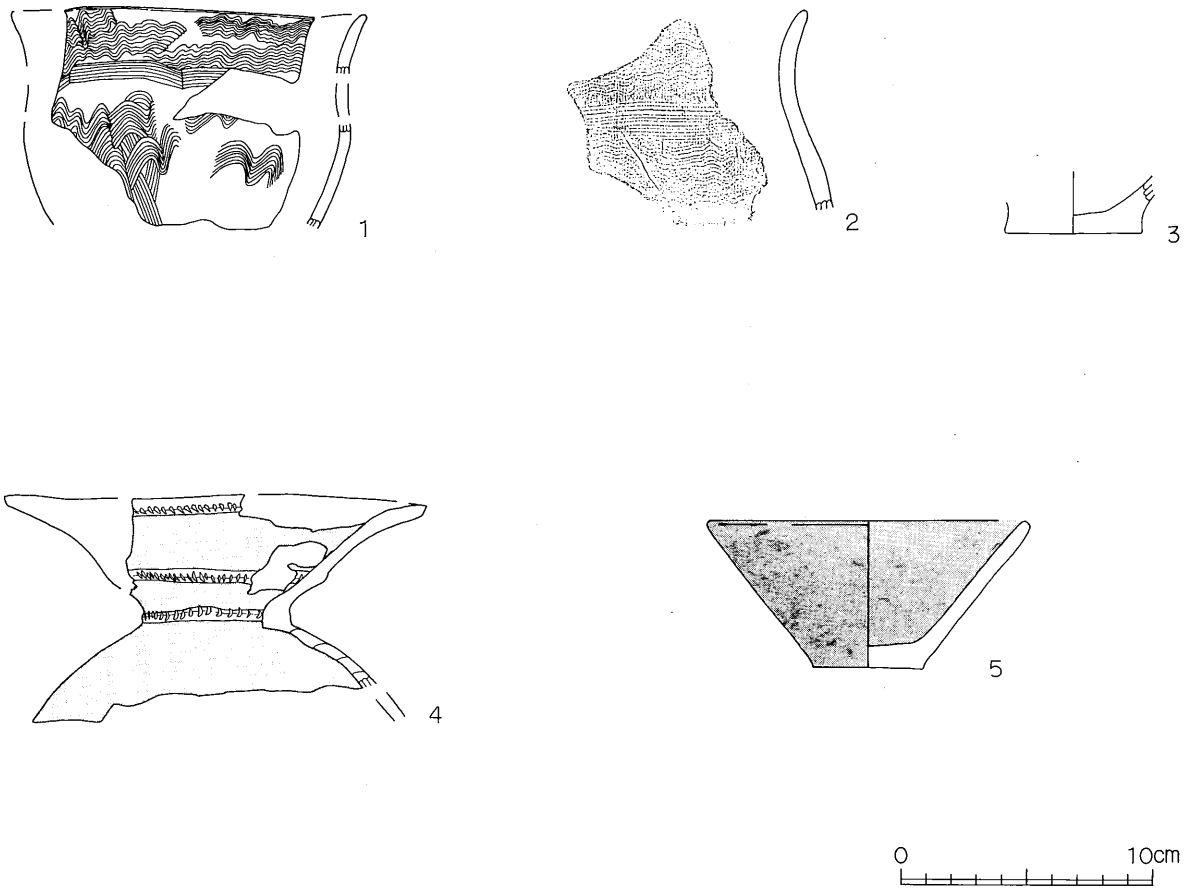
遺　物　Ⅰ区



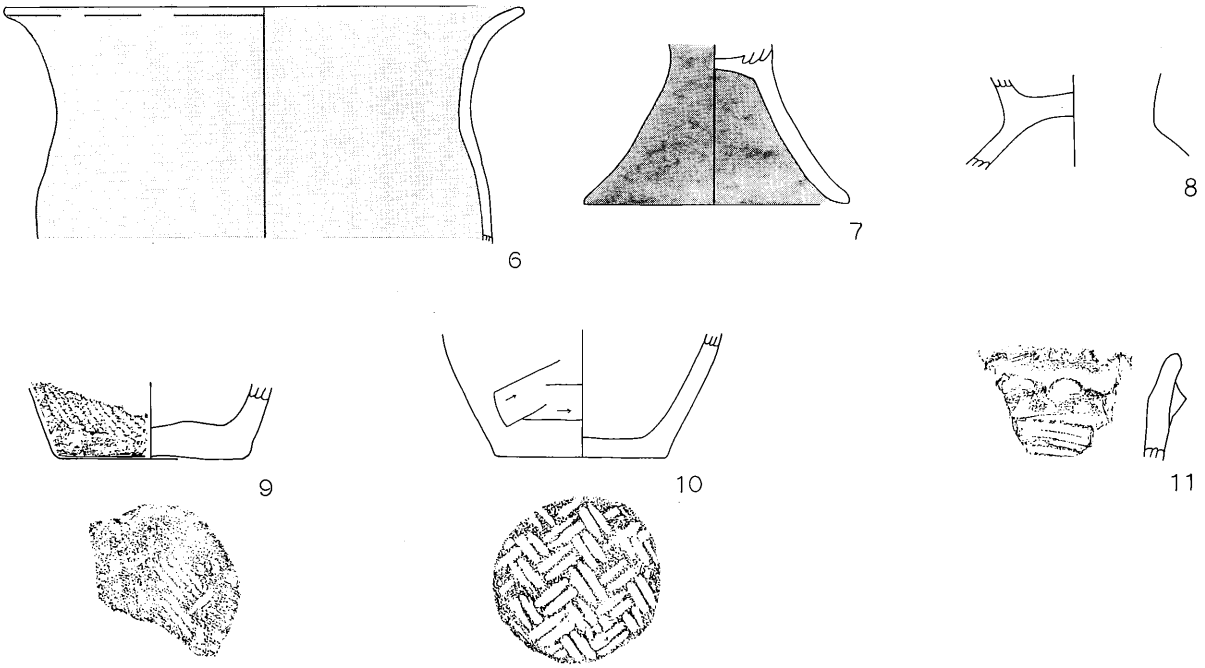
第78図　第1号住居址出土遺物実測図



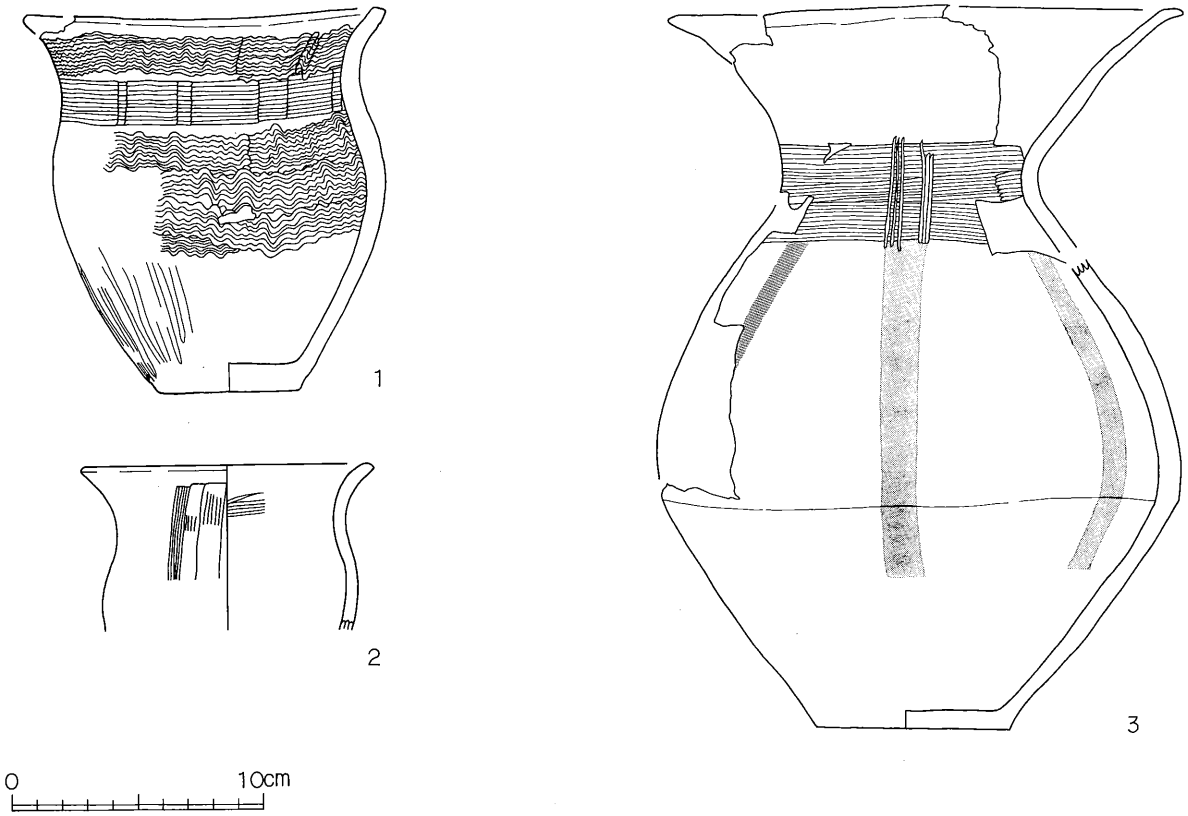
第79図　第2号住居址出土遺物実測図



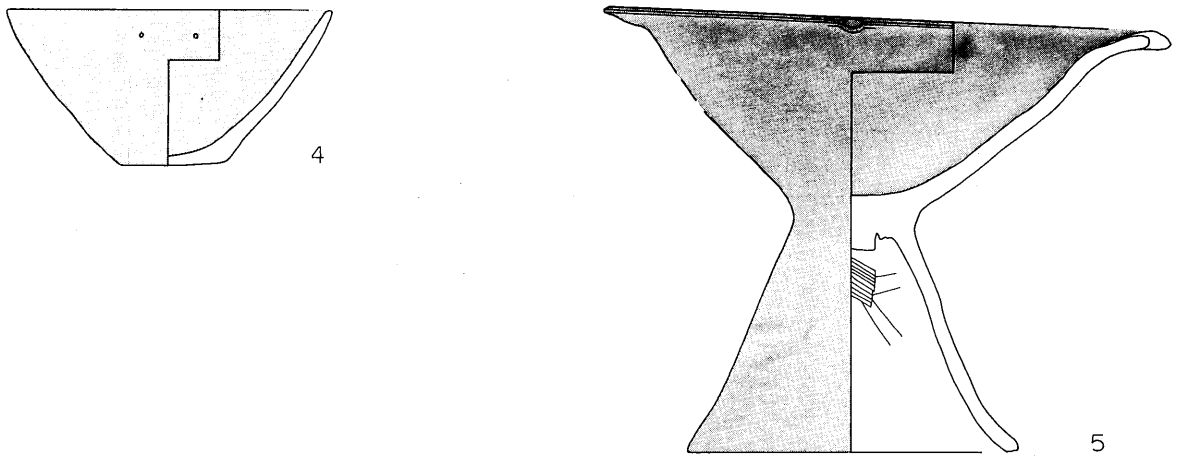
第80図　第1号周溝墓出土遺物実測図



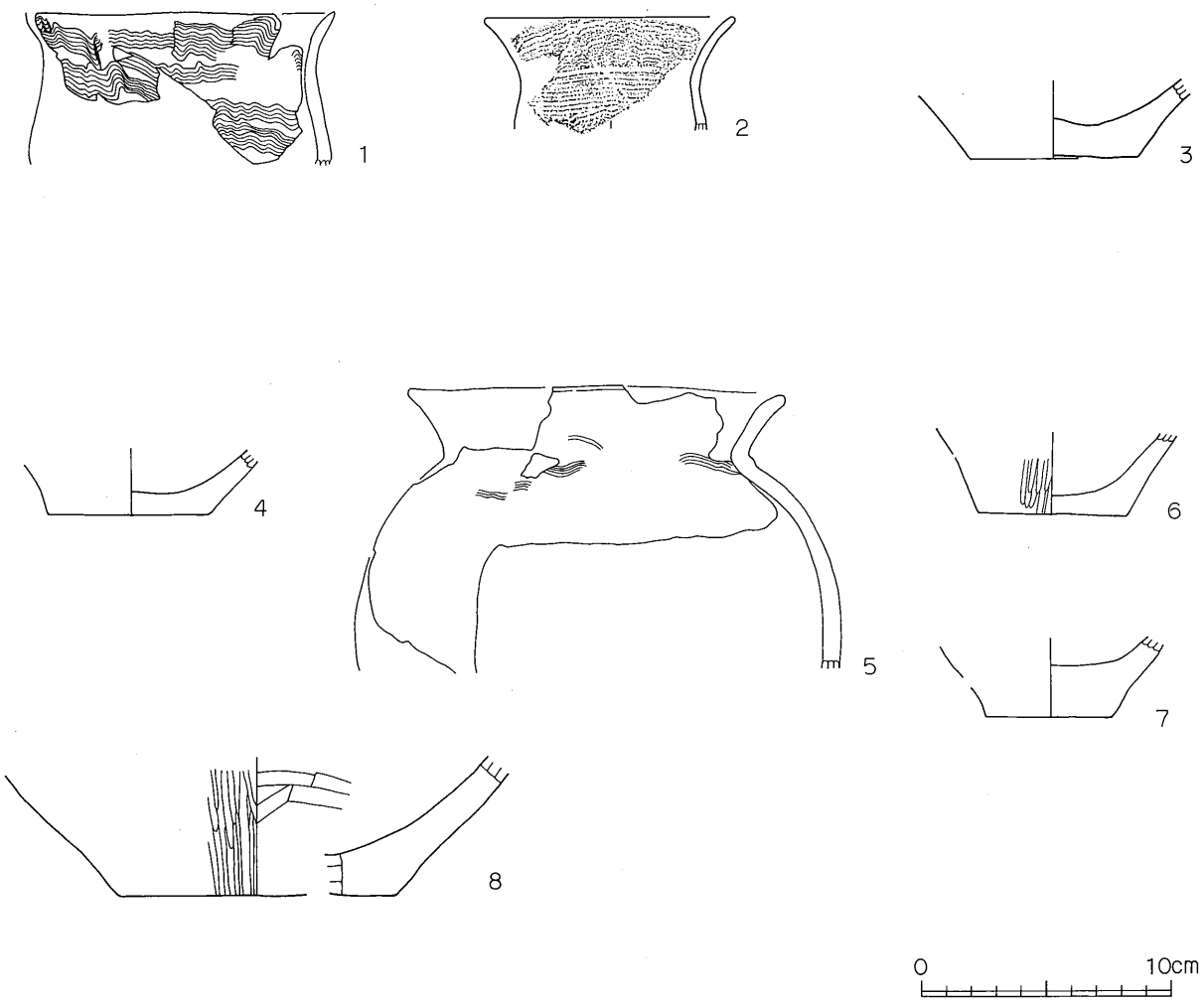
第80図　第1号周溝墓出土遺物実測図



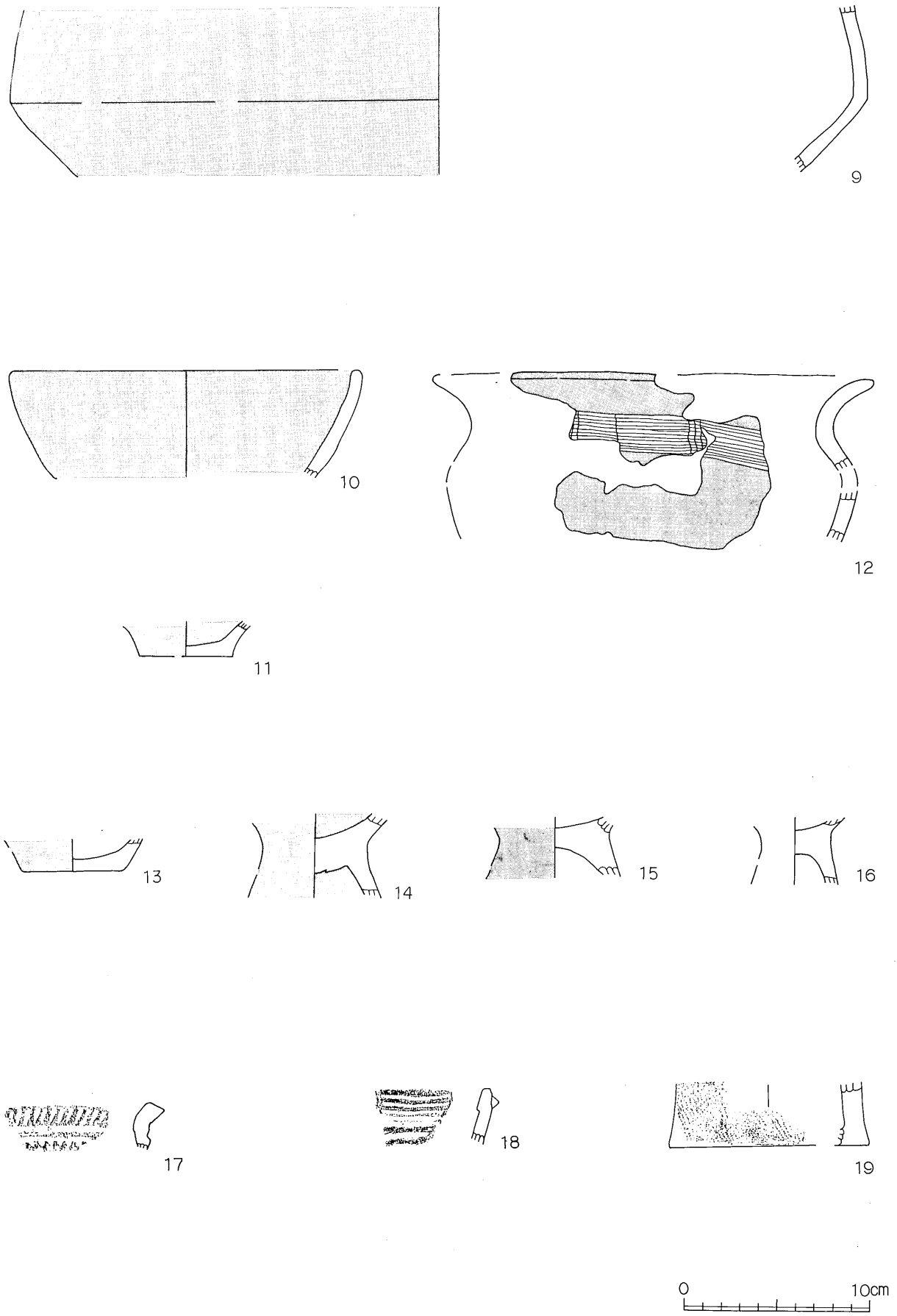
第81図　第1号周溝墓主体部出土遺物実測図



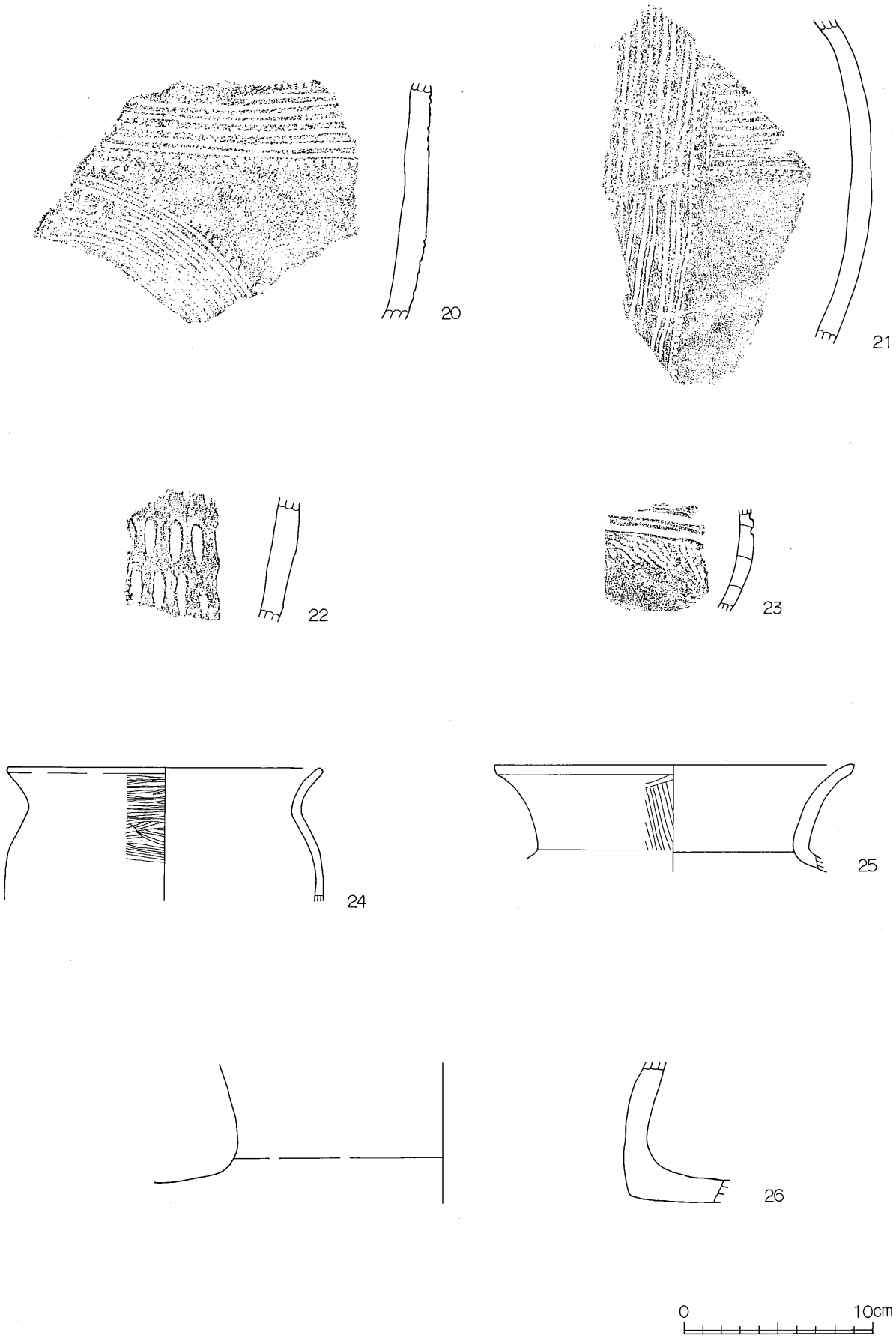
第81図　第1号周溝墓主体部出土遺物実測図



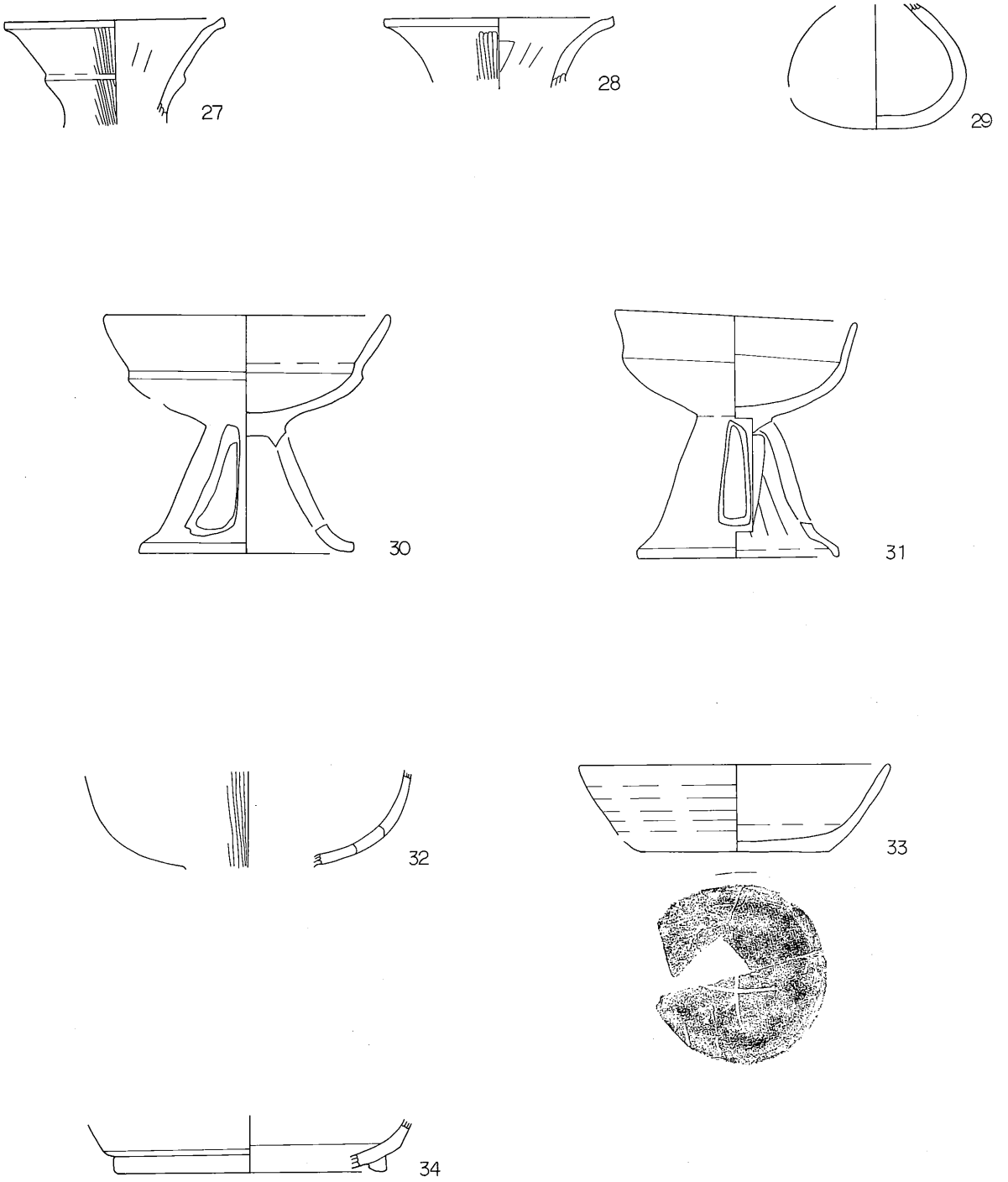
第82図　第2号周溝墓出土遺物実測図



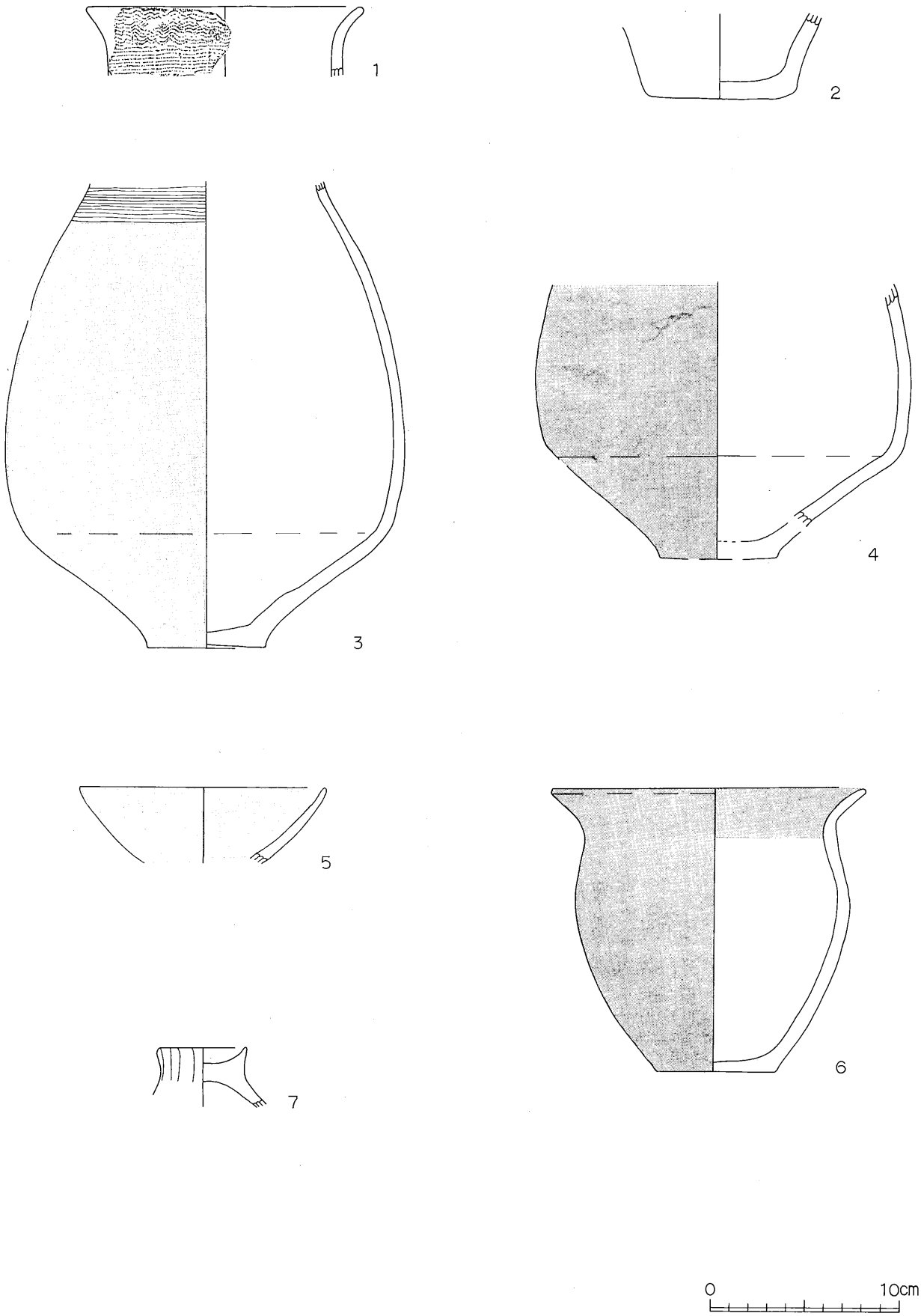
第82図　第2号周溝墓出土遺物実測図



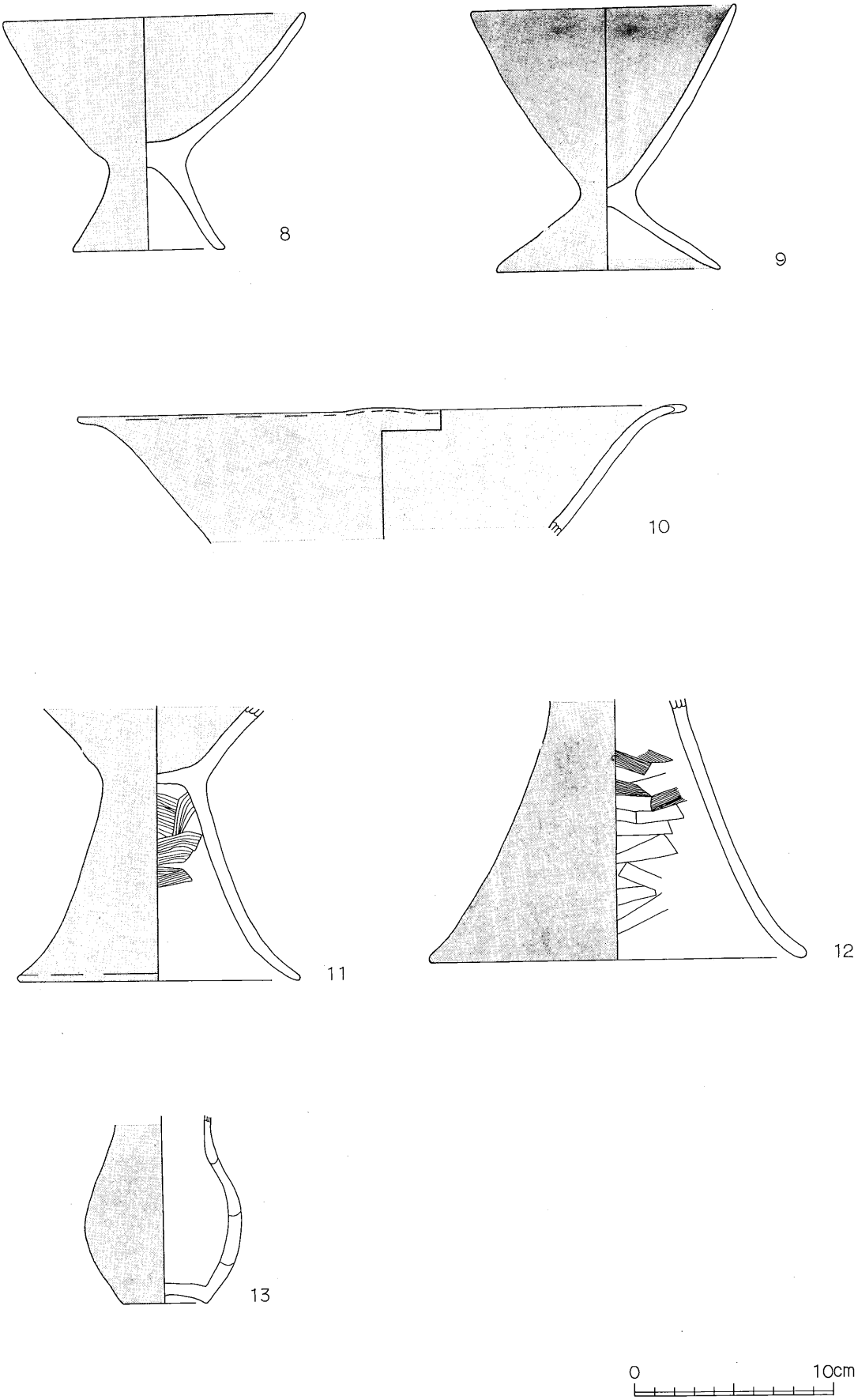
第82図　第2号周溝墓出土遺物実測図



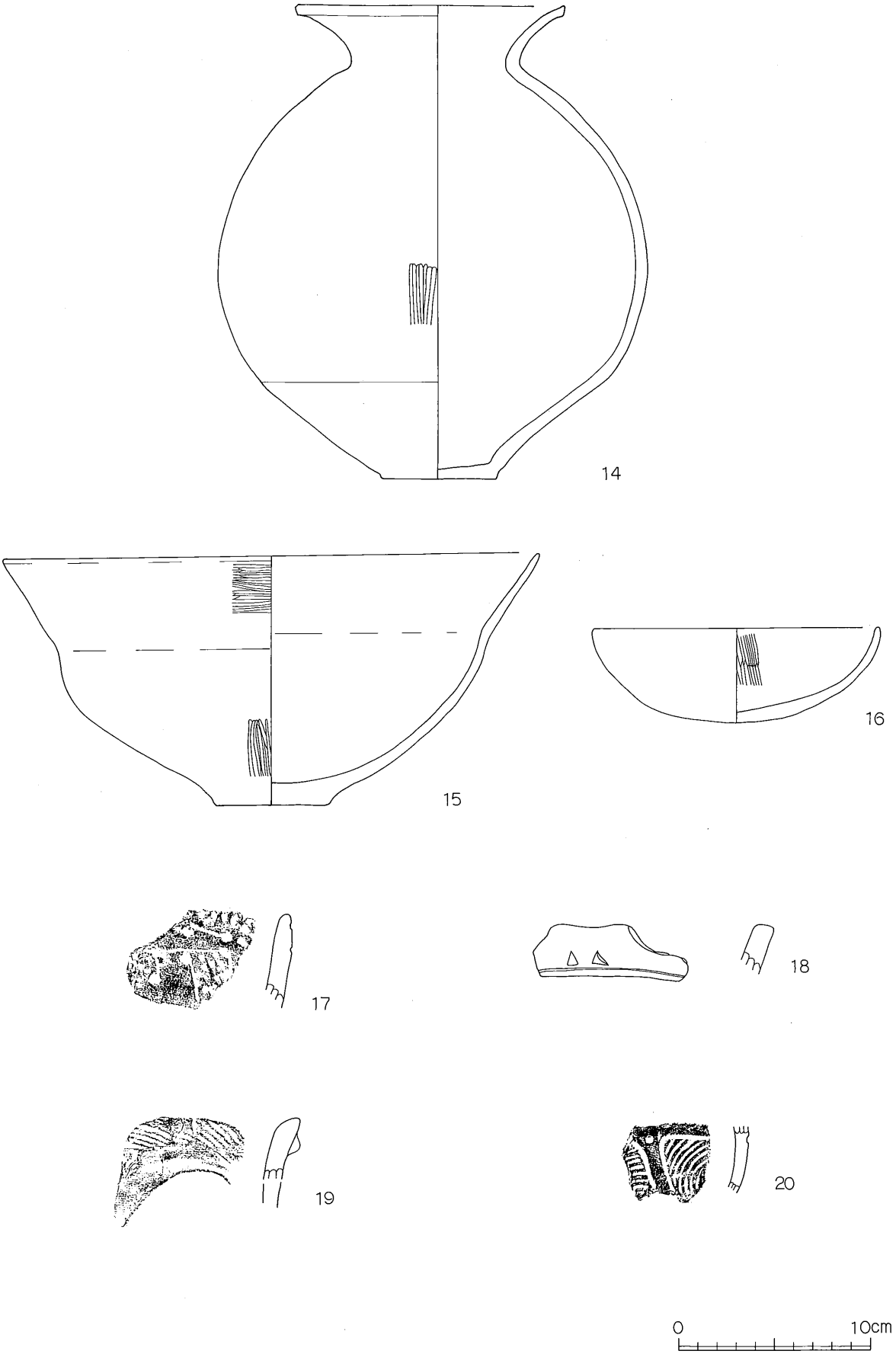
第82図　第2号周溝墓出土遺物実測図



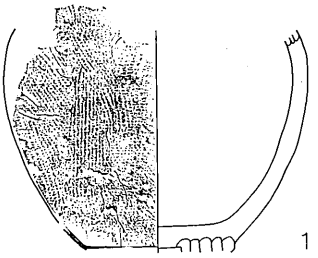
第83図　第3号周溝墓出土遺物実測図

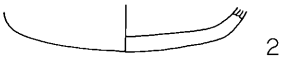


第83図　第3号周溝墓出土遺物実測図

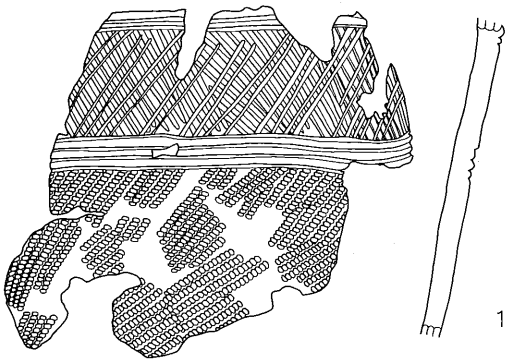


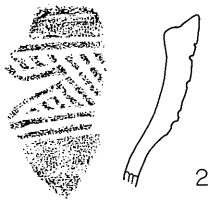
第83図　第3号周溝墓出土遺物実測図





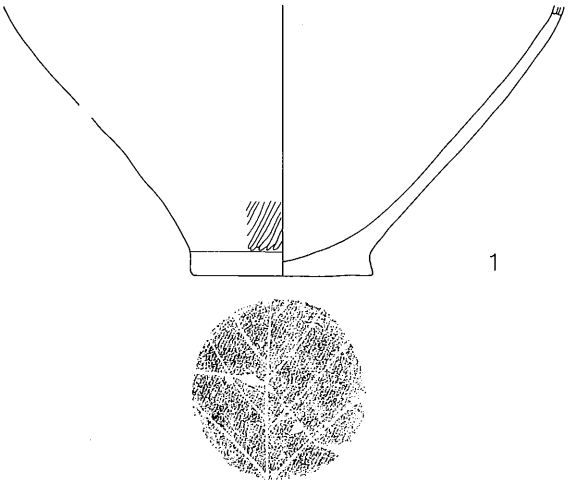
第84図　第1号周溝出土遺物実測図

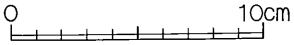




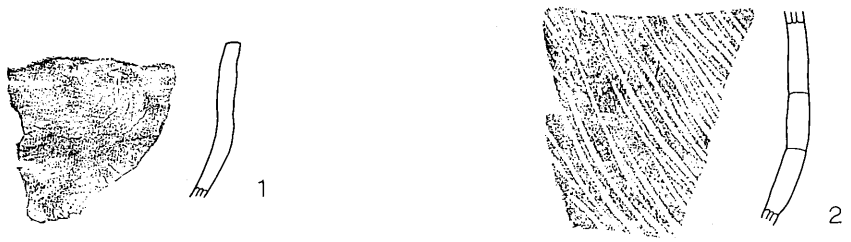
第85図　第6号土壙出土遺物実測図

第86図　第8号土壙出土遺物実測図



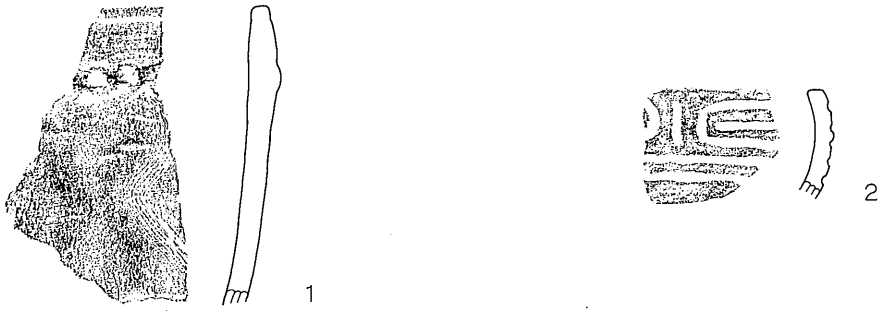


第87図　第9号土壙出土遺物実測図

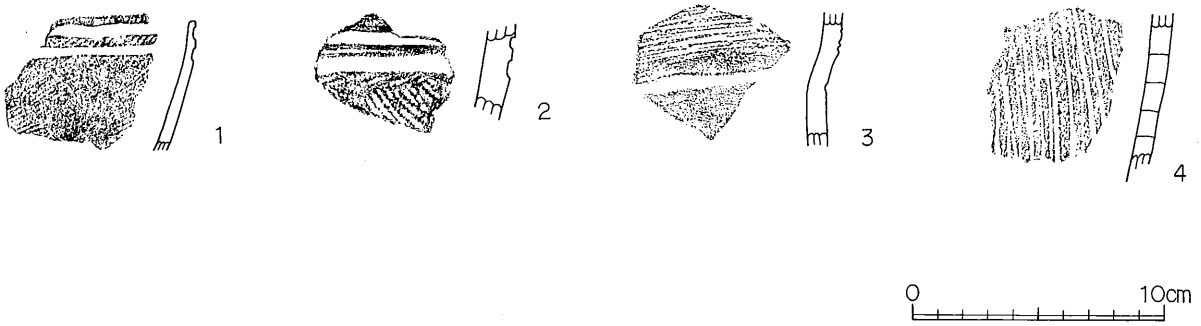


第88図　第13号土壙出土遺物実測図

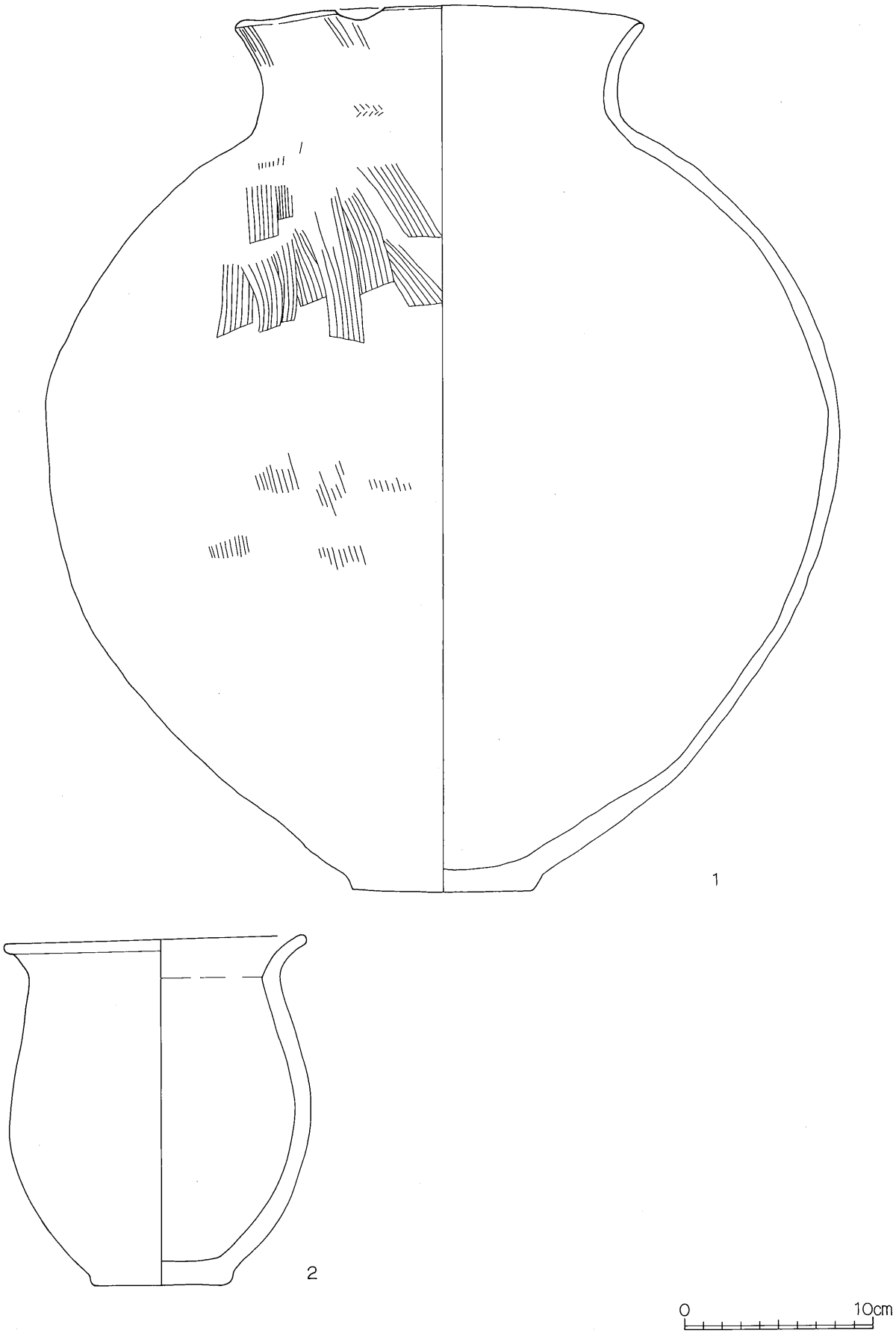
第89図　第14号土壙出土遺物実測図



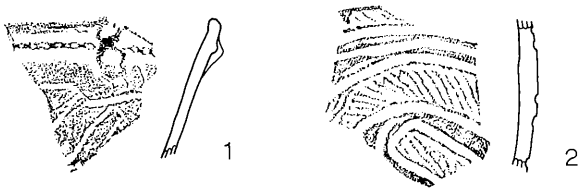
第90図　第19号土壙出土遺物実測図



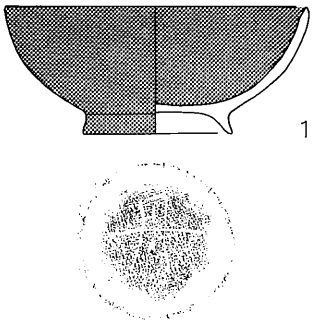
第91図　第20号土壙出土遺物実測図



第92図　第27号土壙出土遺物実測図

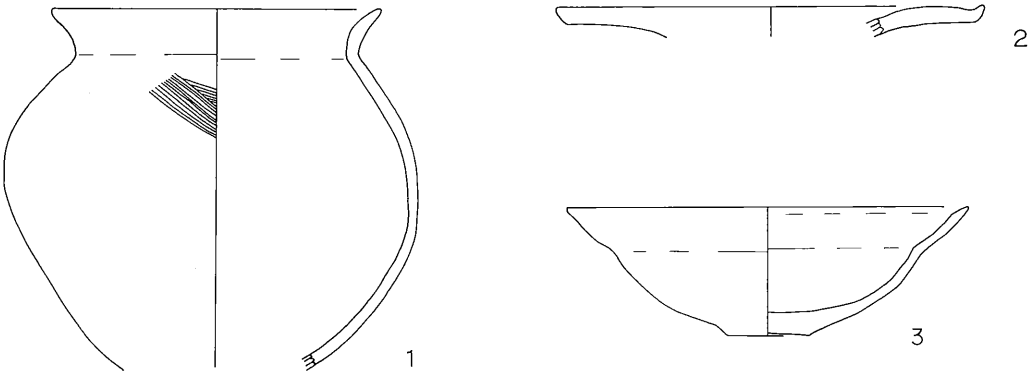


第93図　第31号土壙出土遺物実測図

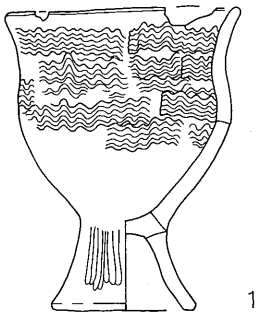


第94図　第32号土壙出土遺物実測図

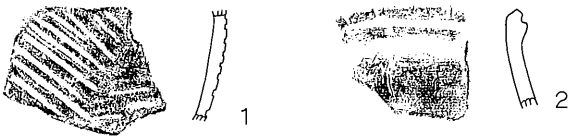
第95図　第33号土壙出土遺物実測図



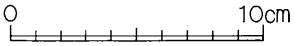
第96図　第34号土壙出土遺物実測図



第97図　第36号土壙出土遺物実測図

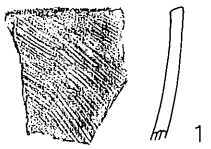


第98図　第37号土壙出土遺物実測図

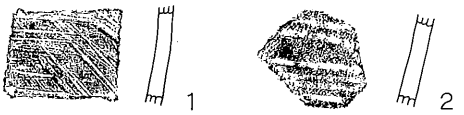


1

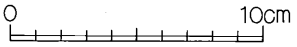
第99図　第50号土壙出土遺物実測図



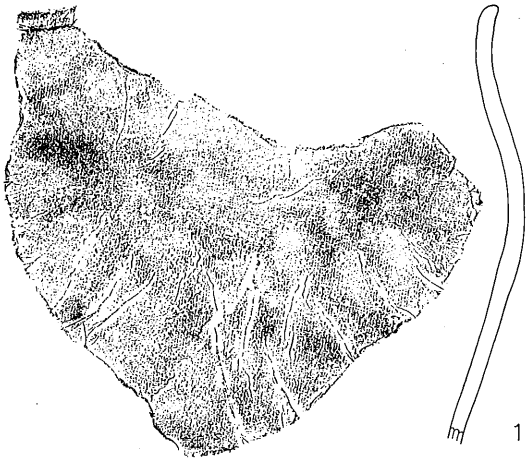
第100図　第51号土壙出土遺物実測図



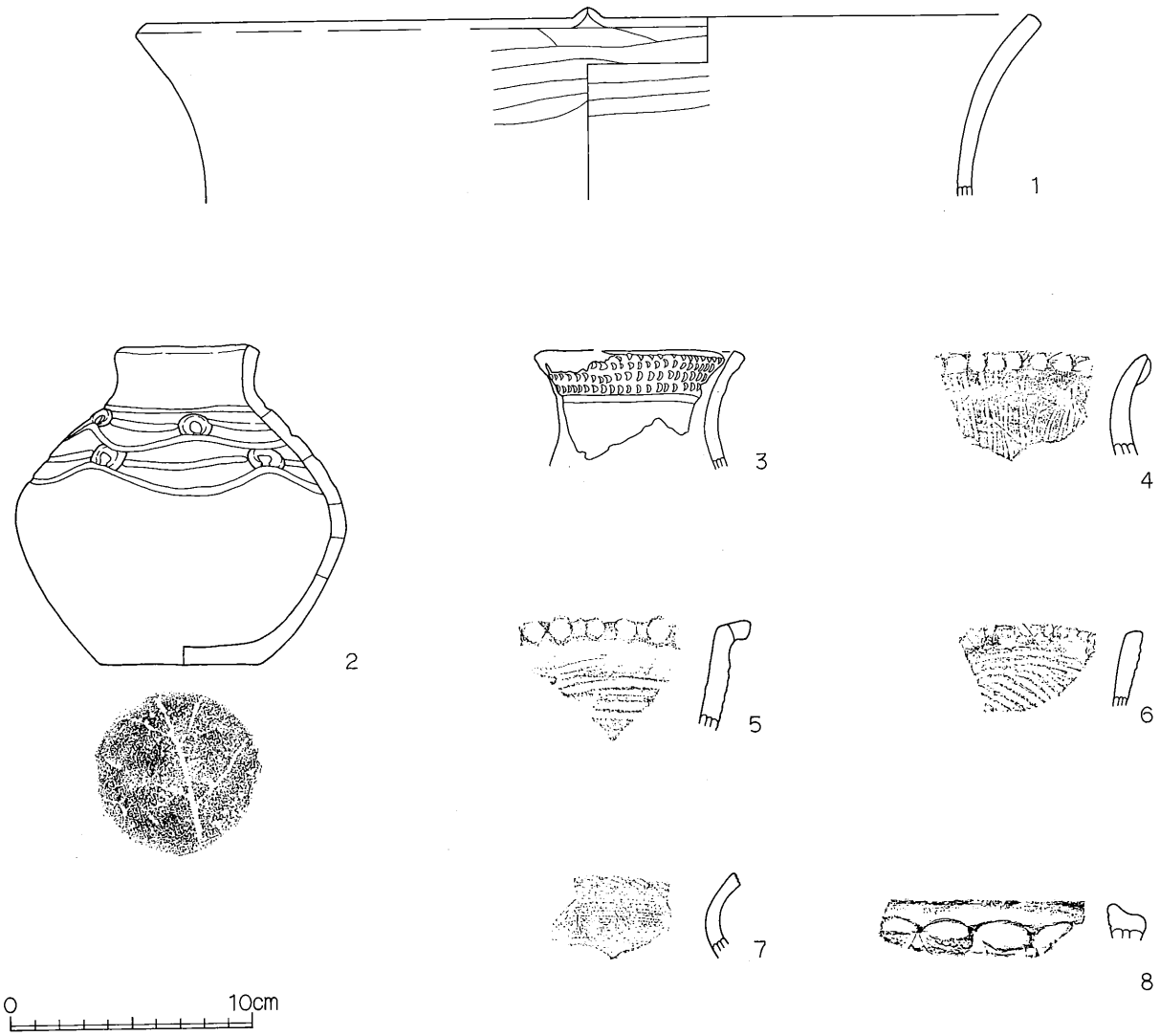
第101図　第54号土壙出土遺物実測図



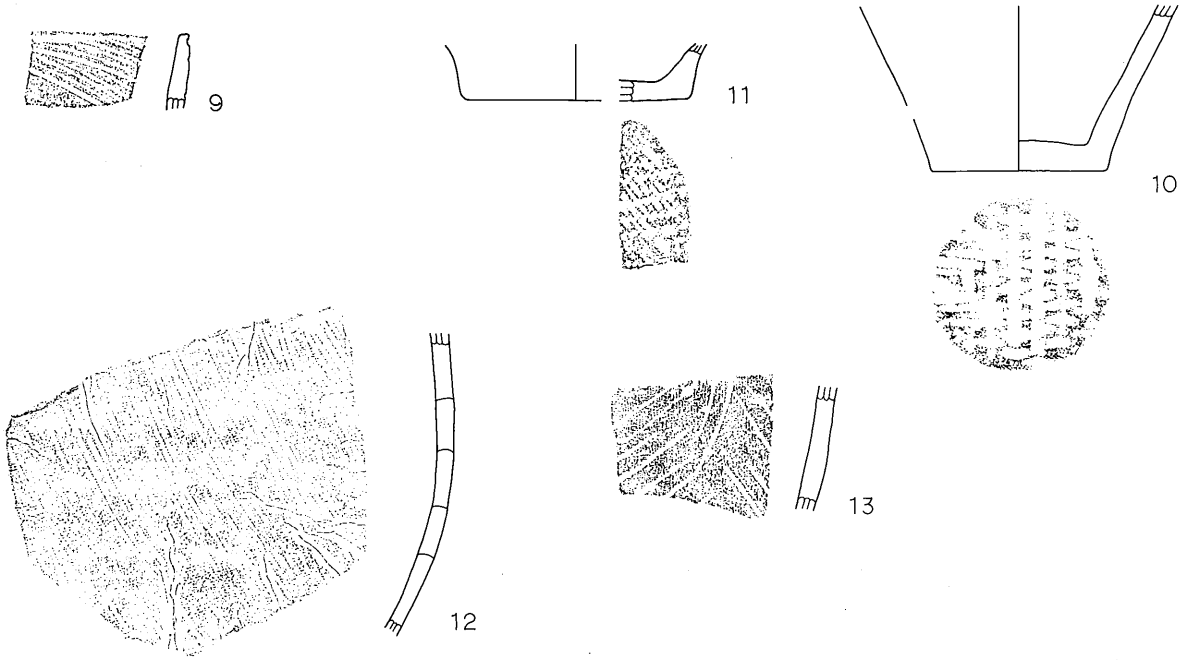
第102図　第60号土壙出土遺物実測図



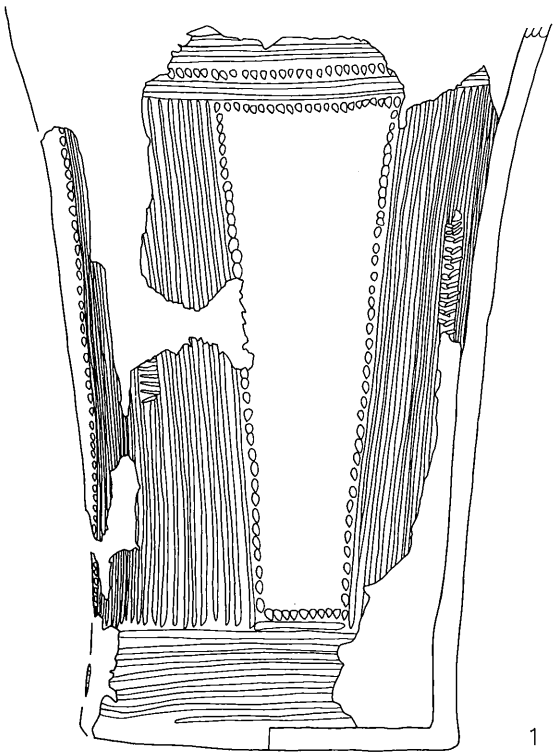
第103図　第61号土壙出土遺物実測図



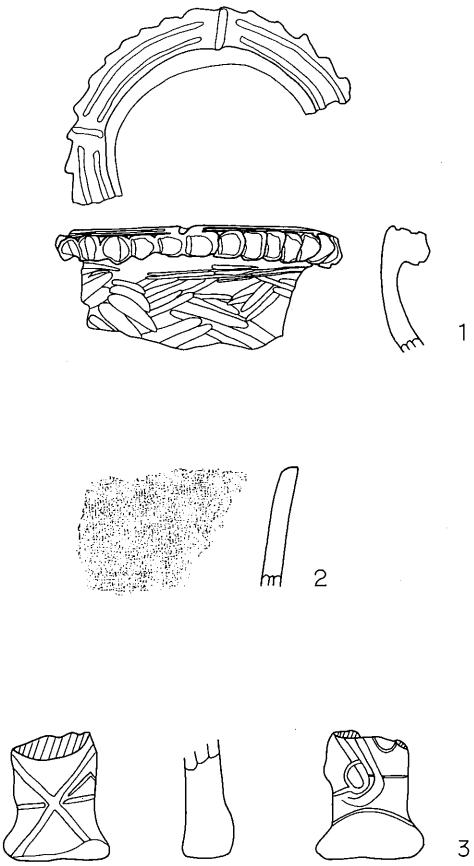
第104図　第64号土壙出土遺物実測図



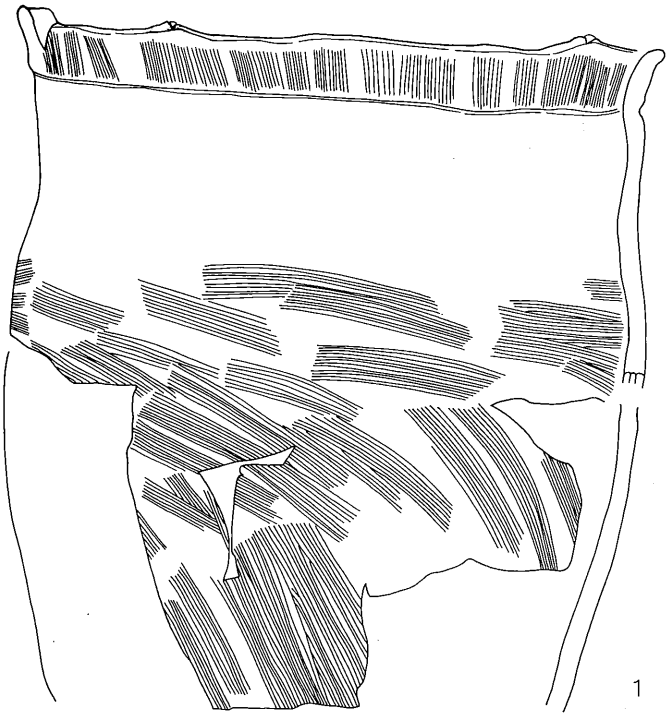
第104図　第64号土壙出土遺物実測図

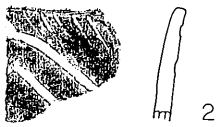


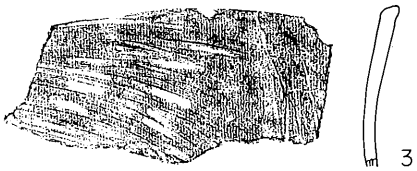
第105図　第65号土壙出土遺物実測図



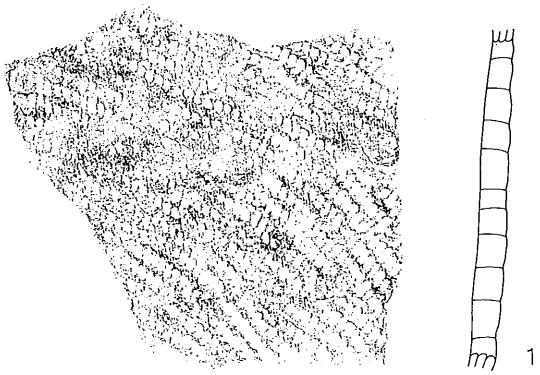
第106図　第66号土壙出土遺物実測図



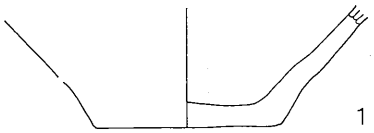




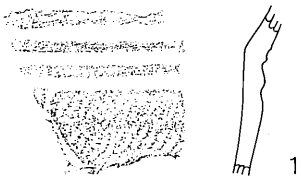
第107図　第67号土壙出土遺物実測図



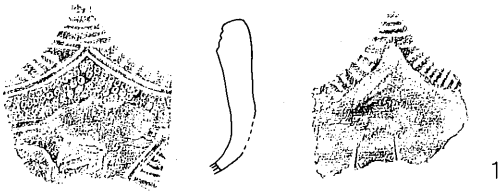
第108図　第75号土壙出土遺物実測図



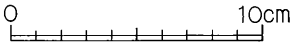
第109図　第79号土壙出土遺物実測図

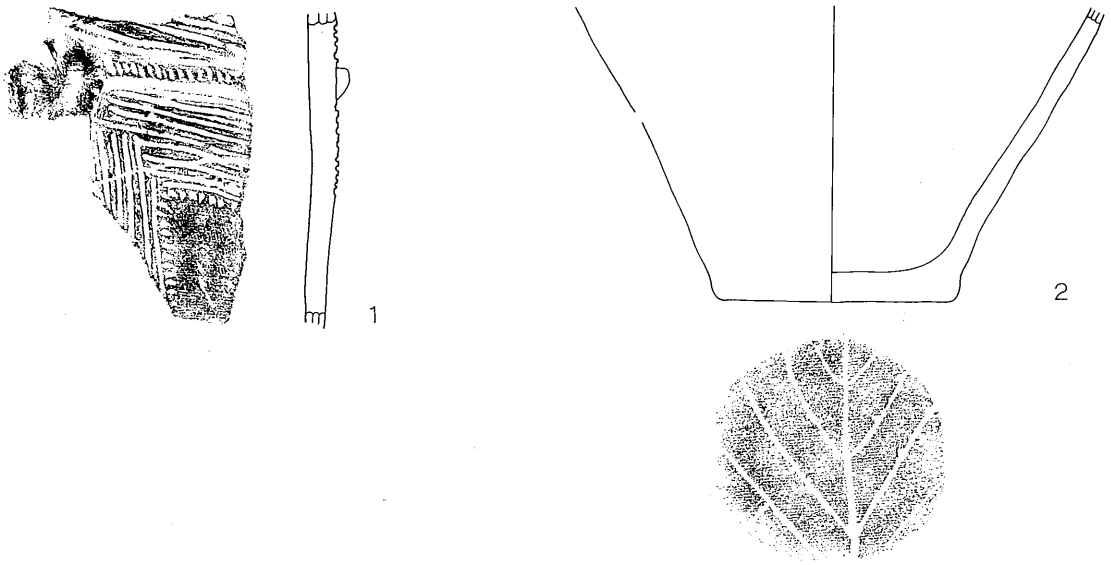


第110図　第80号土壙出土遺物実測図



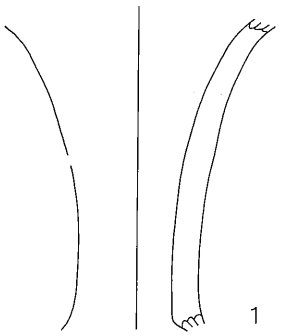
第111図　第81号土壙出土遺物実測図



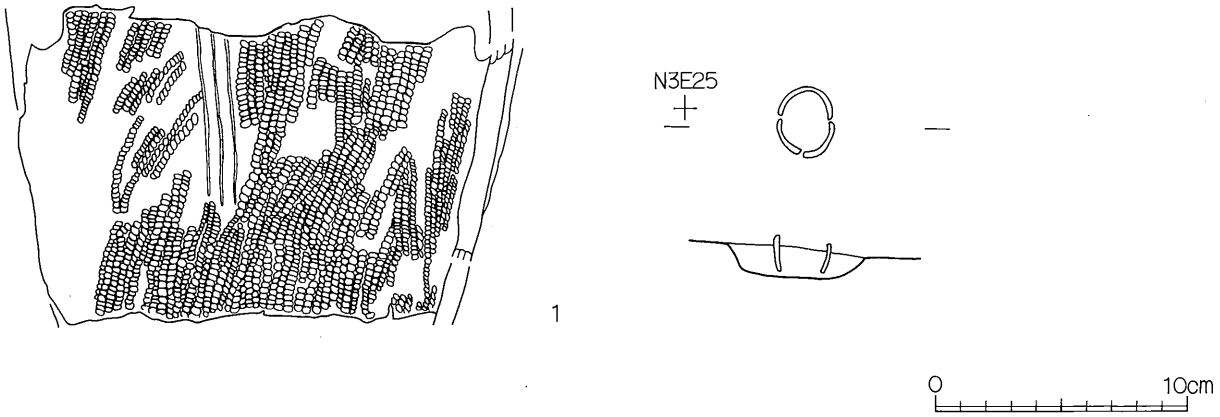


第112図　第83号土壙出土遺物実測図

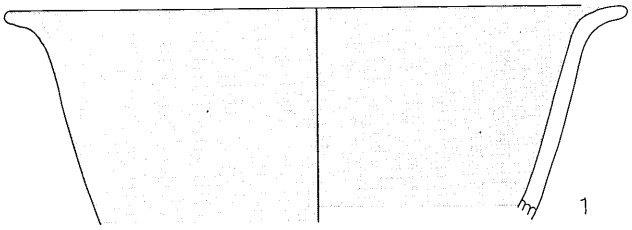
第113図　第84号土壙出土遺物実測図



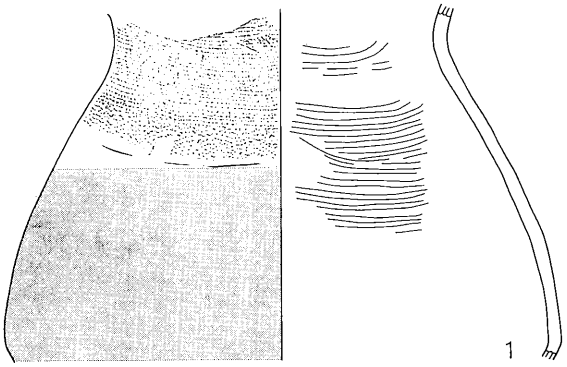
第114図　第87号土壙出土遺物実測図



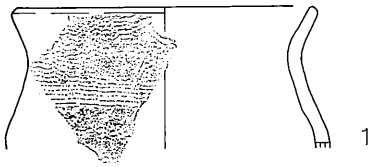
第115図　埋甕実測図

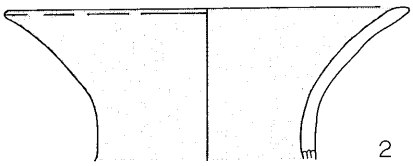


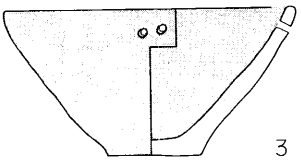
第116図　第2号溝址出土遺物実測図

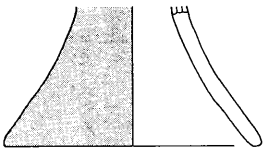


第117図　第3号溝址出土遺物実測図

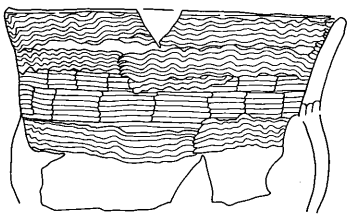


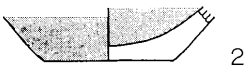




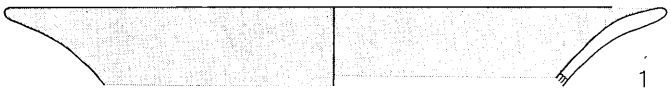


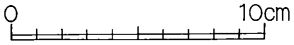
第118図　第4号溝址出土遺物実測図



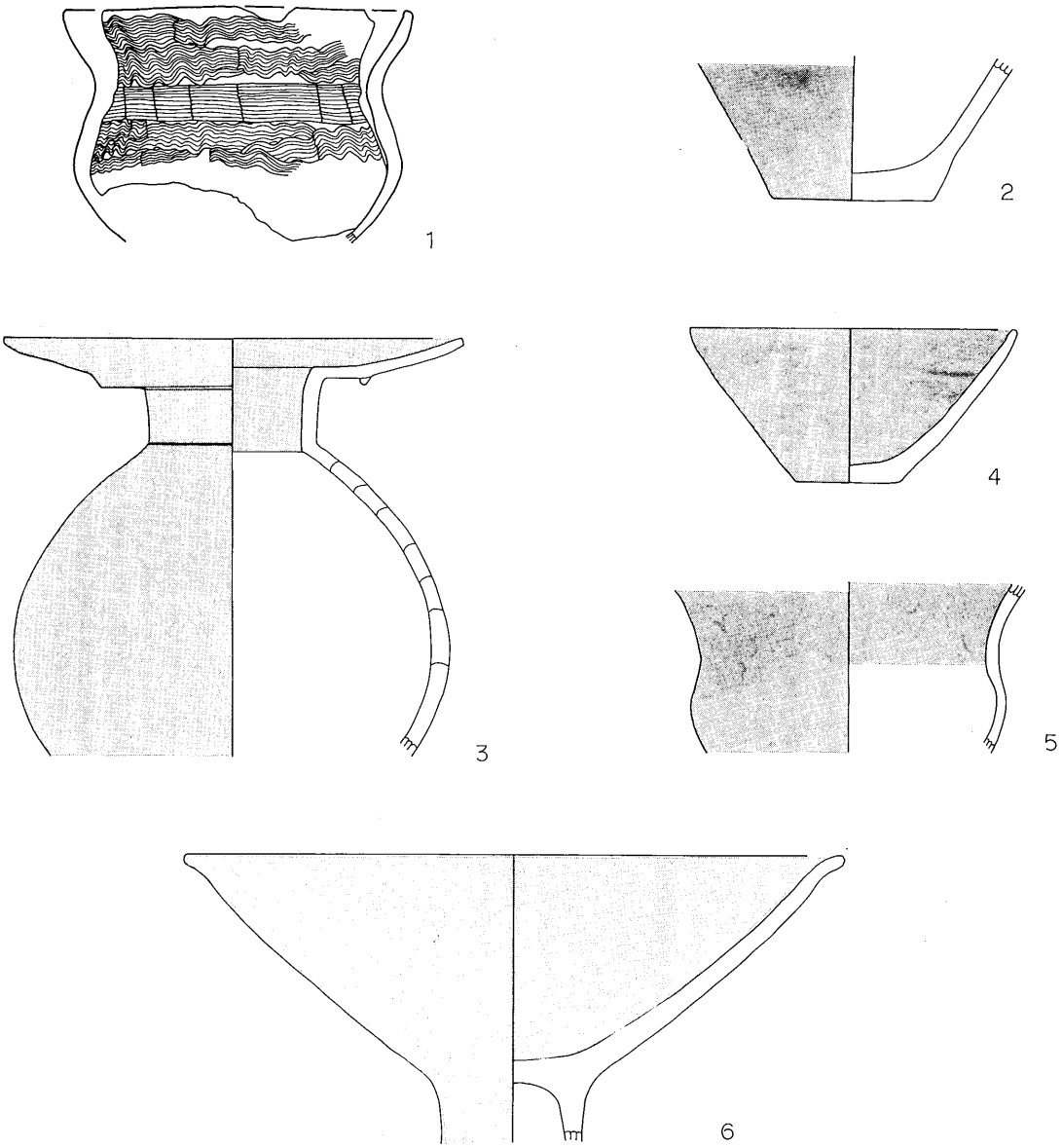


第119図　第5号溝址出土遺物実測図

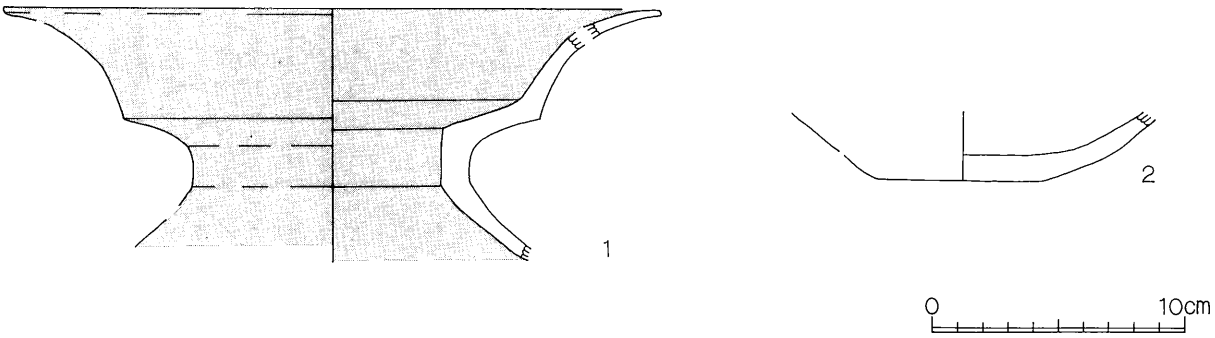




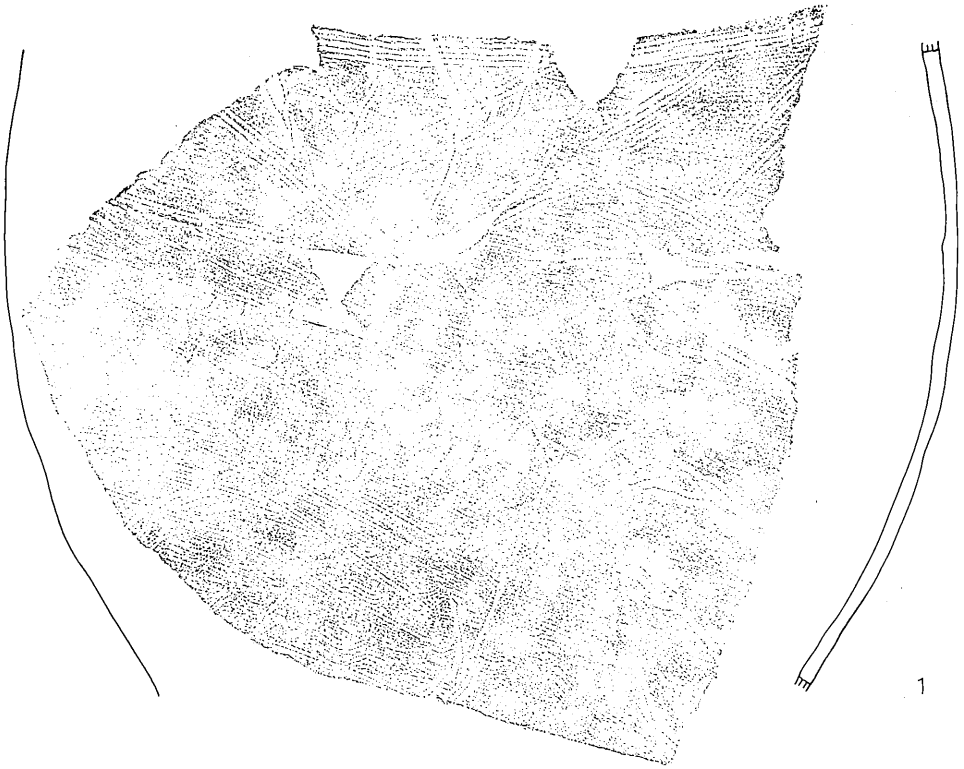
第120図　第6号溝址出土遺物実測図

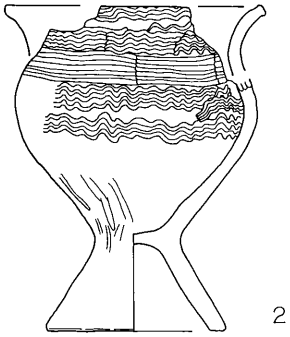


第121図　第7号溝址出土遺物実測図

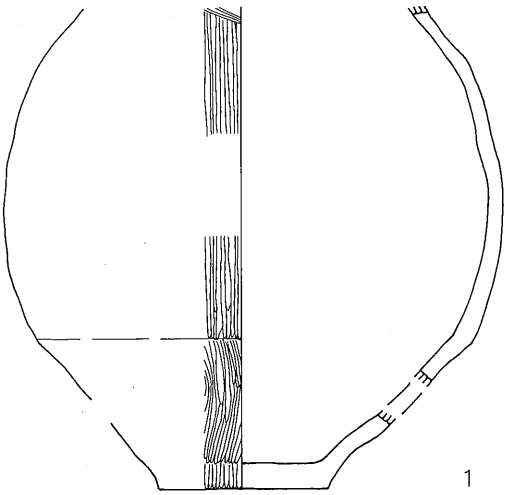


第122図　第9号溝址出土遺物実測図

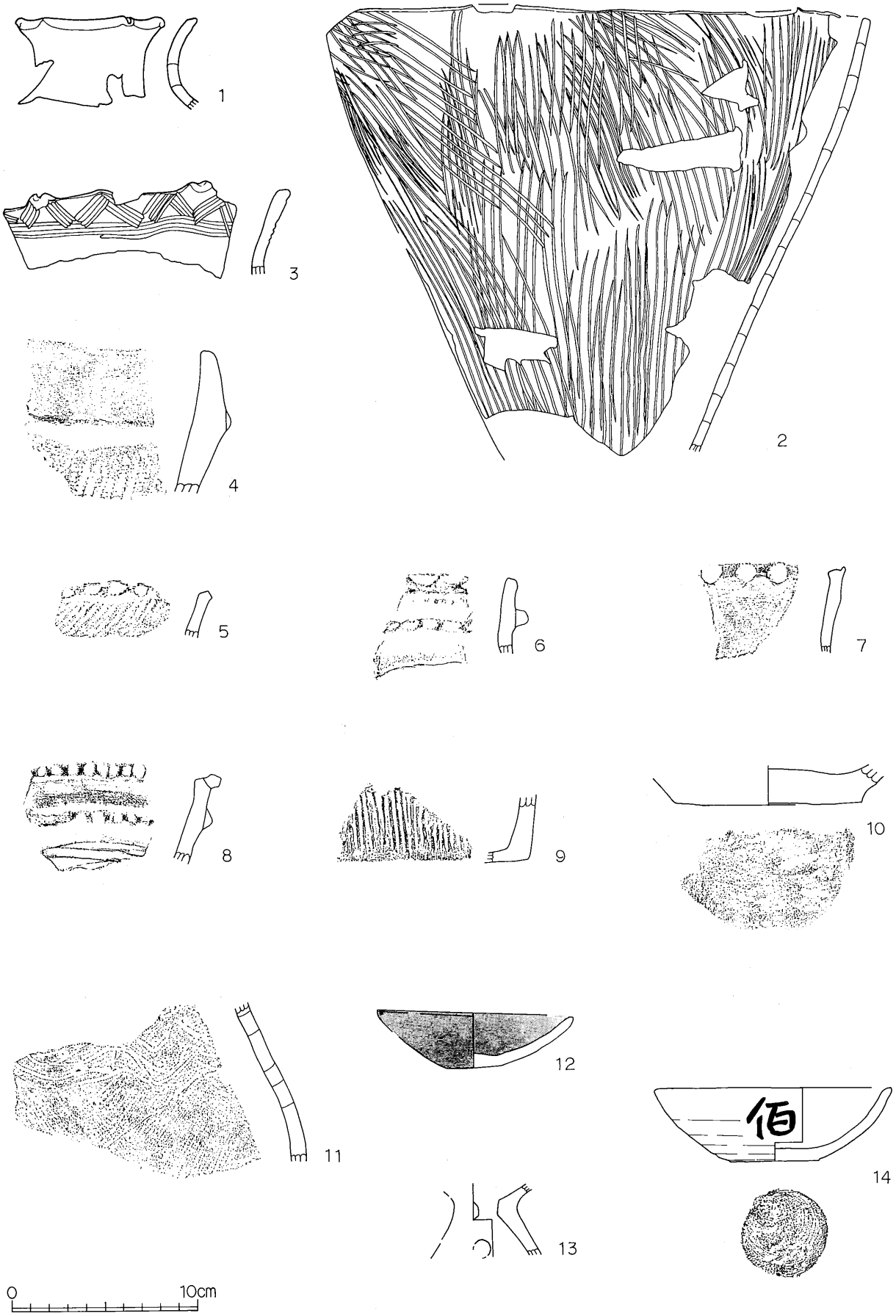




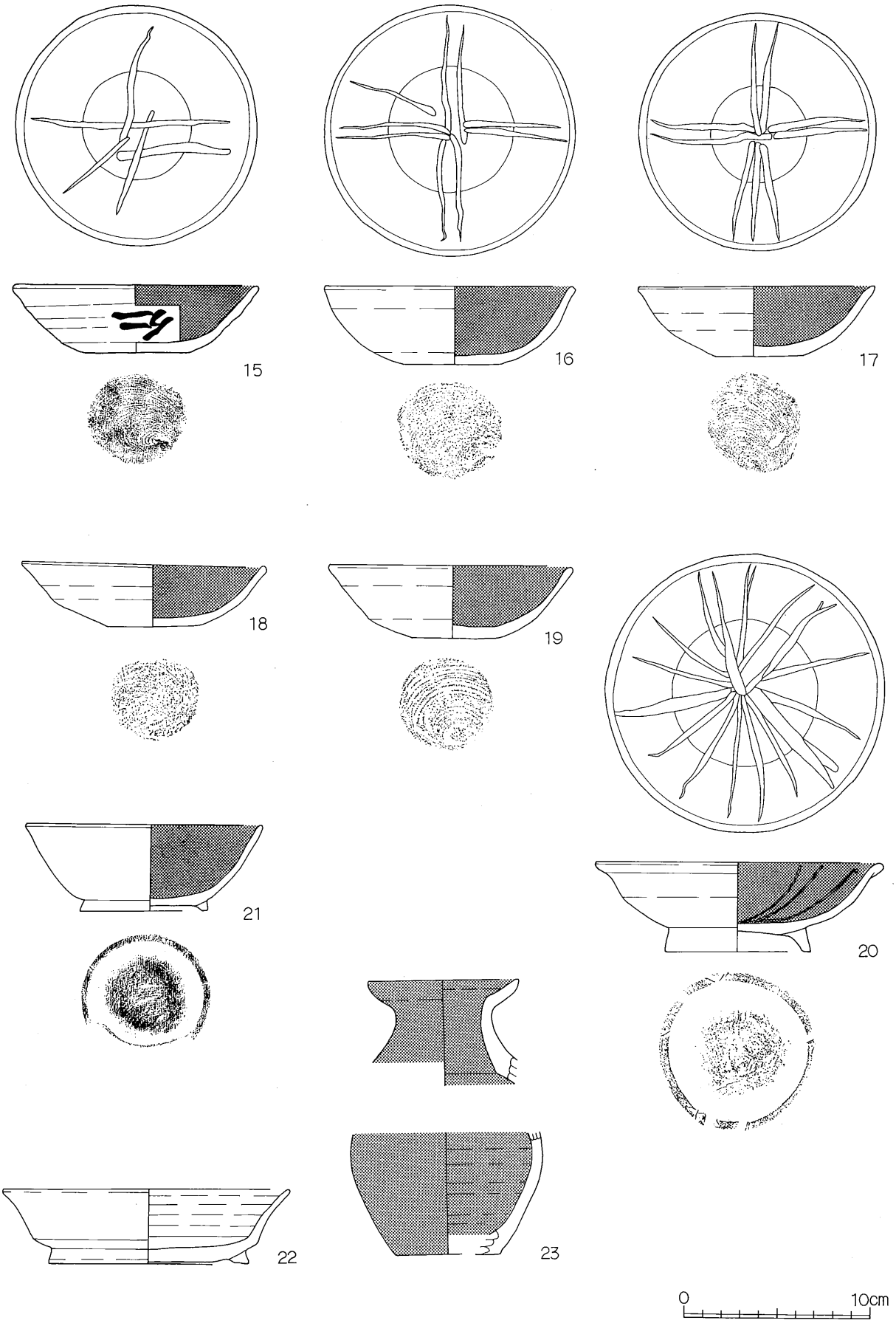
第123図　第10号溝址出土遺物実測図



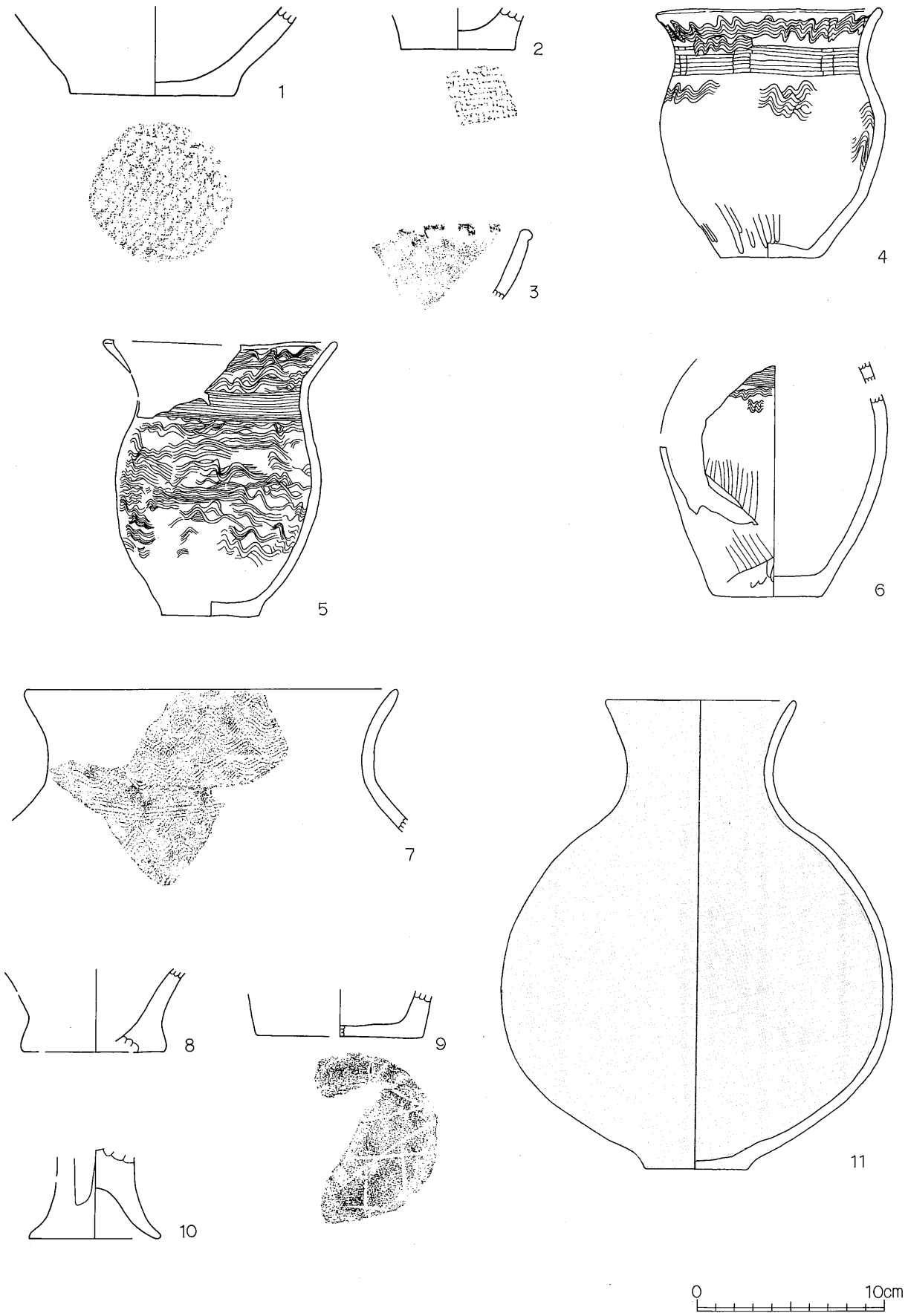
第124図　第12号溝址出土遺物実測図



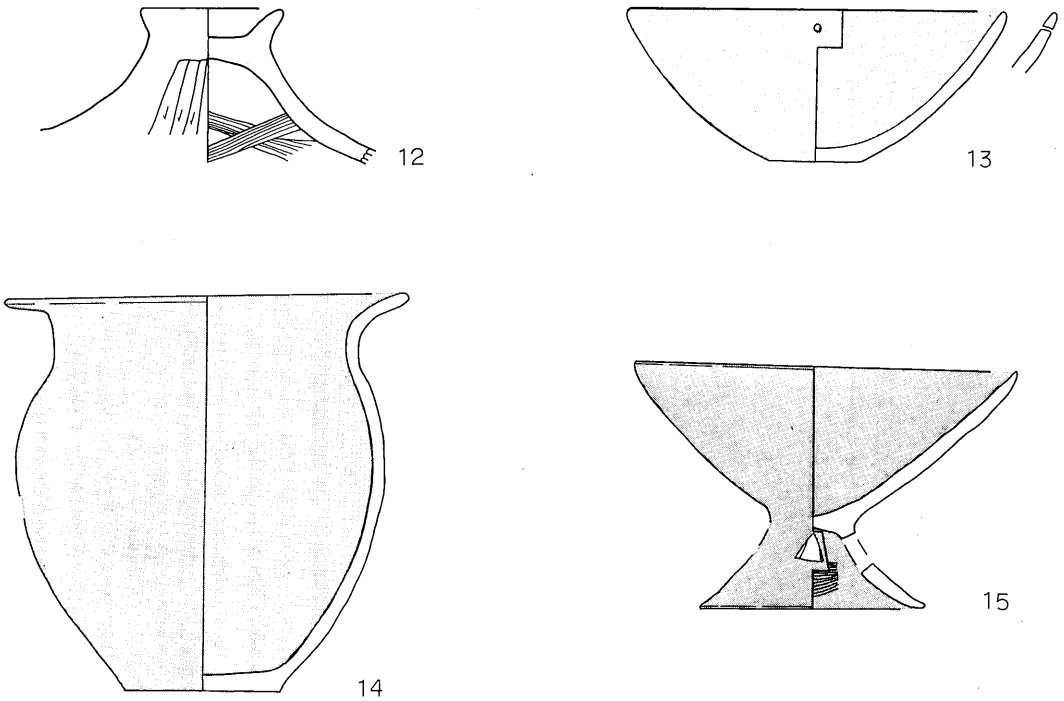
第125図　第19号溝址出土遺物実測図



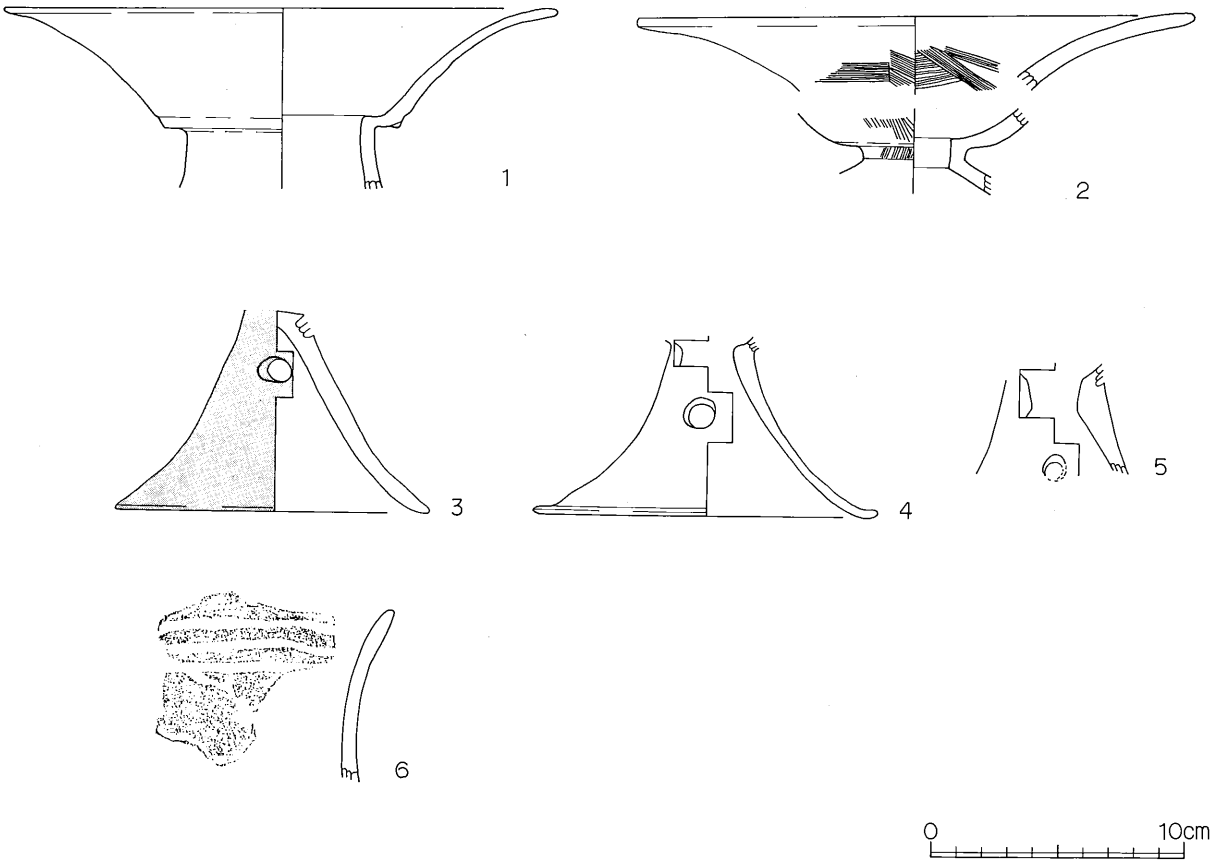
第125図　第19号溝址出土遺物実測図



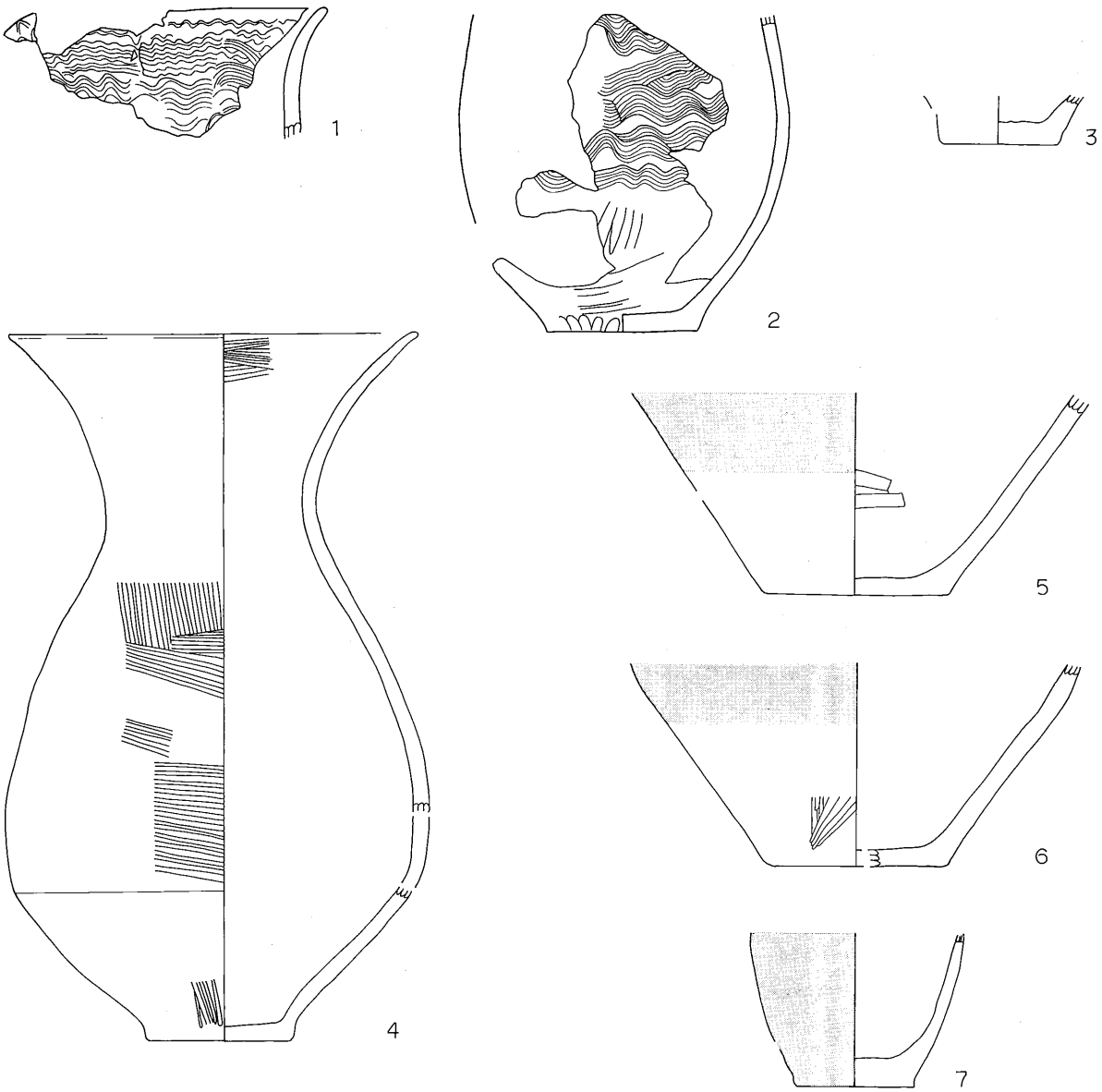
第126図　第20号溝址出土遺物実測図



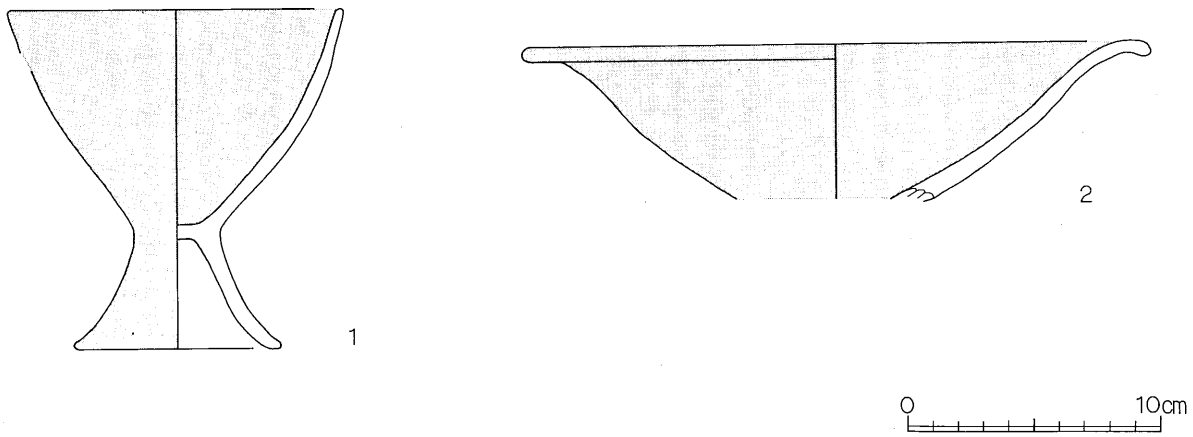
第126図　第20号溝址出土遺物実測図



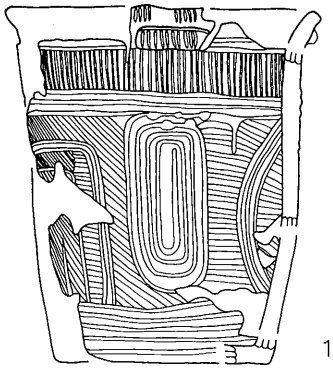
第127図　第25号溝址出土遺物実測図

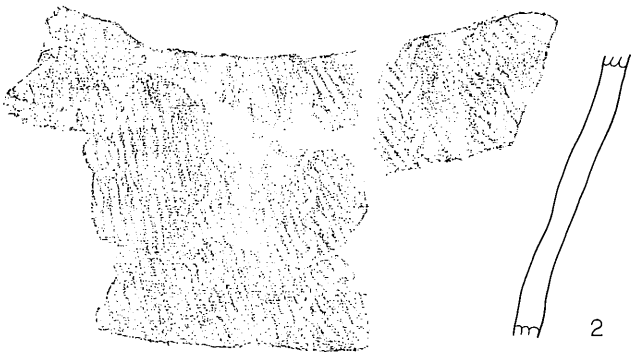


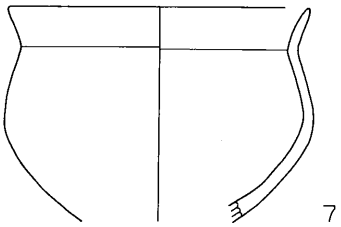
第128図　第27号溝址出土遺物実測図

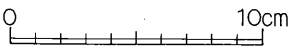


第129図　第28号溝址出土遺物実測図

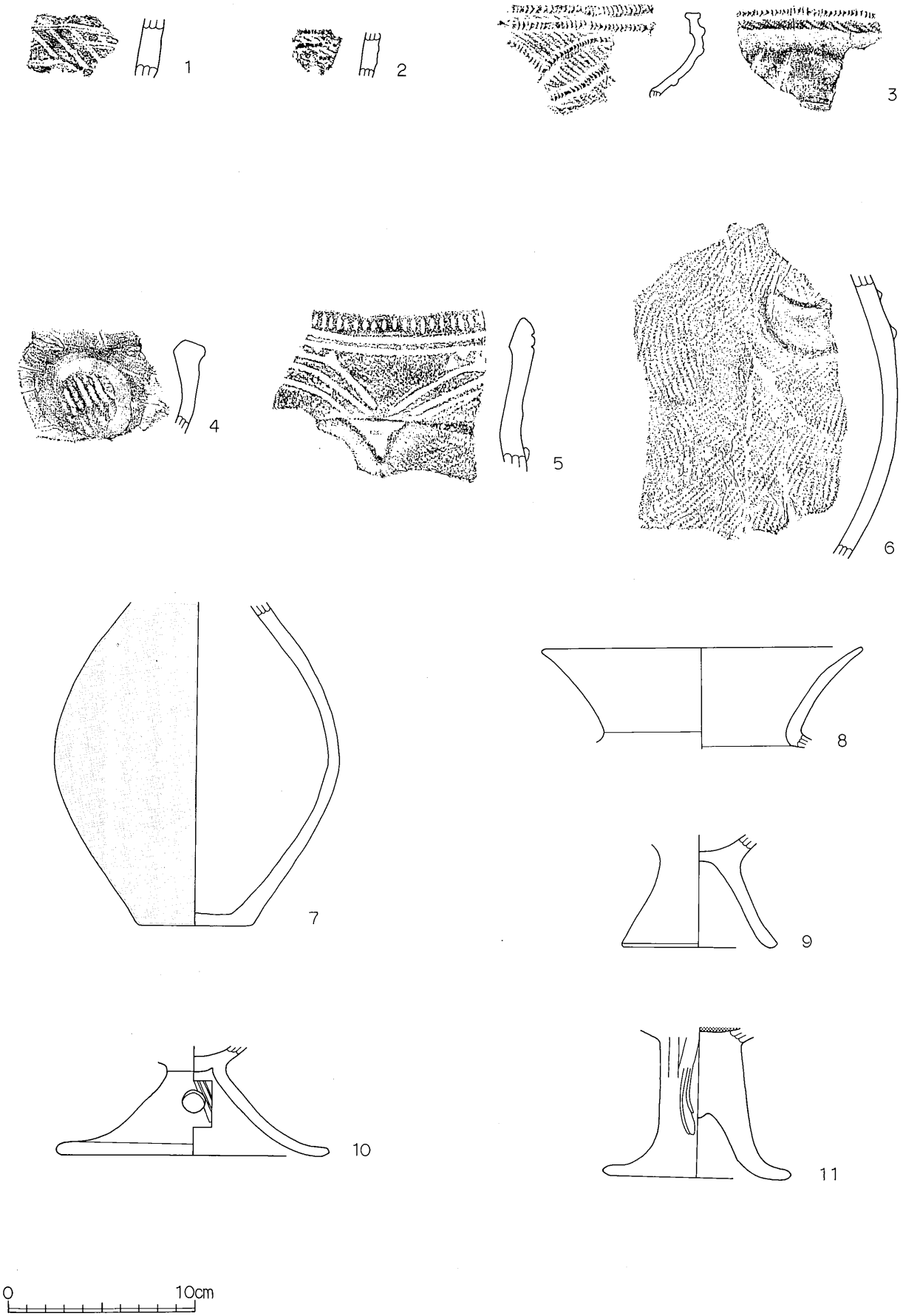




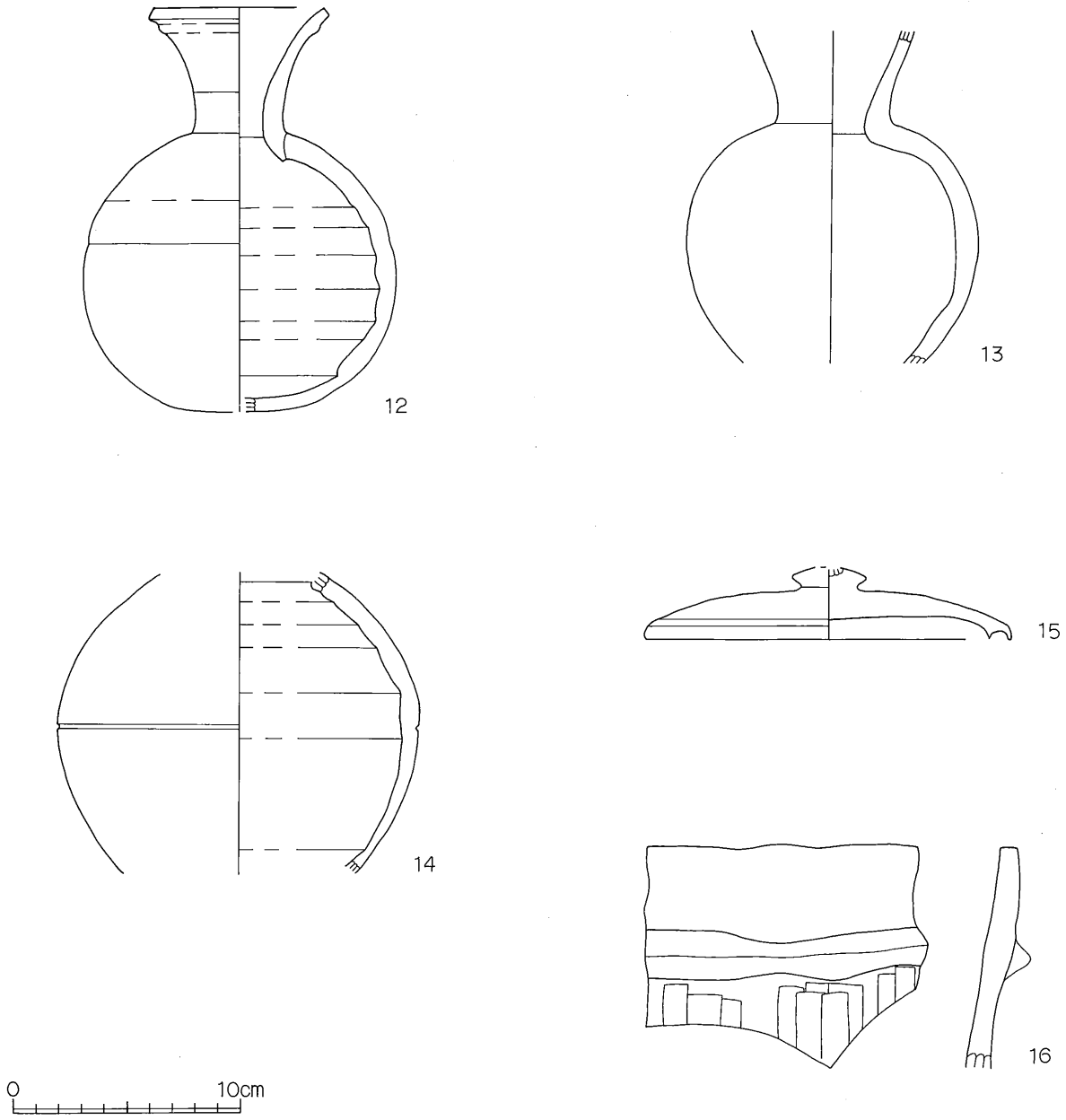




第130図　第29号溝址出土遺物実測図

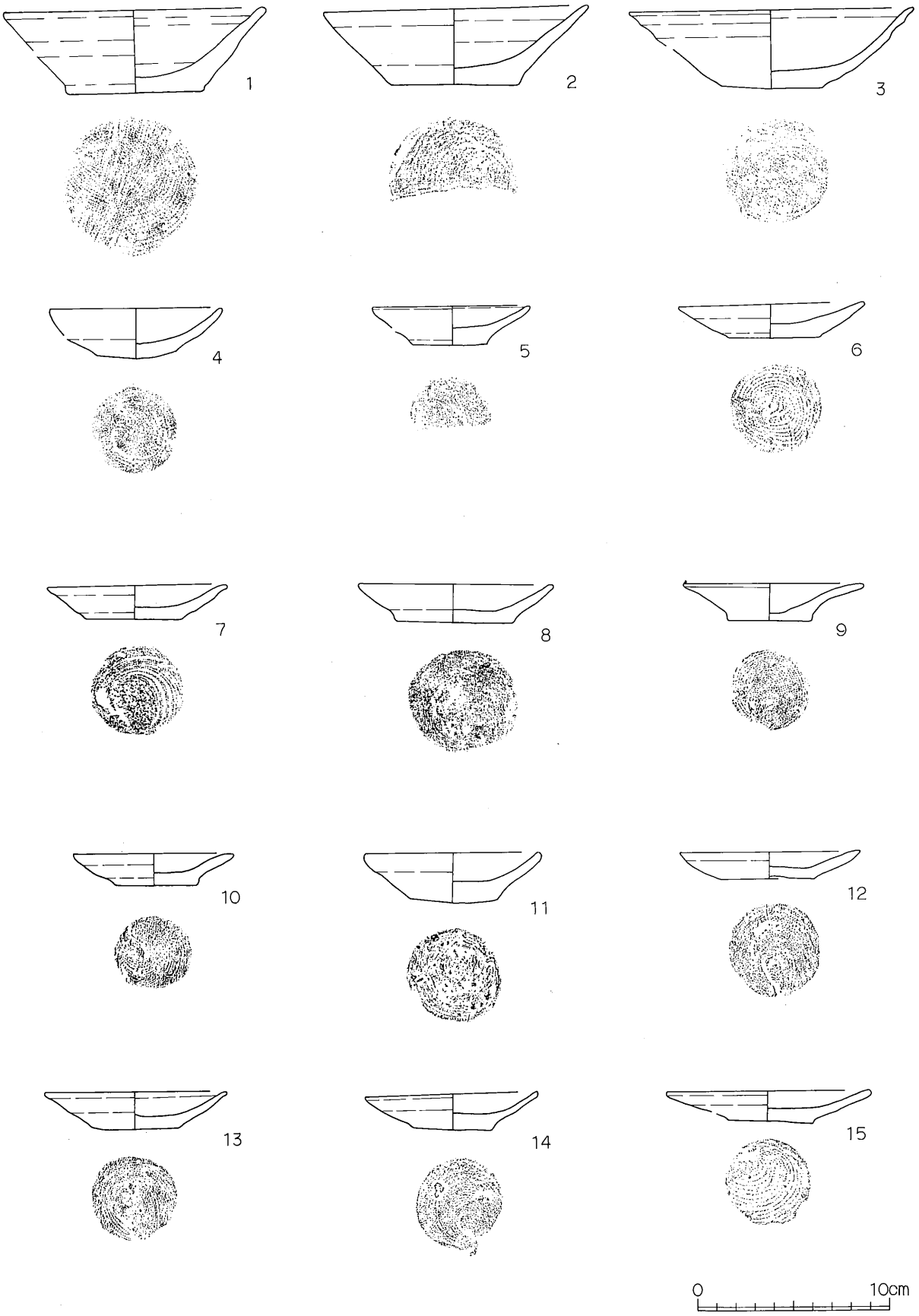


第131図　遺構外出土遺物実測図

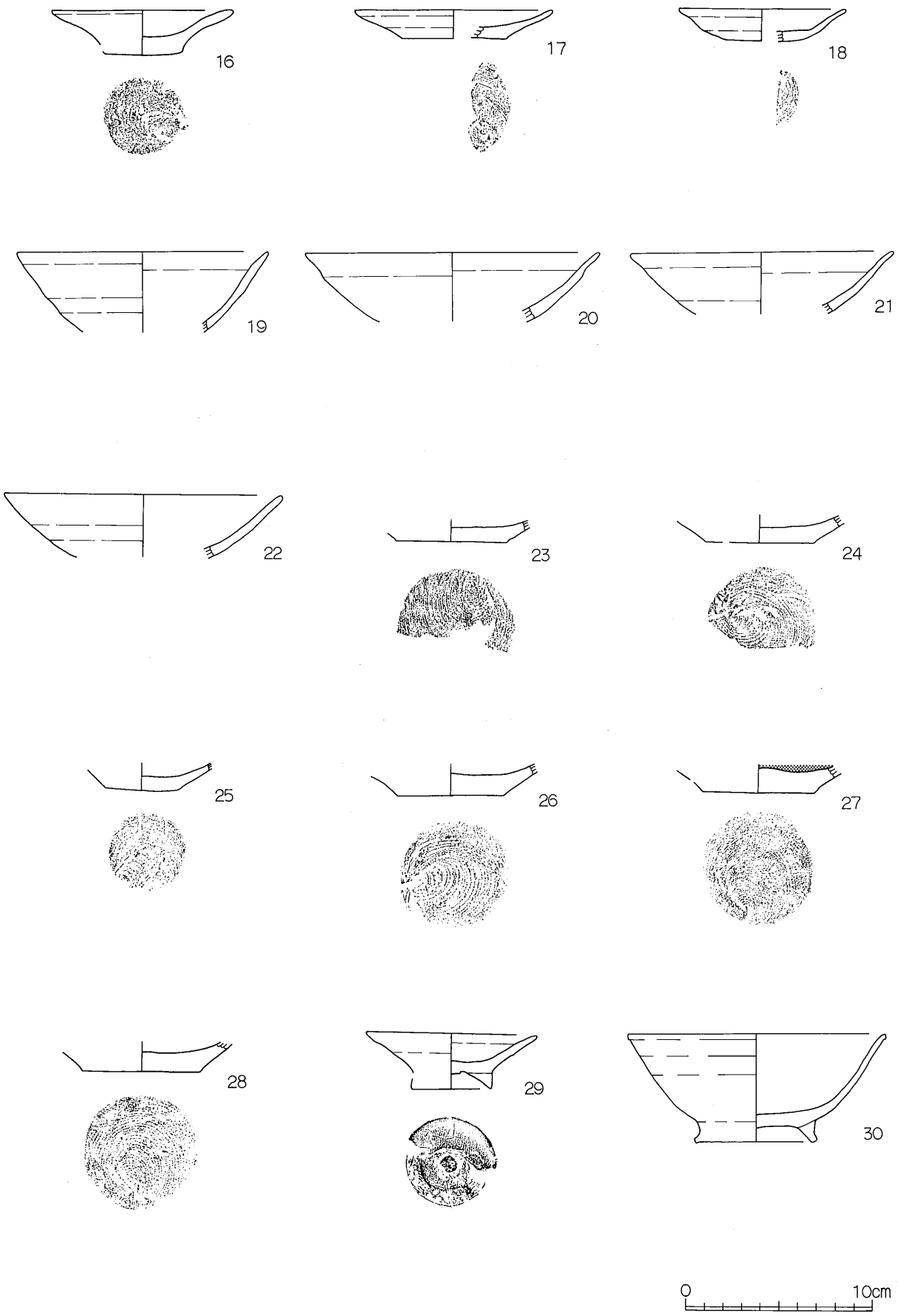


第131図　遺構外出土遺物実測図

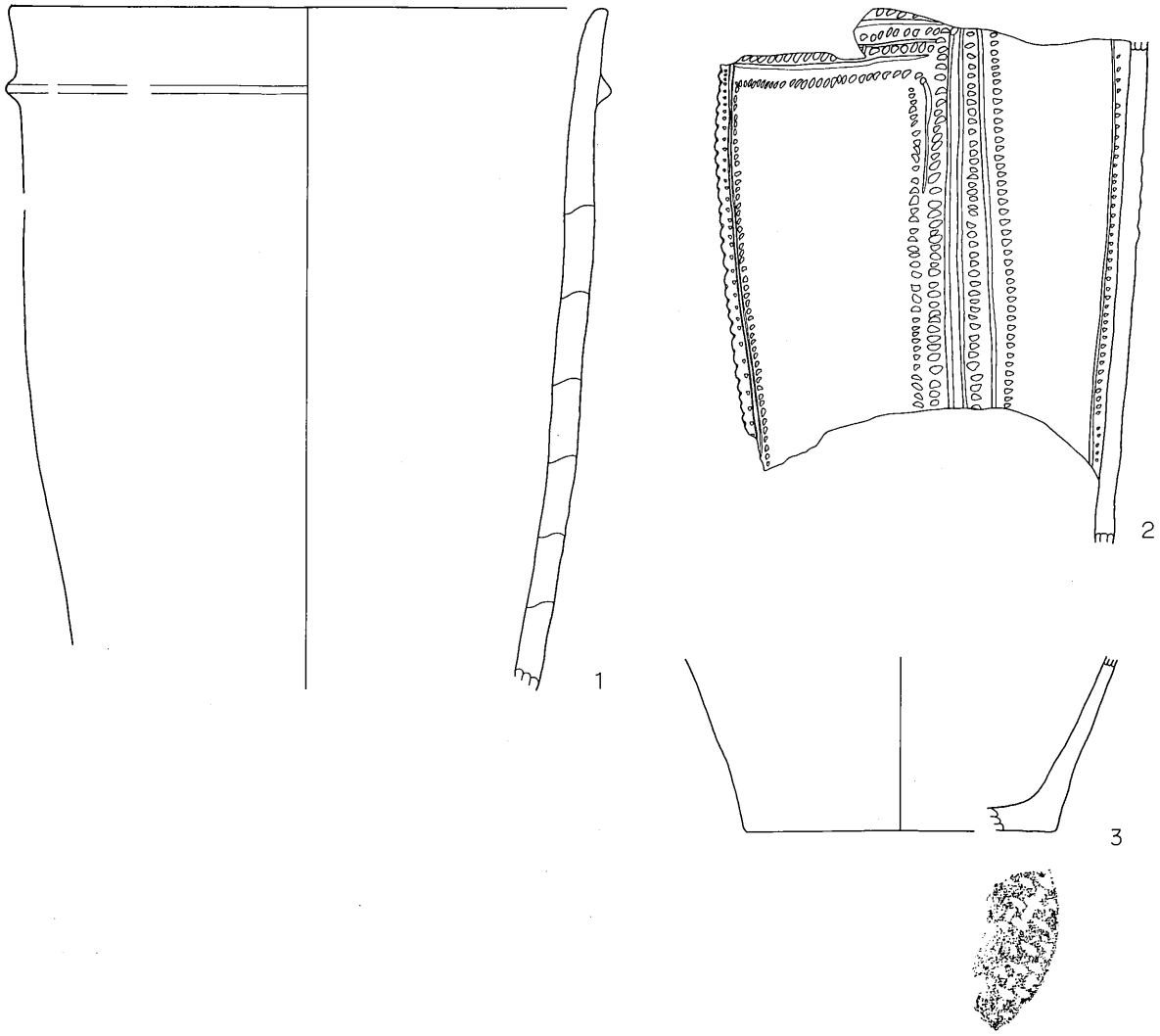
Ⅱ区



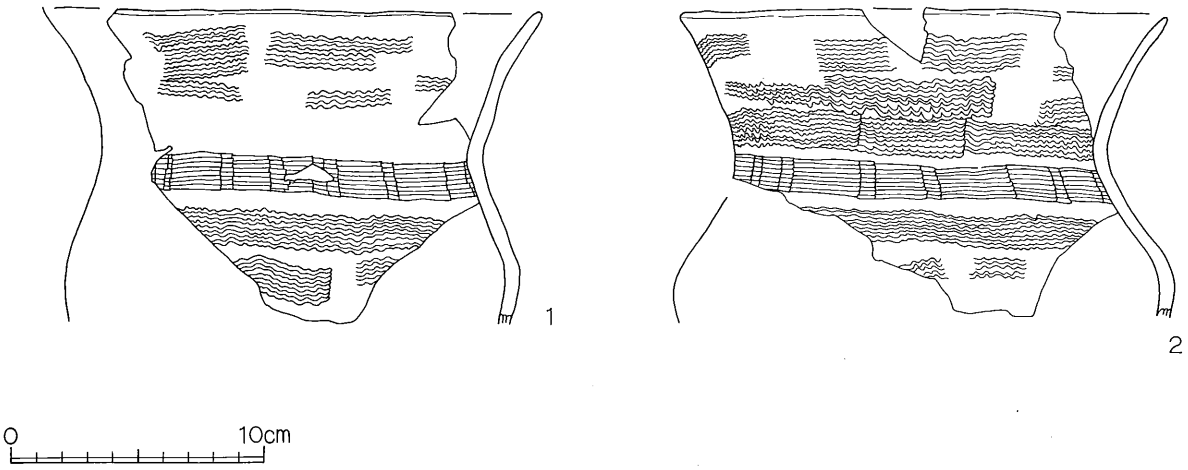
第132図　第1号住居址出土遺物実測図



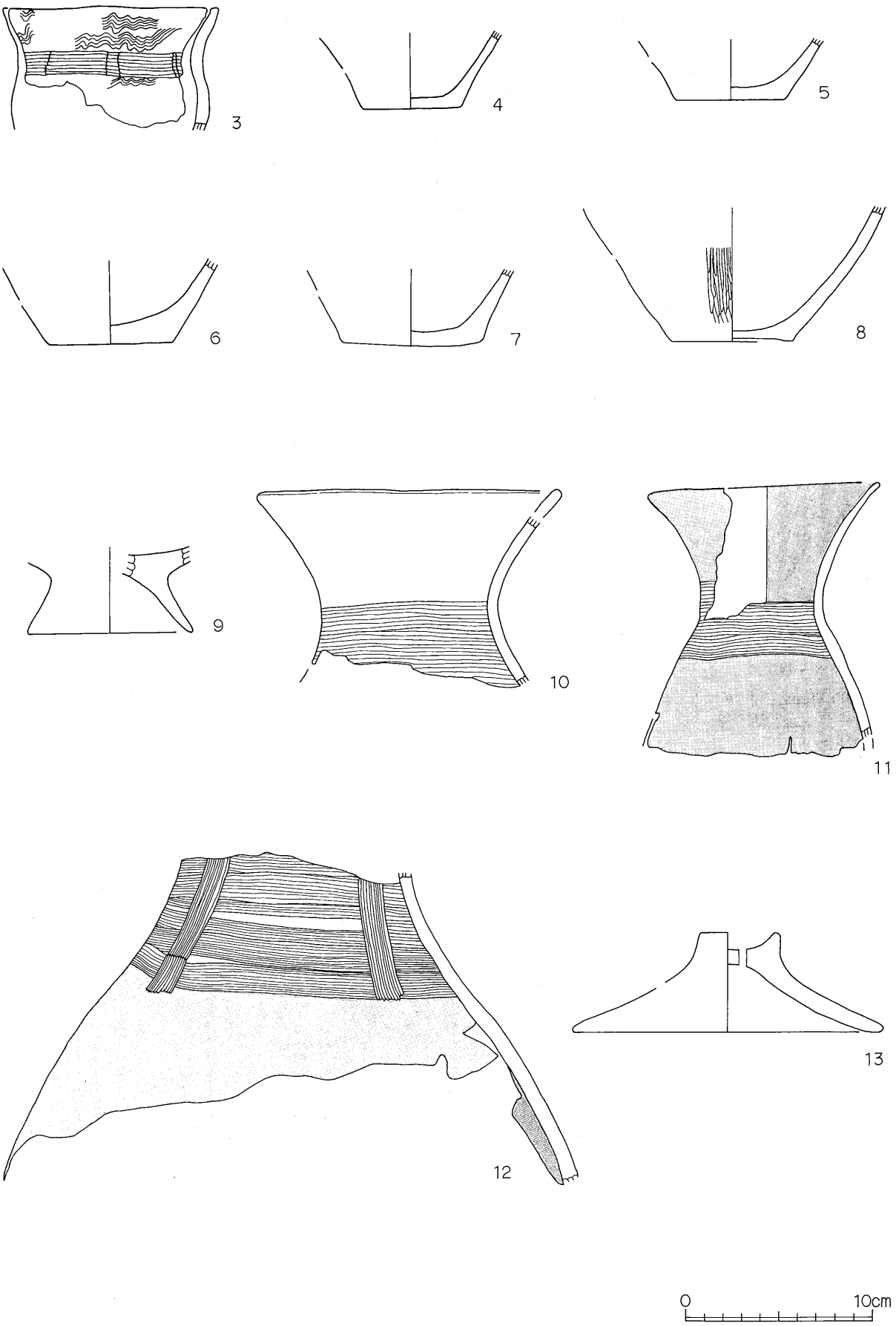
第132図　第1号住居址出土遺物実測図



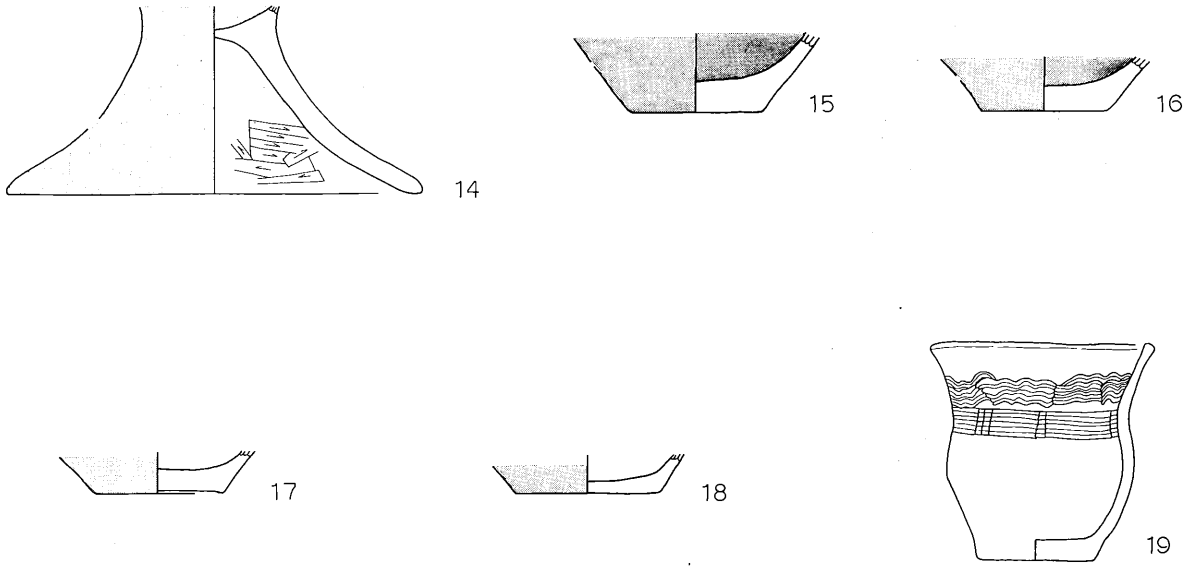
第133図　第2号住居址出土遺物実測図



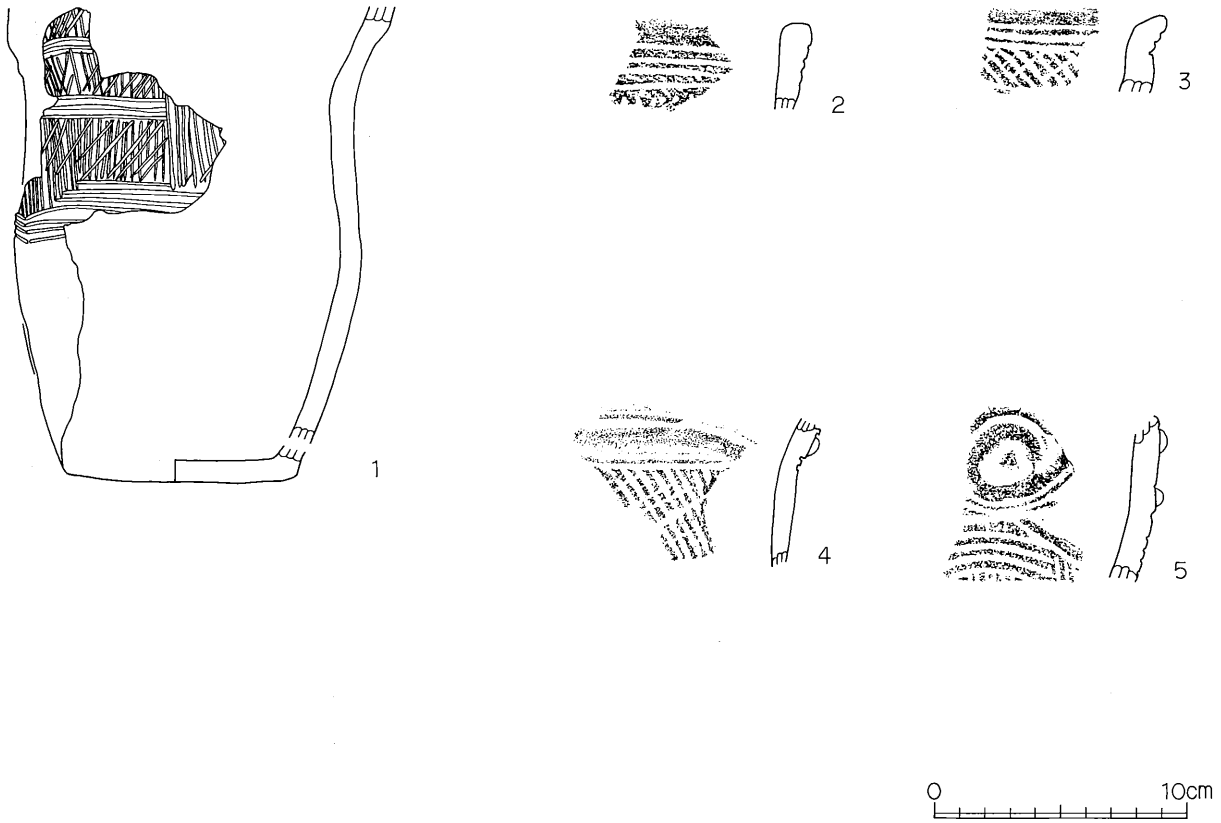
第134図　第3号住居址出土遺物実測図



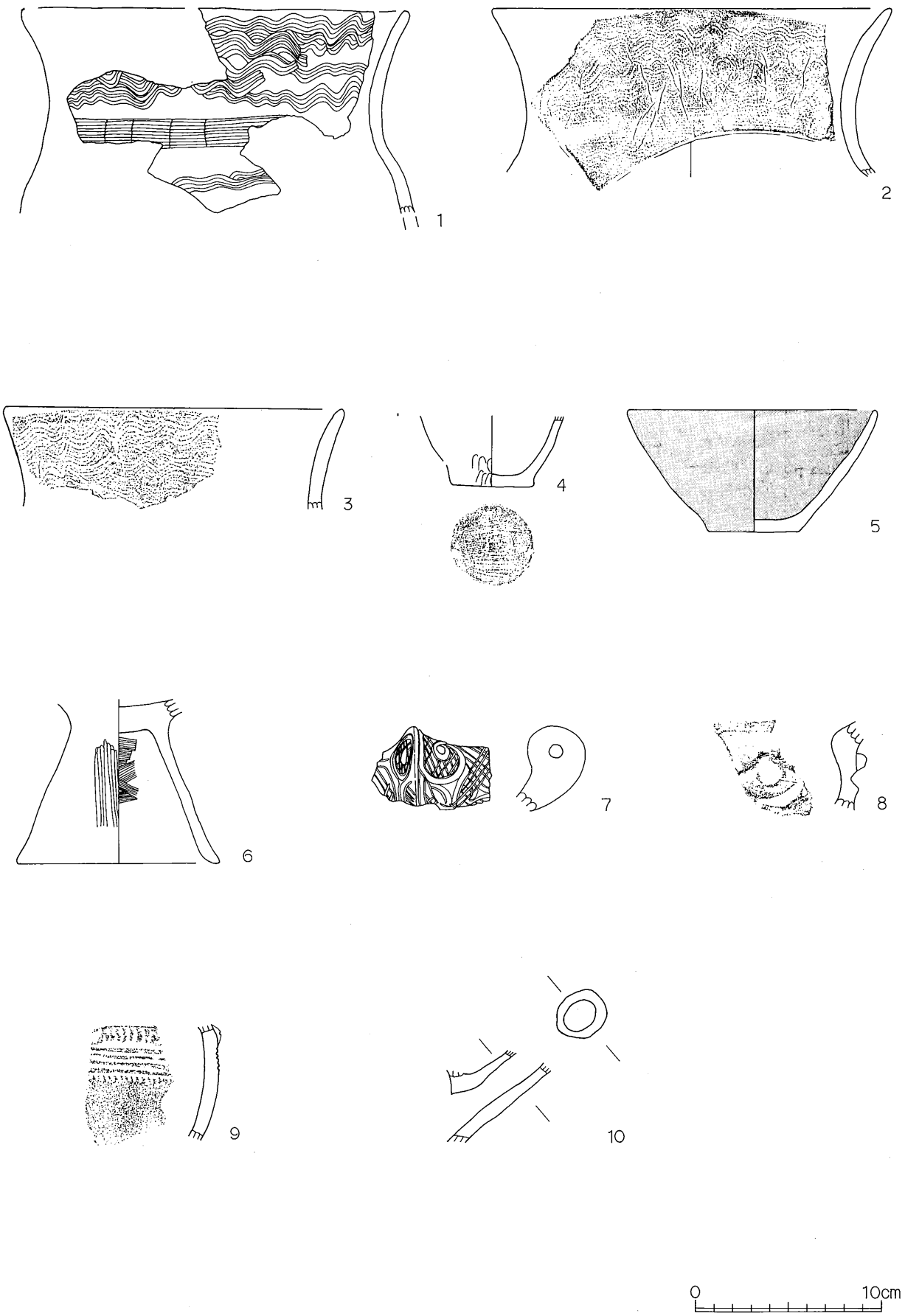
第134図　第3号住居址出土遺物実測図



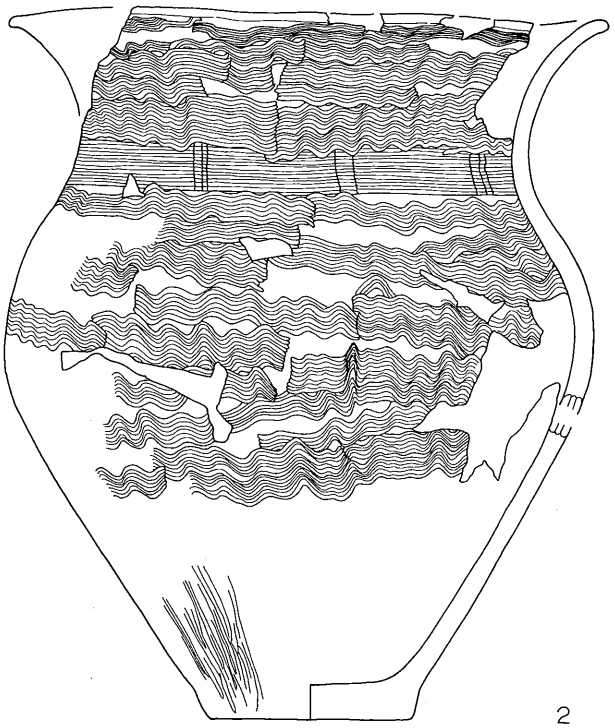
第134図　第3号住居址出土遺物実測図



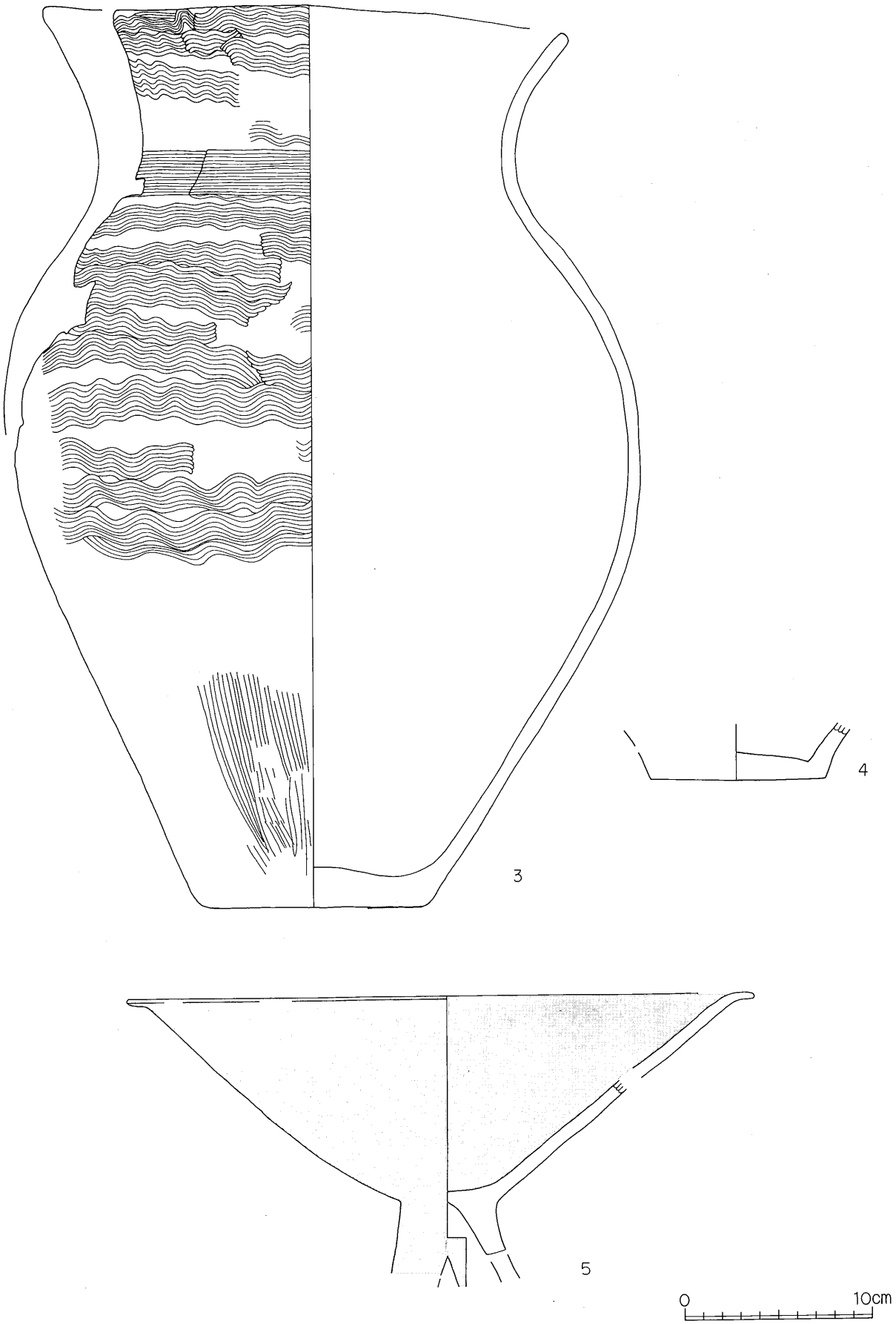
第135図　第7号住居址出土遺物実測図



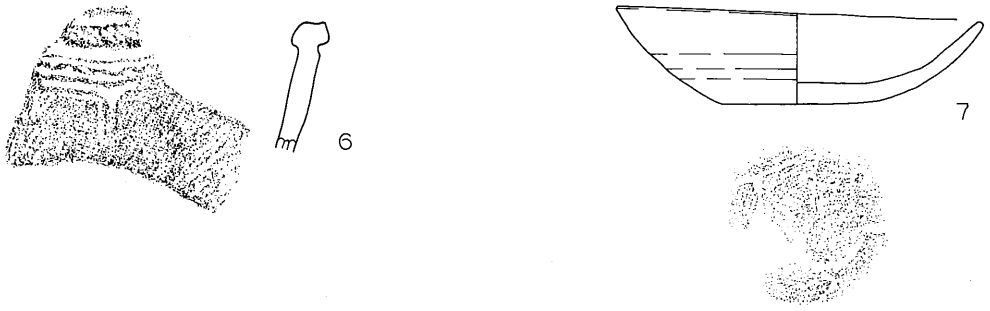
第136図　第8号住居址出土遺物実測図



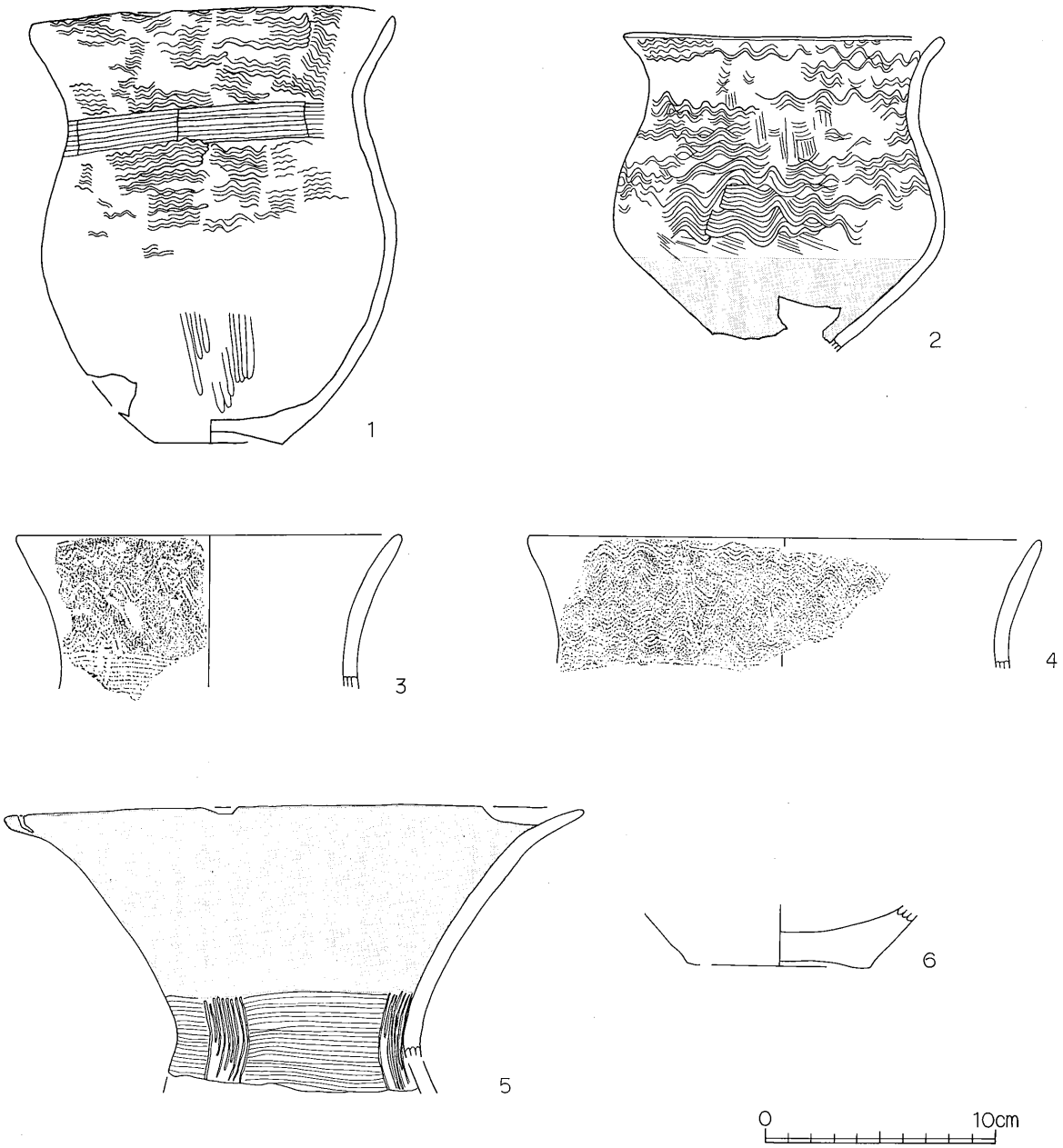
第137図　第9号住居址出土遺物実測図



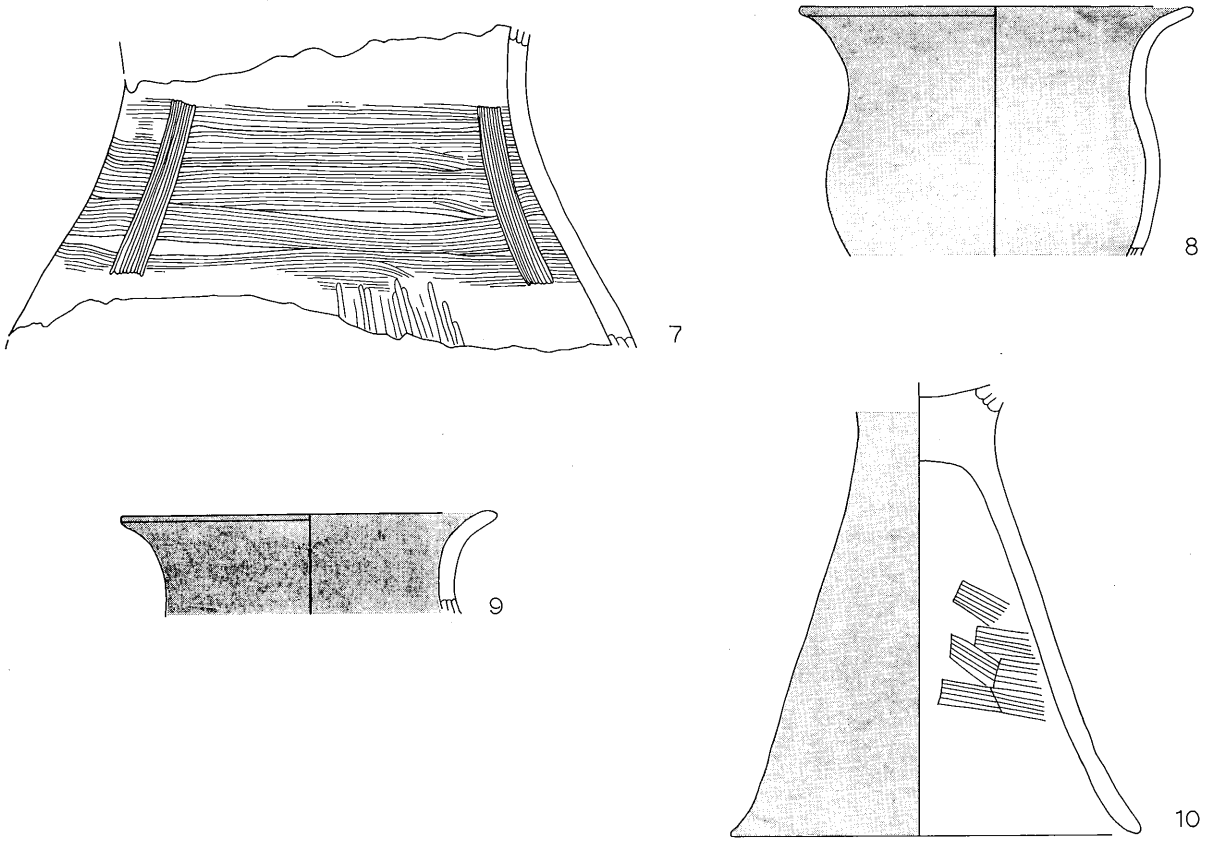
第137図　第9号住居址出土遺物実測図



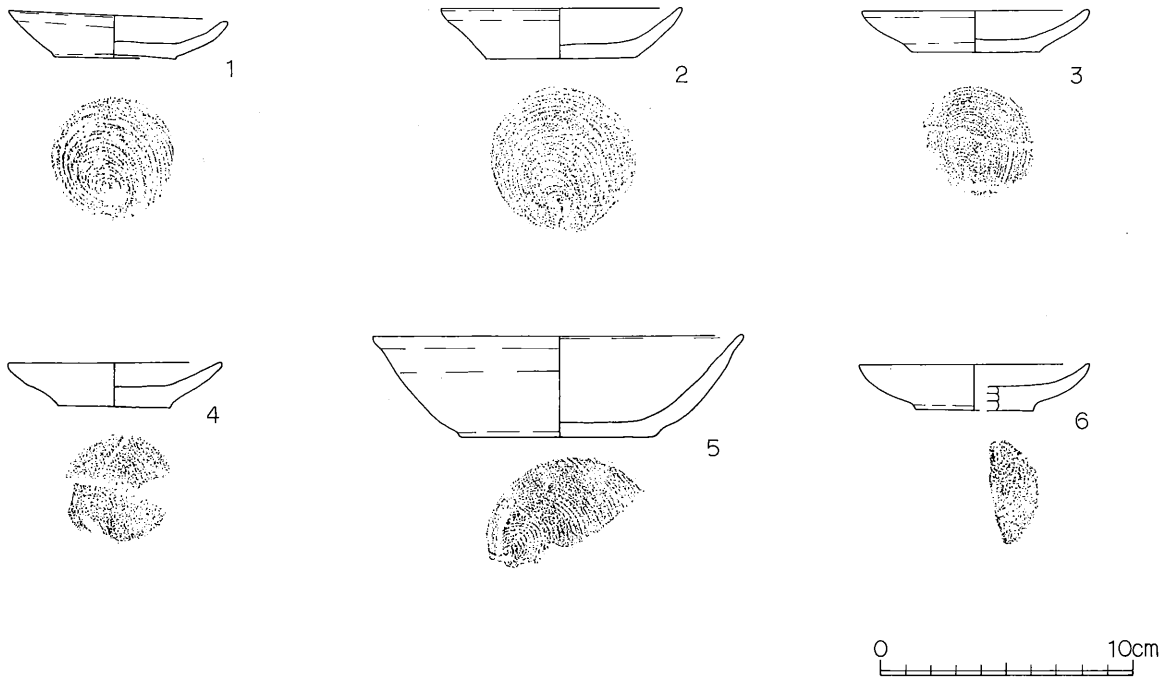
第137図　第9号住居址出土遺物実測図



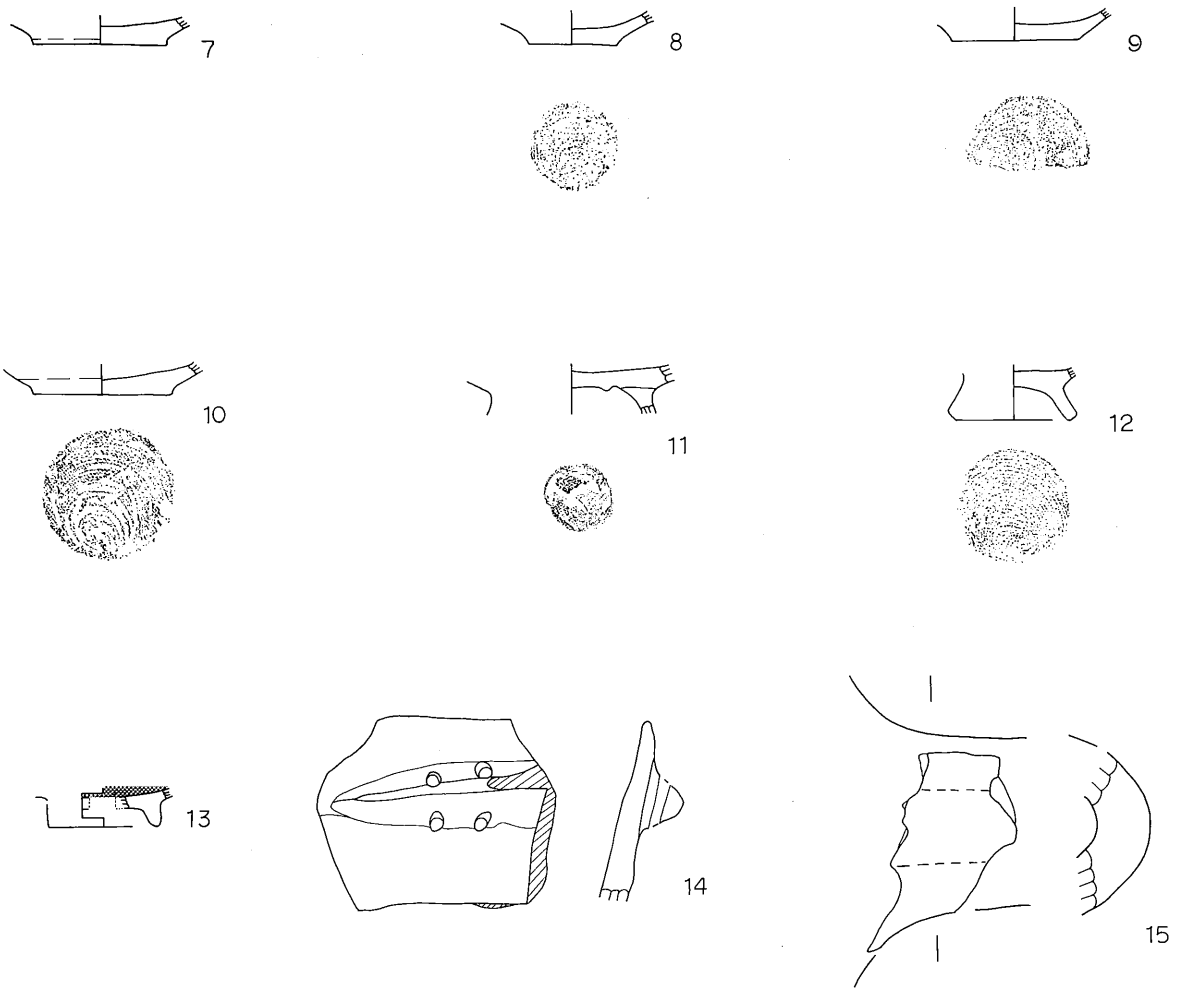
第138図　第10号住居址出土遺物実測図



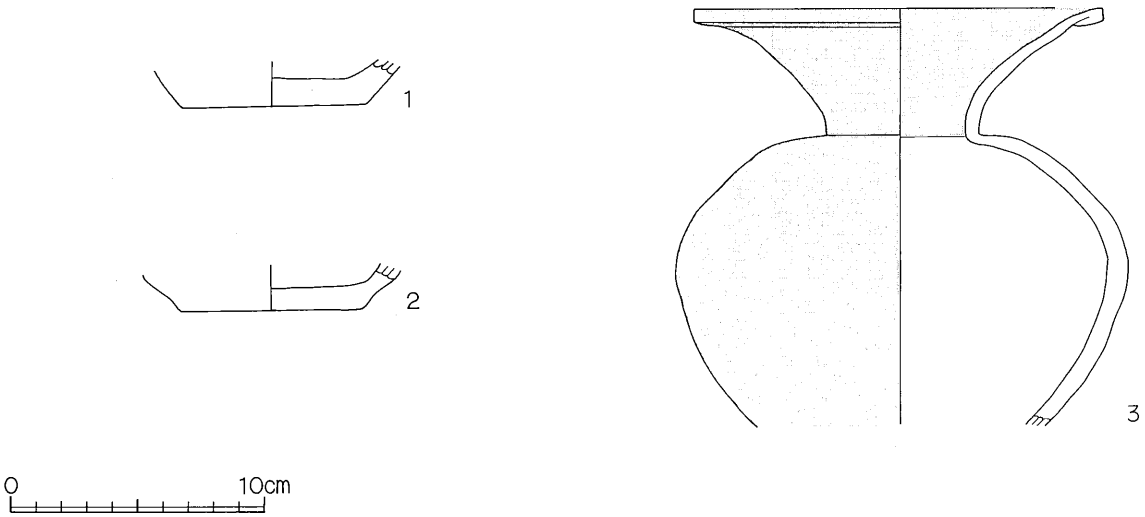
第138図　第10号住居址出土遺物実測



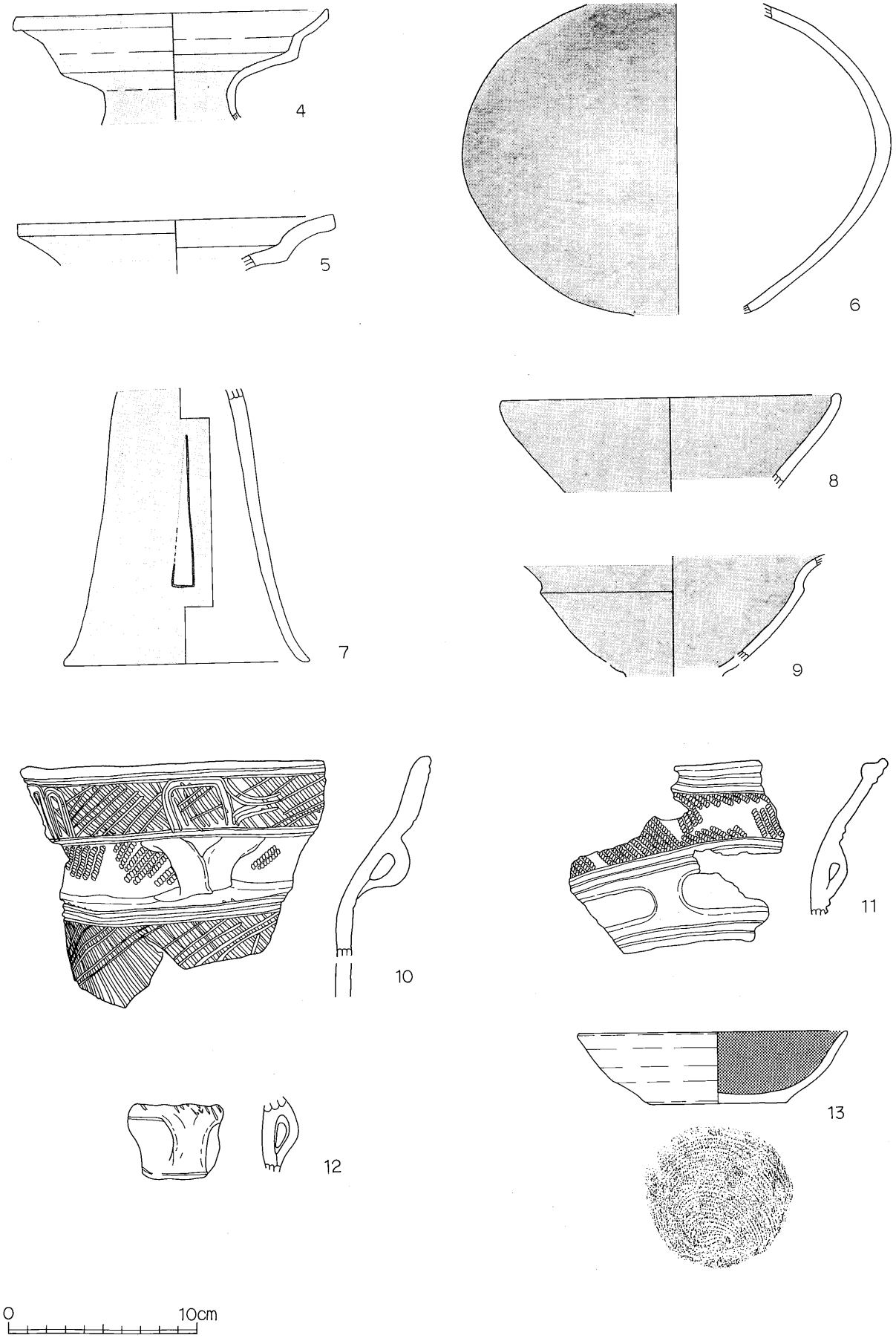
第139図　第11号住居址出土遺物実測



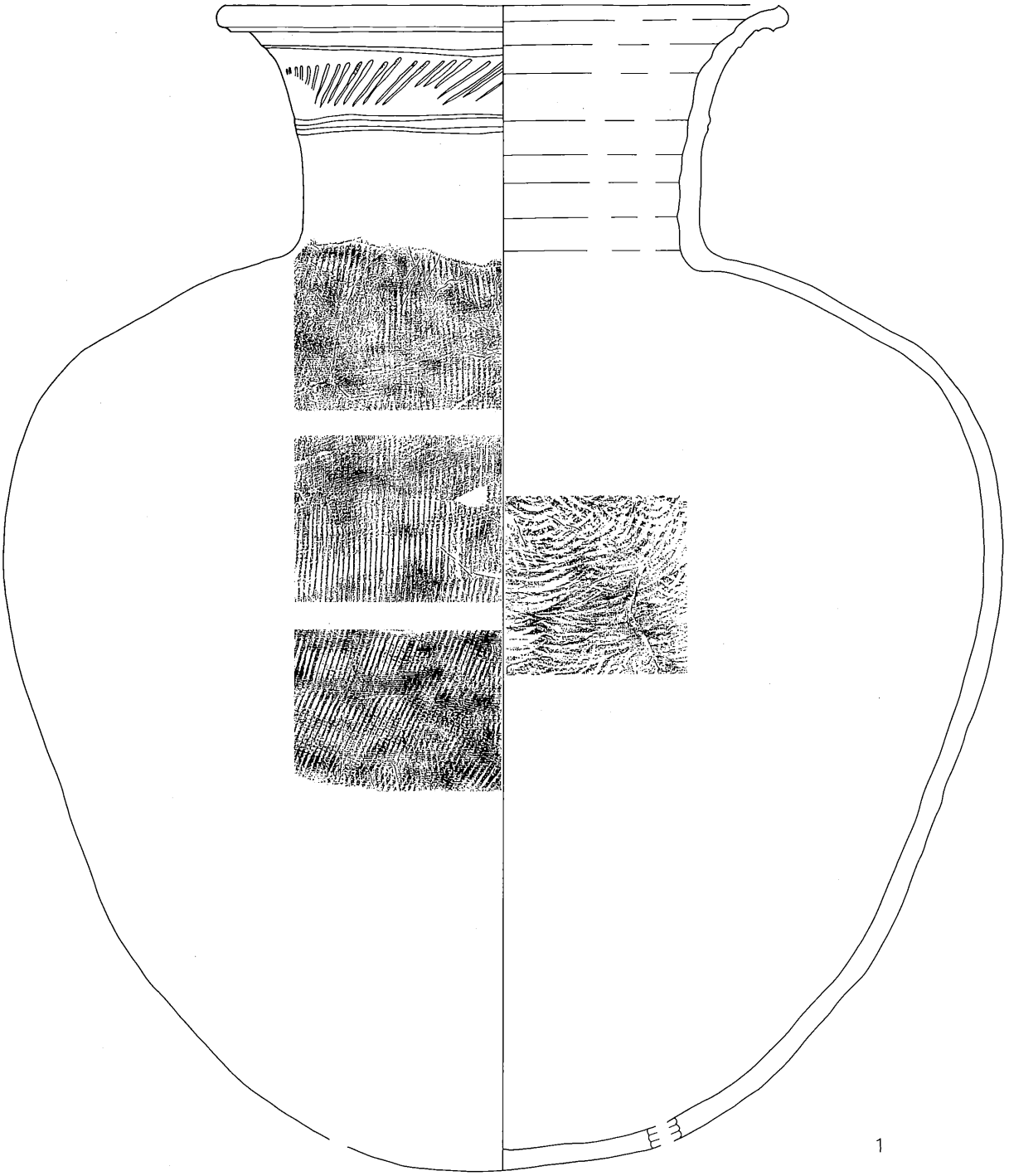
第139図　第11号住居址出土遺物実測

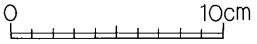


第140図　第1号周溝墓出土遺物実測

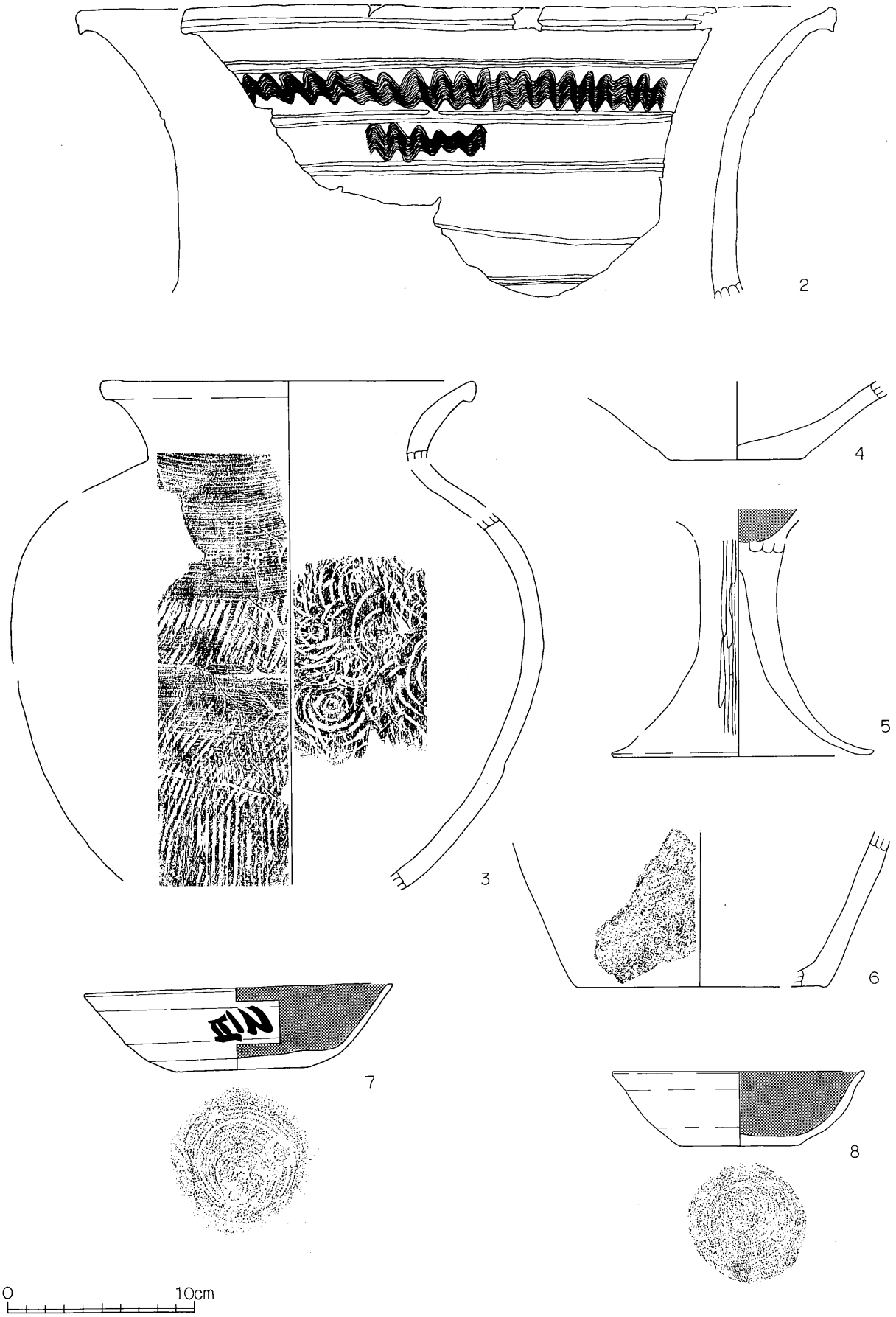


第140図　第1号周溝墓出土遺物実測

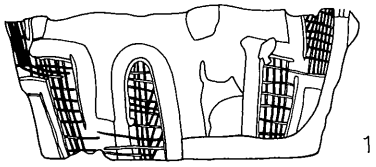




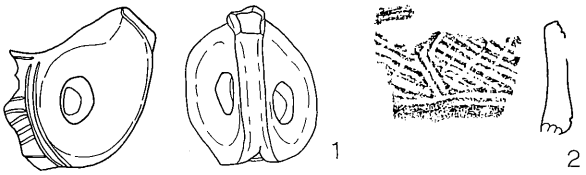
第141図　第1号周溝出土遺物実測



第141図　第1号周溝出土遺物実測



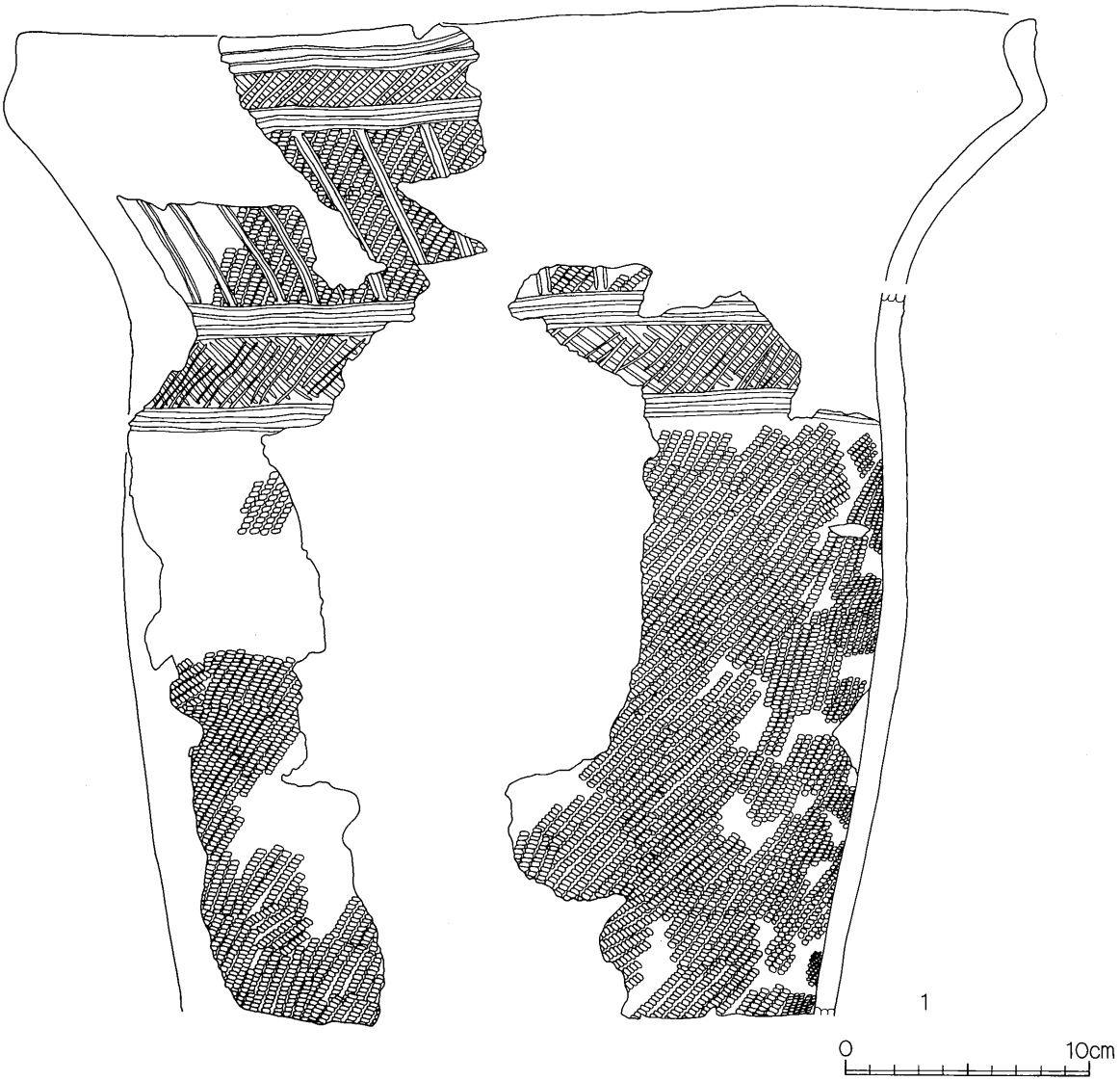
第142図　第1号土壙出土遺物実測



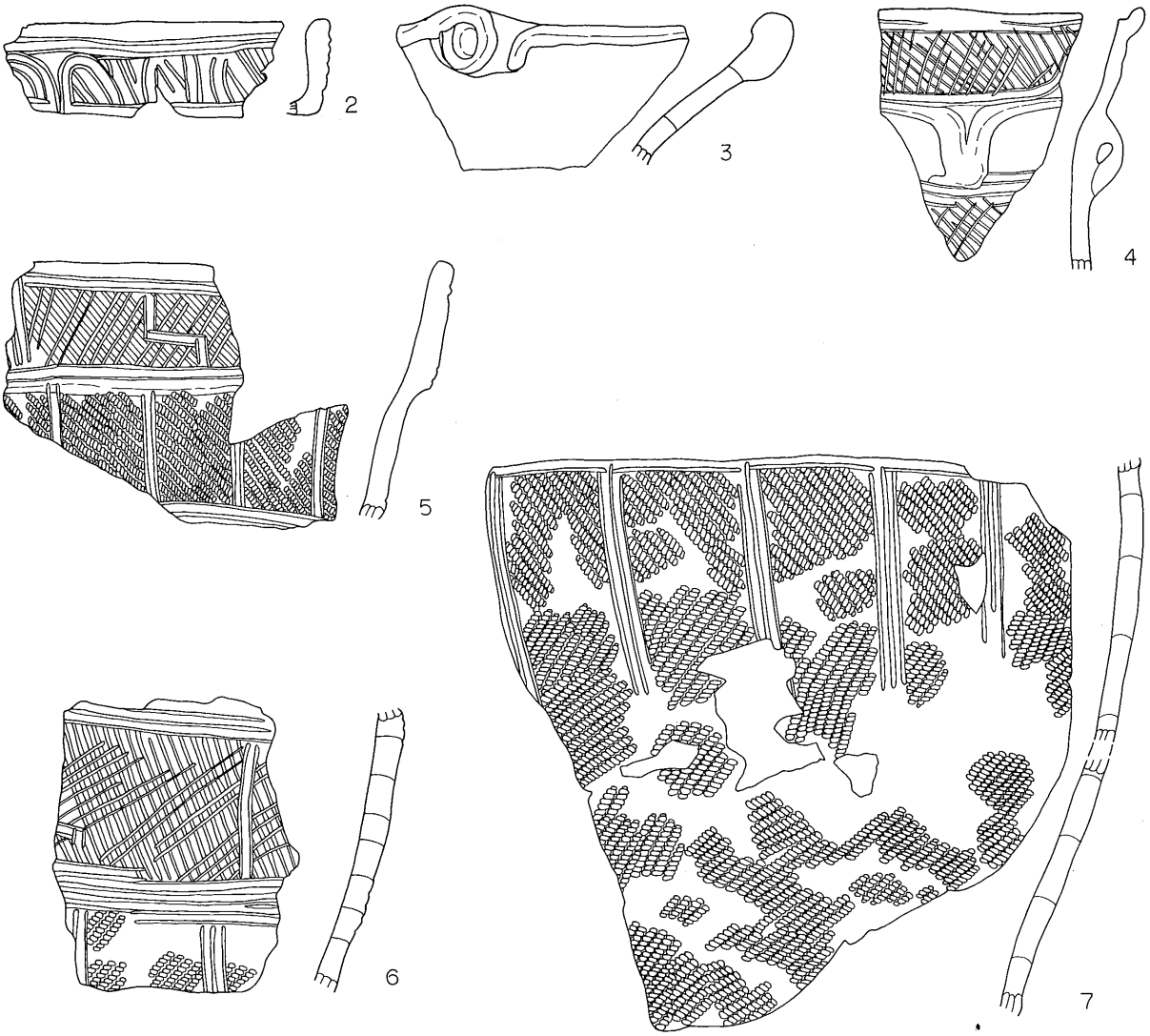
第143図　第12号土壙出土遺物実測

第144図　第16号土壙出土遺物実測

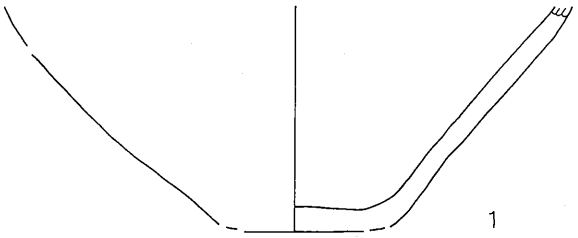
第145図　第22号土壙出土遺物実測



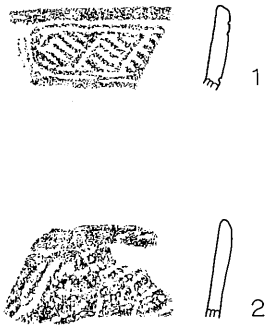
第146図　第25号土壙出土遺物実測

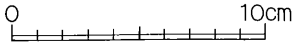


第146図　第25号土壙出土遺物実測

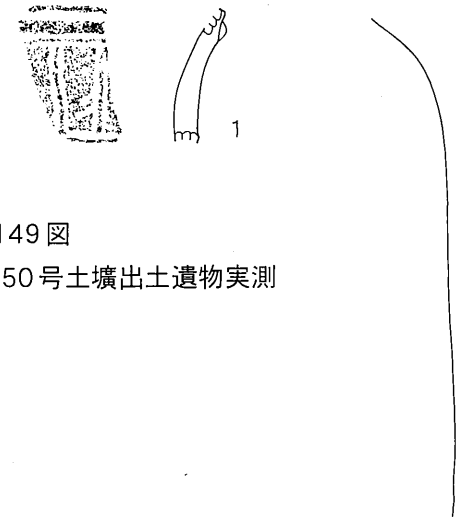


第147図　第28号土壙出土遺物実測

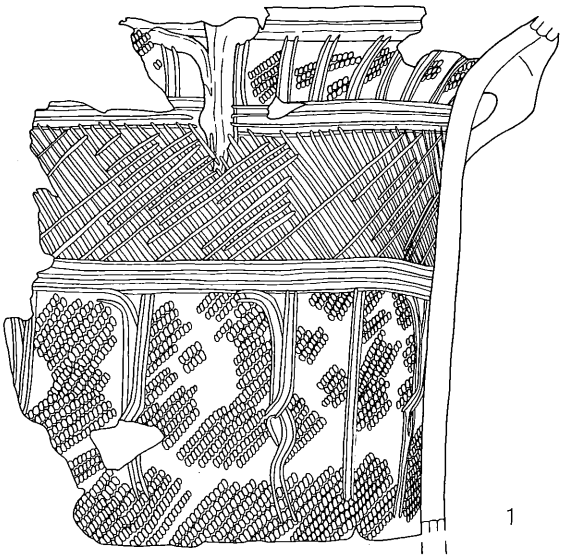




第148図　第36号土壙出土遺物実測

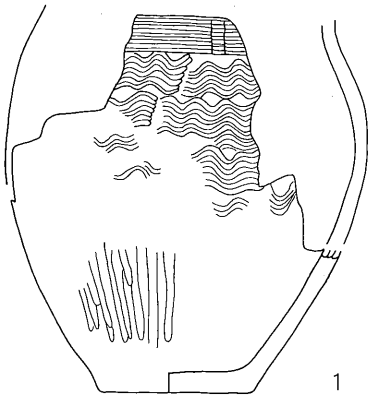


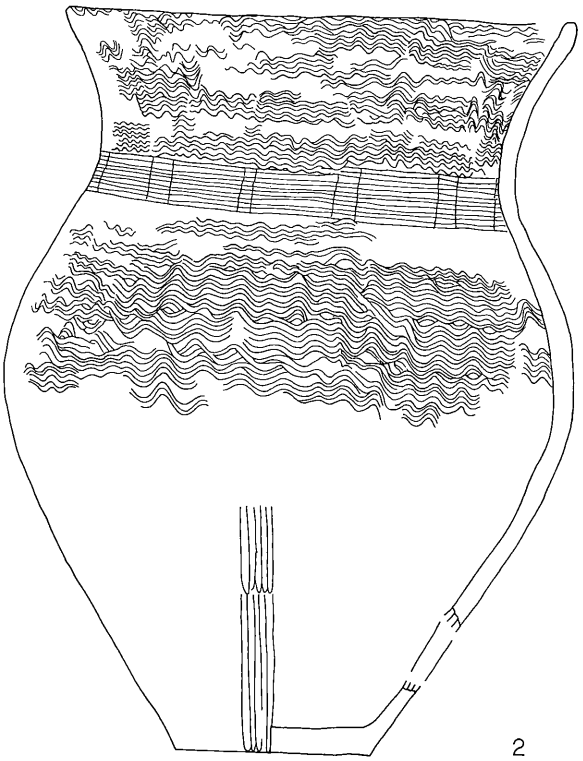
第149図
第50号土壙出土遺物実測



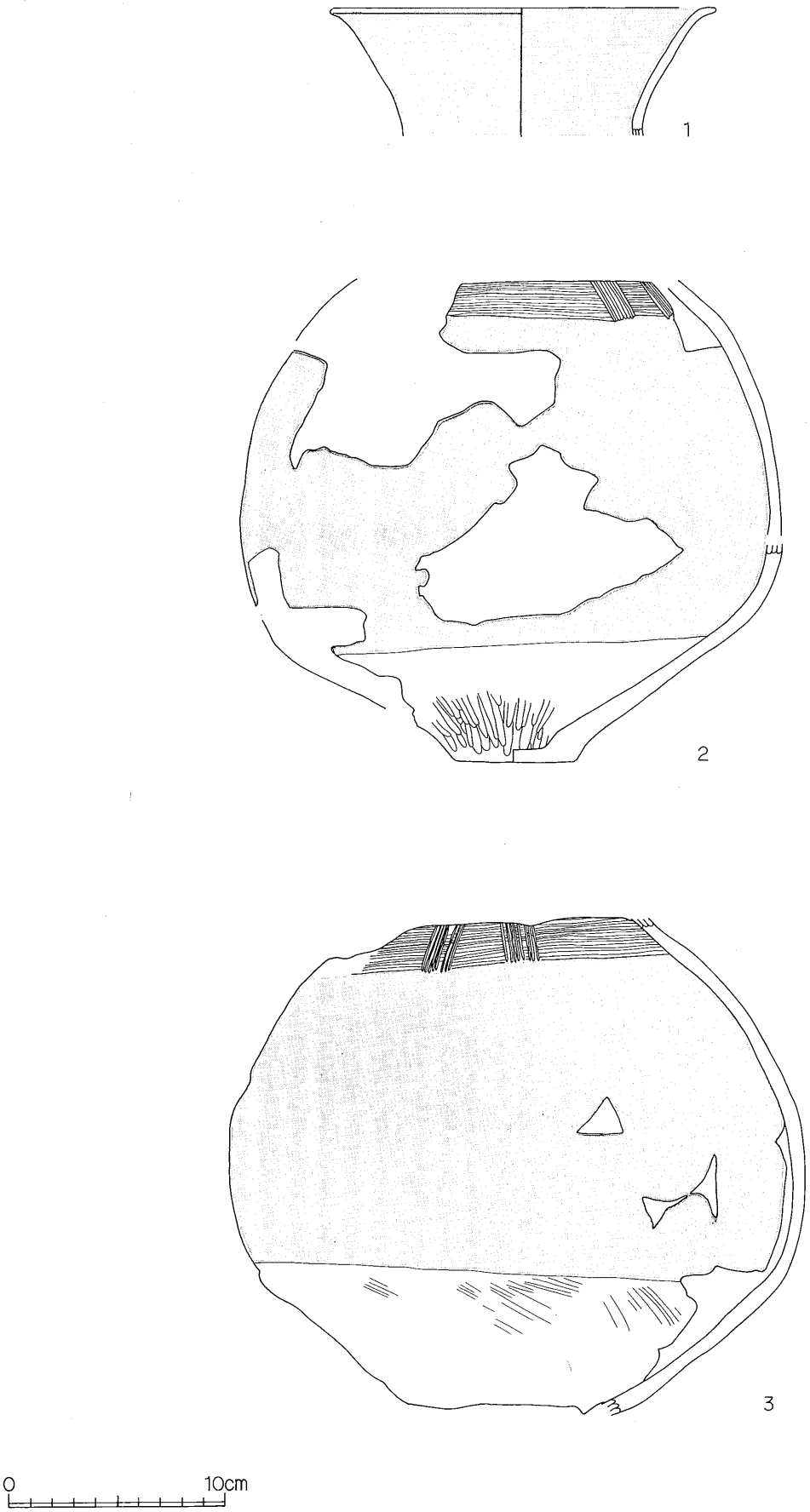
第150図　第52号土壙出土遺物実測

第151図　第55号土壙出土遺物実測

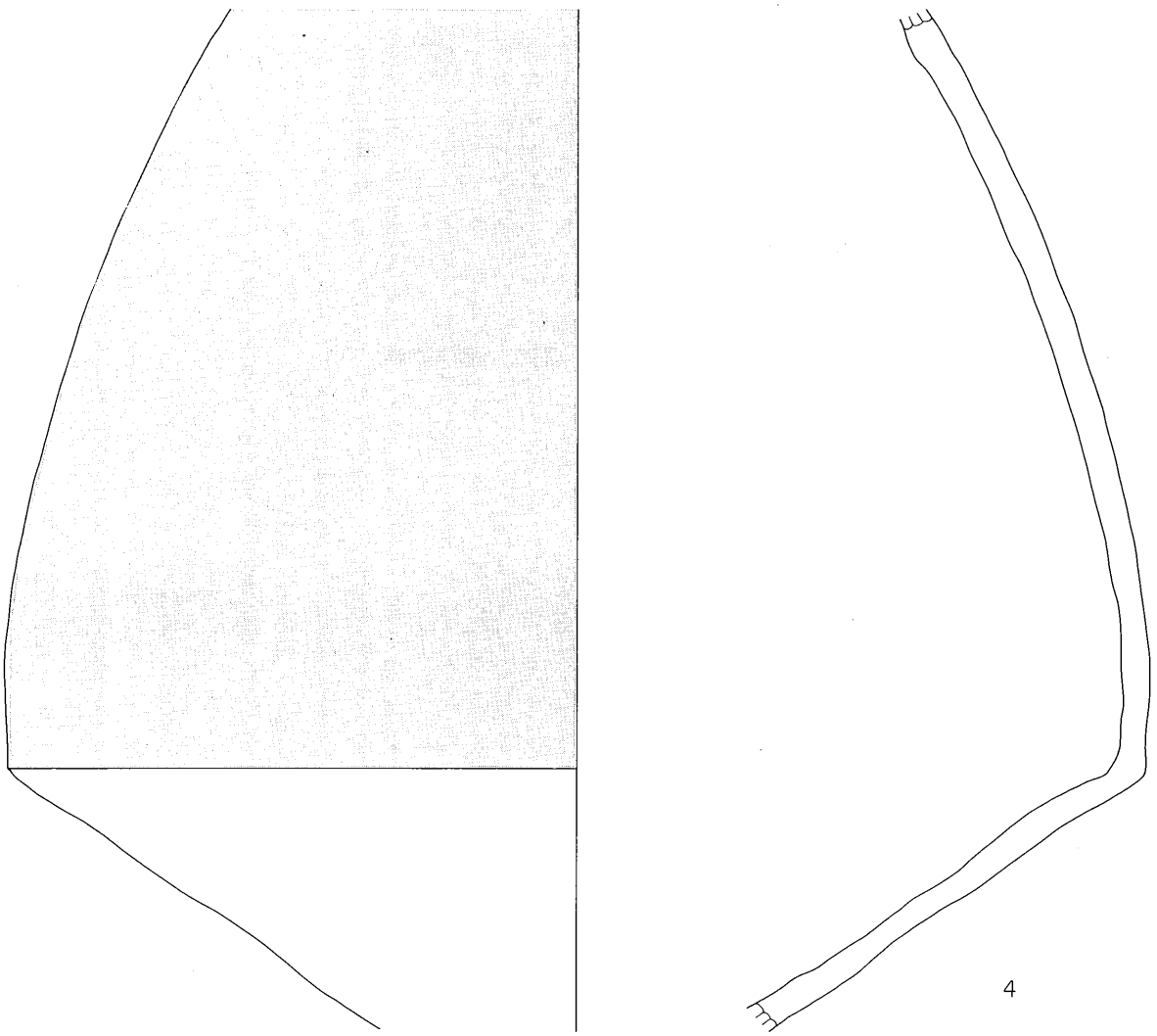




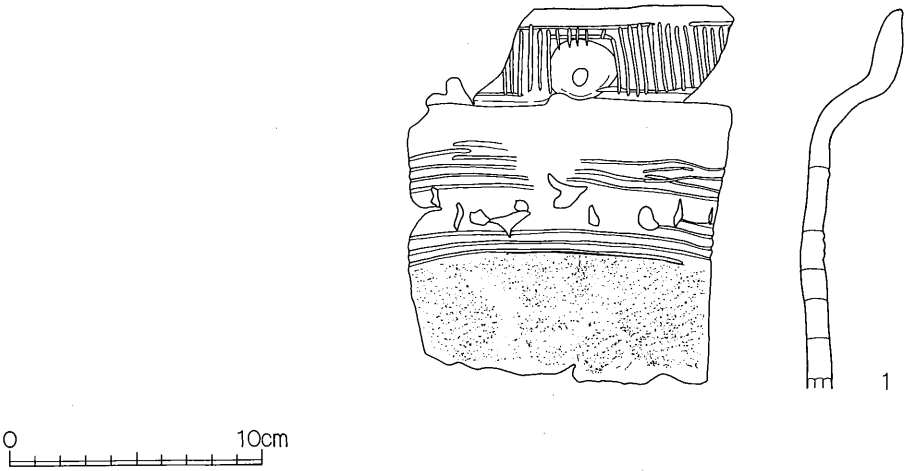
第152図　第64号土壙出土遺物実測



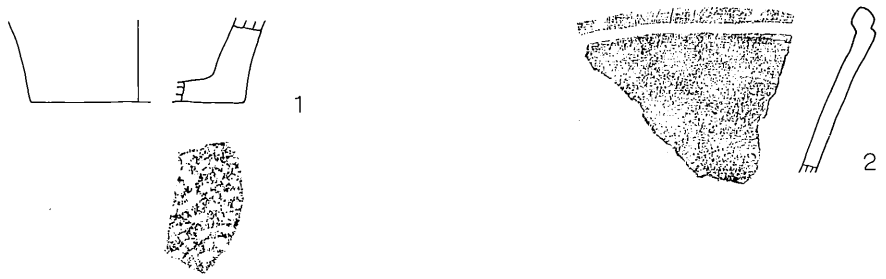
第153図　第75号土壙出土遺物実測



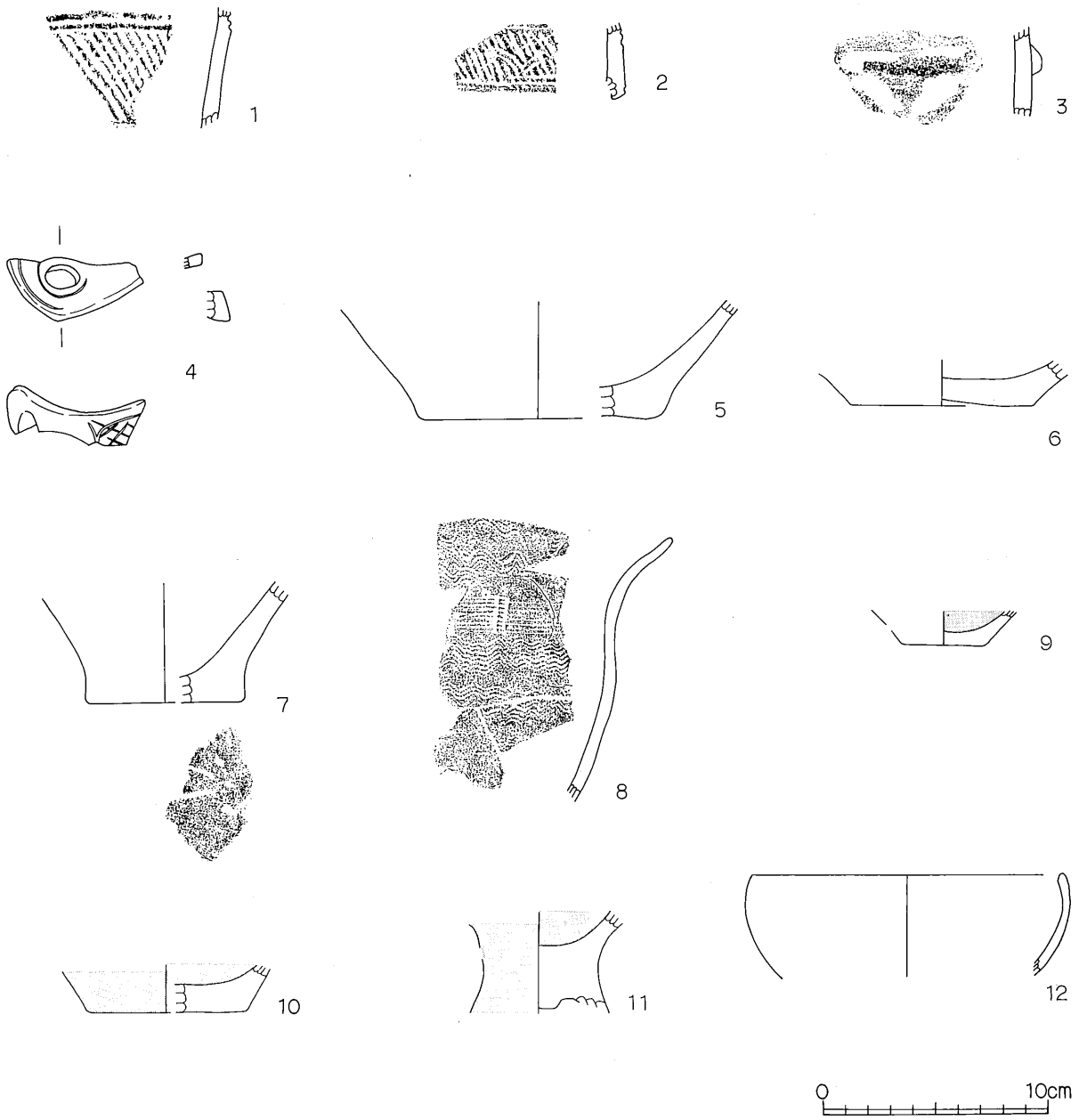
第153図　第75号土壙出土遺物実測



第154図　第76号土壙出土遺物実測

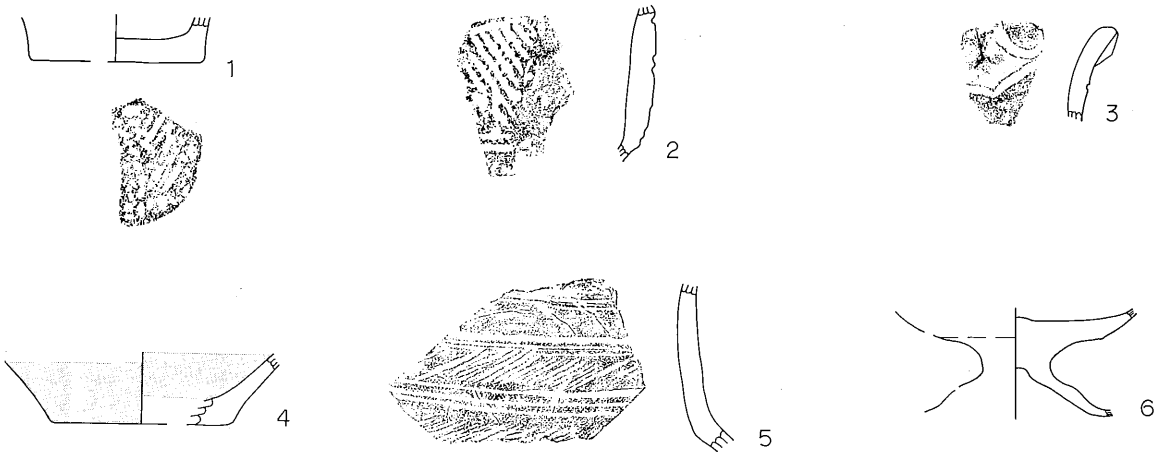


第155図　第85号土壙出土遺物実測



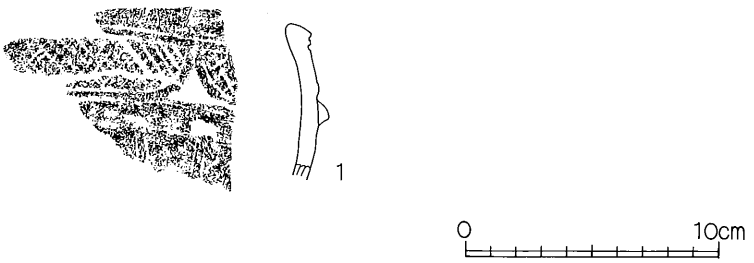
第156図　第1号溝址出土遺物実測

第156図　第1号溝址出土遺物実測

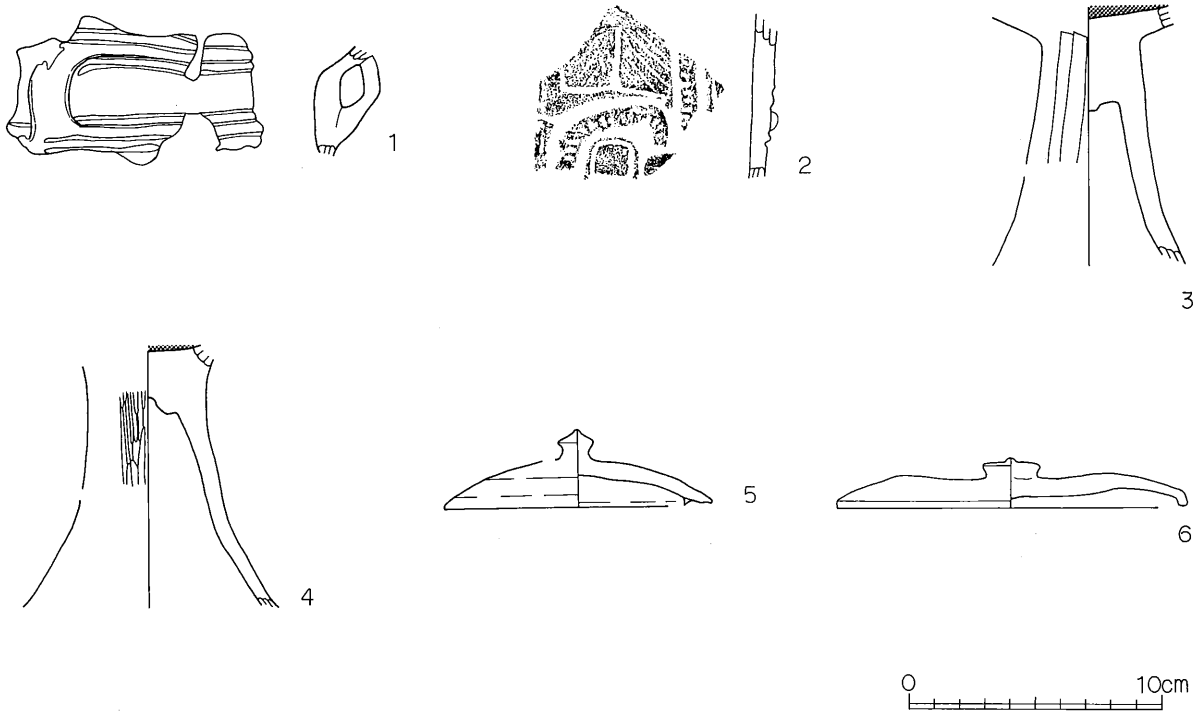


第157図　第3号溝址出土遺物実測

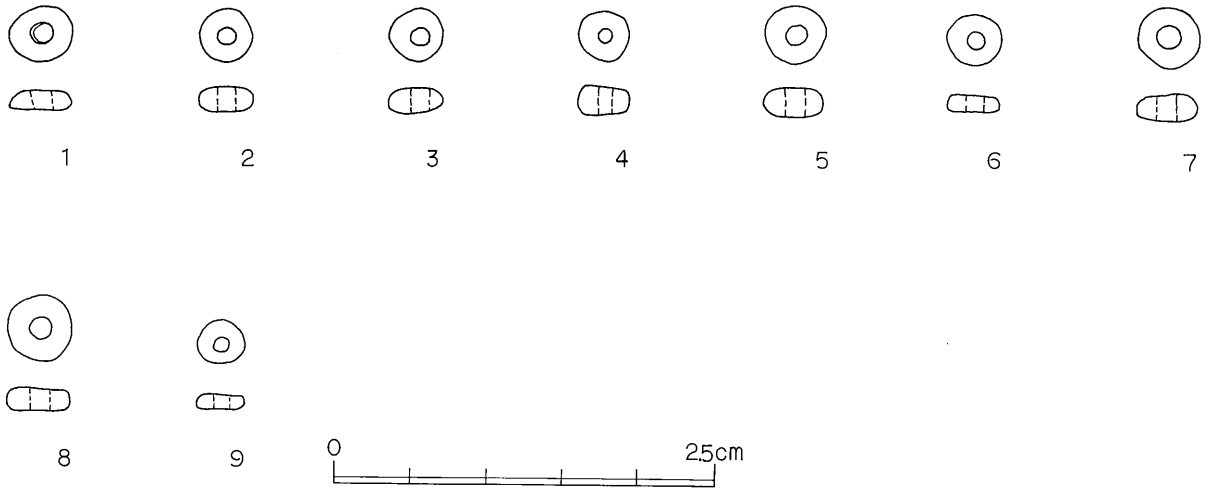
第158図　第4号溝址出土遺物実測



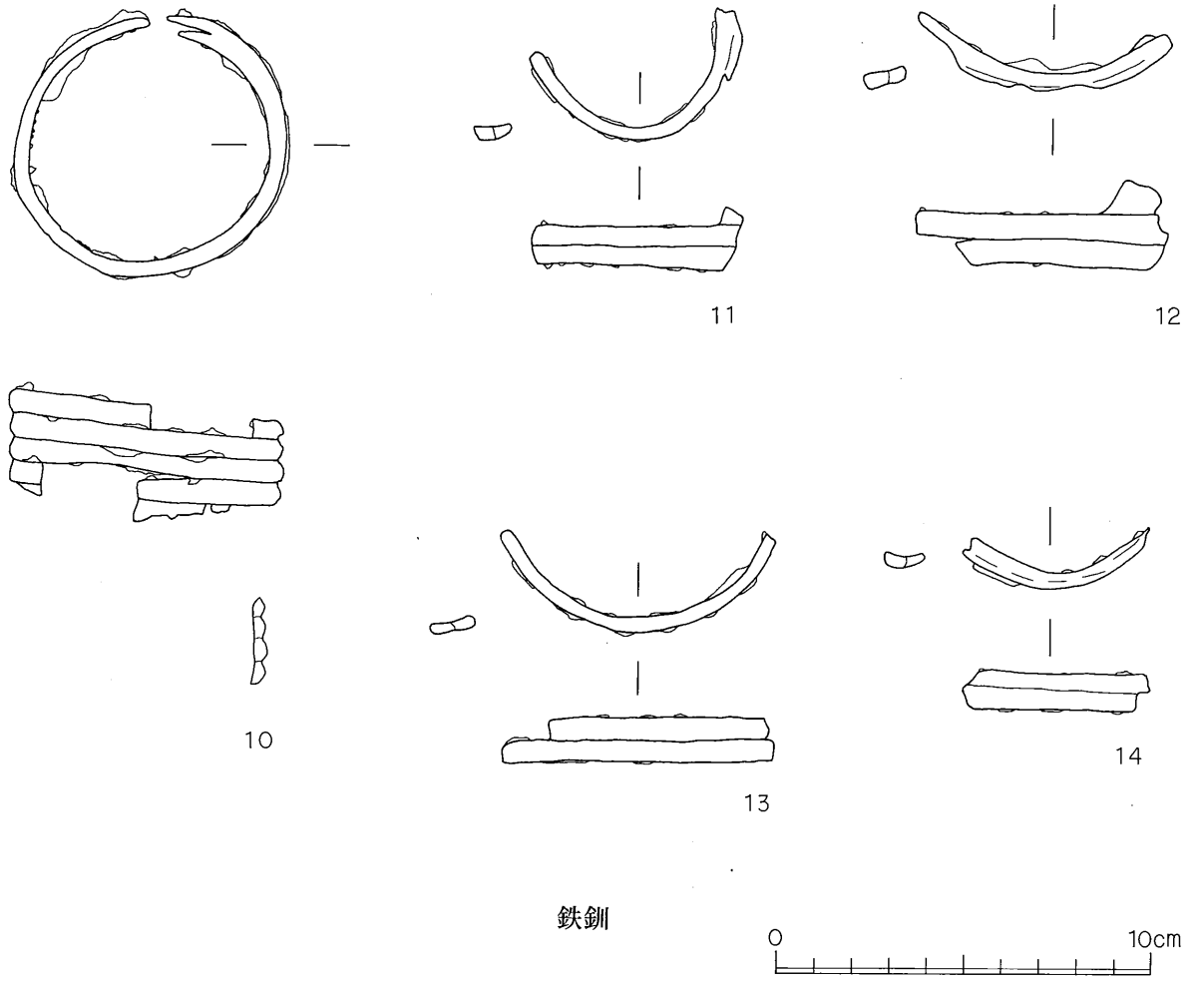
第159図　第5号溝址出土遺物実測



第160図　遺構外出土遺物実測

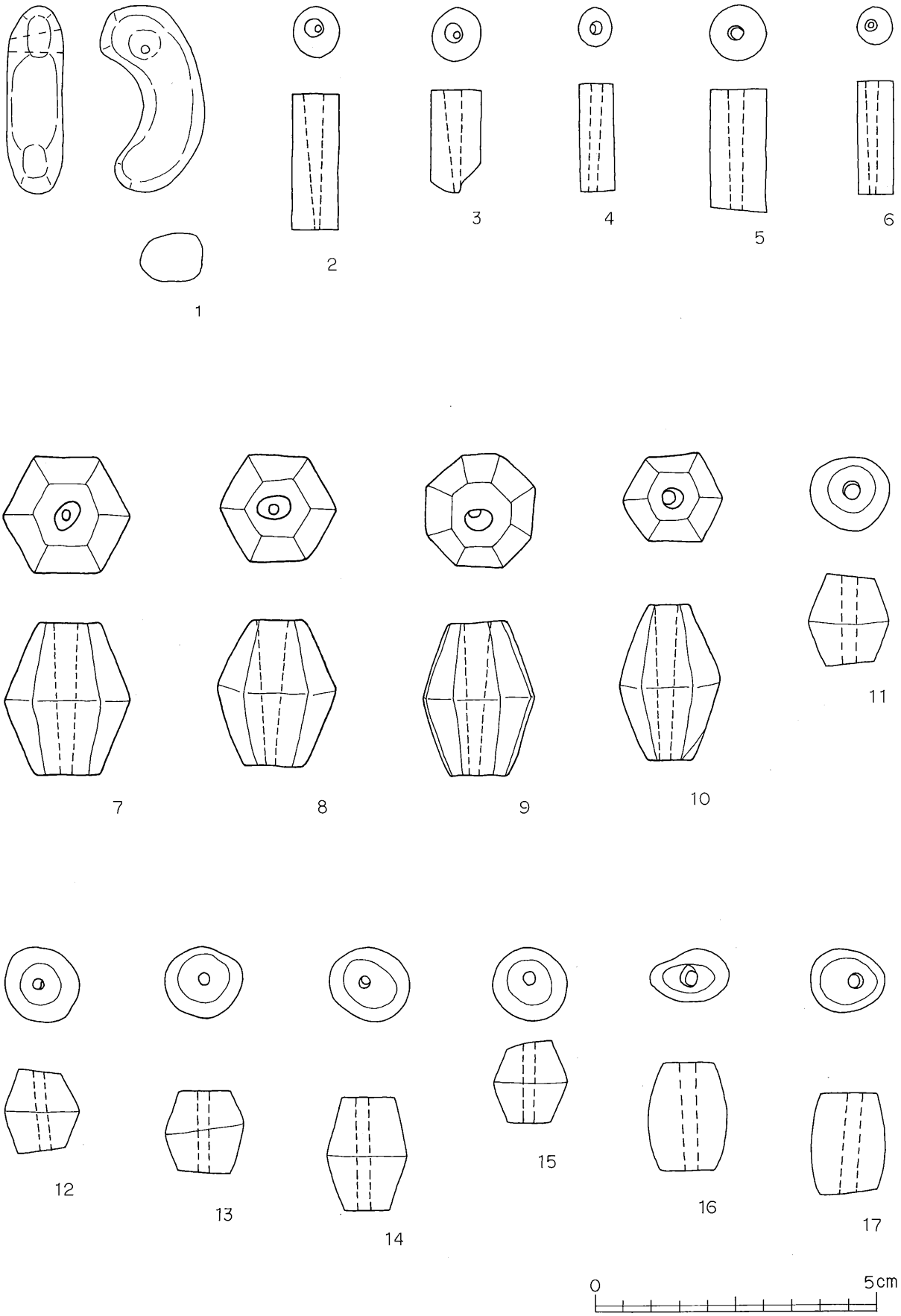


ガラス小玉

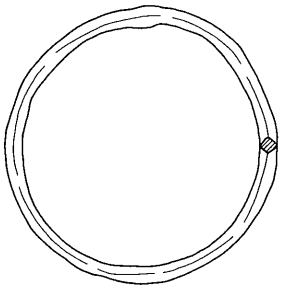


鉄釧

第161図　Ⅰ区第1号周溝墓主体部出土遺物実測図



第162図　礫床墓出土玉類実測図



18

鉄釧

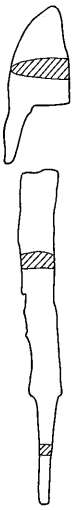
19

銅環

20

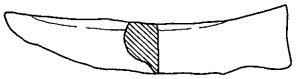
21

22



23

鉄鏃

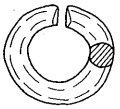


24

刀子

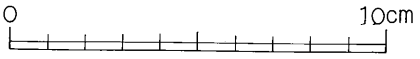
25

鉄鏃

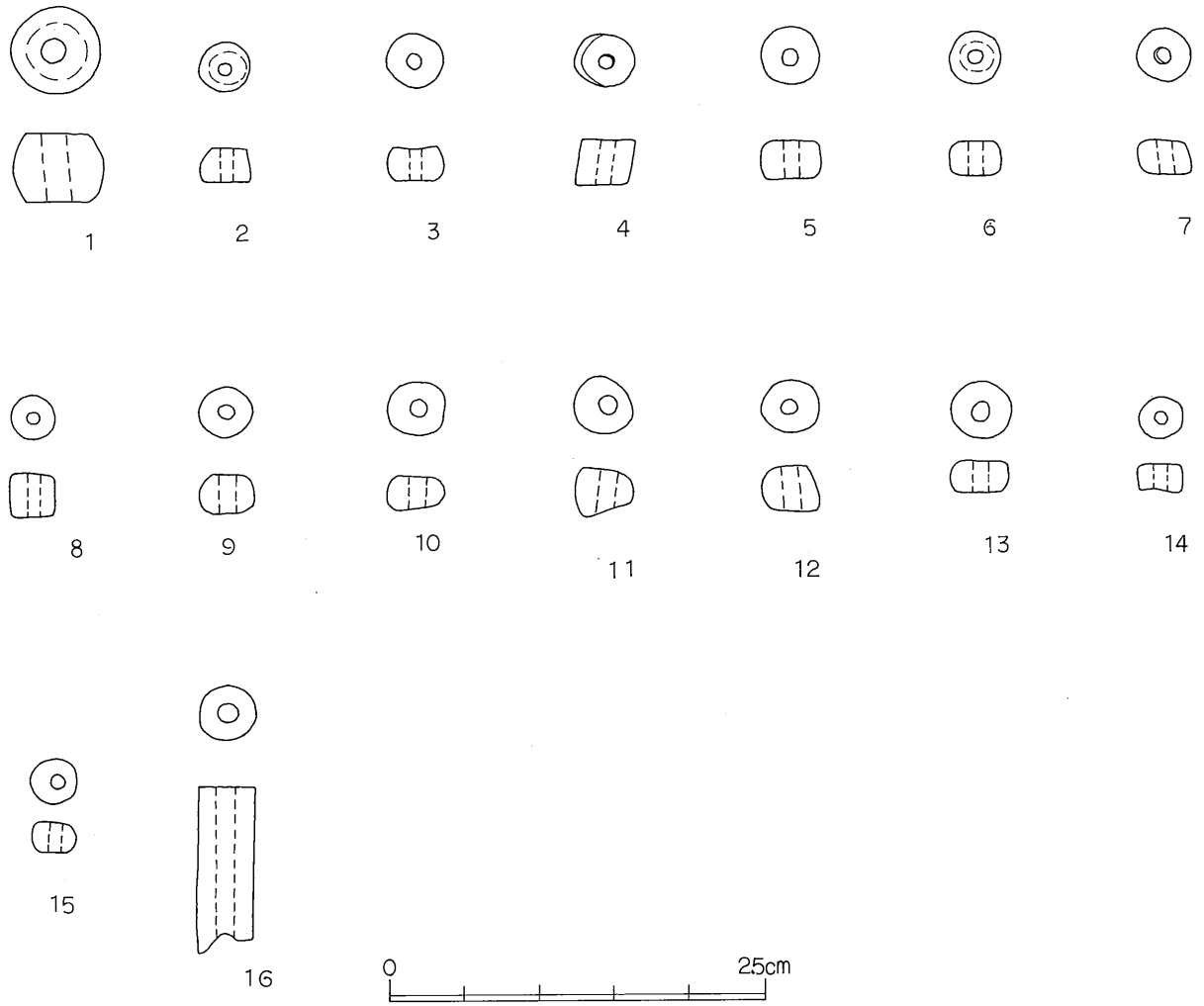


26

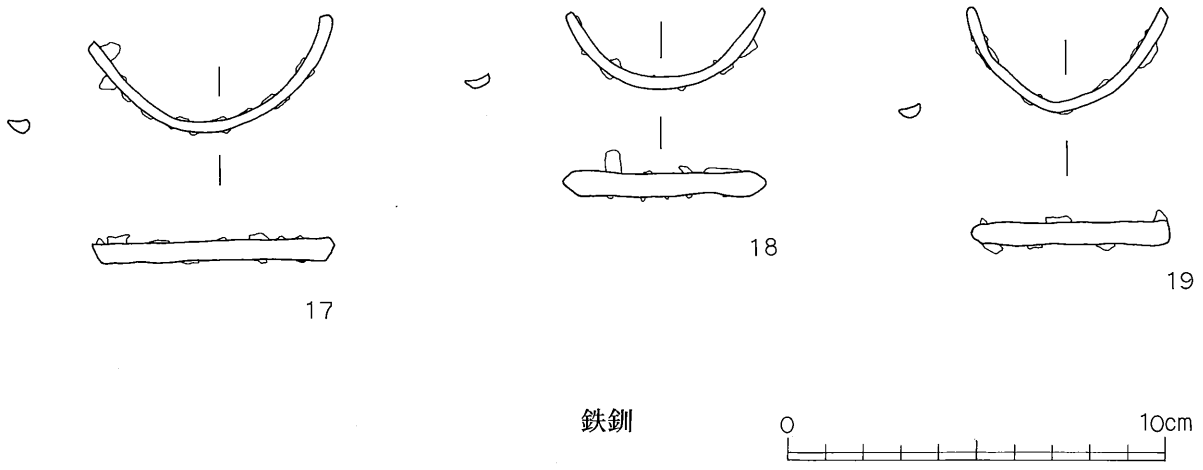
銅環



第162図　礫床墓出土遺物実測図

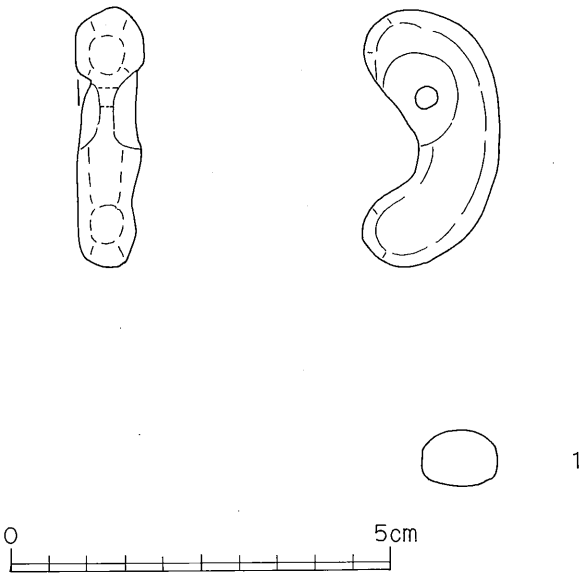


ガラス小玉



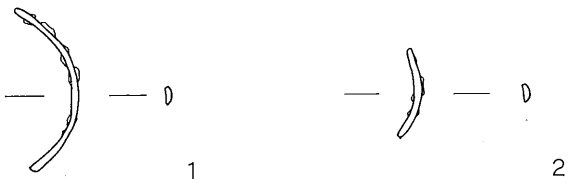
鉄釧

Ⅰ区第49号土壙出土遺物実測図

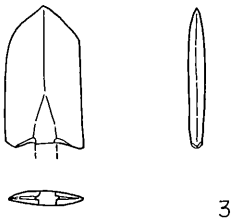


第164図　Ⅰ区第9号土壙出土勾玉実測図

第165図　Ⅰ区第6号溝址出土刀子実測図

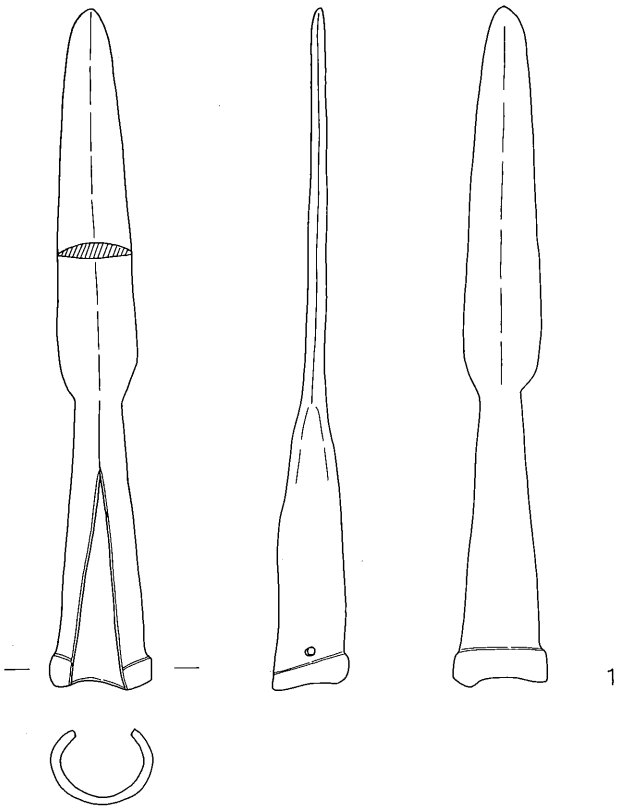


鉄釧

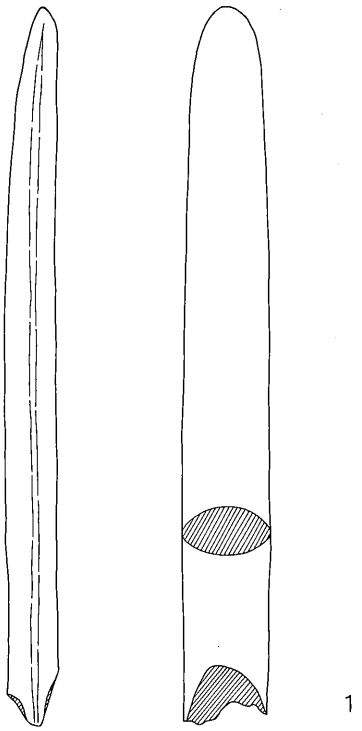


鉄鏃

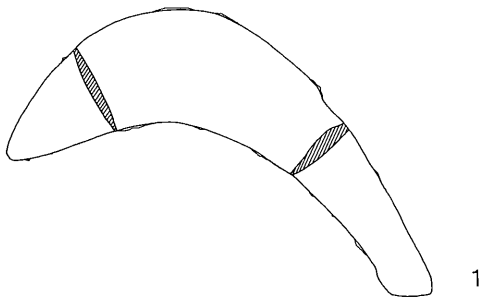
第166図　Ⅰ区第20号溝址出土遺物実測図



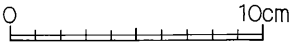
第167図　Ⅰ区第40号土壙出土鉄鏃実測図

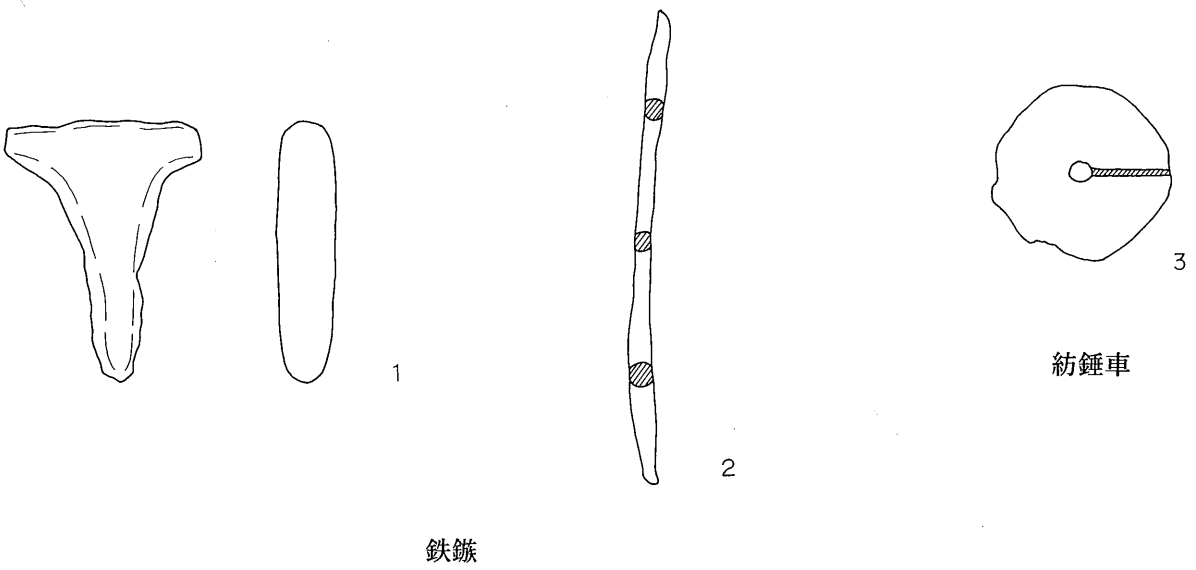


第168図
Ⅰ区遺構外出土石剣実測図

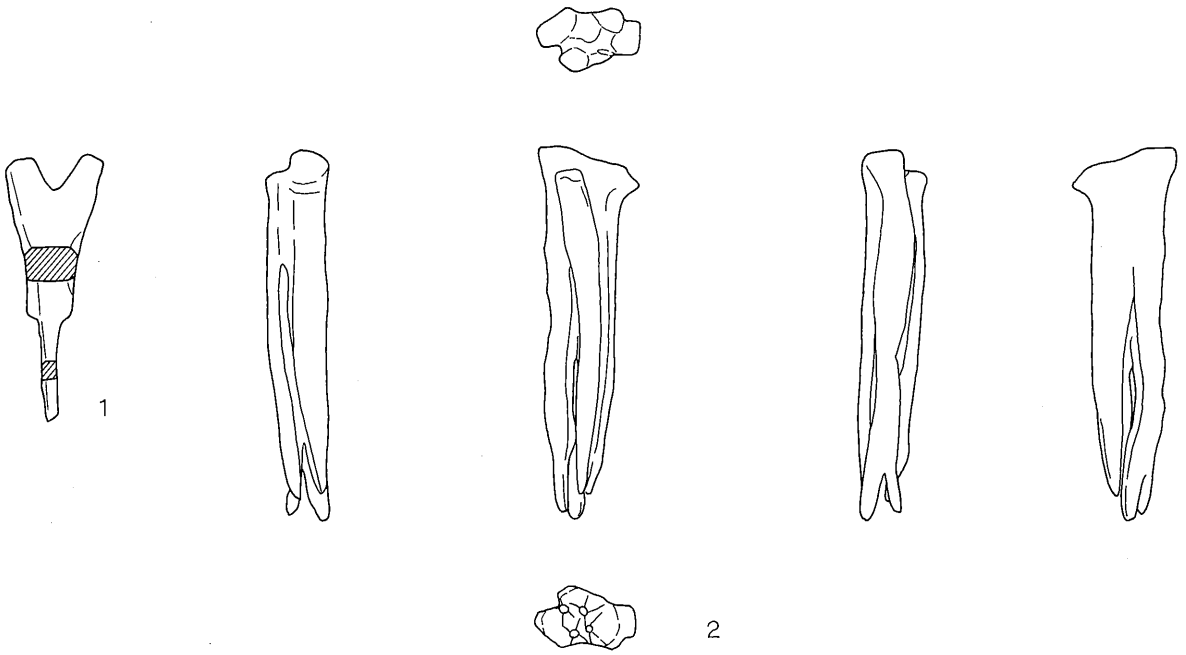


第169図　Ⅱ区第61号土壙出土鎌実測図

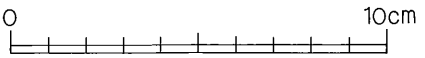




第170図　Ⅱ区第1号住居址出土遺物実測図



第171図　Ⅱ区第11号住居址出土鉄鏃実測図



遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-1	坏 土師	13.8 3.0 6.8 完存	胎；0.5 の礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-2	Ⅲ 土師	9.4 1.7 4.3 完存	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR3/1黒褐	平底より外傾して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 内面炭火物付着
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-3	Ⅲ 土師	10.0 2.1 3.9 口~体2/3底完	胎；0.3 の礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より外傾して開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-4	坏 土師	14.0 3.5 5.6 口縁~底部1/4	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より内弯しながら開き口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-5	椀 土師	－ 2.5 5.4 底部のみ	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-6	椀 土師	－ 1.5 4.8 底部のみ	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 黒	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 黒色処理
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-7	坏 土師	13.4 3.2 － 口縁1/3	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR3/1黒褐 (内) 7.5YR7/3にぶい褐	口縁部で開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-8	坏 土師	15.0 2.1 － 口縁1/6	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	口縁部で水平に外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-9	坏 須恵	－ 1.4 6.0 底部1/3	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/1褐灰 (内) 7.5YR6/1褐灰	付高台	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 内面施釉
Ⅰ－1号 住居址 第 78図-10	羽釜 土師	23.3 21.0 － 口縁~胴部1/4	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	鍔部は付けており口縁部に向かって窄まる	(外) 胴部箆状工具による削り・口縁～鍔部横位の撫で (内) 横位の撫で
Ⅰ－2号 住居址 第 79図-1	深鉢 縄文	18.5 21.5 － 口縁はほぼ完胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	頸部から大きく開く。集合沈線文構成	(外) (内)
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-1	甕 弥生	13.6 8.6 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙~10YR6/3にぶい黄橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は緩やかな「く」状を呈する	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 箆磨き
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-2	甕 弥生	－ 8.0 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/6明褐		(外) 波状文・２連止めの簾状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-3	甕 弥生	－ 2.2 5.4 底部のみ	胎；石英・白色砂粒・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 底部箆切り (内)
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-4	壺 弥生	16.8 8.8 － 口縁部~胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	胴部は丸みを持ち頸部に段を有し口縁部で大きく開き口唇部に面取りを施す	(外) 箆磨き (内) 箆磨き 外内面赤色塗彩

上田原遺跡遺物観察表（1）

遺構No. 図版No.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-5	鉢 弥生	6.6 5.8 4.4 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	平底より外傾して開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-6	深鉢 弥生	20.6 9.3 － 口縁1/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 10R4/6赤	口縁部で外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩 剥落している
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-7	高坏 弥生	－ 6.2 10.4 脚部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R4/6赤	脚部はラッパ状に開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-8	高坏 弥生	－ 4.5 － 接合部のみ	胎；石英・雲母含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR7/4にぶい橙		(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-9	深鉢 縄文	－ 3.0 7.8 底部1/2	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	ＲＬ縄文	(外) 底部網代痕有り (内)
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-10	深鉢 縄文	－ 5.0 6.8 底部のみ	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦削り・底部網代痕有り (内) 篦削り
Ⅰ－1号 周溝墓 第 80図-11	深鉢 縄文	－ 4.2 － 口縁一部	胎；石英・金雲母・白色砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR4/4褐	キザミ口縁・キザミ隆帯・条痕文	(外) (内)
Ⅰ－1号 周溝墓主体部 第 81図-1	甕 弥生	14.4 15.1 5.6 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐～5YR2/1黒褐 (内) 5YR2/4極暗赤褐	平底より立ち上がり丸みのある胴部から外反する口縁部に至る	(外) ２連止めの簾状文を施した後波状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－1号 周溝墓主体部 第 81図-2	甕 弥生	11.2 6.0 － 口縁部～胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙～4/2灰褐	口縁部で外反する	(外) 縦位の刷毛調整 (内) 篦磨き
Ⅰ－1号 周溝墓主体部 第 81図-3	壺 弥生	20.0 28.5 7.7 口縁～胴一部底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より立ち上がり胴部は下位に稜を持ち上位は張り口縁部で外反して開く	(外) 簾状文・篦磨き (内) 撫で 外面一部赤色塗彩
Ⅰ－1号 周溝墓主体部 第 81図-4	鉢 弥生	12.8 6.2 4.2 完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より内弯気味に立ち上がり開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－1号 周溝墓主体部 第 81図-5	高坏 弥生	23.0 16.3 13.0 口坏部2/3脚完	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	脚部はラッパ状を呈し裾部で外反する。坏部は内弯しながら開き口縁部で水平に外反し口唇部に山型の突起を持つ	(外) 坏部から脚部篦磨き (内) 坏部篦磨き・脚部刷毛調整 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅰ－2号 周溝墓 第 82図-1	甕 弥生	12.2 6.1 － 口縁1/4胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙～5YR7/1明褐灰　(内) 5YR7/4にぶい橙	口縁部は緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－2号 周溝墓 第 82図-2	甕 弥生	10.0 4.5 － 口縁1/4	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部で外反する	(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅰ－2号 周溝墓 第 82図-3	甕 弥生	－ 3.1 6.6 底部1/3	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内)

上田原遺跡遺物観察表（2）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-4	甕 弥生	－ 2.6 6.4 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	平底	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-5	甕 弥生	14.3 11.5 口縁～頸部1/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	球形の胴部より「く」状を呈する口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内) 口縁部横位の撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-6	壺 弥生	－ 3.2 6.0 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-7	壺 弥生	－ 3.2 5.0 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底	(外) 篦削り (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-8	壺 弥生	－ 5.5 11.0 底部1/3	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦削り・篦磨き (内) 刷毛調整
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-9	壺 弥生	46.0 9.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙～2.5YR4/6赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	胴部に張りを持つ	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-10	鉢 弥生	18.9 5.8 － 口縁1/4	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	口縁部で僅かに内弯する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-11	鉢 弥生	－ 1.9 5.0 底部1/2	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	平底	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-12	深鉢 弥生	23.6 8.8 － 口縁部～胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部で水平に外反する	(外) ３連止めの簾状文を施す (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-13	深鉢 弥生	－ 1.7 5.4 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-14	高坏 弥生	－ 4.5 － 接合部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/6橙		(外) 篦磨き (内) 脚部撫で 坏部外内面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-15	高坏 弥生	－ 3.2 － 接合部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/6赤 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外面赤色塗彩
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-16	高坏 土師	－ 3.6 － 接合部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/2灰褐		(外) 篦磨き (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-17	深鉢 縄文	－ 2.5 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/6明褐	交互刺突文	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-18	深鉢 縄文	－ 2.5 － 口縁一部	胎；石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	キザミ口縁	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（3）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-19	深鉢 縄文	－ 3.4 10.8 底部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	ＲＬ縄文	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-20	深鉢 縄文	－ 12.4 － 口縁一部	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐~7.5YR 7/6橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	沈線と刺突文による区画	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-21	深鉢 縄文	－ 17.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	沈線と刺突文による区画	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-22	深鉢 縄文	－ 6.6 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	刺突文	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-23	深鉢 縄文	－ 5.3 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	ＲＬ縄文	(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-24	甕 土師	16.4 7.0 － 口縁1/4	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 2.5YR6/6橙	口縁部は「く」状を呈する	(外) 箆磨き (内) 箆削り後撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-25	甕 土師	19.0 5.7 － 口縁1/3	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部で外反する	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-26	甕 土師	－ 7.4 － 頸部一部	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 10YR8/3浅黄橙 (内) 10YR8/3浅黄橙		(外) (内)
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-27	坩 土師	10.4 4.9 － 口縁1/3	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	頸部上位に段を有し口縁部は外反し口唇部に面取りを施す	(外) 箆磨き (内) 刷毛調整の後撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-28	坩 土師	10.6 3.3 － 口縁1/3	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部は外反し口唇部に面取りを施す	(外) 箆磨きの後撫で (内) 刷毛調整の後撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-29	坩 土師	－ 5.8 6.6 体部一部	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	丸底より体部は偏平な球形を呈する	(外) 撫で (内) 撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-30	高坏 土師	13.3 11.2 9.9 2/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい橙 (内) 2.5YR6/4にぶい橙	脚部に三角形の透かし孔を３ケ所持つ。坏部は中位に稜を持ち開く	(外) 口縁・脚部箆磨き 裾部横位の撫で (内) 口縁部箆磨き・坏部刷毛調整・裾部箆削り後撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-31	高坏 土師	11.3 11.4 9.3 坏部2/3脚部完	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部はラッパ状を呈し三角形の透かし孔を三ケ所持ち裾部で大きく開く。坏部は僅かに内弯しながら開き中位に稜を持つ	(外) 坏部横位の撫で 脚部箆磨き (内) 坏部横位の撫で 脚部箆削り
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-32	？ 土師	－ 4.5 － 体部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ	(外) 箆磨き (内) 撫で
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-33	坏 須恵	14.6 4.1 9.0 口体一部底ほぼ完	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5Y6/灰 (内) 7.5Y6/灰	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 回転箆切り (内) 轆轤による撫で

上田原遺跡遺物観察表（4）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－２号 周溝墓 第 82図-34	坏 須恵	－ 2.4 12.8 底部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y5/1黄灰 (内) 2.5Y4/2暗灰黄	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-1	甕 弥生	14.6 3.7 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	口縁部で外反する	(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-2	甕 弥生	－ 4.3 7.5 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/6黄褐 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	平底	(外) (内) 刷毛調整
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-3	壺 弥生	－ 24.6 6.2 胴部～底部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/6赤 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	上げ底気味の底部より外反気味に立ち上がり胴部下位に稜を持つ	(外) 簾状文・篦磨き (内) 胴部上位刷毛調整 外面・底部赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-4	壺 弥生	－ 14.6 6.4 胴部～底部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より外反気味に立ち上がり胴部下位に稜を持つ	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-5	鉢 弥生	13.0 4.0 － 体部1/2	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	体部は丸みを持って開き口縁部に至る	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-6	深鉢 弥生	16.8 15.0 6.3 ほぼ完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	平底より内弯気味に立ち上がり口縁部で大きく外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-7	蓋 弥生	4.6 3.2 － 抓み部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	抓み部より外反して開く	(外) 篦磨き (内) 指による撫で付け
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-8	高坏 弥生	15.0 11.8 7.7 ほぼ完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤 (内) 5YR4/6赤	坏部は内弯気味に開き脚部は緩やかに外反する	(外) 篦磨き (内) 脚部木口状工具による刷毛調整 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-9	高坏 弥生	13.3 13.1 11.2 口縁～裾部2/3	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 5YR6/4にぶい橙	坏部は接合部より丸みを持って開き口縁部に至る。脚部はラッパ状に広がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-10	高坏 弥生	29.0 6.5 － 坏部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R4/8赤	口縁部で外反して大きく開く。口唇部に山型突起を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-11	高坏 弥生	－ 13.7 14.0 坏部～脚部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	坏部は接合部より丸みを持って開き脚部は接合部より緩やかに外反して開く	(外) 坏部から脚部篦磨き (内) 坏部篦磨き・脚部刷毛調整 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-12	高坏 弥生	－ 13.0 19.0 脚部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 7.5YR6/6橙	脚部は緩やかに外反する	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-13	ミニ チュア 弥生	－ 9.4 4.2 胴部～底部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙~2.5YR 5/6明赤褐　(内) 5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 上げ底気味の底部より内弯して立ち上がり胴部中位で最大径を測る	(外) 篦削り (内) 木口状工具による掻き取り 外面赤色塗彩
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-14	壺 土師	14.0 24.5 6.0 ほぼ完存	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙~7.5YR 2/1 黒　(内) 7.5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がり胴部下位で稜を持ち球形を呈する。口縁部は「く」状を呈し口唇部に面取りを施す	(外) 篦磨き (内) 篦磨き

上田原遺跡遺物観察表（5）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-15	鉢 土師	27.8 12.9 5.8 口~体一部底部完	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾して立ち上がり胴部は内弯気味に開き口縁部で屈曲外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-16	坏 土師	15.0 4.9 － ほぼ完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	丸底より内弯気味に開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-17	深鉢 縄文	－ 4.6 － 口縁一部	胎；粗砂粒含む（繊維混入） 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	キザミ口縁・爪形文	(外) (内)
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-18	深鉢 縄文	－ 2.6 － 口縁一部	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR4/4暗褐		(外) (内)
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-19	深鉢 縄文	－ 3.7 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3にぶい黄橙 (内) 10YR7/3にぶい黄橙	口縁部ＲＬ縄文	(外) (内)
Ⅰ－３号 周溝墓 第 83図-20	深鉢 縄文	－ 3.4 － 体部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/6明赤褐 (内) 7.5YR7/6橙	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅰ－１号 周溝 第 84図-１	台付甕 土師	－ 8.8 － 胴部~接合部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	接合部より丸みを持って立ち上がる	(外) 刷毛調整 (内) 撫で
Ⅰ－１号 周溝 第 84図-２	坩 土師	－ 1.8 5.0 胴部一部底部完	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	丸底	(外) 篦削り (内) 撫で
Ⅰ－６号 土壙 第 85図-１	深鉢 縄文	－ 12.5 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3暗赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	４条の沈線がめぐる	(外) (内) 撫で
Ⅰ－６号 土壙 第 85図-２	深鉢 縄文	－ 6.7 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	斜状平行沈線	(外) (内)
Ⅰ－６号 土壙 第 85図-３	深鉢 縄文	－ 3.7 － 胴部一部	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/6明黄褐 (内) 10YR4/4褐	区画内にＬＲ縄文充填	(外) (内)
Ⅰ－８号 土壙 第 86図-１	深鉢 縄文	－ 3.0 － 口縁一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	キザミ口縁	(外) (内)
Ⅰ－９号 土壙 第 87図-１	壺 土師	－ 10.7 7.2 胴部一部底部完	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR4/1褐灰	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き・底部木葉痕有り (内) 刷毛調整
Ⅰ－13号 土壙 第 88図-１	深鉢 縄文	－ 6.0 － 口縁一部	胎；0.2の礫・石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/3にぶい黄橙		(外) 篦磨き (内)
Ⅰ－13号 土壙 第 88図-２	深鉢 縄文	－ 8.4 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 5YR6/8橙	条痕文	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（6）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅰ－14号 土壙 第 89図-1	高坏 弥生	－ 2.8 － 接合部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤		(外) 篦磨き (内) 坏部外内面赤色塗彩
Ⅰ－14号 土壙 第 89図-2	椀 土師	－ 2.0 5.6 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 10YR4/1褐灰	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 黒色処理
Ⅰ－19号 土壙 第 90図-1	深鉢 縄文	－ 11.8 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/6明褐	キザミ隆帯	(外) (内)
Ⅰ－19号 土壙 第 90図-2	深鉢 縄文	－ 4.3 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	沈線による区画	(外) (内)
Ⅰ－20号 土壙 第 91図-1	深鉢 縄文	－ 5.1 － 口縁一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3にぶい黄褐 (内) 10YR2/2黒褐	磨消縄文	(外) (内)
Ⅰ－20号 土壙 第 91図-2	深鉢 縄文	－ 3.8 － 胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/1褐灰	羽状縄文	(外) (内)
Ⅰ－20号 土壙 第 91図-3	深鉢 縄文	－ 5.3 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－20号 土壙 第 91図-4	深鉢 縄文	－ 6.6 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ 条痕文	(外) (内)
Ⅰ－27号 土壙 第 92図-1	甕 弥生	20.4 46.5 8.6 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	平底より立ち上がり張りのある胴部を経て外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内)
Ⅰ－27号 土壙 第 92図-2	甕 土師	15.5 18.4 7.3 ほぼ完存	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より内弯気味に立ち上がり口縁部で「く」状を呈する	(外) 撫で (内) 口縁部横位の撫で
Ⅰ－31号 土壙 第 93図-1	深鉢 縄文	－ 5.5 － 口縁一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	８の字貼付文・キザミ隆帯	(外) (内)
Ⅰ－31号 土壙 第 93図-2	深鉢 縄文	－ 6.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい橙 (内) 10YR7/4にぶい橙	区画内にＬＲ縄文充填	(外) (内)
Ⅰ－32号 土壙 第 94図-1	椀 黒色土器	11.9 5.0 6.0 完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR2/1黒 (内) 7.5YR3/1黒褐	高台付の底部より内弯気味に立ち上がり口縁部に至る 轆轤成形	(外) 篦磨き・底部に「丹」の刻書を施す (内) 篦磨き 外内面黒色処理
Ⅰ－33号 土壙 第 95図-1	深鉢 縄文	－ 6.0 － 口縁一部	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8橙 (内) 10YR7/6明黄褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅰ－34号 土壙 第 96図-1	小型甕 土師	13.0 14.3 － 口縁部~胴部一部	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙~7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	張りを持つ胴部より外反する口縁部に至る	(外) 刷毛調整 (内) 口縁部横位の撫で

上田原遺跡遺物観察表（7）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－34号 土壙 第 96図-2	壺 土師	17.0 1.2 － 口縁1/4	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 5YR4/8赤褐	口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
Ⅰ－34号 土壙 第 96図-3	鉢 土師	16.0 5.1 3.1 口～胴一部底部完	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6にぶい橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	上げ底気味の底部より内弯して立ち上がり胴部に稜を持ち口縁部に至る	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－36号 土壙 第 97図-1	台付甕 弥生	9.3 11.9 5.7 口1/2胴～底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR5/6明赤褐	接合部より丸みを持って立ち上がり張りのある胴部から外反する口縁部に至る。脚部は「ハ」状に開く	(外) 波状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－37号 土壙 第 98図-1	深鉢 縄文	－ 4.4 － 胴部一部	胎；礫多量・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/6明赤褐 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－37号 土壙 第 98図-2	深鉢 縄文	－ 3.7 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙		(外) (内)
Ⅰ－50号 土壙 第 99図-1	深鉢 縄文	41.2 50.6 － 口縁1/2胴一部	胎；礫・石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐～2.5YR 5/1赤　(内) 2.5YR4/6赤褐	頸部でくびれ口縁部は内弯して立ち上がる。胴部に沈線・刺突文による区画を施す	(外) (内)
Ⅰ－51号 土壙 第100図-1	深鉢 縄文	－ 5.2 － 口縁一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－54号 土壙 第101図-1	深鉢 縄文	－ 3.9 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/4にぶい黄 (内) 10YR6/6明黄褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－54号 土壙 第101図-2	深鉢 縄文	－ 3.6 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 2.5YR5/3黄褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－60号 土壙 第102図-1	深鉢 縄文	－ 14.7 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐～5YR3/1 黒褐　(内) 2.5YR5/6明赤褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－61号 土壙 第103図-1	深鉢 縄文	－ 17.2 － 口縁部～胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR2/1黒褐 (内) 5YR3/3暗赤褐		(外) 篦削り (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-1	深鉢 縄文	36.3 7.5 － 口縁部～胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/8黄橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部に山型突起を施す	(外) 篦削り後撫で (内) 篦削り後撫で
Ⅰ－64号 土壙 第104図-2	壺型土器 縄文	5.7 13.1 6.5 口～胴一部底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙～5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 変形工字文	(外) 底部木葉痕有り (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-3	壺型土器 縄文	9.0 4.5 － 口縁1/3	胎；石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	口縁部に刺突文がめぐる	(外) (内) 篦磨き
Ⅰ－64号 土壙 第104図-4	深鉢 縄文	－ 4.2 － 口縁部～胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR8/6浅黄橙	キザミ口縁・口縁部より胴部に縦位の条痕文	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（8）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－64号 土壙 第104図-5	深鉢 縄文	－ 4.6 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/8黄橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	キザミ口縁・条痕文	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-6	深鉢 縄文	－ 3.1 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR4/3褐	キザミ口縁・条痕文	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-7	深鉢 縄文	－ 3.5 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6褐 (内) 7.5YR3/4暗褐	口唇部に刻目を施す	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-8	深鉢 縄文	－ 1.5 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR4/2灰褐	キザミ口縁	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-9	深鉢 縄文	－ 3.0 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/3暗褐 (内) 10YR4/2灰黄褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-10	深鉢 縄文	－ 2.2 － 底部1/4	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3にぶい黄褐 (内) 7.5YR5/6明褐	平底	(外) 底部網代痕有り (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-11	壺 弥生	－ 6.5 6.8 胴部一部底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 底部網代痕有り (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-12	深鉢 縄文	－ 12.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 7.5YR4/3褐	粘土帯積み上げ 胴部に縦位の条痕文	(外) (内)
Ⅰ－64号 土壙 第104図-13	深鉢 縄文	－ 5.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/8橙	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－65号 土壙 第105図-1	深鉢 縄文	－ 29.0 7.2 胴部~底部一部	胎；礫・粗砂粒少し含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より立ち上がり直線的に開き胴部に至る沈線・刺突文による区画を施す	(外) (内)
Ⅰ－66号 土壙 第106図-1	深鉢 縄文	8.4 5.0 － 口1/2胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙~10YR 5/2灰黄褐 (内) 10YR3/1黒褐	口唇部に深い刻目を施す	(外) (内)
Ⅰ－66号 土壙 第106図-2	深鉢 縄文	－ 4.0 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	条痕文	(外) (内) 横位の撫で
Ⅰ－66号 土壙 第106図-3	土偶 縄文	－ 5.1 － 足一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3にぶい黄褐~10YR 4/6褐 (内)		(外) (内)
Ⅰ－67号 土壙 第107図-1	深鉢型 土器 縄文	23.4 26.3 － 口1/2胴1/4	胎；雲母・細砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/6明黄褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	条痕文 口唇部に山型突起を持つ	(外) (内) 篦削り
Ⅰ－67号 土壙 第107図-2	深鉢 縄文	－ 4.5 － 口縁一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 2.5YR4/2暗灰黄		(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（9）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－67号 土壙 第107図-3	深鉢 縄文	－ 6.4 － 口縁一部	胎；金雲母多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/2暗灰黄 (内) 10YR4/3にぶい黄褐	条痕文	(外) (内)
Ⅰ－75号 土壙 第108図-1	深鉢 縄文	－ 13.5 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	ＲＬ縄文を施す	(外) (内)
Ⅰ－79号 土壙 第109図-1	甕 弥生	－ 4.7 7.2 胴部一部底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整
Ⅰ－80号 土壙 第110図-1	深鉢 縄文	－ 5.9 － 口縁一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙	ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅰ－81号 土壙 第111図-1	深鉢 縄文	－ 6.1 － 口縁一部	胎；石英多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/2暗灰黄 (内) 10YR5/4にぶい黄褐	竹管による刺突文	(外) (内)
Ⅰ－83号 土壙 第112図-1	深鉢 縄文	－ 12.5 － 胴部一部	胎；金雲母多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/2灰褐 (内) 5YR4/6灰褐	キザミ隆帯・沈線による区画	(外) (内)
Ⅰ－83号 土壙 第112図-2	甕 弥生	－ 11.7 9.6 胴部一部底部完	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 10YR4/3にぶい黄褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き・底部木葉痕有り (内) 刷毛調整
Ⅰ－84号 土壙 第113図-1	深鉢 縄文	－ 3.1 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	キザミ口縁・条痕文	(外) (内)
Ⅰ－84号 土壙 第113図-2	深鉢 縄文	－ 5.7 － 胴部一部	胎；石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 5YR5/6明赤褐	ＬＲ縄文充填	(外) (内)
Ⅰ－87号 土壙 第114図-1	長頸壺 須恵	－ 12.4 － 頸部一部	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y4/3オリーブ褐 (内) 2.5Y5/4黄褐	頸部は柱状を呈する	(外) (内) 外面施釉
Ⅰ－1号 埋甕 第115図-1	深鉢 縄文	－ 12.5 － 胴部一部	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/6黄褐 (内) 10YR4/3にぶい黄褐	ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅰ－2号 溝址 第116図-1	高坏 弥生	24.6 8.5 － 坏部一部	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/6暗赤褐 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	口縁部は水平に外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－3号 溝址 第117図-1	壺 弥生	－ 12.5 － 頸部～胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙～2.5YR 4/6赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	胴部下位に稜を持つ	(外) 頸部に櫛描文・波状文を施す (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－4号 溝址 第118図-1	甕 弥生	13.7 5.6 － 口縁部～胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	口縁部で外反する	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－4号 溝址 第118図-2	壺 弥生	15.6 6.0 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/4赤褐 (内) 10YR4/4赤褐	口縁部で大きく開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩

上田原遺跡遺物観察表（10）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅰ－4号 溝址 第118図-3	鉢 弥生	11.5 5.8 3.7 口縁~体一部底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR3/3暗赤褐 (内) 10YR3/3暗赤褐	平底より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する。口縁部に対の小孔を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－4号 溝址 第118図-4	高坏 弥生	－ 5.5 10.2 脚部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10Y4/4赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部はラッパ状を呈し裾部は僅かに外反する	(外) 篦磨き (内) 外面赤色塗彩
Ⅰ－5号 溝址 第119図-1	甕 弥生	13.0 8.0 － 口縁~胴上位一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙~5YR4/1褐灰	僅かに丸みを帯びた胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅰ－5号 溝址 第119図-2	鉢 弥生	－ 2.1 5.2 底部のみ	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－6号 溝址 第120図-1	高坏 弥生	26.4 3.1 － 口縁一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部で大きく開く	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－7号 溝址 第121図-1	甕 弥生	14.0 9.3 － 口縁1/4胴一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	丸みを帯びた胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－7号 溝址 第121図-2	甕 弥生	－ 5.8 6.8 底部のみ	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外面赤色塗彩
Ⅰ－7号 溝址 第121図-3	壺 弥生	18.6 17.0 － 口3/4胴1/2	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	粘土帯積み上げ 胴部は球形を呈し頸部は垂直に立ち上がり段を持つ。口縁部は僅かに内弯して開き口唇部に面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅰ－7号 溝址 第121図-4	鉢 弥生	14.3 6.3 4.2 口~体2/3底完	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/6赤 (内) 7.5YR4/6赤	底部より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－7号 溝址 第121図-5	深鉢 弥生	－ 7.0 － 頸部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内)2.5YR4/6赤褐~7.5YR5/4にぶい褐		(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－7号 溝址 第121図-6	高坏 弥生	26.8 11.7 － 坏部1/3	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	接合部より外傾して開き口縁部で外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅰ－9号 溝址 第122図-1	壺 弥生	27.0 7.8 － 口縁部~頸部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 10R5/4赤褐	口縁部に段を有し水平に外反する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅰ－9号 溝址 第122図-2	壺 弥生	－ 2.8 7.0 底部のみ	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底	(外) (内)
Ⅰ－10号 溝址 第123図-1	甕 弥生	35.6 25.5 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/6明褐		(外) 胴部下位に波状文・頸部に2連止めの簾状文を施す。波状文を施文後に刷毛調整を施す (内)
Ⅰ－10号 溝址 第123図-2	台付甕 弥生	10.4 12.8 7.2 口胴一部底ほぼ完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐~2.5YR4/1赤灰 (内) 2.5YR5/6明赤褐	脚部は接合部より外反して開き胴部上位で張りを持ち口縁部は「く」状に開く	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き

上田原遺跡遺物観察表（11）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－12号 溝址 第124図-1	壺 弥生	－ 19.0 6.7 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR6/3にぶい橙	平底より外傾して立ち上がり胴部下位に稜を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－19号 溝址 第125図-1	壺型土器 縄文	8.0 4.8 － 口縁3/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/6明暗褐 (内) 2.5YR7/6明暗褐	口縁部に小突起を持つ	(外) (内) 刷毛調整
Ⅰ－19号 溝址 第125図-2	深鉢型土器 縄文	27.6 24.5 － 口縁1/2胴一部	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3にぶい黄褐 (内) 10YR6/3にぶい黄褐	粘土帯積み上げ 条痕文	(外) (内) 篦削りの後篦磨き
Ⅰ－19号 溝址 第125図-3	深鉢 縄文	－ 4.5 － 口縁一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	４条の沈線がめぐり羽状沈線が施される。口縁部に山型突起を持つ	(外) (内) 内面炭化物付着
Ⅰ－19号 溝址 第125図-4	深鉢 縄文	－ 7.7 － 口縁一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-5	深鉢 縄文	－ 2.5 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	キザミ口縁・ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-6	深鉢 縄文	－ 4.1 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	キザミ口縁・キザミ隆帯	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-7	深鉢 縄文	－ 4.6 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	キザミ口縁	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-8	深鉢 縄文	－ 5.1 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	キザミ口縁・キザミ隆帯	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-9	深鉢 縄文	－ 3.6 15.8 底部一部	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	縦位の条痕文	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-10	甕 弥生	－ 2.2 10.0 底部1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 10YR5/4にぶい黄褐	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がる	(外) (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-11	甕 弥生	－ 8.7 － 胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	粘土帯積み上げ	(外) 波状文・斜状文を施す (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-12	鉢 弥生	10.2 4.0 2.8 体部1/3底部完	胎；金雲母・雲母含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	平底より内弯して立ち上がり開く	(外) 篦削り (内) 篦削り・口縁部横位の撫で 外内面赤色塗彩
Ⅰ－19号 溝址 第125図-13	器台 土師	－ 3.8 － 接合部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	脚部に小孔を持つ	(外) 篦磨き (内)
Ⅰ－19号 溝址 第125図-14	坏 土師	12.7 4.9 4.8 完存	胎；0.4 の礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	平底より内弯して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で・墨書「佰」・底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で

上田原遺跡遺物観察表（12）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－19号 溝址 第125図-15	坏 土師	13.0 3.6 5.4 完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙~7.5YR 6/4にぶい橙　(内) 黒	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で・墨書「仁」・底部回転糸切り (内) 放射状の暗文・黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-16	坏 土師	13.2 4.2 5.3 完存	胎；0.4の礫・石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯して立ち上がり口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 放射状の暗文・黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-17	坏 土師	12.6 3.8 4.7 完存	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	平底より内弯して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 放射状の暗文・黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-18	坏 土師	13.0 3.4 5.9 完存	胎；礫多量・石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯して立ち上がり口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-19	坏 土師	7.1 4.9 4.8 ほぼ完存	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/6明黄褐 (内) 黒	平底より僅かに内弯しながら立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-20	椀 土師	15.1 4.8 7.8 完存	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	高台付の底部より内弯して立ち上がり口縁部で僅かに外反し口唇部は折り返す	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 放射状の暗文・黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-21	椀 土師	12.6 4.6 6.9 ほぼ完存	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 黒	高台付の底部より僅かに内弯して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅰ－19号 溝址 第125図-22	坏 須恵	15.3 5.0 10.7 体部1/3底部完	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y4/1灰 (内) 5Y4/1灰	高台付の底部より直立して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－19号 溝址 第125図-23	長頸壺 黒色土器	8.0 5.7・6.5 5.6 口1/3胴底一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 黒 (内) 10YR3/1黒褐	平底より内弯気味に立ち上がり口縁部は「く」状を呈し開く 轆轤成形	(外) 黒色処理 (内) 黒色処理
Ⅰ－20号 溝址 第126図-1	深鉢 縄文	－ 4.7 8.8 底部のみ	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 刷毛調整・底部網代痕有り (内)
Ⅰ－20号 溝址 第126図-2	深鉢 縄文	－ 2.2 6.0 底部一部	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/3にぶい赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙		(外) 底部網代痕有り (内)
Ⅰ－20号 溝址 第126図-3	深鉢 縄文	－ 3.7 － 口縁一部	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	キザミ口縁	(外) (内)
Ⅰ－20号 溝址 第126図-4	甕 弥生	11.5 13.1 5.1 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/6橙 (内) 10YR8/4浅黄橙	平底より外傾して立ち上がり胴部中位で張りを持ち口縁部は僅かに外反する	(外) 2連止の簾状文の後波状文を施す (内) 箆削りの後箆磨き
Ⅰ－20号 溝址 第126図-5	甕 弥生	12.1 14.9 5.1 口1/2胴~底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	平底より外傾して立ち上がり口縁部は「く」状に開く	(外) 2連止の簾状文・波状文を施す (内) 箆磨き
Ⅰ－20号 溝址 第126図-6	甕 弥生	－ 12.5 2.6 胴部2/3底部完	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/6暗赤褐 (内) 5YR3/4暗赤褐	平底より内弯気味に立ち上がり胴部に至る	(外) 簾状文・波状文を施す　箆磨き (内) 箆磨き

上田原遺跡遺物観察表（13）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－20号 溝址 第126図－7	甕 弥生	19.8 7.7 － 口縁1/4	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部で外反する	(外) 簾状文・波状文を施す (内) 篦磨き
Ⅰ－20号 溝址 第126図－8	甕 弥生	8.2 4.4 7.4 底部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y4/3 オリーブ褐~10YR 5/3にぶい黄褐 (内) 10YR4/1褐灰	平底	(外) (内)
Ⅰ－20号 溝址 第126図－9	甕 弥生	8.8 2.5 8.8 底部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙~7.5YR4/1 褐灰 (内) 5YR7/8橙	平底	(外) 底部木葉痕有り (内)
Ⅰ－20号 溝址 第126図－10	台付甕 弥生	－ 4.4 7.0 脚部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	脚部はラッパ状を呈し裾部で大きく開く	(外) 篦削り (内) 刷毛調整
Ⅰ－20号 溝址 第126図－11	壺 弥生	10.0 25.0 5.6 口縁部~底部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より立ち上がり胴部で球形を呈し口縁部で「く」状を呈する	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅰ－20号 溝址 第126図－12	蓋 弥生	5.4 6.1 － 抓み部のみ	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐~10YR 3/1 黒褐 (内) 7.5YR7/4にぶい褐	抓み部から裾部にかけて外反して大きく開く	(外) 篦削り・抓み部横位の撫で (内) 刷毛調整
Ⅰ－20号 溝址 第126図－13	鉢 弥生	15.0 6.0 3.9 口縁~底部1/3	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 10R3/6暗赤	底部より内弯気味に立ち上がり口縁部に小孔を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－20号 溝址 第126図－14	深鉢 弥生	15.6 15.9 5.9 ほぼ完存	胎；石英・雲母含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐~7.5YR6/6橙	平底より内弯気味に立ち上がり口縁部で水平に外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－20号 溝址 第126図－15	高坏 弥生	15.4 9.4 8.6 ほぼ完存	胎；雲母少量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	坏部は直線的に開き口縁部は内弯する。脚部はラッパ状を呈し三角形の透かし孔を4方向に持ち裾部で大きく開く	(外) 篦磨き (内) 坏部篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－25号 溝址 第127図－1	壺 弥生	21.8 4.5 － 頸部1/2	胎；白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐~2.5 YR3/4暗赤褐 (内) 2.5YR4/4にぶい赤褐	頸部は段を有し口縁部で水平に外反する	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で
Ⅰ－25号 溝址 第127図－2	壺 弥生	11.8 3.5 － 口縁1/2頸一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐~5YR 4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	口縁部は段を有し水平に外反する	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
Ⅰ－25号 溝址 第127図－3	高坏 弥生	－ 8.1 12.2 脚部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	脚部はラッパ状に開き円形の孔を３方向に持つ	(外) 篦磨き (内) 横位の撫で・篦磨き 外面赤色塗彩
Ⅰ－25号 溝址 第127図－4	器台 土師	－ 7.2 13.2 脚部2/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	脚部はラッパ状に開き円形の孔を３方向に持つ	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整後撫で
Ⅰ－25号 溝址 第127図－5	器台 土師	－ 4.4 － 接合部1/2	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	脚部は小孔を持つ	(外) (内)
Ⅰ－25号 溝址 第127図－6	深鉢 縄文	－ 6.5 － 口縁一部	胎；雲母・白色砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/8橙	３条の沈線がめぐり口縁部に山型突起を持つ	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（14）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－27号 溝址 第128図-1	甕 弥生	14.6 5.5 － 口縁1/4	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	口縁部で緩やかに外反する	(外) 波状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅰ－27号 溝址 第128図-2	甕 弥生	－ 13.5 6.3 胴部一部底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/1褐灰 (内) 5YR5/6明赤褐	平底より内弯気味に立ち上がる	(外) 波状文を施す (内) 篦磨き 内面赤色塗彩
Ⅰ－27号 溝址 第128図-3	甕 弥生	－ 2.0 5.0 底部のみ	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底	(外) (内)
Ⅰ－27号 溝址 第128図-4	壺 弥生	17.4 30.3 6.4 口~胴一部底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙~10YR5/2灰黄褐 (内) 7.5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がり胴部下位に稜を持ち口縁部は朝顔状に開く	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整
Ⅰ－27号 溝址 第128図-5	壺 弥生	－ 8.6 8.0 胴部一部底部完	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－27号 溝址 第128図-6	壺 弥生	－ 8.7 7.8 胴一部底部1/2	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－27号 溝址 第128図-7	深鉢 弥生	－ 6.6 7.0 胴部一部底部完	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/4赤褐 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	平底より内弯気味に立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－28号 溝址 第129図-1	高坏 弥生	13.2 13.4 8.0 坏部一部脚部完	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐　(内) 2.5YR5/6明赤褐~5YR6/4にぶい橙(脚部)	脚部はラッパ状に開き坏部で内弯気味に立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 坏部篦磨き 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅰ－28号 溝址 第129図-2	高坏 弥生	24.5 6.2 － 坏部1/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/4明赤褐~2.5YR 5/6明赤褐 (内) 2.5YR3/4明赤褐	坏部は外傾して開き口縁部で外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅰ－29号 溝址 第130図-1	深鉢 縄文	11.8 13.9 8.4 口縁部~底部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR2/2黒褐	平行沈線構成	(外) (内)
Ⅰ－29号 溝址 第130図-2	深鉢 縄文	－ 11.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 5YR7/4にぶい橙	磨消縄文	(外) (内)
Ⅰ－29号 溝址 第130図-3	深鉢 縄文	－ 6.8 － 胴部一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/2灰褐 (内) 7.5YR5/6明褐	羽状縄文	(外) (内)
Ⅰ－29号 溝址 第130図-4	深鉢 縄文	－ 4.6 － 胴部一部	胎；石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/6褐 (内) 10YR3/4暗褐	交互刺突文・斜状平行沈線	(外) (内)
Ⅰ－29号 溝址 第130図-5	深鉢 縄文	－ 7.8 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR4/4褐	山型突起・小波文	(外) (内)
Ⅰ－29号 溝址 第130図-6	浅鉢 縄文	－ 5.7 － 口縁一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 (内) 7.5YR4/3褐	交互刺突文	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（15）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅰ－29号 溝址 第130図-7	甕 土師	12.0 8.5 － 口1/4胴1/3	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	偏平な球形の胴部より外反する口縁部に至る	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－ 遺構外 N30W24 第131図-1	深鉢 縄文	－ 3.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む(繊維混入) 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR3/1暗赤褐		(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 N30W18 第131図-2	深鉢 縄文	－ 2.4 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む(繊維混入) 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/8明褐 (内) 7.5YR6/6橙	ＲＬ縄文	(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 N36E15 第131図-3	深鉢 縄文	13.0 4.5 － 口縁部~胴部一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 10YR4/4褐	キザミ口縁・キザミ隆帯・ＲＬ縄文充填	(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 N15E36 第131図-4	深鉢 縄文	－ 5.0 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	微隆帯の区画内にＲＬ縄文を施す	(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 N30E6 第131図-5	深鉢 縄文	－ 8.3 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3にぶい黄褐 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	キザミ口縁・ＬＲ縄文充填	(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 N15E33 第131図-6	深鉢 縄文	－ 15.2 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙~5YR5/2灰褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	ＲＬ縄文・ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅰ－ 遺構外 表土 第131図-7	深鉢 弥生	－ 17.3 6.0 胴部1/2底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R3/6暗赤 (内) 2.5YR3/6暗赤褐	平底より外傾して立ち上がり胴部中位で最大径を測る	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅰ－ 遺構外 N30E6 第131図-8	壺 土師	17.0 5.4 － 口縁1/2	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/8橙	口縁部で外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅰ－ 遺構外 N30E6 第131図-9	台付甕 土師	－ 6.0 8.4 接合部~裾部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	脚部はラッパ状に開く	(外) 篦磨き (内) 撫で
Ⅰ－ 遺構外 N36E39 第131図-10	高坏 土師	－ 5.8 14.6 脚部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐~5YR4/1褐灰 (内) 5YR5/4にぶい赤褐	脚部に小孔を３ケ所持ちラッパ状に大きく開く	(外) 刷毛調整 (内) 撫で
Ⅰ－ 遺構外 N15E27 第131図-11	高坏 土師	－ 8.0 10.0 接合部~脚部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	脚部は柱状を呈し裾部で水平に外反する	(外) 篦削り (内) 撫で 坏部内面黒色処理
Ⅰ－ 遺構外 N33E39 第131図-12	長頸壺 須恵	7.6 17.1 － 口縁部~体部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5Y4/1黄灰~2.5Y3/1黒褐 (内) 2.5YR5/1黄灰	丸底より立ち上がり胴部は球形を頸部はラッパ状を呈し口唇部に面取りを施す	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 外内面施釉
Ⅰ－ 遺構外 N12E33 第131図-13	長頸壺 須恵	－ 15.0 － 頸部~胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/2灰オリーブ (内) 5YR5/1オリーブ	胴部は球形を呈し頸部でラッパ状を呈する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅰ－ 遺構外 N21E27 第131図-14	壺 須恵	－ 13.3 － 胴部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y5/1灰 (内) 5Y5/1灰	胴部は球形を呈する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 外面緑釉を施す

上田原遺跡遺物観察表（16）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅰ－遺構外 N15E33 第131図-15	蓋 須恵	3.2 3.2 16.0 2/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5Y4/1灰 (内) 5Y4/1灰	抓み部は宝珠状を呈する	(外) 撫で (内) 撫で 外面施釉
Ⅰ－遺構外 N15E30 第131図-16	羽釜 土師	— 9.7 — 口縁部～胴部一部	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/8橙 (内) 5YR7/8橙		(外) 箆削り (内) 撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-1	坏 土師	13.5 4.3 7.0 口～体一部底部完	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR3/4明褐	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-2	坏 土師	13.7 4.0 6.8 1/3	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/6明黄褐	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-3	坏 土師	14.8 4.1 5.2 口～体1/4底完	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/3にぶい黄褐 (内) 10YR7/3にぶい黄橙	平底より僅かに内弯して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-4	皿 土師	9.0 2.6 4.2 口～体1/4底完	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	丸底気味の底部より立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-5	皿 土師	8.0 2.1 4.0 1/3	胎；礫・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-6	皿 土師	9.8 1.8 5.0 完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/4褐 (内) 7.5YR4/3褐	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-7	皿 土師	9.8 1.8 5.0 完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-8	皿 土師	10.2 2.0 6.0 5/6	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-9	皿 土師	9.4 2.0 4.4 4/5	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-10	皿 土師	8.4 1.7 4.2 完存	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/2灰褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-11	皿 土師	9.0 2.0 4.6 完存	胎；礫多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR7/6橙 (内) 2.5YR7/6橙	平底より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-12	皿 土師	9.4 1.4 4.8 ほぼ完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR8/3浅黄橙	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-13	皿 土師	9.4 2.0 4.6 ほぼ完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底より外傾して立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で

上田原遺跡遺物観察表（17）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－1号 住居址 第132図-14	皿 土師	9.0 2.0 4.2 ほぼ完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-15	皿 土師	10.4 1.7 4.4 1/3	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-16	皿 土師	9.6 2.4 4.0 1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	平底より外傾して立ち上がり開く	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-17	皿 土師	10.6 1.5 5.6 1/4	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	平底より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-18	皿 土師	8.8 1.7 4.0 1/3	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-19	坏 土師	13.4 4.3 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/2灰褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	外傾して開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-20	坏 土師	15.8 3.7 － 口縁1/3	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR8/4浅黄橙 (内) 10YR8/4浅黄橙	外傾して開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-21	坏 土師	14.0 3.3 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 5YR4/2灰褐	外傾して開き口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-22	坏 土師	14.8 3.4 － 口縁一部	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 2.5YR8/4淡黄 (内) 2.5YR7/3浅黄	外傾して開く	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-23	皿 土師	－ 1.2 6.2 底部1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/2灰黄褐 (内) 10YR5/2灰黄褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-24	皿 土師	－ 1.5 6.0 底部1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR7/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-25	皿 土師	－ 1.5 4.0 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-26	皿 土師	－ 1.7 5.8 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-27	皿 土師	－ 1.5 6.0 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR4/2灰黄褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅱ－1号 住居址 第132図-28	皿 土師	－ 1.6 6.4 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3にぶい黄橙 (内) 10YR5/2灰黄褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で

上田原遺跡遺物観察表（18）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅱ－1号 住居址 第132図-29	盤 土師	9.1 3.0 4.4 ほぼ完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	高台付の底部より外傾して立ち上がり口縁部で直線的に外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 住居址 第132図-30	椀 灰釉	13.8 5.8 － 1/2	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5Y7/1灰白 (内) 7.5Y8/2灰白	高台付の底部より内弯しながら立ち上がり口縁部で僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 内面施釉
Ⅱ－2号 住居址 第133図-1	深鉢 縄文	24.0 27.5 － 口縁部～胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	粘土帯積み上げ	(外) 箆削り (内) 箆削り
Ⅱ－2号 住居址 第133図-2	深鉢 縄文	－ 20.3 － 胴部一部	胎；石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/3暗赤褐 (内) 5YR2/3極暗赤褐	刺突文・沈線による区画	(外) (内)
Ⅱ－2号 住居址 第133図-3	深鉢 縄文	－ 7.0 12.6 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) 箆削り・底部網代痕有り (内) 箆削り
Ⅱ－3号 住居址 第134図-1	甕 弥生	19.8 12.4 － 口縁1/4胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙～10YR4/1褐灰 (内) 5YR7/4にぶい橙	丸みを帯びた胴部より緩やかに外反する口縁部に至る	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 撫で
Ⅱ－3号 住居址 第134図-2	甕 弥生	18.8 12.1 － 口縁1/4胴一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙～5YR4/1褐灰 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は「く」状を呈する	(外) 波状文・２連止めの簾状文を施す (内) 箆磨き
Ⅱ－3号 住居址 第134図-3	甕 弥生	11.2 6.4 － 口縁1/3胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐～7.5YR6/2灰褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は緩やかな「く」状を呈する	(外) 波状文・２連止めの簾状文を施す (内) 撫で
Ⅱ－3号 住居址 第134図-4	甕 弥生	－ 4.0 5.2 底部のみ	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4黄橙 (内) 10YR6/6明黄褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
Ⅱ－3号 住居址 第134図-5	甕 弥生	－ 3.2 7.8 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR4/3褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) 箆削り (内) 箆削り
Ⅱ－3号 住居址 第134図-6	甕 弥生	－ 4.4 6.6 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆削り
Ⅱ－3号 住居址 第134図-7	甕 弥生	－ 4.1 7.7 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/4にぶい黄橙 (内) 10R7/4にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 箆削り・箆磨き (内) 箆削り
Ⅱ－3号 住居址 第134図-8	甕 弥生	－ 7.1 6.4 胴部～底部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/6明褐	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
Ⅱ－3号 住居址 第134図-9	台付甕 土師	－ 4.6 8.8 脚部1/5	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/6橙	脚部は外傾して開く	(外) 箆磨き (内) 箆磨き
Ⅱ－3号 住居址 第134図-10	壺 弥生	16.3 10.2 － 口縁～頸部3/4	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR6/8橙～2.5YR4/1赤灰 (内) 2.5YR6/8橙	口縁部は朝顔状に開く	(外) 櫛描文・箆磨き (内) 箆磨き

上田原遺跡遺物観察表（19）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅱ－３号 住居址 第134図-11	壺 弥生	12.0 15.5 － 口縁2/3胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	口縁部は朝顔状に開く	(外) 篦磨き・櫛描文を施す (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-12	壺 弥生	－ 17.0 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 横位の櫛描直線文を縦位の直線文が4分割するT字文を施す (内) 外面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-13	蓋 弥生	－ 5.3 16.6 1/3	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	抓み部より外反して大きく開く。抓み部に１孔を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅱ－３号 住居址 第134図-14	蓋 弥生	－ 7.4 16.4 1/3	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR7/6橙	抓み部より外反して大きく開く	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-15	鉢 弥生	－ 3.1 5.4 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-16	鉢 弥生	－ 2.1 5.0 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-17	深鉢 弥生	－ 1.6 4.8 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 5YR6/6橙	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 外面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-18	深鉢 弥生	－ 1.5 5.8 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦削り 外面赤色塗彩
Ⅱ－３号 住居址 第134図-19	ミニチュア 土師	8.8 8.6 4.5 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/3にぶい橙 (内) 7.5YR7/3にぶい橙	平底より立ち上がり丸みのある胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 撫で
Ⅱ－７号 住居址 第135図-１	深鉢 縄文	15.0 20.5 4.4 胴部一部底部完	胎；石英・金雲母多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR2/1赤黒 (内) 2.5YR3/2暗赤褐	沈線による区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－７号 住居址 第135図-２	深鉢 縄文	－ 3.5 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/8橙	４条の沈線・刺突文	(外) (内)
Ⅱ－７号 住居址 第135図-３	深鉢 縄文	－ 3.1 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR8/6浅黄橙 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	３条の沈線・斜状平行沈線	(外) (内)
Ⅱ－７号 住居址 第135図-４	深鉢 縄文	－ 5.9 － 胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R6/4にぶい黄橙 (内) 10R5/4にぶい黄褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－７号 住居址 第135図-５	深鉢 縄文	－ 6.5 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/8黄橙~7.5YR 5/4にぶい褐 (内) 7.5YR6/8橙	小波文	(外) (内)
Ⅱ－８号 住居址 第136図-１	甕 弥生	－ 11.0 10.5 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/2暗赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部で外反する	(外) 簾状文・波状文を施す (内) 篦磨き

上田原遺跡遺物観察表（20）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
Ⅱ－８号 住居址 第136図-２	甕 弥生	11.2 9.0 － 口縁一部	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/6橙	口縁部で外反する	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅱ－８号 住居址 第136図-３	甕 弥生	17.8 5.4 － 口縁一部	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR3/6暗赤褐 (内) 5YR3/6暗赤褐	口縁部で外反する	(外) 波状文を施す (内) 篦磨き
Ⅱ－８号 住居址 第136図-４	甕 弥生	－ 4.8 4.5 胴部一部底部完	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 5YR6/4にぶい橙	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦削り・底部刷毛調整 (内)
Ⅱ－８号 住居址 第136図-５	鉢 弥生	12.9 6.6 5.0 1/5	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より外傾して立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 篦磨き (内) 外内面赤色塗彩
Ⅱ－８号 住居址 第136図-６	高坏 土師	－ 8.8 10.6 接合完脚部3/4	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/8明赤褐 (内) 5YR6/6橙	脚部はラッパ状を呈し裾部で外反する	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整・裾部横位の撫で
Ⅱ－８号 住居址 第136図-７	深鉢 縄文	－ 3.6 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－８号 住居址 第136図-８	深鉢 縄文	－ 4.5 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	小波文	(外) (内)
Ⅱ－８号 住居址 第136図-９	深鉢 縄文	－ 6.2 － 胴部一部	胎；金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/3にぶい赤褐	交互刺突文	(外) (内)
Ⅱ－８号 住居址 第136図-10	注口土器 縄文	注口のみ	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙		(外) (内)
Ⅱ－９号 住居址 第137図-１	甕 弥生	21.0 28.9 8.6 口縁~胴一部底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明褐	平底より内弯気味に立ち上がり胴部上位で張りを持ち口縁部は緩やかな「く」状を呈する	(外) 波状文 (内) 篦磨き
Ⅱ－９号 住居址 第137図-２	甕 弥生	24.0 28.0 4.0 口縁~胴一部底完	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/6赤褐 (内) 5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり緩やかに肩の張った胴部より外反する口縁部に至る	(外) 簾状文・波状文を施す・篦磨き (内) 撫で
Ⅱ－９号 住居址 第137図-３	甕 弥生	24.0 46.6 12.6 口~胴1/2底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙~5YR5/1褐灰 (内) 7.5YR6/8橙	平底より立ち上がりやや張った胴部より緩く外反する口縁部に至る	(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 横位の撫で
Ⅱ－９号 住居址 第137図-４	甕 弥生	－ 3.0 9.3 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) (内)
Ⅱ－９号 住居址 第137図-５	高坏 弥生	33.7 15.6 － 坏部1/3脚一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R4/6赤	接合部より外傾して開き口縁部は水平に外反する。脚部に4ケ所の三角形の透かし孔を持つ	(外) 口縁部横位の撫で・篦磨き (内) 篦磨き 外面・坏部内面赤色塗彩
Ⅱ－９号 住居址 第137図-６	深鉢 縄文	－ 5.1 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	交互刺突文・ＬＲ縄文	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（21）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－９号 住居址 第137図-７	坏 土師	14.8 4.9 6.2 2/3	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 10YR8/3浅黄橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	平底より内弯しながら立ち上がり開く	(外) 横位の撫で・底部回転糸切り (内) 口縁部横位の撫で
Ⅱ－10号 住居址 第138図-１	甕 弥生	16.0 18.7 5.6 ほぼ完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/6赤褐~2.5YR 3/2暗赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	上げ底の底部より立ち上がり丸みのある胴部から外反する口縁部に至る	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅱ－10号 住居址 第138図-２	甕 弥生	14.0 13.8 － 口縁部~胴部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR3/3暗赤褐 (内) 2.5YR4/3にぶい赤褐	張りのある胴部より外反する口縁部に至る	(外) 波状文を施す (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅱ－10号 住居址 第138図-３	甕 弥生	16.8 7.7 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 刷毛調整
Ⅱ－10号 住居址 第138図-４	甕 弥生	12.2 5.6 － 口縁1/6	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	口縁部は外反する	(外) 波状文・簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅱ－10号 住居址 第138図-５	壺 弥生	25.2 12.5 － 口縁部~頸部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/6暗赤 (内) 10R3/6暗赤	口縁部はラッパ状に開く	(外) 頸部にＴ字文を施す (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－10号 住居址 第138図-６	壺 弥生	－ 2.7 8.0 底部のみ	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/3にぶい赤褐 (内) 7.5YR5/6明褐	上げ底気味の底部	(外) 篦削り (内) 撫で
Ⅱ－10号 住居址 第138図-７	壺 弥生	－ 12.3 － 頸部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/8明赤褐~2.5YR 4/3にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐		(外) 刷毛調整後Ｔ字文を施す (内) 刷毛調整
Ⅱ－10号 住居址 第138図-８	深鉢 弥生	15.4 9.8 － 口縁1/3胴一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R4/8赤	口縁部は直線的に開く	(外) 篦磨き (内) 撫での後篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－10号 住居址 第138図-９	深鉢 弥生	15.0 4.0 － 口縁1/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	口縁部は水平に外反する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－10号 住居址 第138図-10	高坏 弥生	－ 17.8 16.3 脚部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐~7.5YR 8/4浅黄橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	脚部は直線的に開き裾部で外反する	(外) 篦磨き (内) 裾部横位の撫で・刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅱ－11号 住居址 第139図-１	Ⅲ 土師	8.6 1.8 4.9 完存	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/3にぶい黄橙 (内) 2.5Y6/2灰黄	上げ底気味の底部より内弯気味に立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で 内面金属？の付着物有り
Ⅱ－11号 住居址 第139図-２	Ⅲ 土師	9.8 2.0 5.9 完存	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底より外傾しながら立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-３	Ⅲ 土師	8.8 1.6 5.0 口~体1/5底完	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/8橙	平底より外傾しながら立ち上がり口縁部で内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-４	Ⅲ 土師	8.4 1.7 4.4 口1/5底5/6	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底より外傾しながら立ち上がり口縁部で僅かに内弯する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で

上田原遺跡遺物観察表（22）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－11号 住居址 第139図-5	坏 土師	14.4 4.0 7.6 口体一部底1/2	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底より内弯気味に立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-6	皿 土師	9.0 1.8 4.8 1/3	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	平底より内弯して立ち上がる	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-7	皿 土師	－ 1.1 5.2 底部1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-8	皿 土師	－ 1.4 3.5 底部のみ	胎；礫・石英・雲母含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-9	皿 土師	－ 1.3 5.1 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-10	皿 土師	－ 1.4 5.4 底部のみ	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	平底	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-11	椀 土師	－ 1.9 － 底部1/2	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-12	椀 土師	－ 2.2 － 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/6明黄褐~5/3にぶい黄褐 (内) 2.5YR6/3にぶい黄	付高台	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-13	椀 土師	4.4 1.5 － 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 黒	底部に１穴を持つ	(外) 轆轤による撫で (内) 黒色処理
Ⅱ－11号 住居址 第139図-14	羽釜 土師	－ 7.7 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	鍔部分に２穴を持つ	(外) 篦削り (内) 撫で
Ⅱ－11号 住居址 第139図-15	羽口 土師	6.5 6.0 － 一部	胎；0.6の礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙~7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR5/3にぶい褐		(外) (内)
Ⅱ－１号 周溝墓 第140図-1	甕 土師	－ 1.7 7.4 底部のみ	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 篦削り (内) 篦削り
Ⅱ－１号 周溝墓 第140図-2	甕 土師	－ 2.5 3.6 底部1/2	胎；礫・粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/6明赤褐 (内) 2.5YR5/8明赤褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) (内)
Ⅱ－１号 周溝墓 第140図-3	壺 弥生	16.0 16.5 8.2 口3/4胴1/3	胎；礫・粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	胴部は球状を呈し中位で最大径を測る。口縁部は大きく開き口唇部は折り返し後面取りを施す	(外) 刷毛調整 (内) 刷毛調整 外面・内面頸部以上赤色塗彩
Ⅱ－１号 周溝墓 第140図-4	壺 弥生	16.6 5.5 － 口縁のみ	胎；礫・粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 10R5/6赤	口縁部に段を有し口唇部は面取りを施す	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩

上田原遺跡遺物観察表（23）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-5	壺 弥生	16.8 2.8 － 口縁2/3	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/4にぶい赤褐	口縁部に段を有し口唇部に面取りを施す	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-6	壺 弥生	－ 16.5 － 胴部3/4	胎；礫・粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	球状に近い胴部中位に最大径を測る	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-7	高坏 弥生	－ 14.7 17.0 脚部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR6/4にぶい橙	脚部に三角形の窓を持つ	(外) 篦磨き (内) 横位の撫で 外面赤色塗彩
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-8	高坏 弥生	18.0 5.0 － 口縁一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/6赤 (内) 10R5/6赤	口縁部は内弯する	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-9	高坏 弥生	－ 6.3 － 坏部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R5/6赤 (内) 2.5YR5/6にぶい赤褐	坏部に稜を持つ	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-10	深鉢 縄文	－ 13.2 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR5/4にぶい黄褐 (内) 10YR6/4にぶい黄褐	橋状把手を持つ	(外) (内)
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-11	深鉢 縄文	－ 8.9 － 口縁一部	胎；石英多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3にぶい黄褐 (内) 10YR5/3にぶい黄褐	橋状把手を持つ。区画内にＲＬ縄文を充填	(外) (内)
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-12	深鉢 縄文	－ 4.0 － 一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	橋状把手	(外) (内)
Ⅱ－1号 周溝墓 第140図-13	坏 土師	14.3 3.8 7.2 完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR4/3褐 (内) 黒	平底より内弯しながら立ち上がり口縁部は僅かに外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅱ－1号 周溝 第141図-1	甕 須恵	32.0 63.0 － 口1/3胴1/4	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5Y6/2灰オリーブ～5Y3/1オリーブ黒　(内) 5Y6/3オリーブ黄	丸底より内弯気味に開き胴部上位に最大径を測り頸部は「コ」状を呈する	(外) 叩きによる格子目 (内) 叩きによる青海波文
Ⅱ－1号 周溝 第141図-2	甕 須恵	39.6 15.6 － 口縁1/4	胎；礫・石英含む 焼；良好 色；(外) N3/暗灰色 (内) N5/灰色	口縁部は緩やかに外反し口唇部に面取りを施す	(外) 轆轤による撫での後波状文・カキ目を施す (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－1号 周溝 第141図-3	甕 須恵	20.0 29.3 － 口ほぼ完体2/3	胎；粗砂粒多量に含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/1褐灰 (内) 10YR4/1褐灰	頸部は「く」状に屈曲して外反し口唇部に面取りを施す	(外) 叩きによる平行文 (内) 叩きによる青海波文
Ⅱ－1号 周溝 第141図-4	甕 土師	－ 4.1 7.2 底部1/3	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR5/4にぶい赤褐 (内) 5YR5/3にぶい赤褐	平底より外傾して立ち上がる	(外) (内)
Ⅱ－1号 周溝 第141図-5	高坏 古墳	－ 11.5 6.7 脚部完裾部一部	胎；粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	脚部は柱状を呈し裾部は大きく開き外反する	(外) 篦削り (内) 横位の撫で 坏部内面黒色処理
Ⅱ－1号 周溝 第141図-6	深鉢 縄文	－ 8.3 13.2 底部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	上げ底気味の底部より外傾して立ち上がる。ＬＲ縄文	(外) (内)

上田原遺跡遺物観察表（24）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－1号 周溝 第141図-7	坏 土師	16.6 4.6 7.0 完存	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/4にぶい橙 (内) 黒	平底より緩やかに立ち上がり僅かに内弯して開きそのまま口縁部に至る	(外) 轆轤による撫で・底部回転糸切り・墨書あり (内) 黒色処理
Ⅱ－1号 周溝 第141図-8	坏 土師	13.5 4.0 6.4 完存	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 黒	平底より内弯しながら立ち上がり口縁部で外反する	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理
Ⅱ－1号 土壙 第142図-1	深鉢 縄文	－ 5.7 10.8 胴一部底部2/3	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/8赤褐 (内) 5YR5/4にぶい褐	平底より立ち上がる。隆帯による区画内に平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－12号 土壙 第143図-1	両耳部 縄文	－ 6.2 － 片耳の把手部	胎；石英・金雲母多量に含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/4にぶい黄橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙		(外) (内)
Ⅱ－12号 土壙 第143図-2	深鉢 縄文	－ 4.5 － 口縁一部	胎；金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR4/6赤褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－16号 土壙 第144図-1	深鉢 縄文	－ 4.4 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR7/6橙 (内) 5YR6/6橙	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－22号 土壙 第145図-1	深鉢 縄文	－ 5.2 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/6明黄褐 (内) 10YR7/6明黄褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-1	深鉢 縄文	－ 40.7 － 口縁一部胴1/4	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙~7.5YR4/1褐灰 (内) 7.5YR7/4にぶい橙	口縁部は逆「く」状を呈し沈線による区画内に斜状沈線とLR縄文を充填する。胴部はLR縄文を施文する	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-2	深鉢 縄文	－ 4.0 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3にぶい黄褐 (内) 10YR5/6黄褐	沈線文構成	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-3	深鉢 縄文	－ 7.9 － 口縁1/4	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR2/1黒褐	粘土帯積み上げ 口唇部に渦巻状の突起を持つ	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-4	深鉢 縄文	－ 11.0 － 口縁一部	胎；石英多量・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙	橋状把手を持つ。集合沈線文構成	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-5	深鉢 縄文	－ 10.7 － 口縁一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	口縁部に斜状平行沈線を施す。胴部は区画内にＲＬ縄文充填	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-6	深鉢 縄文	－ 11.9 － 体部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	粘土帯積み上げ 斜状平行沈線・ＲＬ縄文	(外) (内)
Ⅱ－25号 土壙 第146図-7	深鉢 縄文	－ 23.2 － 口縁一部	胎；礫・石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/4にぶい褐 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	粘土帯積み上げ ＲＬ縄文・ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅱ－28号 土壙 第147図-1	壺 弥生	－ 8.9 7.0 胴部下位~底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 7.5YR5/6明褐	平底より外傾し立ち上がる	(外) 箆磨き (内) 刷毛調整

上田原遺跡遺物観察表（25）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－36号 土壙 第148図－1	深鉢 縄文	－ 3.3 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR5/3にぶい褐	横位長楕円区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－36号 土壙 第148図－2	深鉢 縄文	－ 3.8 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/3にぶい褐 (内) 7.5YR5/4にぶい褐	ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅱ－50号 土壙 第149図－1	深鉢 縄文	－ 5.2 － 口縁一部	胎；礫・石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR7/6明黄褐	沈線による区画内にＬＲ縄文充填	(外) (内)
Ⅱ－52号 土壙 第150図－1	深鉢 縄文	26.0 21.0 － 口縁一部胴2/3	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/6明褐	橋状把手を持ち口縁部で外反する。胴部区画内にLR縄文充填。口縁部区画内に斜状平行沈線・LR縄文充填	(外) (内)
Ⅱ－55号 土壙 第151図－1	深鉢 縄文	－ 3.5 12.6 胴部一部	胎；礫・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 10YR6/4にぶい黄橙	ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅱ－55号 土壙 第151図－2	深鉢 縄文	－ 3.3 － 口縁一部	胎；礫・石英・金雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR5/6明褐 (内) 7.5YR5/8明褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－55号 土壙 第151図－3	深鉢 縄文	－ 2.9 － 口縁一部	胎；石英・金雲母・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/2灰褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－64号 土壙 第152図－1	甕 弥生	－ 14.8 6.0 胴部一部底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙~5YR4/3にぶい赤褐　(内) 5YR5/6明赤褐	平底より内弯気味に立ち上がる	(外) 波状文・２連止めの簾状文を施す (内)
Ⅱ－64号 土壙 第152図－2	甕 弥生	口~胴2/3底完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙~5YR5/1褐灰 (内) 5YR7/8橙		(外) (内)
Ⅱ－75号 土壙 第153図－1	壺 弥生	18.0 6.0 － 口縁1/2	胎；石英多量・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10R4/8赤 (内) 10R4/8赤	口縁部で水平に外反する	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外内面赤色塗彩
Ⅱ－75号 土壙 第153図－2	壺 弥生	－ 22.3 5.8 胴部1/2底部完	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R3/4暗赤 (内) 5YR6/6橙	平底より外傾して立ち上がり胴部下部に稜を持ち頸部に至る	(外) 頸部にＴ字文を施す　篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅱ－75号 土壙 第153図－3	甕 弥生	－ 23.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/8橙 (内) 5YR6/6橙	胴部下位に稜を持つ	(外) Ｔ字文を施す (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅱ－75号 土壙 第153図－4	壺 弥生	－ 41.0 － 胴部3/7	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5R4/6赤 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	胴部下位に最大径を測る	(外) 篦磨き (内) 刷毛調整 外面赤色塗彩
Ⅱ－76号 土壙 第154図－1	深鉢 縄文	8.8 15.0 － 口1/6胴部一部	胎；礫・石英・雲母含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/4にぶい橙 (内) 7.5YR4/2灰褐~7.5YR7/6橙	口縁部は外反して立ち上がる。口縁部平行沈線文・胴部ＬＲ縄文	(外) (内)
Ⅱ－85号 土壙 第155図－1	深鉢 縄文	－ 3.3 8.4 底部一部	胎；礫・石英含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/3にぶい黄橙 (内) 7.5YR5/6明褐		(外) 底部網代痕有り (内)

上田原遺跡遺物観察表（26）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－85号 土壙 第155図-2	浅鉢 縄文	－ 6.4 － 口縁一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/1褐灰 (内) 10YR6/4にぶい黄橙~10YR3/1黒褐	口縁部に沈線がめぐる	(外) (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-1	深鉢 縄文	－ 5.3 － 胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR4/4にぶい赤褐 (内) 7.5YR6/4にぶい橙	斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-2	深鉢 縄文	－ 3.4 － 胴部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR5/4にぶい黄褐	斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-3	深鉢 縄文	－ 39.0 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	指圧痕	(外) (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-4	深鉢 縄文	－ 4.2 － 口縁一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR4/3にぶい黄褐 (内) 10YR7/6明黄褐	環状突起	(外) (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-5	甕 弥生	－ 5.2 11.0 底部1/4	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 7.5YR7/6橙	平底	(外) 篦削り (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-6	甕 弥生	－ 2.0 8.2 底部1/3	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	上げ底気味の底部	(外) 篦磨き (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-7	甕 弥生	－ 5.3 7.0 底部1/4	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 7.5YR6/6橙 (内) 7.5YR4/4褐	平底	(外) 底部木葉痕有り (内)
Ⅱ－1号 溝址 第156図-8	甕 弥生	－ 11.7 － 口縁部~胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/6明赤褐 (内) 5YR5/6明赤褐	口縁部は外反する	(外) 波状文・2連止めの簾状文を施す (内) 篦磨き
Ⅱ－1号 溝址 第156図-9	鉢 弥生	－ 1.5 3.8 底部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 7.5YR7/6橙 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 篦削り・篦磨き (内) 篦削り・篦磨き 内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 溝址 第156図-10	鉢 弥生	－ 2.1 7.0 底部1/4	胎；礫・石英・雲母・粗砂粒 焼；良好 色；(外) 2.5YR5/4にぶい赤褐 (内) 2.5YR5/6明赤褐	平底	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 溝址 第156図-11	高坏 弥生	－ 4.5 － 接合部のみ	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 2.5YR4/8赤褐 (内) 2.5YR4/8赤褐		(外) 篦磨き (内) 外内面赤色塗彩
Ⅱ－1号 溝址 第156図-12	坏 土師	14.0 4.5 － 口縁部~胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR7/4にぶい黄橙 (内) 10YR7/4にぶい黄橙	口縁部で内弯する	(外) 横位の撫で (内) 横位の撫で
Ⅱ－1号 溝址 第156図-13	高杯 土師	－ 4.8 － 接合部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 5YR6/6橙 (内) 5YR6/6橙		(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅱ－1号 溝址 第156図-14	椀 土師	－ 2.0 6.6 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外) 10YR6/3にぶい黄橙 (内) 黒	付高台	(外) 轆轤による撫で 底部回転糸切り (内) 黒色処理

上田原遺跡遺物観察表（27）

遺構NO. 図版NO.	器種 種類	法　量	器　質	成形・形態・文様ほか	整　形　ほ　か
Ⅱ－３号 溝址 第157図-１	深鉢 縄文	－ 1.8 6.8 底部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙 (内)7.5YR6/6橙	平底	(外) 底部網代痕有り (内) 篦削り
Ⅱ－３号 溝址 第157図-２	深鉢 縄文	－ 6.2 － 胴部一部	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙 (内)7.5YR6/6橙	斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－３号 溝址 第157図-３	深鉢 縄文	－ 3.7 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙 (内)7.5YR6/6橙		(外) (内)
Ⅱ－３号 溝址 第157図-４	壺 弥生	－ 2.8 7.0 底部1/4	胎；礫・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)10YR5/8赤 (内)10YR5/6赤	平底より外傾して立ち上がる	(外) 篦磨き (内) 篦磨き 外面赤色塗彩
Ⅱ－３号 溝址 第157図-５	甕 須恵	－ 6.6 － 胴部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)10YR4/1褐灰 (内)10YR5/1褐灰		(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－３号 溝址 第157図-６	高坏 須恵	－ 4.3 － 接合部～脚部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/1黄灰 (内)2.5YR6/1黄灰		(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－４号 溝址 第158図-１	甕 弥生	－ 1.8 7.0 底部のみ	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐 (内)5YR5/4にぶい赤褐	上げ底気味の底部	(外) 篦磨き (内) 篦磨き
Ⅱ－４号 溝址 第158図-２	甕 弥生	－ 2.8 － 頸部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/3にぶい褐 (内)7.5YR6/6橙		(外) ２連止めの簾状文・波状文を施す (内) 篦削り
Ⅱ－５号 溝址 第159図-１	深鉢 縄文	－ 5.9 － 口縁一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/4褐 (内)7.5YR5/6明褐	区画内に斜状平行沈線充填	(外) (内)
Ⅱ－ 遺構外 S57E27 第160図-１	深鉢 縄文	－ 5.2 － 口縁部～頸部一部	胎；石英・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)10YR7/4にぶい黄橙 (内)10YR7/4にぶい黄橙	橋状突起	(外) (内)
Ⅱ－ 遺構外 S60E30 第160図-２	深鉢 縄文	－ 7.0 － 胴部一部	胎；石英・雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)5YR5/8明赤褐 (内)5YR5/8明赤褐	キザミ隆帯	(外) (内)
Ⅱ－ 遺構外 S60E27 第160図-３	高坏 土師	－ 10.2 － 接合部～脚部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙 (内)黒~7.5YR4/1褐灰	脚部は柱状を呈する	(外) 刷毛調整 (内) 篦削り 坏部内面黒色処理
Ⅱ－ 遺構外 S66E27 第160図-４	高坏 土師	－ 10.3 － 接合部～脚部一部	胎；雲母・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙 (内)黒~7.5YR4/1褐灰	脚部は柱状を呈する	(外) 篦磨き (内) 篦削り 坏部内面黒色処理
Ⅱ－ 遺構外 S66E27 第160図-５	蓋 須恵	1.5 3.1 10.6 1/2	胎；礫・粗砂粒含む 焼；良好 色；(外)7.5Y5/1灰 (内)5B6/1青	抓み部は宝珠状を呈する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で
Ⅱ－ 遺構外 S60E30 第160図-６	蓋 須恵	2.6 2.0 13.8 1/2	胎；細砂粒含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/2暗灰黄 (内)2.5YR5/1黄灰	抓み部はボタン状を呈する	(外) 轆轤による撫で (内) 轆轤による撫で 外面施釉

上田原遺跡遺物観察表（28）

第４節　上田原遺跡出土の人骨および馬骨・馬歯

信州大学医学部　西沢　寿晃

上田原遺跡の多くの土壙や溝から複数の人骨や馬歯・馬骨が出土している。人骨は生骨とともに焼骨が混在するが、すべて細かな断片状となり、全身の骨格から読み取れる形質的な特徴の多くは不明である。馬歯は一頭分に一括して保存される例であり、馬骨は僅かな部分が残されるのみである。

以下、各地点のおける出土骨の内容についての概要を記載する。

人骨（生骨）

Ｉ－38・39号土壙

頭蓋　脳頭蓋の板状の細片のみである。下顎窩の一部が認められる。大腿骨の骨（約１cm）の他に同一骨の細片はすべて縦割された脆い骨質で残る。

Ｉ－１号周溝墓主体部

白色に晒された人骨である。頭蓋の細小な骨片（2×3cm程度の大きさ）が１０数片残るのみである。鋸歯状の縫合を残す部位が多い。

Ｉ－70号土壙

一個体の人骨であるが、保存された骨の性状は特異である。骨質は脆く骨表が薄く剥離し、かつ骨繊維に沿って細かな亀裂が生じ、崩壊寸前の状態である。ただし、部分的に大形片して残存し、内腔は白色に変色している。同様な性状の各部位の骨が一個体分一括されている。

頭蓋　前頭骨は大形の破片で、冠状縫合が内板まで離開している。側頭骨(左右)は頬骨弓基部や外耳孔などで関節窩は深い。乳様突起は先端を欠く。下顎骨は右半の下顎骨体と下顎枝の一部が残る。下顎体高は高く、顎舌骨筋線の隆起は著しい。歯槽縁の吸収が生じている。かなり大形で頑丈な形質といえる。

残存歯式

○ ７ ６ ５ ４ ３ ２ ×　　○印：空槽　×印：欠失

歯の咬耗　３～５は咬頭の突端を欠き平面状に近い。象牙質の露出は３で線状、４・５でやや面状となる。６・７は周縁が鋭い縁となり咬合う面は深く陥凹する。特に６は舌側縁が高くそびえ、頬側にやや傾斜し、象牙質は面状に露出する。Broccaの2'に相当する。

大腿骨　左右、骨体の一部がやや形状を保つが、骨表は脆く剥落が著しい。脛骨　左右、骨体中央部が約10cm程度残るのみである。

大腿骨・脛骨ともに比較的大形で頑丈な形態を具えていて、男性人骨と見なされる。歯の咬耗もかなり進行し、壮年の年令を推定させる。

Ｉ－90号土壙

一個体の人骨と見なせるが、腐朽は進行して骨表は脆く剥落し、すべての部位で軟弱な骨質となる。全く欠失する箇所が多いが、残された細片とともに比較的形状を保つ骨もみられる。

頭蓋　前頭骨、右眼窩上縁から右半が残る。冠状縫合は離開している。頭頂骨右半がやや原形を保ち、頭頂結節が膨隆する。矢状・頭頂側頭縫合は離開する。後頭骨中央辺の一部で外後頭隆起は弱度である。側頭骨　右、乳様突起はかなり細小といえる。以上の板状骨は各部でかなり薄い骨壁である。上顎骨　左右歯槽の一部がわずかに残る。下顎骨骨体の右側がほぼ完存に近く、下顎枝の基部がわずかに残る。オトガイ棘が針状突起する。顎舌骨筋線は強くない。

残存歯式

× 7 6 5 4	6 7
× 7 6 5 4 ○ ○	

歯の咬耗　上顎４・５は咬耗は咬頭で進行し、平滑面が形成されつつあるが、下顎では比較的軽度である。６・７は上下ともに完全な平滑面となり、特に７は中央へ臼状の陥凹面がつくられ、下顎での象牙質の露出が殊に激しい。Broccaの1'ないし2'に相当する。

上腕骨　右、骨体下部約10cmが残る。大腿骨　左、骨頭や大・小転子、遠位関節部分をそれぞれ欠くが骨体は概ね完存する。右、大・小転子を欠き骨体の上方1/3が残る。 骨体は伸直で粗線の発達は弱度、殿筋粗面等も特に明瞭でない。骨壁はやや厚い。全体的にかなり細く華奢な形態といえよう。骨体上断面示数（80.8）は扁平大腿骨でピラステルの形成は無である。脛骨　左、骨体中央部が完存に近い。右、骨体の一部が約10cm残る。前縁や骨間縁は通常でヒラメ筋線も極めて弱い。脛示数（80.8）は広脛に属する。腓骨　骨体が寸断されて残るが、かなり細い形状とみられる。その他に長骨の微小な骨片が量的に多く、前腕骨の混入なども考えられる。

各骨の全体的な傾向としては、それぞれの華奢な形状は女性人骨と推定されるが確定できない。歯の咬耗状態からは壮年の年輪に該当しよう。

Ｉ－２号土壙

同土壙からはほとんだ崩壊して細片状となった骨片が一括してかなり多量に取り上げられている。この中には何箇所かの同位置部位の骨が含まれており、同時に保存の程度や内容にも相違がみられ、複数の人骨の混在が指摘できる。

骨の保存状態としては①土中での自然の腐朽によって晒された生骨。黄褐色で表面は粗造で光沢が無いなどの傾向を示すが、実際には様々な色調を呈する。さらに骨質の脆さなどでも微妙な差異が生じている。②焼骨。白色から灰色、炭化して黒色・赤褐色へ変色するなど被熱の温度により多様である。本例の場合、高熱により亀裂や変形の生じている骨片は少なく、むしろ低温による火焼で焦げて変色した程度の骨片が多い。

以下に同一部位（またはそれに接する部位）の骨の例数と保存状態を記載し、形質の相違や個体数を推定する。

頭蓋

側頭骨：①左　頬骨突起と外耳孔・下顎窩などを含む部分。②右　同部分（下顎窩を欠く）。①②を比較すると乳様突起（先端を欠く）は①の膨隆度が大である。後頭乳突縫合は②の鋸歯状が著しい。乳突切痕は①が深い。①が②より滑沢な骨質を有する。形としてはかなり類似するが異個体のものであろう。なお、関節窩のみを残す類例が左１、右２例認められるが前記側頭骨と合致ちするものに対して、深さや大きさ、または骨質で相違する例もある。

上顎骨：①骨口蓋と歯槽に全歯種（左右７・８は遊離）を残す。犬歯窩が著しく陥凹する。正中口蓋縫合は未癒合、横口蓋縫合は後方部を欠失するが断面に癒合痕は認められる。歯の保存は極めて良好であるが左２・３　右３が欠失している。これらの脱落後の歯槽は閉鎖して細く鋭い一稜を形成する。風習による抜歯の痕跡を窺わせるものである。②骨口蓋の左右の一部分と、それぞれ６・７が植立する歯槽が残っている。下顎骨：①両側の下顎枝を全く欠くが、骨体は比較的原形を保つ。オトガイ結節の膨隆がやや強い。顎舌骨筋線はさほど強度ではない。骨体左側の下縁は一部欠損するが、わずかに火焼の痕が残る。右３・２・１、左１・２・３がすべて欠失してその歯槽縁は一稜となる。上顎骨①と同様に風習による抜歯の痕跡とみられ、この上下顎は対応するものであろう。②骨体左側１～３の歯槽部分（空槽）が残る。オトガイ孔部厚15mmでかなり頑丈な形態とみられる。頬側の歯槽縁の吸収がやや進行している。③骨体右２～４の骨体と歯槽（空槽）が残るが下縁は欠く。骨壁などはかなり薄く華奢で、乳歯列（後述）を具える個体かと推定される。

対応する上顎骨①と下顎骨①の歯式

８	７	６	５	４	③	２	１	１	②	③	４	５	６	７	８
×	７	６	５	４	③	②	①	①	②	③	４	５	６	７	×

○印：抜歯　×印：欠失

歯の咬耗：上顎切歯　切縁に咬耗は生じているがホーロー質に限られている。小臼歯　咬頭が失われ点状に象牙質が露出する。大臼歯　咬頭は全く消失し各咬頭の位置で点状に現れる。下顎小臼歯　殊に５で咬耗は進み、平滑面は近くなる。大臼歯　全面が一様に咬耗が進み、特に右６は象牙質が全面に現れている。

遊離歯：脱落した歯が多数保存されている。各歯の特徴や咬耗の程度から次のように類別できる。

①乳歯群　上下顎の1､2 乳臼歯が残る。同時に萌出・交替した各永久歯の残存も認められ、乳歯の吸収脱落に交替し、永久歯の歯冠完成・出根の時期に相当するものであろう。（１０才前後）②咬耗がホーロー質に留まっているもの。③小臼歯は咬頭に咬耗が生じ、大臼歯の交合面は平面状となり、象牙質が点状に露出する。ただし②③（破損する歯も含め約15本）歯の色調や歯種による咬耗度の相違などから2個体以上に分けられる可能性がある。

上腕骨：①左　骨体の下方が残るが関節部分は完全に欠失。やや細小な形態である。②右　骨体の下方、内側上顆を残すが滑車部分は欠く。内側縁が稜状に強く発達する。①とは大きさに差異が見られ、異個体であろう。③右　骨体の下方、縁位端を大きく欠く。①と相似する小形の形態であるが明確ではない。尺骨：左　白色の色調で骨体中央から肘頭までがほぼ完存。回外筋稜が発達するやや頑丈な形態である。大腿骨：①左　白色の色調、骨体がほぼ完存に近い。粗線は通常の発達である。殿筋粗面、恥骨筋線等も弱度である。②右　白色の色調、①と同程度の残存状態であり、同一個体であろう。③右　骨頭と大・小転子、遠位関節を欠くが、骨体の保存は良好。粗線は通常、ただし殿筋粗面の隆起は顕著である。④右　骨体の上部、小転子下方より粗面へかけての後方の断片がある。なお大腿骨頭は計５個が残る。うち左右対象のもの、白色を呈するものなどから３個体のものと推定されるが、骨体部分の類別からも同様な個体数となる。膝蓋骨：左１、右１、不明１の計３個が残る。脛骨：①左　白色の色調、骨体中央部（約12cm）残存。②右　①と同程度で同一個体であろう。③左　骨体中央部（約24cm）。④　左　骨体中央部（約9.5

cm ）。その他、遠位関節部の左右１個体と異個体の関節部が認められる。以上の例数から３個体の存在が推定される。距骨：左右各１個は大きさに差異がみられ異個体のものであろう。左の一部に火焼の痕が黒色となって残る。

人骨（焼骨）

頭蓋や体幹・四肢骨ともに細片状であり、火焼により赤褐色から黒く変色して管腔内などはまったく炭化した骨片もある。さらに白色を呈し、亀裂や変形を生じ、極めて堅く金属的に堅緻な骨片も混在する。火熱を被った温度や骨の位置による相違かと考えられるが、指骨を含めた全身部位にわたる骨片が認められる。

頭蓋のうち上顎骨の骨口蓋の一部と４・５・６の歯槽が残る。頬骨の一部や下顎関節窩、後頭顆（右）などもみられる。下顎骨の骨体の中央部で切歯の歯槽が残る。白色の骨片で後頭骨の外後頭隆起は垂下する形を具えている。

Ｉ－32号土壙

頭蓋：頭蓋骨の細片のみでやや量は多い。後頭骨・側頭骨・頭頂骨や下顎骨などが比較的大型の破片として残る。脳頭蓋部分の板状骨は極めて薄い骨質であり、外後頭隆起は極く弱度である。下顎骨の骨体（右）の一部もかなり小型で華奢な形態である。７の歯冠が残るが、咬耗は進み、凹面状の咬合面に点状に象牙質が露出する。

全体としてかなり女性的な個体といえよう。

N57 E27

頭蓋：頭頂骨の破片が多い。これらの骨壁は概ね薄い。矢状縫合の残る細片で内板は癒着・消失している。側頭骨（右）が残るが下顎窩はかなり深く、乳様突起は細小である。下顎骨は左下顎枝を欠くが他は概ね保存は良い。オトガイ結節はかなり明瞭で骨体下縁が肥厚する。オトガイ棘は粗造であり、顎舌骨筋線は強度に発達する。左２・３・４・５，右２・３・４・５・６・７は空槽となる。左６・７、右６の歯槽は閉鎖し顎提は粗造となるが、左右Ｉ１（中切歯）の歯槽は閉鎖後に薄く鋭利な稜状となる。中切歯に限り風習による抜歯痕とも推測されるが明確でない。遊離歯は小臼歯３本であるが、いずれも咬頭の先端は咬耗により消失し象牙質がやや面状に露出する。

鎖骨：右　肩峰端寄りの一部が残る。円椎靭帯・菱形靭帯結節が強度に発達し、肩峰端も大きい。大腿骨：骨体の一部が残るのみで他はすべて細片状となる。骨体の骨壁はかなり厚く頑丈である。脛骨：左　骨体の小部分。ヒラメ筋線が明瞭である。腓骨：骨体の一部で矢状径が大である。その他に四肢長骨片が多い。

男性人骨で熟年の年齢が推定される。

馬歯・馬骨

Ｉ－34号土壙

馬歯　上下顎の門歯（１本欠失）、前臼歯・後臼歯が歯冠・歯根ともにすべて揃って保存されている。

馬骨　肩甲骨（左）の肩甲棘と関節窩の一部が残存する。上腕骨（左）の遠位関節部分。橈骨（左）近位関節部分と骨体の上方部分などがそれぞれ残存している。これらは馬歯と

ともに一頭分の骨であろう。

Ⅰ－70号土壙

馬歯　下顎臼歯が一括して揃っているが、咬板が剥離し崩壊する部分も見られる。四肢の長骨片が剥落して残存する。

Ⅱ－１号周溝

馬歯　上・下顎の臼歯が揃って保存され１頭分と見なせる。その他、咬板の剥落片がかなり多量に残されており、計２頭以上の馬歯とみられる。

Ⅰ－２号周溝墓

馬骨　脛骨（？）の骨体の破片１点。他は細片のみ。

Ⅰ－27号溝址

馬歯　臼歯が２本程度であるが崩壊した破片のみである。

Ⅰ－１号周溝

獣骨（焼）白色。尺骨の滑車切痕の破片が１点。動物種は不明である。

第四章　下之条条里水田調査遺跡調査の結果

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

下之条条里遺構（長野県上田市下之条所在：以下「下之条条里」と略す）は、千曲川と産川の合流部付近にあたる。下之条条里周辺の地質は飯島ほか（1969）の地質図によれば沖積層とされる。したがって、遺跡は完新世以降にできた新しい段丘上に立地していることになる。本遺跡は、地名から条里遺構が確認される可能性があるため、トレンチ調査が行われた。しかし、過去の水田を示唆するような遺構や遺物が検出されなかった。そこで、自然科学分析の成果から、稲作の消長や当時の自然環境について考えることとし、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析を実施することとなった。

1．試料

試料は、当社で土壌断面の観察を行い、分析に適当と思われる地点を２カ所（当社にて第１地点，第２地点と地点名を付けた）選択し柱状試料を採取した。その中から目的等を考慮して分析用試料を採取し、分析に用いた。各地点の柱状図ならびに分析試料については図１に示す。

第１地点は深さ１ｍで礫層に達する。これは完新世の礫層で、本地点がかって千曲川河床であったときに形成されたものである。その上に約１cmほどの層がのるが、上位にしたがって粒径が細かくなるため、いくつかに細分される。表層20cm程度は現在の耕作の影響を受けている層である。出土遺物に乏しく、各層の時代観は明らかでない。

第２地点は、トレンチの底にあたる深さ1.3mでも礫層には達しておらず、礫層はもう少し深いところにあるものと思われる。層相変化は第１地点とほぼ変わらないが、表層部約30cmは、旧日本軍が軍用道路を作るために、投棄した黒ボク土であるとされている。その下部から土師器が出土したが、堆積物の状況から二次的に混入したものと考えられる。第１地点同様、各層の時代観は明らかでない。

2．分析方法

（１）珪藻分析

試料を湿重で約７ｇ秤量し、過酸化水素水（H_2O_2）、塩酸（HCl）の順に化学処理し、試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。自然沈降法で粘土分、傾斜法で砂分を除去した後、適当量計り取りカバーガラス上に滴下、乾燥する。乾燥後、プリュウラックスで封入する。

検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に、200個体以上同定・計数する（珪藻化石の少ない試料はこの限りではない）。

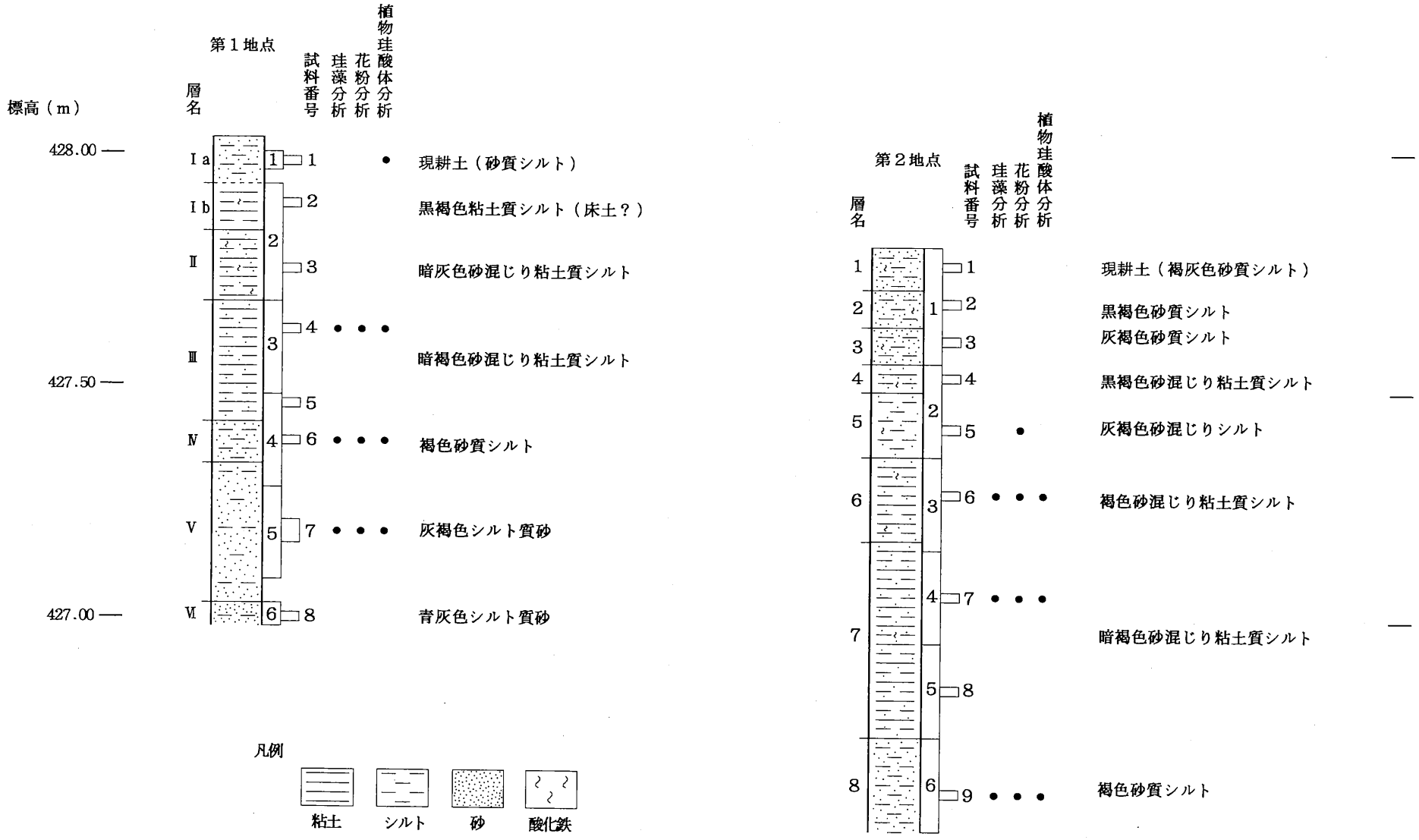


図１　各地点の模式柱状図および試料採取位置

種の同定は、K.Krammer and Lange-Bertalot（1986・1988・1991ab）などを用いる。なお、珪藻の生態性の解説を表１に示した。また、産出した珪藻遺骸が現地性か異地性かを判断する目安として、完形殻の出現率を求め考察の際に考慮した。同定結果は、産出種をアルファベット順に並べた一覧表で示した。

表１．珪藻化石の生態性

塩分濃度に対する区分		塩分濃度に対する適応性	生育環境（例）
海水生種：	強塩生種（Polyhalobous）	塩分濃度40.0ﾊﾟｰﾐﾙ以上に出現するもの	低緯度熱帯海域、塩水湖など
	真塩生種（Euhalobous）	海産性種、塩分濃度40.0～30.0ﾊﾟｰﾐﾙに出現するもの	一般海域（ex　大陸棚及び大陸棚以深の海域）
汽水生種：	中塩生種（Mesohalobous）	塩分濃度30.0～0.5ﾊﾟｰﾐﾙに出現するもの　強中塩生強（-Mesohalobous）　弱中塩生強（-Mesohalobous）	河口・内湾・沿岸・塩水湖・潟など
淡水生種：貧塩生種（Oligohalobous）		塩分濃度0.5ﾊﾟｰﾐﾙ以下に出現するもの	一般陸水域（ex　湖沼・池・沼・河川・沼沢地・泉）
塩分・ｐＨ・流水に対する区分		塩分・ｐＨ・流水に対する適応性	
塩分に対する適応性	貧塩－好塩性種（Halophilous）	少量の塩分がある方がよく生育するもの	高塩類域（塩水遡上域・温泉・耕作土壌）
	貧塩－不定性種（Indifferent）	少量の塩分があってもこれによく耐えることができるもの	一般陸水域（湖沼・池・沼・河川・沼沢地など）
	貧塩－嫌塩性種（Halophobous）	少量の塩分にも耐えることができないもの	湿原・湿地・沼沢地
	広域塩性種（Euryhalinous）	低濃度から高濃度まで広い範囲の塩分濃度に適応して出現するもの	一般淡水～汽水域
pHに対する適応性	真酸性種（Acidobiontic）	pH7.0以下に出現、特にpH5.5以下の酸性水域で最もよく生育するもの	湿原・湿地・火口湖（酸性水域）
	好酸性種（Acidophilous）	pH7.0付近に出現、pH7.0以下の水域で最もよく生育するもの	湿原・湿地・沼沢地
	ｐＨ-不定性種（Indifferent）	pH7.0付近の中性水域で最もよく生育するもの	一般陸水域（ex　湖沼・池沼・河川）
	好アルカリ性種（Alkaliphilous）	pH7.0付近に出現、pH7.0以上の水域で最もよく生育するもの	
	真アルカリ性種（Alkalibiontic）	pH8.5以上のアルカリ性水域で最もよく生育するもの	アルカリ性水域
流水に対する適応性	真止水性種（Limnobiontic）	止水域にのみ出現するもの	流水の少ない湖沼・池沼
	好止水性種（Limnophilous）	止水域に特徴的であるが、流水にも出現するもの	湖沼・池沼・流れの穏やかな川
	流水不定性種（Indifferent）	止水域にも流水域にも普通に出現するもの	河川・川・池沼・湖沼
	好流水性種（Rheophilous）	流水域に特徴的であるが、止水域にも出現するもの	河川・川・小川・上流域
	真流水性種（Rheobiontic）	流水域にのみ出現するもの	河川・川・流れの速い川・渓流・上流域
陸生珪藻	好気性種（Aerophilous）	好気的環境（Aerial habitats） 水域以外の常に大気に曝された特殊な環境に生育する珪藻の一群で多少の湿り気と光さえあれば、土壌表層中のコケの表面に生育可能特に、土壌中に生育する陸生珪藻を土壌珪藻という	・土壌表層中や土壌に生えたコケに付着 ・木の根元や幹に生えたコケに付着 ・濡れた岩の表面やそれに生えたコケに付着 ・滝の飛沫で湿ったコケや石垣・岩上のコケに付着 ・洞窟入口や内部の照明の当たった所に生えたコケに付着

註　塩分に対する区分はLowe（1974）、pHと流水に対する区分はHustedt（1937-38）による。

（２）花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス処理の順に物理・化学的処理を施し、花粉化石を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を操作し、出現する全ての種類（Taxa）について同定・計数する。

（３）植物珪酸体分析

試料約ｇについて、過酸化水素水（H_2O_2）と塩酸（HCl）による有機物と鉄分の除去、超音波処理（80W，250KHz，１分間）による試料の分散、沈降法による粘土分の除去、ポリタングステン酸ナトリウム（比重2.5）による重液分離を順に行い、物理・化学処理で植物珪酸体を分離・濃集す

る。これを検鏡し易い濃度に希釈した後、カバーガラスに滴下し、乾燥させる。その後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。

検鏡は光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現するイネ科植物の葉部（葉身と葉鞘）の短細胞に由来する植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身の機動細胞に由来する植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、同定・計数する。なお、同定には、近藤・佐瀬（1986）の分類を参考にした。

結果は、検出された植物珪酸体の種類と個数を一覧表で示す。また、各種類の出現傾向から、生育していたイネ科植物を検討するために、植物珪酸体組成図を作成する。出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の各珪酸体毎に、それぞれの総数を基数として百分率で算出する。なお、○●は１％未満を示し、短細胞珪酸体で200個、機動細胞珪酸体で100個未満の試料において統計的に扱うと歪曲する恐れがあるため、＋で表示した。

３．結果

（１）珪藻化石の産状

結果を表２に示す。珪藻化石は、各地点とも非常に少なく、統計的に扱えるだけ産出した試料はない。以下に、産出した分類群の特徴について、各地点ごとに述べる。

・第１地点

Ｖ層（試料番号７）は、他の２試料と比較すると産出する種類数がわずかに多い。この試料からは乾いた好気的環境に強い耐性を示す陸生珪藻のＡ群の*Navicula mutica*、*Hantzschia amphioxys*、現在琵琶湖の固有種とされている（根来，1960）*Melosira solida*、流水環境を指標する*Rhoicosphenia abbreviata*など様々な環境を指標する種が混在している。また、試料番号４・６では乾いた環境からも水中からも認められる陸生珪藻のＢ群の*Navicula confervacea*、乾いた環境に強い耐性を示す陸生珪藻のＡ群で*Pinnularia borealis* などが産出する。

・第２地点

８層（試料番号９）は、他の２試料と比較すると産出する種類数がわずかに多い。ここでも、陸生珪藻のＡ群の*Hantzschia amphioxys*、現在琵琶湖の固有種とされている*Melosira solida*、湖沼浮遊性種とされる*Aulacoseira comta*、好流水性の*Cocconeis placentula* var. *euglypta*など様々な環境を指標する種が混在している。また、７層（試料番号７）では陸生珪藻のＡ群の*Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica* などの陸生珪藻がわずかに産出する。なお、６層（試料番号６）は無化石である。

（２）花粉化石の産状

花粉化石は、全試料ともほとんど検出されなかった。わずかに第１地点のⅢ層（試料番号４）でハンノキ属とヨモギ属が、第２地点の６層（試料番号６）でマツ属がそれぞれ１個体づつ検出

表2　珪藻分析結果

Species Name	Ecology			第1地点			第2地点		
試料番号	H.R.	pH	C.R.	4	6	7	6	7	9
[M]*Aulacoseira granulata* (Ehr.)Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-bi	-	-	-	-	-	1
Aulacoseira italica (Ehr.)Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	-	-	-	-	-	1
[·B]*Caloneis leptosoma* Krammer & Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	1
Cocconeis placentula (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	1	-	-	1
##*Cocconeis placentula* var. *euglypta* (Ehr.)Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	-	-	2	-	-	2
[M]*Cyclotella comta* (Ehr.)Kuetzing	Ogh-ind	al-il	l-bi	-	-	-	-	-	1
##*Cymbella turgidula* var. *nipponica* Skvortzow	Ogh-ind	ind	r-ph	-	-	1	-	-	-
##[K]*Diatoma hiemale* var. *mesodon* (Ehr.)Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	-	-	1	-	-	-
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	2
Epithemia adnata (Kuetz.)Brebisson	Ogh-ind	al-bi	ind	-	-	1	-	-	1
Epithemia spp.	Ogh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	2
Fragilaria lapponica Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	1	-	-	-
Fragilaria leptostauron var. *dubia* Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	1	-	-	-
Gomphonema angustatum (Kuetz.)Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	1	-	-	-
[·A]*Hantzschia amphioxys* (Ehr.)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	3	-	1	9
[M]*Melosira solida* Eulenstein	Ogh-unk	unk	l-ph	-	-	5	-	-	2
##[K]*Meridion circulae* var. *constrictum* (Ralfs)V.Heurck	Ogh-ind	al-il	r-bi	-	-	1	-	-	-
#[·B]*Navicula confervacea* (Kuetz.)Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	1	1	-	-	-	-
[O]*Navicula elginensis* (Greg.)Ralfs	Ogh-ind	al-il	r-ph	-	-	1	-	-	3
#[·A]*Navicula mutica* Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	-	1	9	-	1	2
[K]*Navicula viridula* var. *rostellata* (Kuetz.)Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	-	-	1	-	-	-
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	-	-	1	-	-	-
[·A]*Pinnularia borealis* Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	-	1	-	-	-	1
[·]*Pinnularia schroederii* (Hust.)Krammer	Ogh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	4
##[K]*Rhoicosphenia abbreviata* (Ag.)Lange-Bertalot	Ogh-hil	al-il	r-ph	-	-	4	-	-	-
Rhopalodia gibba (Ehr.)O.Muller	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	1	-	-	-
[·B]*Stauroneis obtusa* Lagerst	Ogh-ind	ind	ind	-	1	-	-	-	-
Synedra ulna (Kuetz.)Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind	-	-	-	-	-	1
Marine Water Species				0	0	0	0	0	0
Marine to Brackish Water Species				0	0	0	0	0	0
Brackish Water Species				0	0	0	0	0	0
Fresh Water Species				1	4	35	0	2	34
Total Number of Diatoms				1	4	35	0	2	34

凡例

H.R.:塩分濃度に対する適応性
Ogh-hil:貧塩好塩性種
Ogh-ind:貧塩不定性種
Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素ｲｵﾝ濃度に対する適応性
al-bi:真ｱﾙｶﾘ性種
al-il:好ｱﾙｶﾘ性種
ind　:pH不定性種
unk　:pH不明種

C.R.:流水に対する適応性
l-bi:真止水性種
l-ph:好止水性種
ind :流水不定性種
r-ph:好流水性種
r-bi:真流水性種
unk :流水不明種

環境指標種群

[K]:中～下流性河川指標種　[M]:湖沼浮遊性種
[O]:沼沢湿地付着生種（安藤, 1990）
#:好汚濁性種　##:好清水性種（渡辺ほか, 1986）
[·]:陸生珪藻（[·A]:A群,[·B]:B群、伊藤・堀内, 1991）

表3　植物珪酸体分析結果

種　類(Taxa)　試料番号	第1地点 1	第1地点 4	第1地点 6	第1地点 7	第2地点 6	第2地点 7	第2地点 9
イネ科葉部短細胞珪酸体							
イネ族イネ属	13	-	-	-	-	-	-
キビ族	5	14	5	1	1	13	17
タケ亜科ネザサ節	-	10	-	-	1	2	-
タケ亜科ヤダケ属	-	-	-	-	-	1	-
タケ亜科	4	20	5	-	1	7	3
ヨシ属	7	12	10	8	6	31	29
ウシクサ族コブナグサ属	1	1	-	-	-	-	2
ウシクサ族ススキ属	-	1	1	-	1	5	2
オオムギ族コムギ属	2	-	-	-	-	-	-
イチゴツナギ亜科オオムギ族	-	1	-	-	-	-	-
イチゴツナギ亜科	24	15	4	-	1	10	10
不明キビ型	21	51	42	4	2	61	31
不明ヒゲシバ型	6	8	4	2	5	16	15
不明ダンチク型	53	78	37	25	12	60	94
イネ科葉身機動細胞珪酸体							
イネ族イネ属	84	1	2	1	1	-	1
キビ族	3	-	1	-	-	2	-
タケ亜科ネザサ節	1	-	-	-	-	-	-
タケ亜科	13	-	1	1	3	11	9
ヨシ属	-	-	12	14	4	28	20
ウシクサ族	16	3	45	4	6	46	24
シバ属	11	-	-	-	-	-	-
不明	65	2	44	3	8	27	46
合　計							
イネ科葉部短細胞珪酸体	136	211	108	40	30	206	203
イネ科葉身機動細胞珪酸体	193	6	105	23	22	114	100
検　出　個　数	329	217	213	63	52	320	303
組　織　片							
イネ属穎珪酸体	4	-	-	-	-	-	-
イネ属短細胞列	7	-	-	-	-	-	-

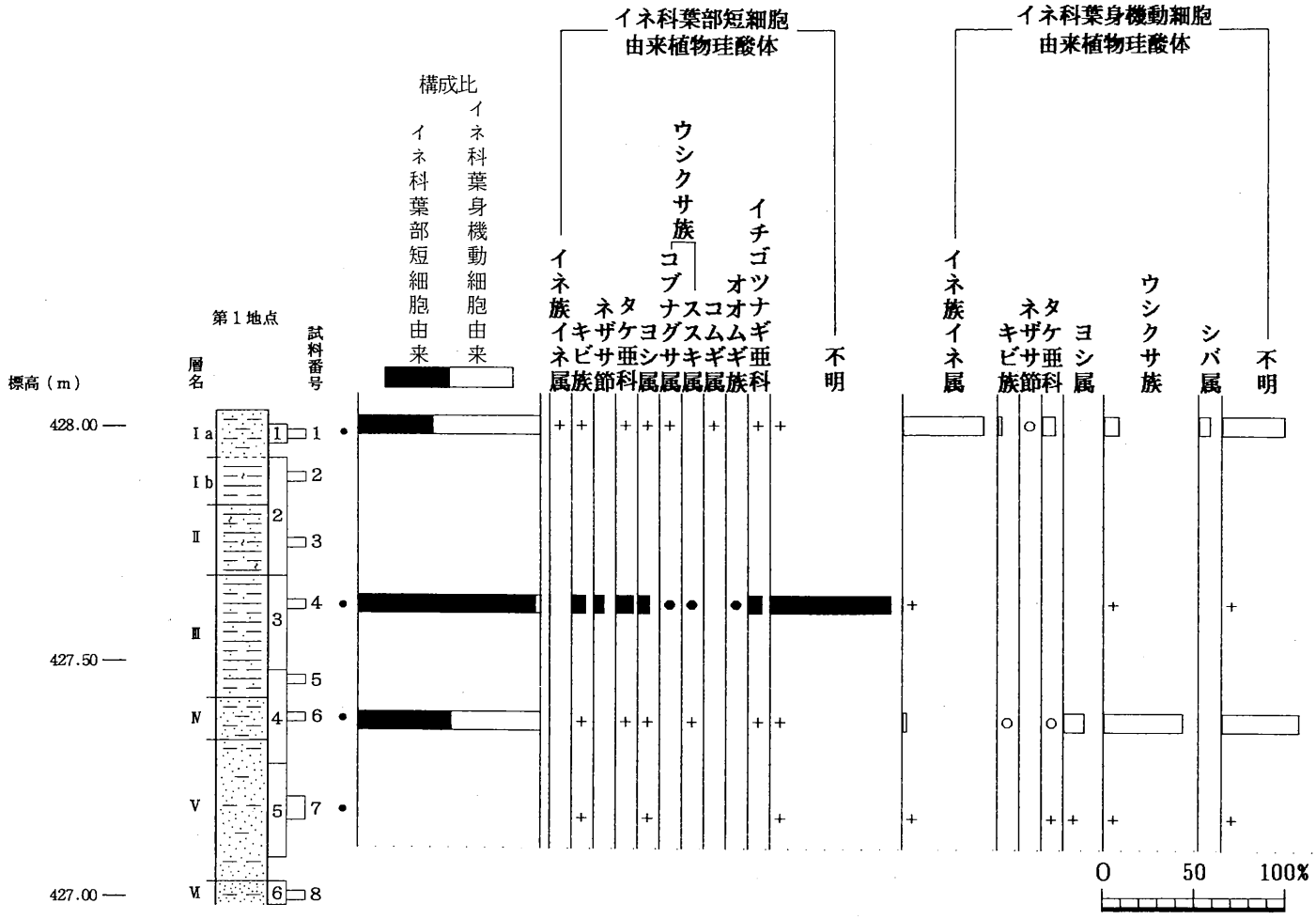


図2　第１地点における植物珪酸体組成

出現率は、検出された短細胞珪酸体、機動細胞珪酸体ともにそれぞれの総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1％未満、＋は短細胞珪酸体で200個体未満、機動細胞珪酸体で100個未満の検出を示す。

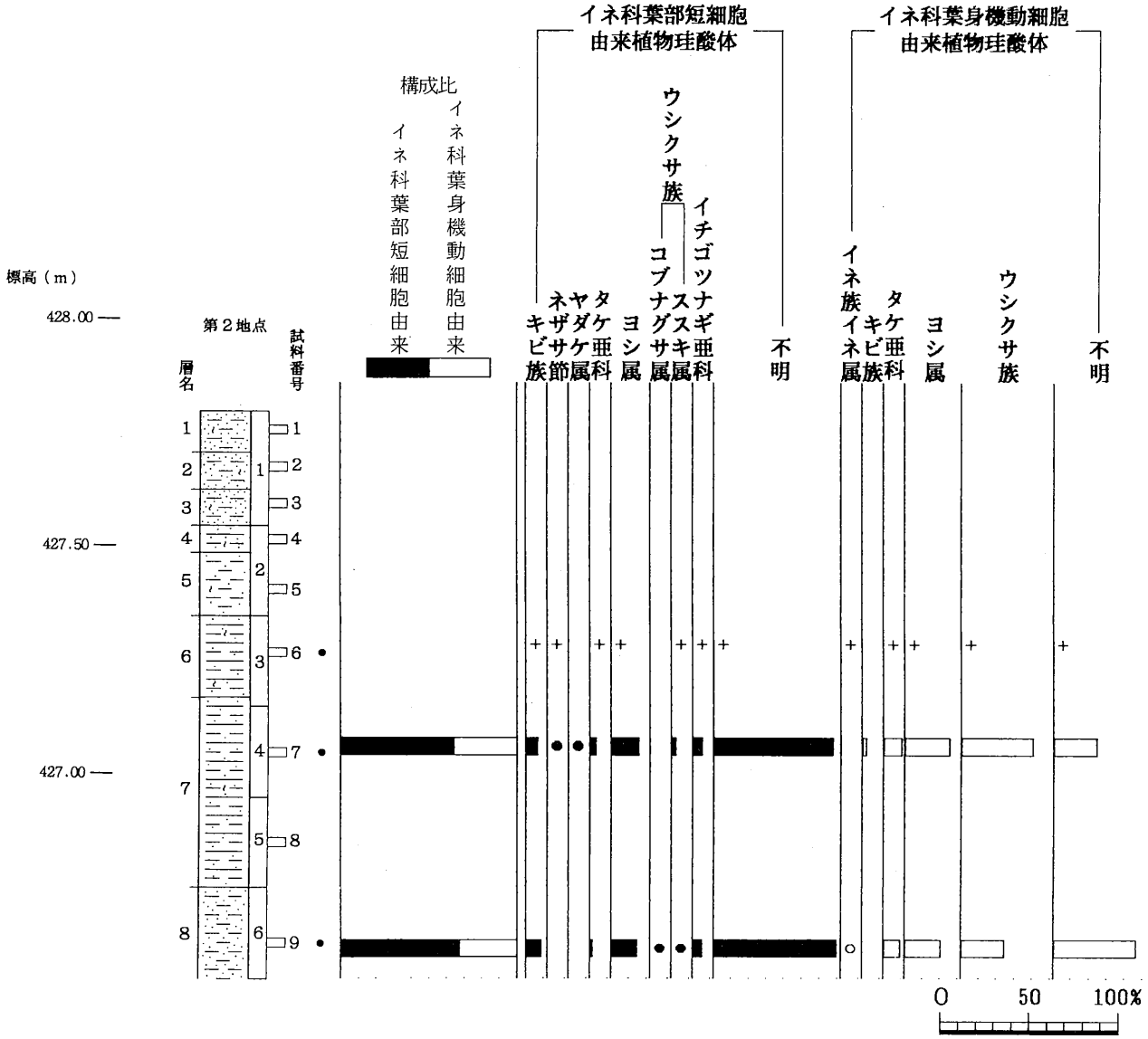


図3　第２地点における植物珪酸体組成

出現率は、検出された短細胞珪酸体、機動細胞珪酸体ともにそれぞれの総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1％未満、＋は短細胞珪酸体で200個体未満、機動細胞珪酸体で100個未満の検出を示す。

される程度である。また、シダ類胞子が検出される試料も若干あるが、いずれも１～２個体程度で極端に少ない。

（３）植物珪酸体の産状

結果を表３と図２・３に示す。植物珪酸体は、短細胞珪酸体で第１地点のⅤ層（試料番号７）・Ⅳ層（試料番号６）・Ⅰa層（試料番号１）と第２地点の６層（試料番号６）で不良であり、機動細胞珪酸体でも第１地点のⅤ層（試料番号７）・Ⅳ層（試料番号４）と第２地点の６層（試料番号６）で不良であり、検出個数が少ない。以下、各地点ごとに産状を述べる。

・第１地点

植物珪酸体は、Ⅴ層（試料番号７）で検出個数が少ない。Ⅳ層（試料番号６）でヨシ属・ウシクサ族が目立つ。また、Ⅳ層（試料番号６）から上位でイチゴツナギ亜科が検出される。Ⅲ層（試料番号４）は、キビ族・ネザサ節・タケ亜科・ヨシ属・ウシクサ族・イチゴツナギ亜科などが検出される。Ⅰa層（試料番号１）では、全試料で検出される栽培種のイネ属機動細胞珪酸体が多産し、キビ族・タケ亜科・ヨシ属・ウシクサ族・イチゴツナギ亜科などを伴う。

・第２地点

植物珪酸体は、８層（試料番号９）・７層（試料番号７）でヨシ属・ウシクサ族が多産し、キビ族・タケ亜科・イチゴツナギ亜科などを伴う。６層（試料番号６）では、検出個数は少ないが下位と検出される種類がほぼ同様である。また、栽培種のイネ属機動細胞珪酸体が８層（試料番号９）・６層（試料番号６）で僅かに検出される。

４．考察

分析の結果、珪藻化石や花粉化石はほとんど検出されなかった。また、植物珪酸体についても、保存の悪い試料が多く見られた。この理由としては、堆積物が氾濫性のものであることから堆積速度が早く微化石が取り込まれにくかったとも考えられるが、はっきりとした理由は不明である。

植物珪酸体で多産する種類の中で、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いた場所に生育し、ヨシ属は比較的湿ったところに生育する種類が多い。このことから、植物珪酸体組成は、様々な環境に生育する植物が混在する群集であることを示している。また、珪藻化石でも様々な生態性を持つ化石が混在している。遺跡の立地条件や堆積物の状況、また微化石の産状を考慮すると、今回検出された微化石の大部分は、氾濫等の影響により上位から流れ込んできたものと推測される。したがって、今回検出された微化石は、当時その場に生育していたものではなく、周囲から流れ込んだものが大部分であると考えられ、当時の遺跡周辺の環境を反映していないと考えられる。

なお、栽培種のイネ属が第２地点の７層以外の試料で検出されるが、第１地点のⅠa層を除いて検出された個体数が少ない。これらはおそらく稲作に伴うものではなく、耕作による上位からの落ち込みや、周囲から流れ込んだものに由来するとみられる。第１地点のⅠa層に関しては、イネ

属の植物珪酸体が高率であるが、現在の耕作土であることから、現代の稲作に由来するものと考えられる。このように、今回の微化石の結果からは、過去の稲作に関する情報を得ることができなかった。しかし、後代の耕作による削剥等も考えられることから、今回の結果から過去において水田が行われていなかったとはいえない。今後調査地点を増やし検証を続けたい。

<引用文献>

安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理 42, p.73-88.

Hustedt, F.(1937-1938)Systematische und okologische Untersuchungen uber die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15 p.131-809, 16 p.1-155, 274-394.

飯島南海夫・山辺邦彦・甲田三男・石和一夫・小宮山孝一（1969）千曲川上流地方の第四紀地質（その３）－特に上小湖成層について－．地球科学, 23, p.63-72.

近藤錬三・佐瀬　隆（1986）植物珪酸体分析，その特性と応用．第四紀研究, 25, p.31-64.

Krammer, K., and H. Lange-Bertalot.(1986･1988･1991ab) Bacillariophyceae, Suesswasser flora von Mitteleuropa 2(1･2･3･4):p.1-876, p.1-585, p.1-576, p.1-437.

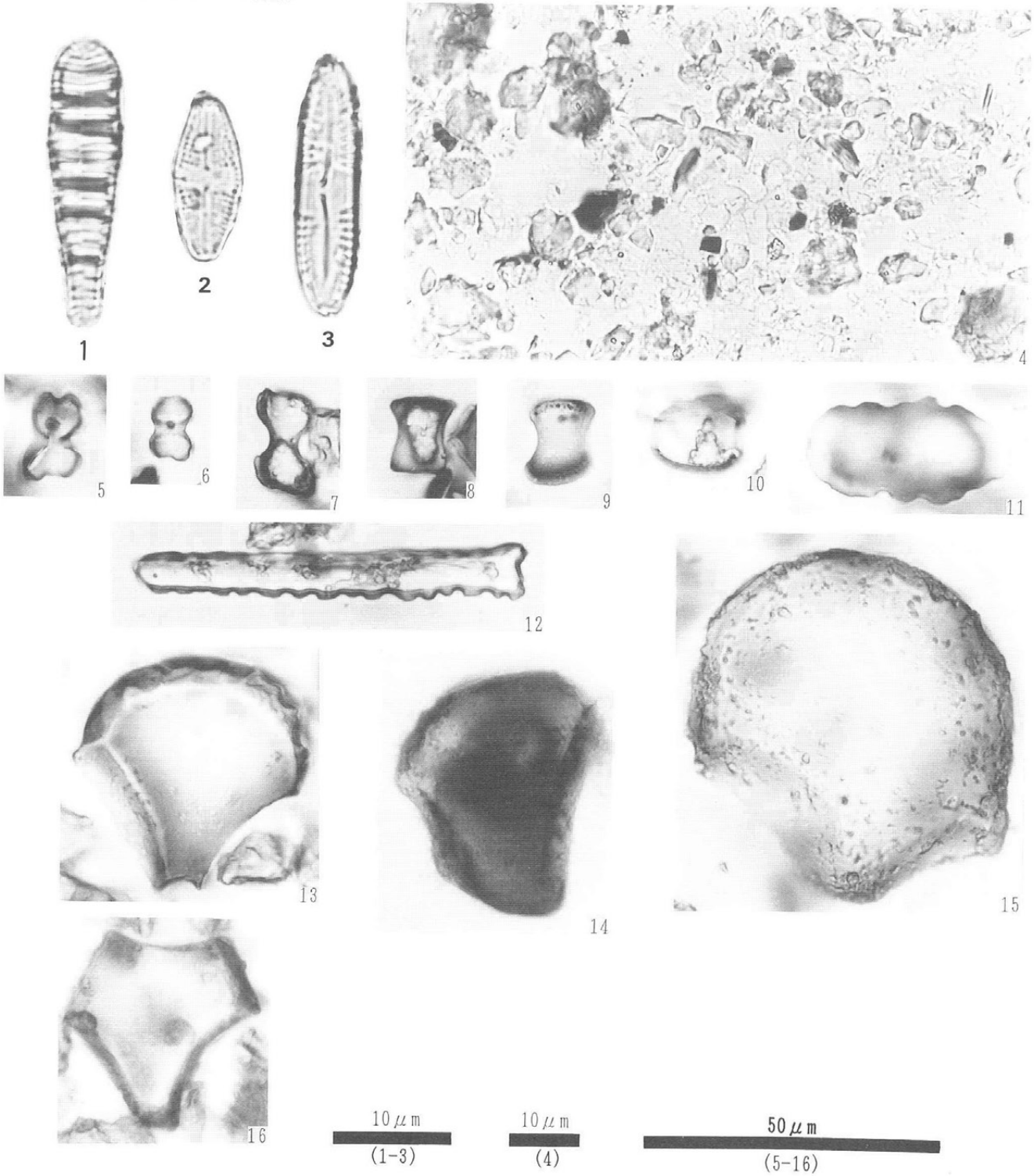
伊藤良永・堀内誠示（1991）陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用　Diatom, 6, p.23-45.

Lowe, R.L.(1974)Environmental requirements and pollution tolerance of fresh-water diatoms. p.1-334. In Environmental Monitoring Ser. EPA-670/4-74-005. Nat. Environmental Res. Center Office of Res. Develop., U.S. Environ. Protect. Agency, Cincinati.

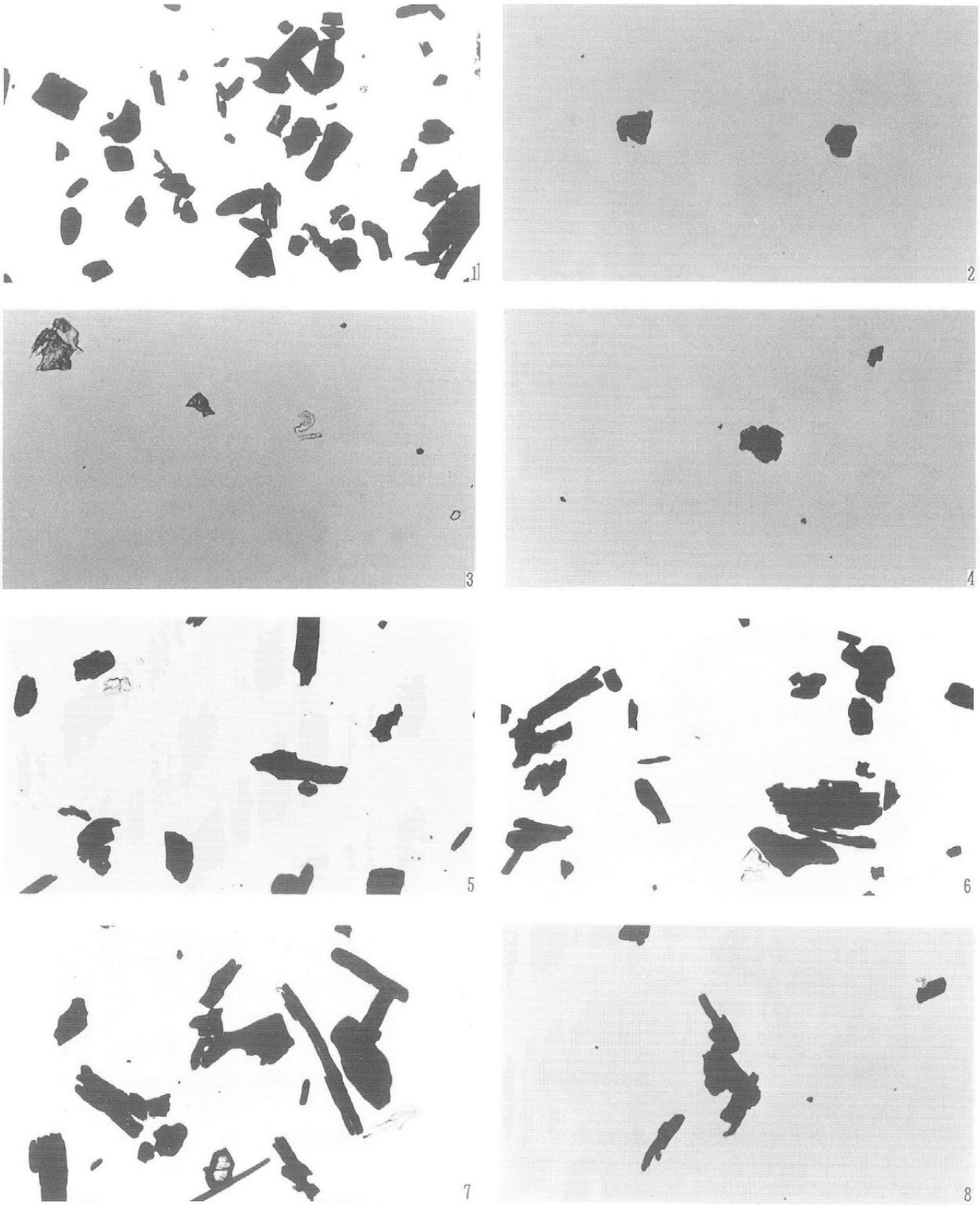
根来健一郎（1960）琵琶湖の珪藻（第１報）．陸水学雑誌 vol.21, p.200-220.

渡辺仁治・山田妥恵子・浅井一視（1988）珪藻群集による有機汚濁指数（ＤＡＩpo）の止水域への適用．水質汚濁研究 11, no.12, p.765-773.

図版１　珪藻化石・植物珪酸体

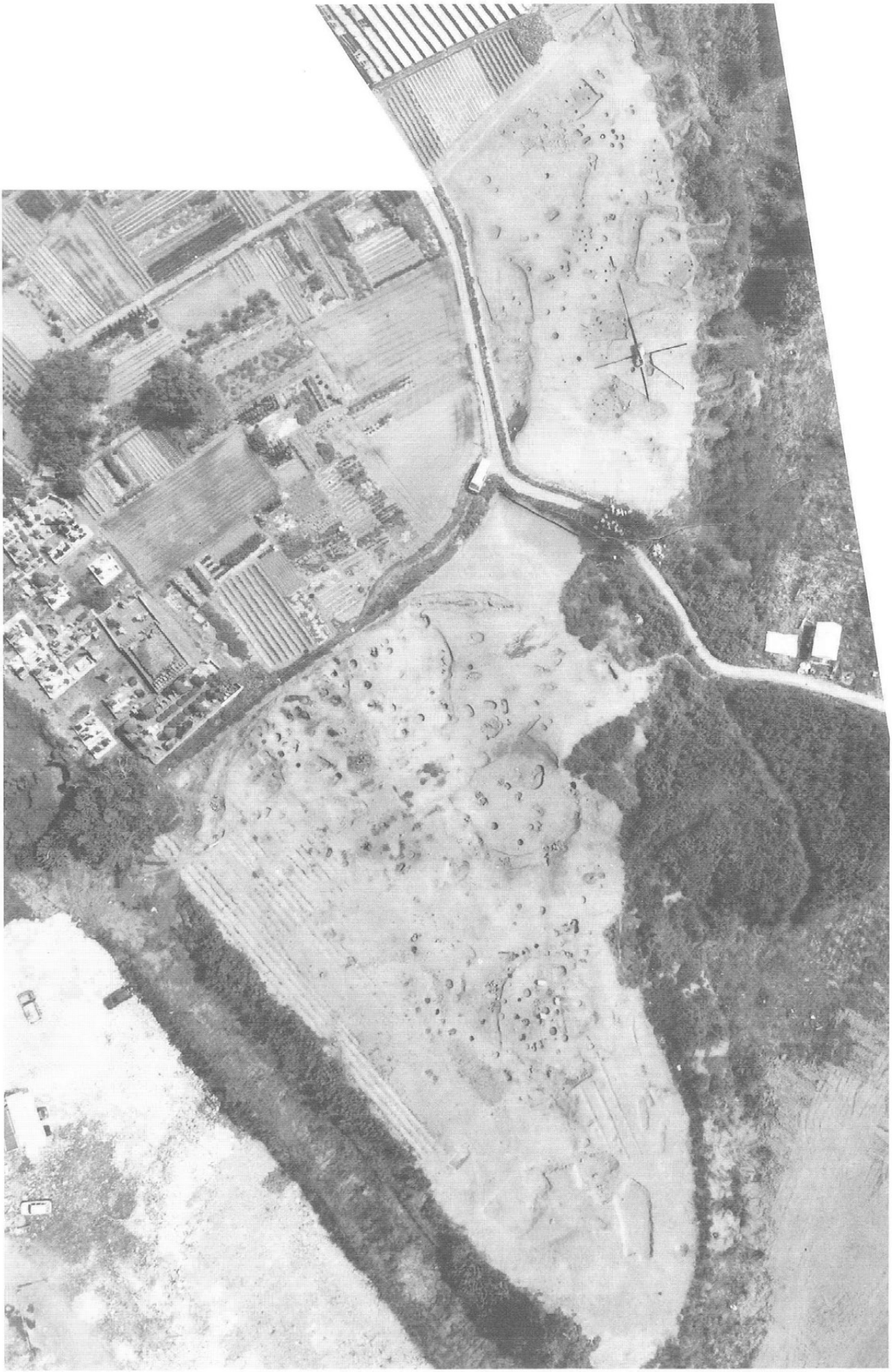


1. ***Meridion circulae*** var. ***constrictum*** (Ralfs) V. Heurck（第１地点:試料番号6）
2. ***Navicula mutica*** Kuetzing　（第２地点:試料番号9）
3. ***Pinnularia schroederii*** (Hust.) Krammer　（第２地点:試料番号6）
4. 珪藻分析プレパラート内状況写真　（第１地点:試料番号4）
5. イネ属短細胞珪酸体（第１地点:試料番号1）
6. イネ属短細胞珪酸体（第１地点:試料番号1）
7. キビ族短細胞珪酸体（第１地点:試料番号4）
8. ネザサ節短細胞珪酸体（第１地点:試料番号4）
9. タケ亜科短細胞珪酸体（第２地点:試料番号9）
10. ヨシ属短細胞珪酸体（第２地点:試料番号9）
11. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体（第１地点:試料番号1）
12. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体（第１地点:試料番号4）
13. イネ属機動細胞珪酸体（第１地点:試料番号1）
14. ウシクサ族機動細胞珪酸体（第１地点:試料番号7）
15. ヨシ属機動細胞珪酸体（第２地点:試料番号9）
16. シバ属機動細胞珪酸体（第１地点:試料番号1）



1. 第１地点:試料番号4
2. 第１地点:試料番号6
3. 第１地点:試料番号7
4. 第２地点:試料番号5
5. 第２地点:試料番号6
6. 第２地点:試料番号7
7. 第２地点:試料番号9
8. 第２地点:試料番号9

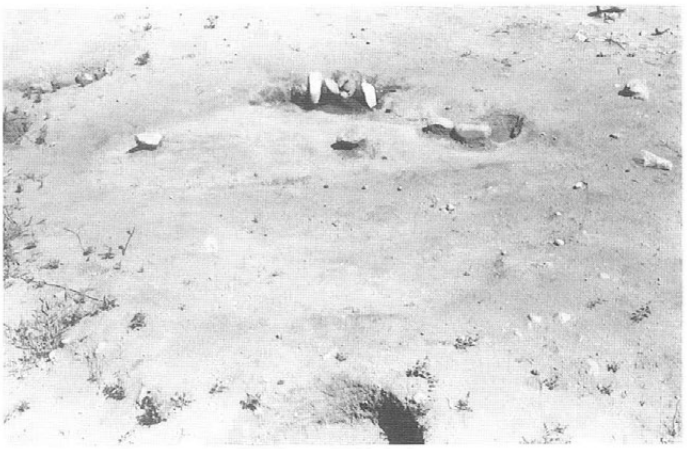
写　真　図　版



調査地区空撮

調査地区遠景（東から）

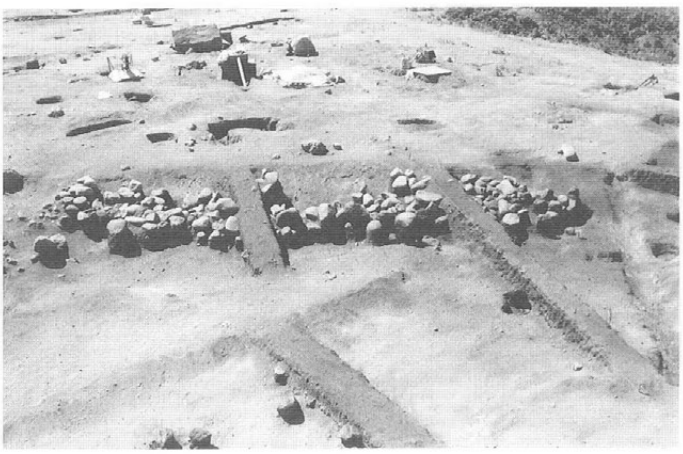
調査地区遠景（南から）



Ⅰ－1号住居址
（西から）

Ⅰ－1号住居址
カマド
（西から）

Ⅰ－1号周溝墓
（上空から）



Ⅰ－1号周溝墓
25号溝址礫出土状況
（南から）

Ⅰ－1号周溝墓
主体部
（東から）

Ⅰ－2号周溝墓
（上空から）

Ⅰ－3号周溝墓
（上空から）

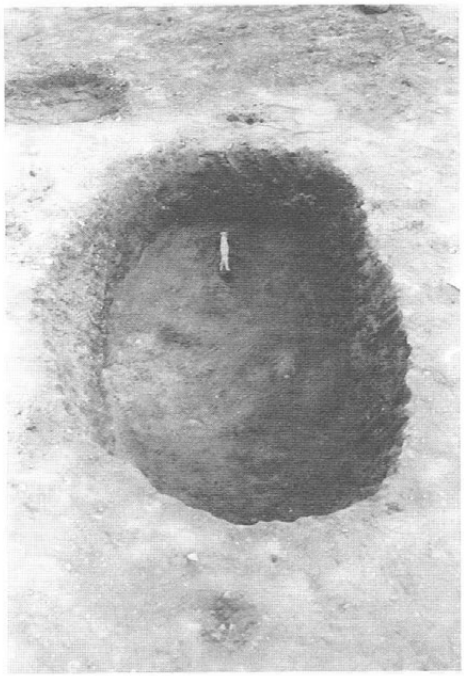
Ⅰ－礫床墓半裁状況
（西から）

Ⅰ－礫床墓検出状況
（南から）

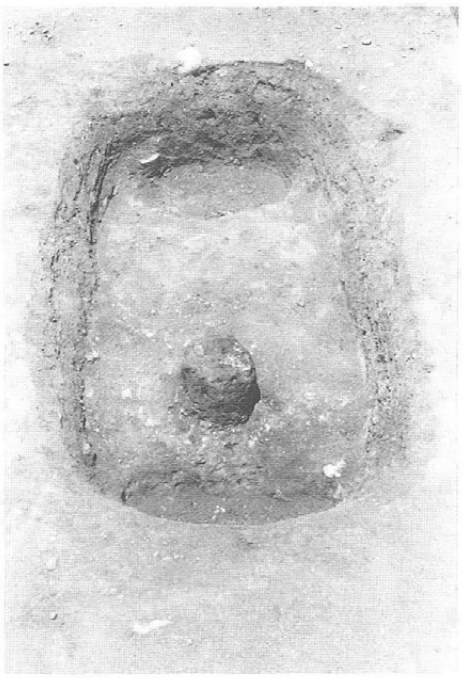
Ⅰ－礫床墓完掘後
（南から）

Ⅰ－27号土壙
（南東から）

Ⅰ－64号土壙
遺物出土状況



Ⅰ－40号土壙
（南東から）

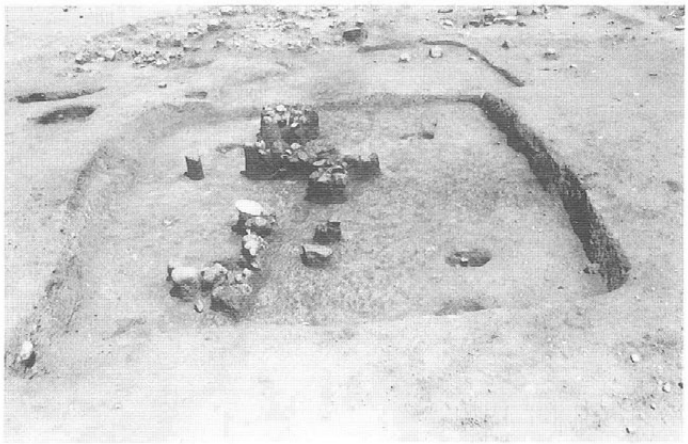


Ⅰ－39号土壙
（南東から）

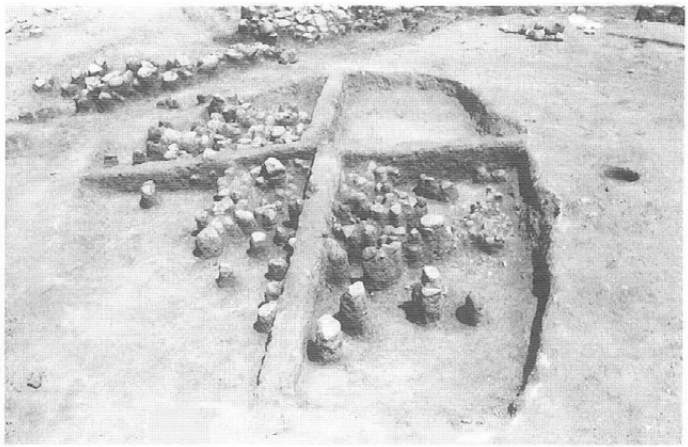
Ⅰ－19号溝址
遺物出土状況

Ⅱ－1号住居址
（北から）

Ⅱ－２号住居址
（西から）



Ⅱ－３号住居址
（南から）



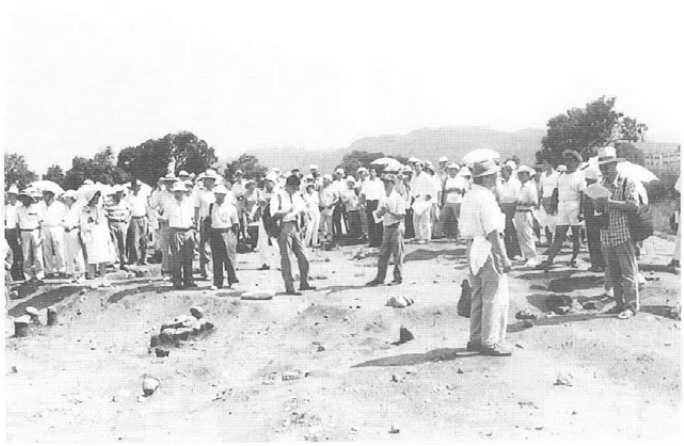
Ⅱ－８号住居址
（南から）

Ⅱ－９号住居址
（北東から）

Ⅱ－10.11号住居址
（東から）

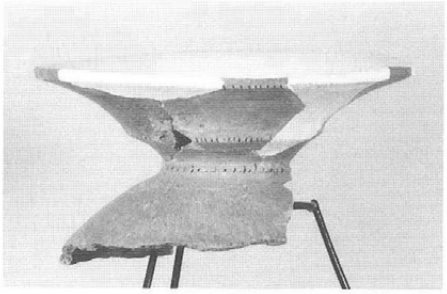
Ⅱ－1号周溝墓
（上空から）

Ⅱ－1号周溝礫出土状況
（西から）



現地説明会

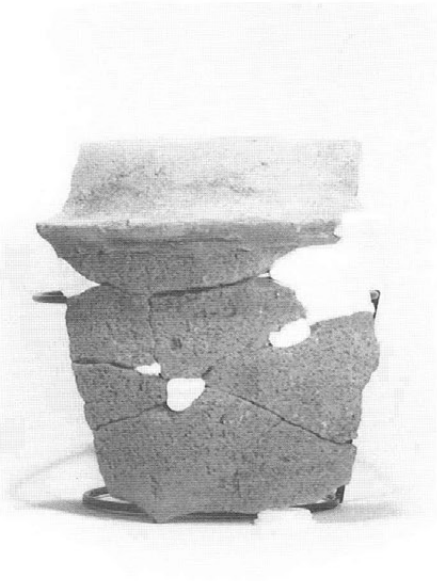
Ⅰ－1号
住居址
1



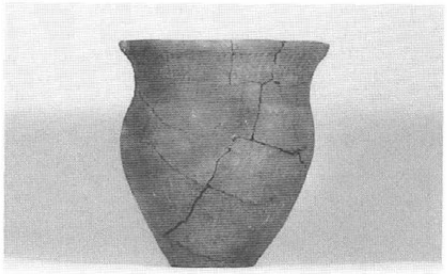
Ⅰ－1号
周溝墓
4

Ⅰ－1号
住居址
2

Ⅰ－1号
周溝墓
5



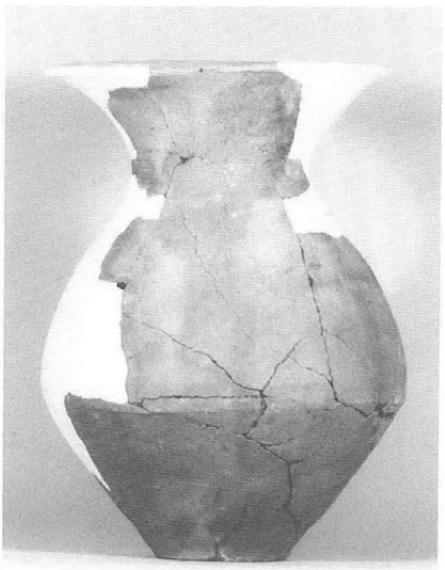
Ⅰ－1号
住居址
10



Ⅰ－1号
周溝墓
主体部
1

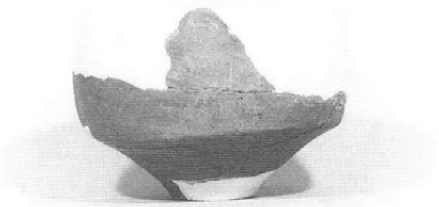
Ⅰ－1号
周溝墓
主体部
4

Ⅰ－2号
住居址
1

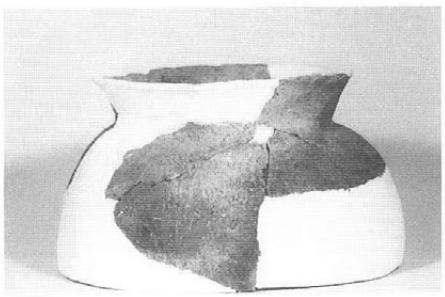


Ⅰ－1号
周溝墓
主体部
3

Ⅰ－1号
周溝墓
主体部
5



Ⅰ－3号
周溝墓
4



Ⅰ－2号
周溝墓
12

Ⅰ－3号
周溝墓
6

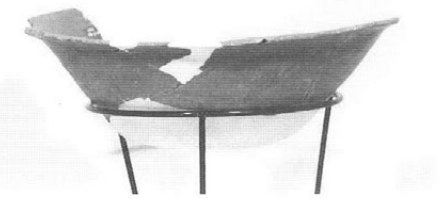
Ⅰ－2号
周溝墓
30

Ⅰ－3号
周溝墓
8

Ⅰ－2号
周溝墓
31

Ⅰ－3号
周溝墓
9

Ⅰ－3号
周溝墓
3



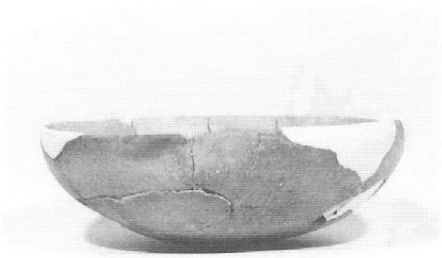
Ⅰ－3号
周溝墓
10

Ⅰ－3号
周溝墓
11

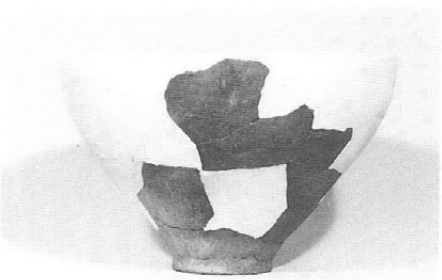
Ⅰ－3号
周溝墓
12

Ⅰ－3号
周溝墓
14

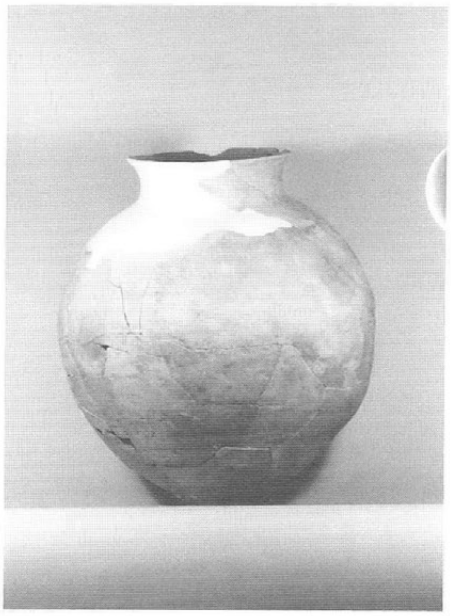
Ⅰ－3号
周溝墓
15



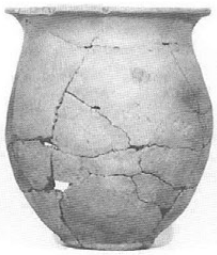
Ⅰ－3号
周溝墓
16



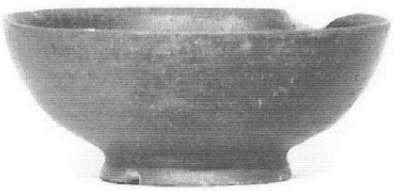
Ⅰ－9号
土壙
1



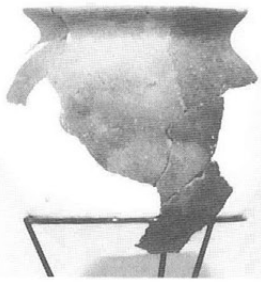
Ⅰ－27号
土壙
1



Ⅰ－27号
土壙
2

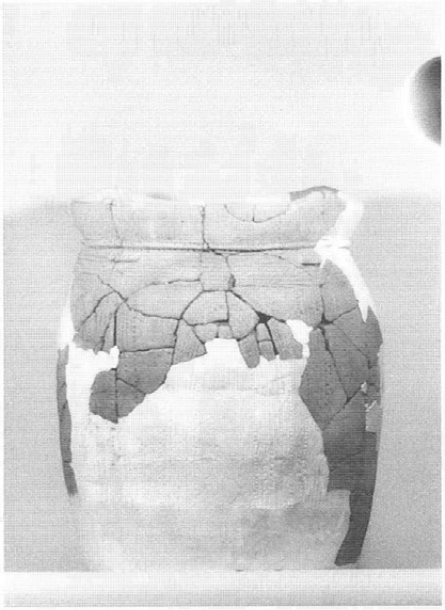


Ⅰ－32号
土壙
1

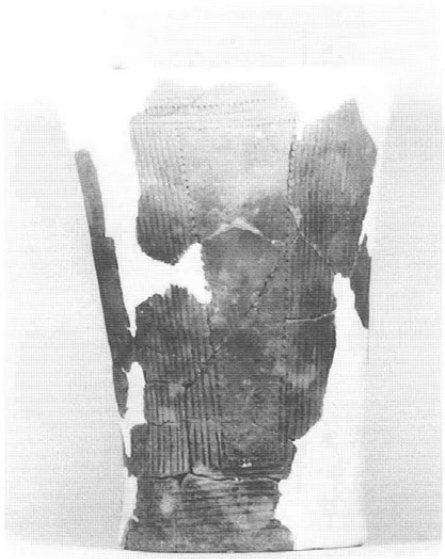


Ⅰ－34号
土壙
1

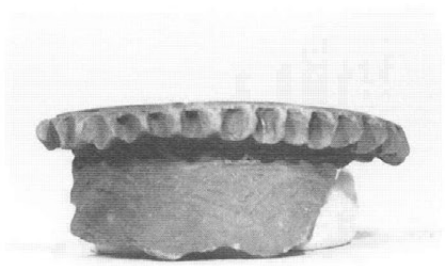
Ⅰ－36号
土壙
1



Ⅰ－50号
土壙
1

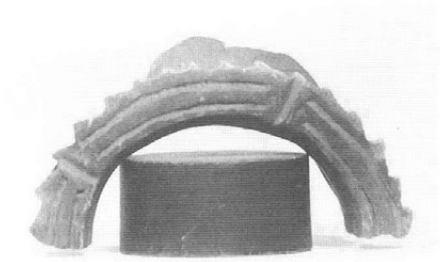


Ⅰ－65号
土壙
1

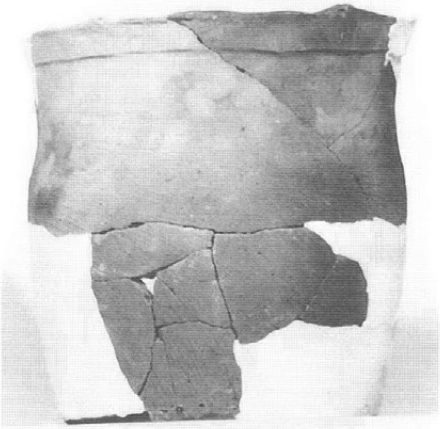


Ⅰ－64号
土壙
2

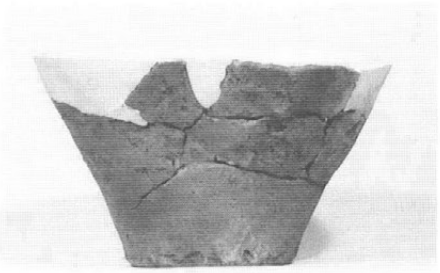
Ⅰ－66号
土壙
1



Ⅰ－66号
土壙
1

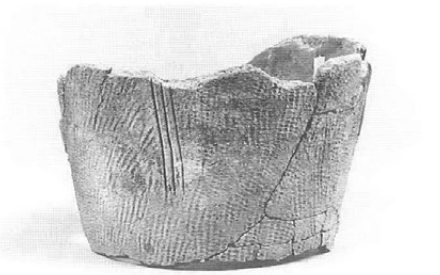


Ⅰ－67号
土壙
2



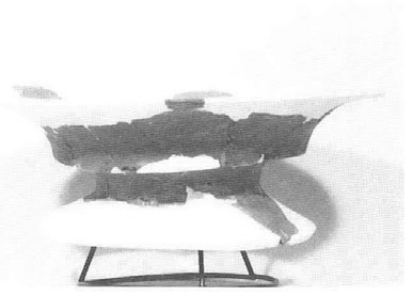
Ⅰ－83号
土壙
2

Ⅰ－87号
土壙
1

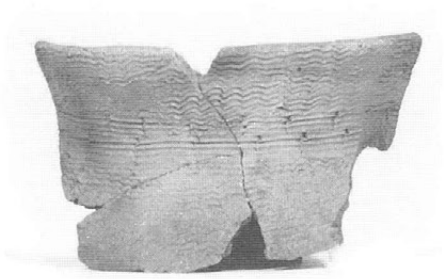


Ⅰ－1号
埋甕

Ⅰ－4号
溝址
3

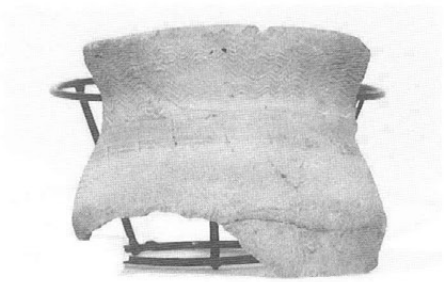


Ⅰ－9号
溝址
1

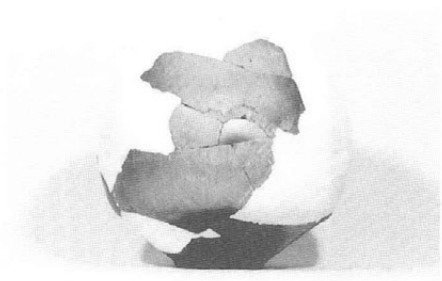


Ⅰ－5号
溝址
1

Ⅰ－10号
溝址
2

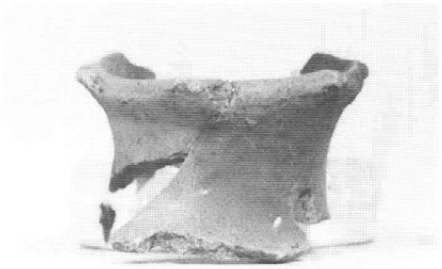


Ⅰ－7号
溝址
1

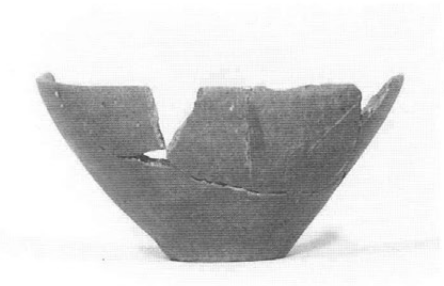


Ⅰ－12号
溝址
1

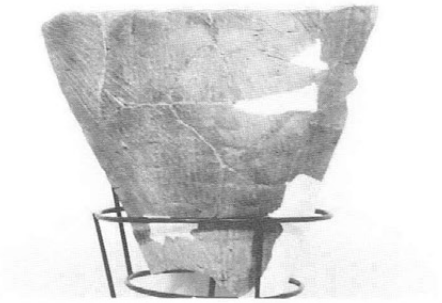
Ⅰ－7号
溝址
3



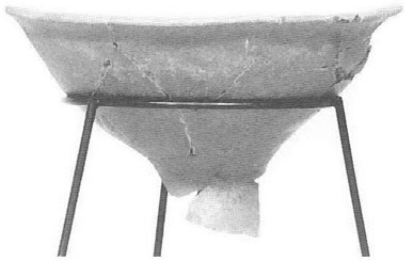
Ⅰ－19号
溝址
1



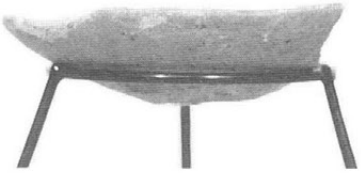
Ⅰ－7号
溝址
4



Ⅰ－19号
溝址
2

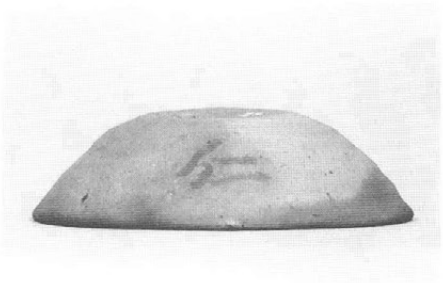


Ⅰ－7号
溝址
6



Ⅰ－19号
溝址
12

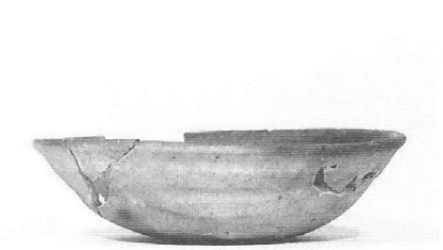
Ⅰ－19号
溝址
14



Ⅰ－19号
溝址
15

Ⅰ－19号
溝址
16

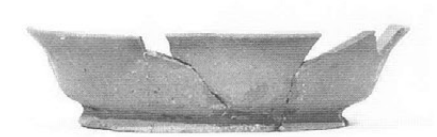
Ⅰ－19号
溝址
17



Ⅰ－19号
溝址
19

Ⅰ－19号
溝址
20

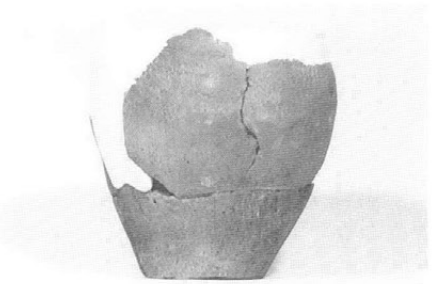
Ⅰ－19号
溝址
21



Ⅰ－19号
溝址
22

Ⅰ－20号
溝址
4

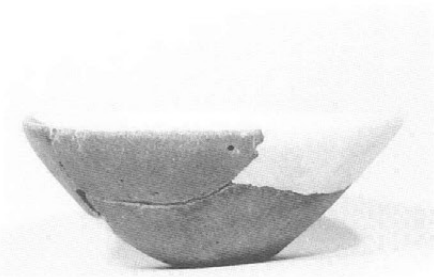
Ⅰ－20号
溝址
5



Ⅰ－20号
溝址
6

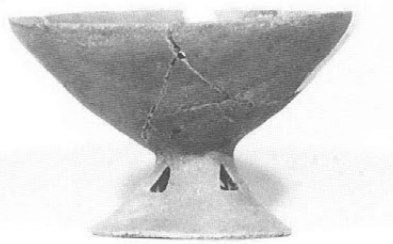
Ⅰ－20号
溝址
10

Ⅰ－20号
溝址
11

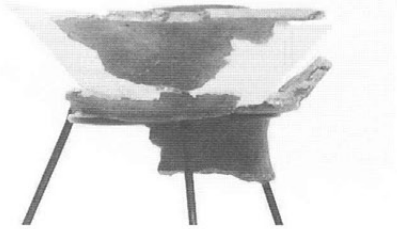


Ⅰ－20号
溝址
13

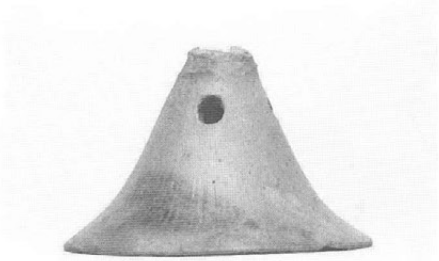
Ⅰ－20号
溝址
14



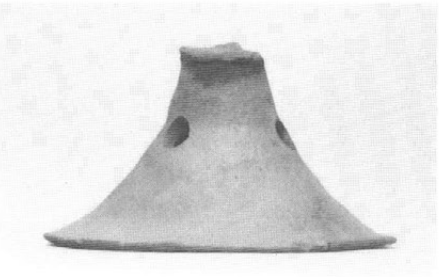
Ⅰ－20号
溝址
15



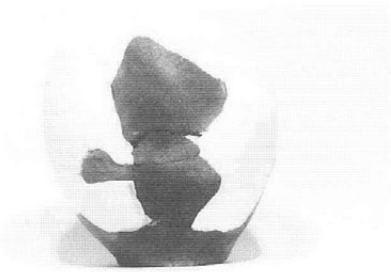
Ⅰ－25号
溝址
1



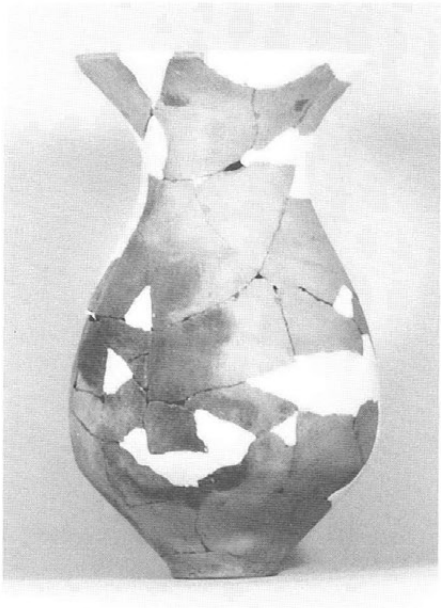
Ⅰ－25号
溝址
3



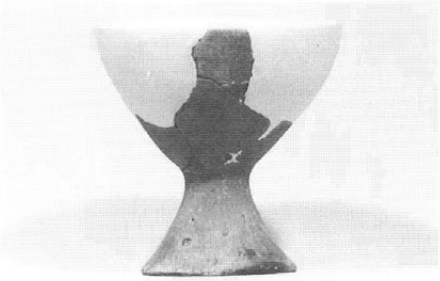
Ⅰ－25号
溝址
4



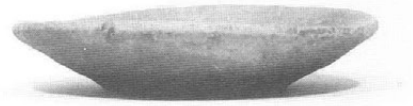
Ⅰ－27号
溝址
2



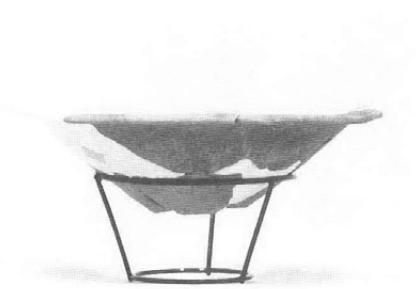
Ⅰ－27号
溝址
4



Ⅰ－28号
溝址
1



Ⅱ－1号
住居址
6

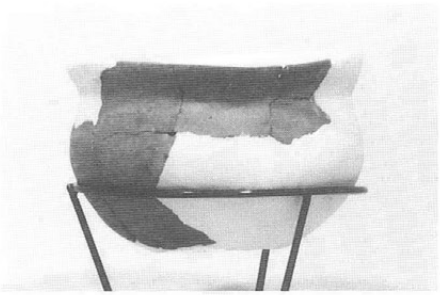


Ⅰ－28号
溝址
2

Ⅱ－1号
住居址
7

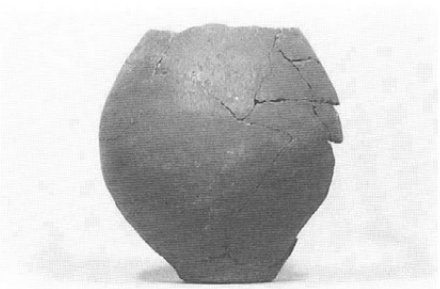
Ⅰ－29号
溝址
1

Ⅱ－1号
住居址
10



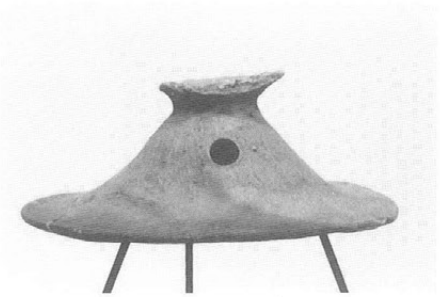
Ⅰ－29号
溝址
7

Ⅱ－1号
住居址
11



Ⅰ－遺構外
表土
7

Ⅱ－1号
住居址
29



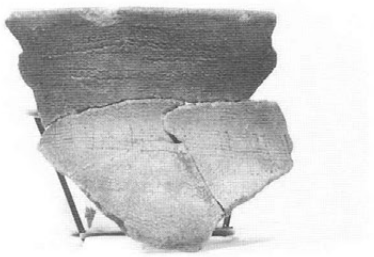
Ⅰ－遺構外
N36E39
10

Ⅱ－1号
住居址
30

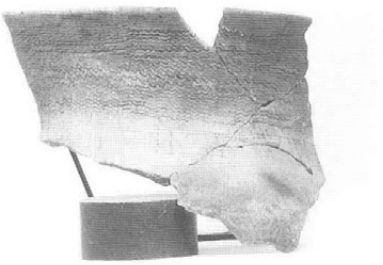
Ⅱ－2号
住居址
1

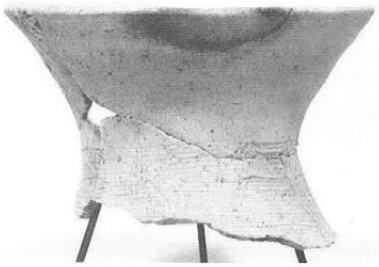
Ⅱ－2号
住居址
2

Ⅱ－3号
住居址
1

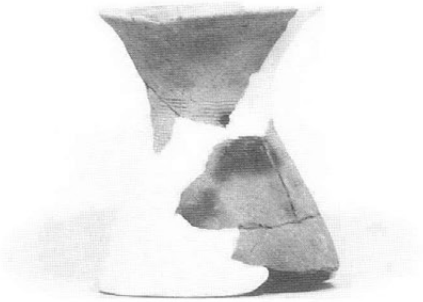


Ⅱ－3号
住居址
2

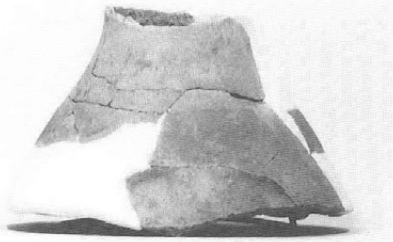




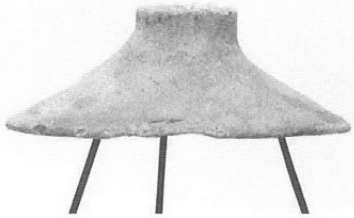
Ⅱ－3号
住居址
10



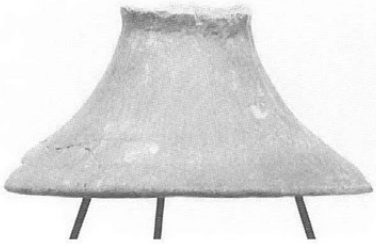
Ⅱ－3号
住居址
11



Ⅱ－3号
住居址
12



Ⅱ－3号
住居址
13

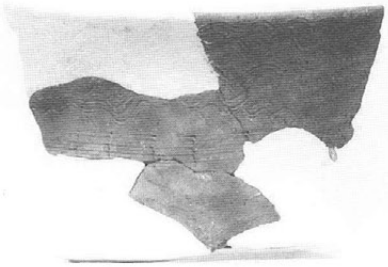


Ⅱ－3号
住居址
14

Ⅱ－3号
住居址
19

Ⅱ－7号
住居址
1

Ⅱ－9号
住居址
1



Ⅱ－8号
住居址
1

Ⅱ－9号
住居址
2

Ⅱ－8号
住居址
5

Ⅱ－8号
住居址
6

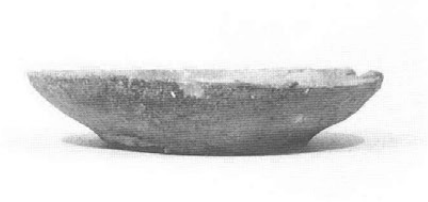
Ⅱ－9号
住居址
3

Ⅱ－9号
住居址
5

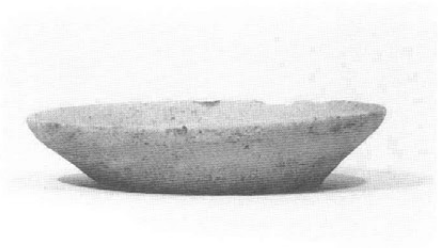
Ⅱ－9号
住居址
7

Ⅱ－10号
住居址
10

Ⅱ－10号
住居址
1



Ⅱ－11号
住居址
1



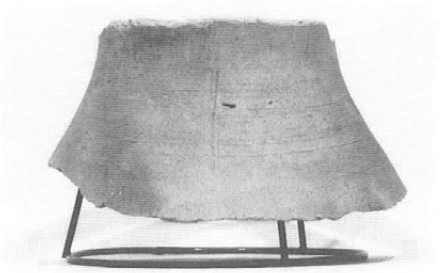
Ⅱ－11号
住居址
2

Ⅱ－10号
住居址
2

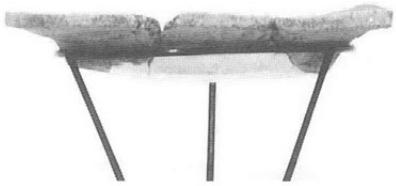
Ⅱ－1号
周溝墓
3

Ⅱ－10号
住居址
5

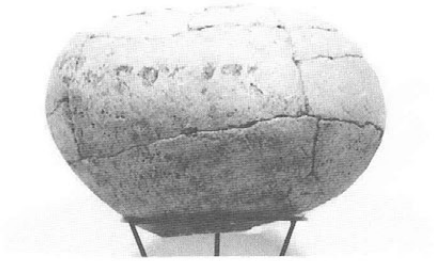
Ⅱ－1号
周溝墓
4



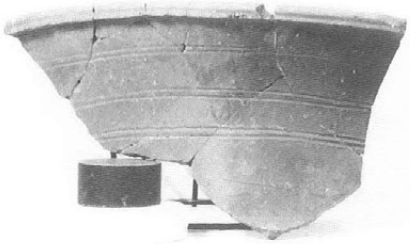
Ⅱ－10号
住居址
7



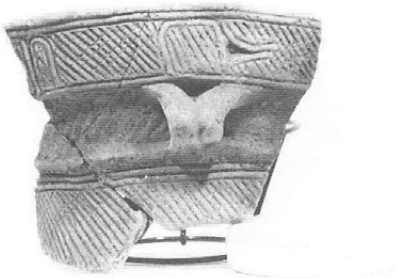
Ⅱ－1号
周溝墓
5



Ⅱ－1号
周溝墓
6

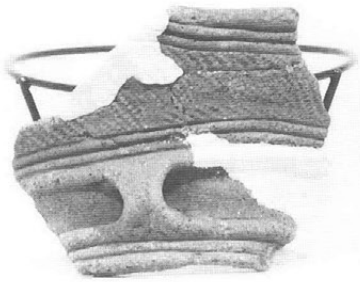


Ⅱ－1号
周溝
2



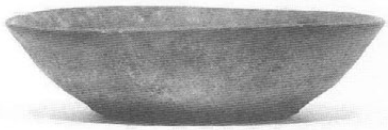
Ⅱ－1号
周溝墓
10

Ⅱ－1号
周溝
3

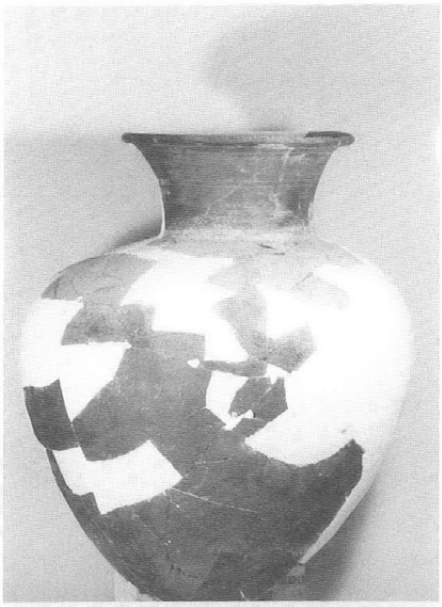


Ⅱ－1号
周溝墓
11

Ⅱ－1号
周溝
5

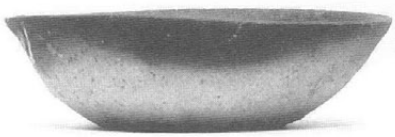


Ⅱ－1号
周溝墓
13



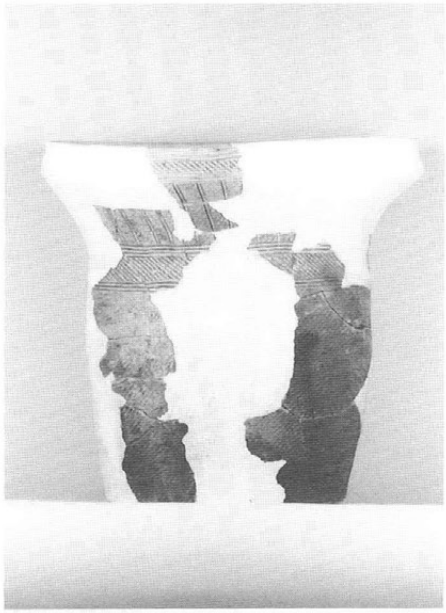
Ⅱ－1号
周溝
1

Ⅱ－1号
周溝
7



Ⅱ－1号
周溝
8

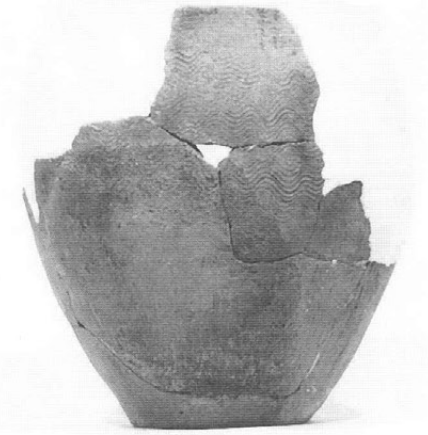
Ⅱ－1号
土壙
1



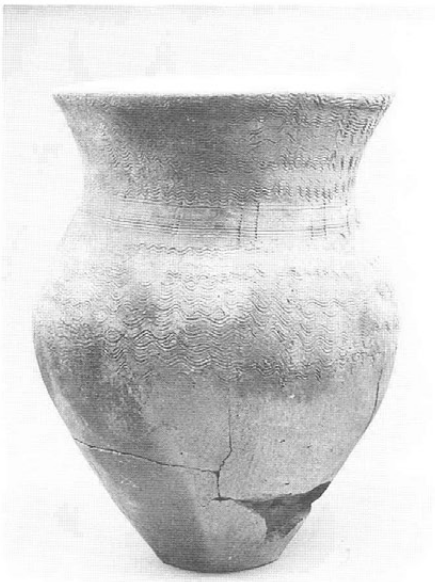
Ⅱ－25号
土壙
1

Ⅱ－28号
土壙
1

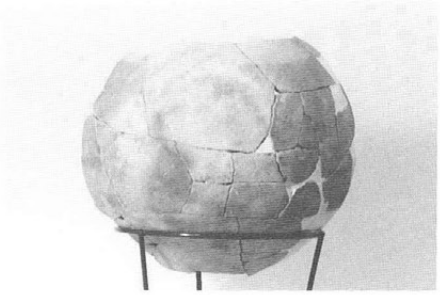
Ⅱ－52号
土壙
1



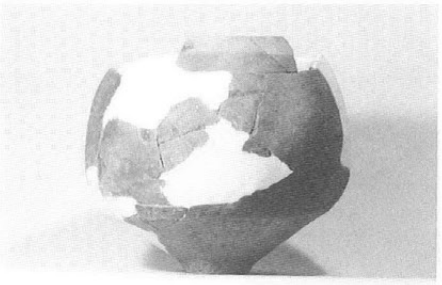
Ⅱ－64号
土壙
1



Ⅱ－64号
土壙
2



Ⅱ－75号
土壙
1

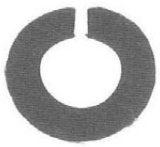


Ⅱ－75号
土壙
2

160図－10

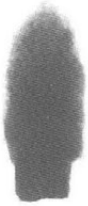
162図－24

160図－12・14・13



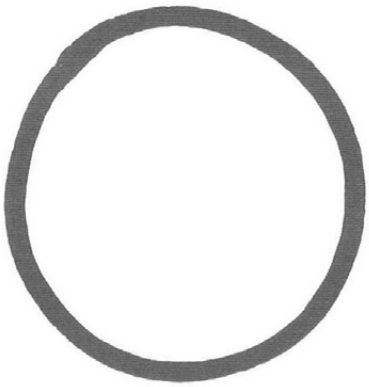
162図－26

162図－23・22・20

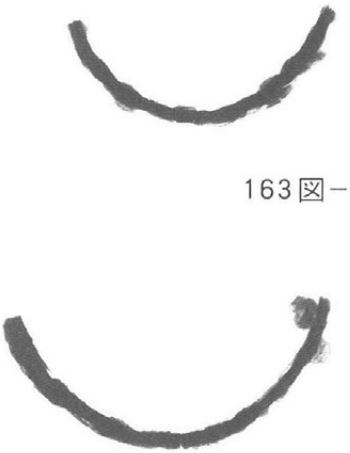


162図－25

162図－22



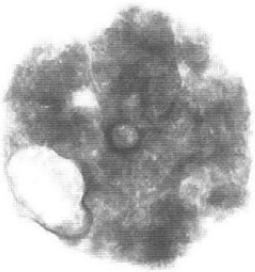
162図－18



163図－18

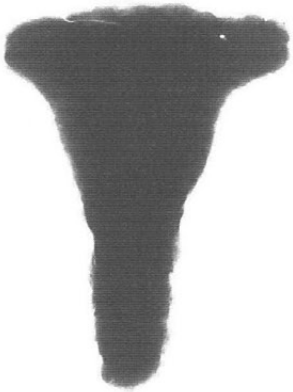
163図－17

165図－1



170図－3

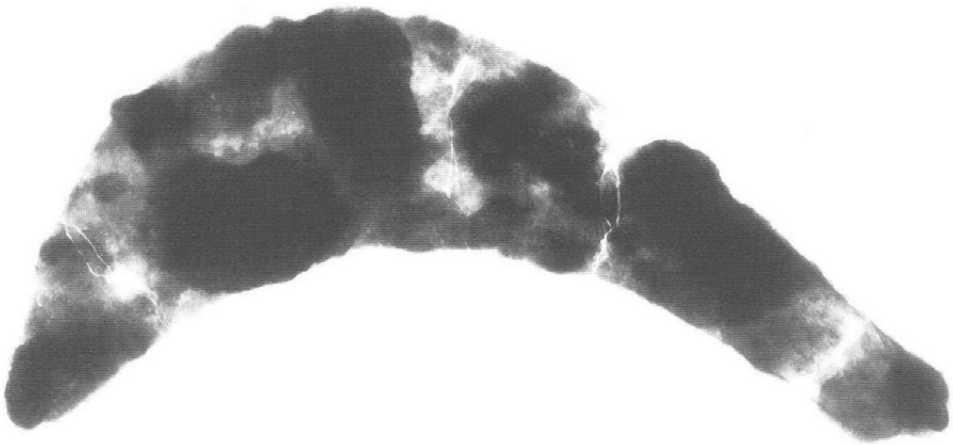
171図－1



171図－2

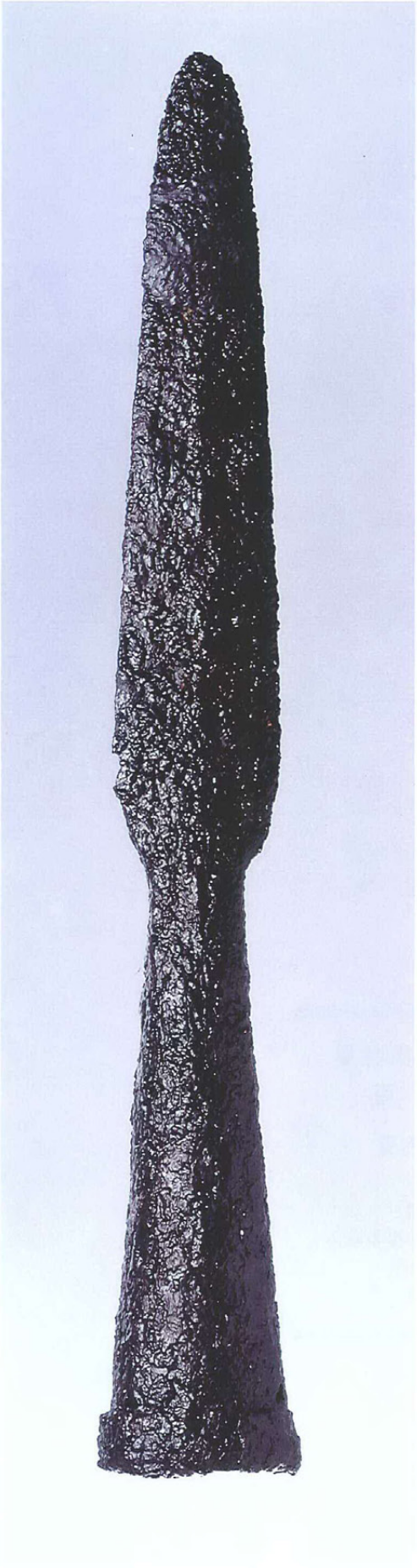
170図－2

170図－1



169図－1

Ⅰ区20号溝址



Ⅰ区40号土壙

上田市文化財調査報告書　第56集

上　　田　　原

上田原遺跡発掘調査報告書

発　　行　　平成8年3月31日
上田市・上田市教育委員会
上田市土地開発公社
印　　刷　　田口印刷株式会社